

原子力発電所周辺の環境放射能調査報告

平成二十一年度年報

第四十二卷五号

福井県環境放射能測定技術会議

I S S N 0285-9424
F E R C 第42卷5号

原子力発電所周辺の環境放射能調査報告

平成 2 1 年度年報

(2 0 0 9)

平成 2 2 年 9 月

福井県環境放射能測定技術会議

はじめに

福井県環境放射能測定技術会議は、平成21年度（2009年度）の調査結果を四半期毎にとりまとめ、平成21年度第1報～第4報として、第168回～第171回福井県原子力環境安全管理協議会に報告し公表してきました。この報告書はこれらを総合してとりまとめ、年報としたものです。

この報告書には、「平成21年度調査計画（FERC第41巻6号）」に基づく定期的な調査結果のほか、各種環境試料中の放射化学分析結果や年間降下量など四半期報告書で報告していないものもすべて収載しました。

また、調査結果の詳細な技術的検討を「4.付」に、発電所の運転状況や放射性廃棄物の放出管理の状況などを「5.参考資料」にそれぞれ示しました。ご参照下さい。

平成21年度中の環境モニタリングに係る出来事としては、ふげん放水口付近の海水から、これまでの実績を超える濃度のトリチウムが検出されたことがあります。これは、通常の液体廃棄物の管理放出に伴うもので、環境安全上問題となるレベルではありませんでしたが、周辺環境の影響を確認するためにふげん周辺海域における確認調査を行い、放出されたトリチウムは比較的短時間で拡散・希釈され、放出の影響は一過性のものであることを確認しました。

本会議は、今後とも一層の信頼が寄せられるような綿密な環境放射線（能）調査を行い、原子力発電所周辺環境の放射線安全の確保・確認に万全を期してまいりたい所存です。

平成22年9月

福井県環境放射能測定技術会議

福井県環境放射能測定技術会議

構成機関

福井県安全環境部原子力安全対策課

福井県原子力環境監視センター

福井県水産試験場

日本原子力発電株式会社

関西電力株式会社

独立行政法人日本原子力研究開発機構

目 次

1. 環境放射線モニタリングの目的と調査概要	1
2. 調査結果	4
2.1 調査結果の概要	4
2.1.1 周辺公衆の線量評価	5
2.1.2 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査	7
2.2 線量評価に関連した調査	9
2.2.1 空間線量	9
2.2.2 大気・浮遊じん、大気中水分	14
2.2.3 陸水	14
2.2.4 農産物、指標植物	14
2.2.5 海産食品、指標海産生物	15
2.2.6 海水	16
2.3 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査	16
2.3.1 浮遊じん放射能の連続測定	16
2.3.2 陸土	17
2.3.3 指標植物、松葉	18
2.3.4 降下物	19
2.3.5 海底土	20
2.3.6 指標海産生物	21
(参考) 今年度のセシウム-137分析結果	22

3. 添付資料

3.1 調査方法

3.1.1 調査地点(概要)	23
3.1.2 調査方法(概要)	23
3.1.3 調査の分担実績	25
3.1.4 測定値の取り扱いについて	26

3.2 調査地点図表

第1図 各放射線監視テレメータシステムの主なデータ収集・送信系統図	31
第2図 空間線量率連続測定・積算線量測定地点(全域)	32
第3図 敦賀発電所および原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)周辺の試料採取地点	34
第4図 高速増殖原型炉もんじゅ周辺の試料採取地点	35
第5図 美浜発電所周辺の試料採取地点	36
第6図 大飯発電所周辺の試料採取地点	37
第7図 高浜発電所周辺の試料採取地点	38
第8図 対照地区(嶺北地方)の試料採取地点	39
第1表 調査地点の詳細	40

3.3 測定法

第2表 空間線量測定法	44
第3表 浮遊じん放射能の連続測定法	45
第4表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析測定法	46
第4-2表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析の検出目標値	47
第5表 液体シンチレーション検出器によるトリチウム測定法	47
第6表 ストロンチウム-90・プルトニウム測定法	47
第7表 測定器	48

3.4 測定結果

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム	49
第9表 " その2 施設者のテレメータシステム	55
第10表 積算線量測定結果	75
第11表 浮遊じん放射能の連続測定結果	82
第12表 大気中のヨウ素-131分析結果	88
第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん	90
第14表 " その2 陸水	95
第15表 " その3 陸土	97
第16表 " その4 指標植物	98
第17表 " その5 松葉(2年葉)	99
第18表 " その6 農産物	100
第19表 " その7 降下物	101
第20表 " その8 海水	105
第21表 " その9 海底土	106
第22表 " その10 海産食品	109
第23表 " その11 指標海産生物	111
第24表 トリチウム分析結果 その1 陸水	113

第25表	〃	その2	大気中水分	115
第26表	〃	その3	雨水	121
第27表	〃	その4	海水	123
第28表	放射化学分析等による ⁹⁰ Sr, ¹³⁷ Cs, ²³⁹ Pu分析結果			126
第29表	年間降下物の ⁹⁰ Sr, ²² Na, ⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ²³⁹ Pu分析結果 (参考: 定期外調査)			130
第30表	原乳の核種分析結果 (参考: 定期外調査)			131
第31表	各地の積雪量(2009年12月~2010年3月) [参考データ]			132

4. 付

4.1	空間放射線の構成成分			135
4.2	県環境放射線監視テレメータシステムによる空間線量率及び気象の調査結果			137
	各地の気象	その1	降雨(降雪)、風速、気温	139
	各地の気象	その2	3ヶ月毎の風向出現率	147
	空間線量率と降雨量の測定結果(2009年4月~2010年3月)			151
	各地の風配図			160
4.3	大気中水分、雨水(降下物)のトリチウム分析結果について			164
4.4	原子炉廃止措置研究開発センター「ふげん」放水口付近海水からのトリチウム検出とその検討結果について			166
4.5	対照地区福井市寮町(県農試)の松葉からのセシウム-137検出とその検討結果			171
4.6	Cs-137降下量に関する調査			173
4.7	環境モニタリング結果に基づく内部被ばく預託実効線量評価結果			175

5. 参 考 資 料

5.1	平成21年度福井県環境放射能測定技術会議議事経過			179
5.2	(1)各発電所の設備の概要、建設経過			184
	(2)主要設備の改造および新設工事			186
5.3	(1)原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)廃止措置作業状況			188
	(2)高速増殖原型炉もんじゅの試験進捗状況			189
5.4	各発電所の運転実績			190
5.5	各発電所の発電停止状況			192
5.6	各発電所の放射性廃棄物放出実績(気体廃棄物)			194
5.7	各発電所の放射性廃棄物放出実績(液体廃棄物)			199
5.8	各発電所の液体廃棄物中の核種存在比			202
5.9	各発電所の年度別放射性廃棄物放出量			206
5.10	緊急時モニタリングルートでの線量率調査			211

平成21年度に刊行した福井県環境放射能測定技術会議報告書の訂正 222

平成20年度に刊行した福井県環境放射能測定技術会議報告書の訂正 223

1. 環境放射線モニタリングの目的と調査概要

我が国における原子力発電所周辺の環境モニタリングを規定している「環境放射線モニタリング指針（平成20年3月、原子力安全委員会）」は、環境放射線モニタリングの基本目的を「原子力施設の周辺住民等の健康と安全を守るため、環境における原子力施設に起因する放射性物質又は放射線による周辺住民等の線量が、1年間の線量限度を十分に下回っていることを確認し、その結果を周辺住民等に提供することである」としている。さらに、「異常事態又は緊急事態が発生した場合に、速やかに対応できるモニタリング体制を整備することにある」とし、具体的には次の四項目に要約している。

- (a) 周辺住民等の線量の推定及び評価
- (b) 環境における放射性物質の蓄積状況の把握
- (c) 原子力施設からの予期しない放射性物質又は放射線の放出の早期検出及び周辺環境への影響評価
- (d) 異常事態又は緊急事態が発生した場合における環境放射線モニタリングの実施体制の整備

各種試料等の測定の間々の目的は下記の通りである。

- ①空間線量：線量率—連続測定による環境放射線の短期的変動の把握および体外からの放射線による外部被ばく線量の推定
：積算線量—体外からの放射線による外部被ばく積算線量の推定（3ヶ月毎）
：モニタリング—緊急時モニタリングルートの線量率確認
- ②大気・浮遊じん、大気中水分：空気の吸入による内部被ばくの把握
- ③陸水、農産物、海産食品：飲食物の摂取による内部被ばくの把握
- ④指標植物、指標海産生物：放射能水準の把握および農産物、海産食品の調査の補完
- ⑤陸土、海底土：環境における放射性物質の蓄積状況の把握
- ⑥海水：放射能水準の把握（および海産食品への濃縮を通じての潜在的な内部被ばくの推定）
- ⑦降下物：放射性物質の降下量の把握、検出された核種の起源の推定

このうち①の空間線量については、平常の変動幅との比較等から必要に応じて更に詳細な調査を行って発電所寄与の有無を判断することとしている。また内部被ばくに係わる③の飲食物等については、地区別年間平均核種濃度を算出し、それをもとにまず過去の核実験等の寄与分も含めた線量を推定して放射線安全を確認し、次いで起源の判断を加え県内の原子力発電所寄与分を推定している。④の指標生物は内部被ばくに関する線量推定の際の補完的試料として評価しているほか、上記(c)の目的にも役立っている。

各地区毎では、大別して以下のような調査を行った。

- (イ) テレメータシステム等による線量調査
- (ロ) ゲルマニウム(Ge)半導体検出器による核種分析調査
- (ハ) 陸水等のトリチウム調査
- (ニ) 放射化学分析によるストロンチウム-90、プルトニウム-239(注1)等の調査

今年度の調査地点・測定の総数を第1表(p.2~p.3)に示す。

なお、この報告書では、空間放射線モニタリングにおける自然放射線のレベル、および環境試料中の放射能モニタリングにおける過去の核実験影響等の外因によるレベルをバックグラウンドレベルと表記した。

(注1) アルファ線スペクトロメトリによるプルトニウム分析では、プルトニウム-239 およびプルトニウム-240のアルファ線を分離できないため、正確にはプルトニウム-239(+240)と表記すべきであるが、本報告書では簡略にプルトニウム-239と表示する。

本報告書で用いる調査機関の略称名称は、以下のとおりとする。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ①福井県原子力環境監視センター | ：県または福井県（記号；A） |
| ②日本原子力発電株式会社 | ：原電（記号；B） |
| ③関西電力株式会社 | ：関電（記号；C） |
| ④独立行政法人日本原子力研究開発機構 | ：原子力機構または機構（記号；D） |

第1表 調査地点・測定 の総数

県: 福井県原子力環境監視センター 原電: 日本原子力発電株式会社
 機構: 独立行政法人日本原子力研究開発機構 関電: 関西電力株式会社

(イ) 連続測定調査

調査項目		調査地区						合計	頻度(回/年)
		敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)		
線量率(テレメータシステム)		20	7	14	16	14		71	連続
積算線量(3ヶ月積算値)	地点数	26	14	22	26	25	10	123	4
	測定数	104	56	85	104	100	40	489	
浮遊じん(テレメータシステム)		2	2	2	2	3		11	連続

(ロ) 核種分析調査

・定期調査

調査項目		調査地区						合計	頻度(回/年)	
		敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)			
大気中ヨウ素-131	地点数	1	1	1	1	1		5	12	
	測定数	12	12	12	12	12		60		
浮遊じん	地点数	5	3	3	3	5	1	20	4~12	
	測定数	52	28	28	28	44	12	192		
陸水	水道水	地点数	2	1	2	1	2	1	9	2~4
		測定数	8	8	6	6	8	4	40	
	河川水	地点数			1				1	
		測定数			2				2	
陸土	地点数	2	1	1	2	2	2	10	2~4	
	測定数	8	4	4	4	4	3	27		
指標植物(ヨモギ)	地点数	1	1	1	1	1	1	6	7	
	測定数	7	7	7	7	7	7	42		
松葉(2年葉)	地点数	2	1	1	1	1	1	7	1~2	
	測定数	4	2	2	2	2	4	16		
農産物(大根葉)	地点数	1	1	1	1	1	1	6	1	
	測定数	1	1	1	1	1	1	6		
降下物(雨水・ちり)	地点数	2	2	2	2	2	1	11	12	
	測定数	24	24	24	24	24	12	132		
海水	地点数	3	2	2	1	2	1	11	2~6	
	測定数	10	6	12	6	12	2	48		
海底土	地点数	6	6	8	4	7		31	1~8	
	測定数	21	15	25	12	21		94		
海産食品	魚類(近海魚)	10	6	9	6	6	3	40	1~2	
	貝類(サザエ、アワビ)	4	4	5	4	4	1	22	1~2	
	藻類(ワカメ、モズク)	4	4	5	4	4	2	23	2~4	
指標海産生物(ホンダワラ)	地点数	6	1	2	2	5	1	17	1~8	
	測定数	24	8	16	8	20	4	80		
測定数合計		189	129	158	124	169	55	824		

(ハ) トリチウム分析調査

調査項目		調査地区						合計	頻度(回/年)
		敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)		
陸水(水道水)	地点数	2	1	2	1	2	1	9	2~8
	測定数	8	8	6	6	8	4	40	
大気中水分(除湿水)	地点数	5	2	2	2	2	1	14	12
	測定数	60	24	24	24	24	12	168	
雨水(降下物)	地点数	2	1	2	2	2	1	10	4
	測定数	8	8	8	8	8	4	44	
海水(表層水)	地点数	3	2	4	2	4	1	16	2~10
	測定数	14	8	16	8	30	2	78	
測定数合計		90	48	54	46	70	22	330	

(二) 放射化学分析による⁹⁰Sr、²³⁹Pu調査

・⁹⁰Sr

調査項目		調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
指標植物(ヨモギ)	地点数		1	1	1	1	1	1	6	1
	測定数		1	1	1	1	1	1	6	
指標海産生物(ホンダワラ)	地点数		1	1	1	1	1	1	6	1
	測定数		1	1	1	1	1	1	6	
測定数合計			2	2	2	2	2	2	12	

・²³⁹Pu

調査項目		調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
陸土	地点数			1				1	2	1~4
	測定数			4				1	5	
指標植物(ヨモギ)	地点数		1	1	1	1	1	1	6	1~7
	測定数		1	7	1	1	1	1	12	
農産物(大根葉)	地点数			1					1	1
	測定数			1					1	
海底土	地点数		1	5	1	1	1		9	1~5
	測定数		1	9	1	1	1		13	
海産食品	魚類(近海魚)			6					6	1~2
	貝類(サザエ、アワビ)			4					4	1~2
	藻類(ワカメ)		1	4	1	1	1	1	9	1
指標海産生物(ホンダワラ)	地点数		2	1	2	1	1	1	8	1~2
	測定数		2	4	2	1	1	1	11	
測定数合計			5	39	5	4	4	4	61	

(ホ) ¹³⁷Cs(アンチコインシデンス測定)

調査項目		調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
海底土	地点数		2	1	3	1	2		9	1
	測定数		2	1	3	1	2		9	
海産食品	藻類(ワカメ)		1	1	1	1	1	1	6	1
	貝類(サザエ)		1	1	1	1	1	1	6	1
指標海産生物(ホンダワラ)	地点数		2	1	1	1	1		6	1
	測定数		2	1	1	1	1		6	
測定数合計			6	4	6	4	5	2	27	

(ヘ) 定期外調査

・年間降下物

調査項目		調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
γ線スペクトロメトリ	²² Na	地点数	2	2	2	2	2	1	11	1
		測定数	2	2	2	2	2	1	11	
	⁶⁰ Co	地点数	2	2	2	2	2	1	11	1
		測定数	2	2	2	2	2	1	11	
¹³⁷ Cs	地点数	2	2	2	2	2	1	11	1	
	測定数	2	2	2	2	2	1	11		
放射化学分析	⁹⁰ Sr	地点数	1	1	1	1	1	1	6	1
		測定数	1	1	1	1	1	1	6	
	²³⁹ Pu	地点数	1	1	1	1	1	1	6	1
		測定数	1	1	1	1	1	1	6	
測定数合計			8	8	8	8	5	45		

※各地点における月間降下物測定試料(パウデックス樹脂)の12ヶ月分を混ぜ合わせ、灰化物集合試料として測定

・原乳

調査項目		調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	合計	頻度(回/年)
原乳	地点数				1			1	2	3
	測定数				3			3	6	
測定数合計					3			3	6	

2. 調査結果

2.1 調査結果の概要

本年度の調査結果を要約すれば次のとおりである。

(1) 周辺公衆の線量

県内の原子力発電所の運転に起因する放射線による周辺公衆の線量に関しては、線量限度（年間 1 ミシーベルト）はもとより発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値（年間 0.05 ミシーベルト）をはるかに下まわっていた。

① 外部被ばくに関して

- ・ 県および施設者のテレメータシステムによる線量率連続測定では、県内の発電所からの放射性物質の放出に起因する有意な線量率上昇は認められなかった。
- ・ 年間積算線量では、各地区のいずれの地点でも自然線量と比較して有意な線量上昇は認められなかった。

② 内部被ばくに関して

- ・ 内部被ばくを評価するために核種分析を行っている試料（大気・浮遊じん、飲料水、農産物および海産食品）およびその補完となる試料（指標植物、指標海産生物）からは原子力発電所に起因する核種は検出されなかった。
- ・ 放射性ヨウ素はあらゆる試料から全く検出されなかった。
- ・ 大気中水分および海水から発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うトリチウムが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

(2) 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査

- ・ この目的で調査している試料（陸土、指標植物、降下物、海水、海底土、指標海産生物）については、原子力発電所に起因する核種は、全く検出されなかった。これらの試料の過去の核実験に由来する核種の濃度は従来と同程度かそれ以下であった。
- ・ 雨水、海水から発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うトリチウムが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

したがって、今年度の県内各原子力発電所の運転に伴う周辺公衆の被ばく線量は無視できるレベルである。

注 2 に参考として、発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に相当する放射能濃度を示す。

(注 2) 成人の預託実効線量が 0.05 ミシーベルトとなる食品中の核種濃度（単位：Bq/kg 生）

	魚 類	無脊椎動物	藻 類	葉 菜
⁵⁸ C o	930	9,300	4,600	3,700
⁶⁰ C o	200	2,000	1,000	810
¹³⁷ C s	53	530	260	210
³ H	16,000	160,000	82,000	33,000
⁹⁰ S r	25	250	120	98
²³⁹ P u	2.7	27	14	11
摂取量(g/日)	200 g	20 g	40 g	100 g

1 日当たり最下段の量を 1 年間食べ続けるとした場合の濃度。葉菜の除染係数を 0.5 とした。海藻や葉菜の保存後の放射能の減衰は考慮されていない。
トリチウム（³H）は有機結合型トリチウムとした場合の値。

2.1.1 周辺公衆の線量評価

調査結果の概要で既に明らかなように、特に線量を評価する必要はないが、公衆の線量限度等の規定が年間で定められているのでそれと対比できるように、また、過去の核実験の影響として検出されているセシウム-137等の濃度に目安をつけるために、外部被ばくと内部被ばくに区分して線量の評価を行った。

評価の結果、今年度の県内発電所の運転による発電所周辺公衆の線量については、外部被ばくと内部被ばくを合計しても、いずれの地区とも年線量限度はもとより発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値をはるかに下まわっていた。

(1) 外部被ばく

第1-1表に、今年度の空間線量測定結果から評価された発電所寄与による外部被ばくの推定線量をまとめた。県および施設者のテレメータシステムによる線量率連続測定ならびに積算線量測定結果では、発電所に起因する有意な線量上昇は認められなかった。また、各発電所の放射性廃棄物の放出量から計算した外部被ばく線量は0.001ミリシーベルト以下であった。したがって、発電所に起因する線量影響は無視できる程度であった。

第1-1表 実効線量（外部被ばく） (ミリシーベルト/年)

	放射線監視テレメータシステムによる調査結果	積算線量の調査結果 *1	(参考) 放出量から計算した外部被ばく
敦賀発電所 ふげん	—	—	0.001以下
もんじゅ	—	—	0.001以下
美浜発電所	—	—	0.001以下
大飯発電所	—	—	0.001以下
高浜発電所	—	—	0.001以下
参考：過去の核実験影響	—	—	/

(注) —は検出限界値未満 *1：検出限界はほぼ0.05ミリシーベルト/年
/は調査対象外であることを示す（以下の第2表～第7表まで同様）。

(2) 内部被ばく

内部被ばくに係る試料から、発電所に起因するコバルト-60は、全く検出されなかったが、トリチウムや過去の核実験の寄与と考えられるセシウム-137などが検出されていることより、参考として、検出された値に目安をつけるため、例年と同様、各種試料中の年間平均濃度をもとに内部被ばくに関する預託実効線量の計算を行った。計算に当たっての具体的事項は注3に示した。

内部被ばくに関する預託実効線量の計算結果を第1-2表に、計算に用いた各試料毎の平均値を第2表から第4表に示す。評価の結果、発電所の運転に起因する内部被ばくは無視できる程度であった。

ゲルマニウム半導体検出器による核種分析の目的核種(添付資料第4表(p.46)参照)のうち、検出された核種はいずれもセシウム-137のみであり、過去の核実験のフォールアウトとみなすことができるレベルである(第2表)。

(注3) 通常食用とはしない指標生物のホンダワラ等を食品と同等に摂取するものとして取扱い、地区別の年平均核種濃度の計算に加えた。年平均値の算定には検出値のあるものだけを用いたので、実際の食品レベルよりは高くなっており、安全側に見積られている。線量計算は原子力安全委員会の「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に対する評価指針(以下、評価指針という)」に従い、上記の年平均核種濃度の食品等を、成人で1日当たり葉菜100g、魚200g、無脊椎動物20g、海藻40gずつ、呼吸率を22.2m³/日として1年間摂取し続けるとして計算を行った。飲料水の摂取量はICRP Publ.23により2.65ℓ/日とした。

第1-2表 検出値から計算した預託実効線量(内部被ばく) (ミリシーベルト)

	内部被ばくの預託実効線量*1			
	呼吸 *2	飲料水	葉菜	海産物
敦賀発電所 ふげん	0.001以下	—	—	0.001以下*4
もんじゅ	0.001以下	—	—	—
美浜発電所	0.001以下	—	—	—
大飯発電所	0.001以下	—	—	—
高浜発電所	0.001以下	—	—	—
参考：過去の核実験影響	0.001以下	0.001以下*2	0.001以下*3	0.001以下*3

*1：1年間の摂取に基づく、摂取後50年間にわたって個人が受ける積算の線量

計算の基礎として指標植物(ヨモギ)および指標海産生物(ホンダワラ等)を含む。

*2：各発電所近傍で観測した大気中水分等のトリチウムによるもの。付4.3、付4.7参照

*3：過去の核実験影響のセシウム-137、ストロンチウム-90、プルトニウムによるもの。

*4：敦賀・ふげん海域で海水中のトリチウム濃度の年平均値が評価対象である2.0Bq/lを超えたことによる(第3表参照)。

第2表 検出された目的核種の試料毎の平均値(いずれもセシウム-137)

	試料	単位	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
陸上	浮遊じん	mBq/m ³	—	—	—	—	—	—
	陸水(飲料水)	mBq/l	—	—	—	—	—	—
	指標植物	Bq/kg 生	—	0.2	0.2	—	—	—
	農産物	〃	—	0.0	—	—	—	—
海洋	海水	mBq/l	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.8
	海産食品(魚類)	Bq/kg 生	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
	海産食品(貝類)	〃	—	—	0.0	0.0	—	—
	海産食品(藻類)	〃	—	—	—	—	—	—
	指標海産生物	〃	0.1	—	0.1	—	0.1	—

(注) ①—は検出されなかったことを示す。

②平均値は検出されたもののみから計算した。0.0は0.05未満であることを示す。

(①、②について、以下の第3表～第7表まで同様)

第3表 トリチウム測定結果(平均値) 単位：陸水、海水 Bq/l、大気中水分 Bq/m³

試料	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
陸水(飲料水)	1.1	1.1	1.3	1.2	1.1	0.7
大気中水分	0.031	0.023	0.036	0.053	0.14	0.0010
海水	100	1.3	1.4	1.0	1.5	0.6

(注) 大気中水分のトリチウム濃度については、検出された水分あたりの平均濃度(Bq/l)を年間平均気温、年間平均相対湿度を基に大気中濃度(Bq/m³)に換算した。

(注4) ①成人の預託実効線量0.05ミリシーベルトになるトリチウム濃度

飲料水	大気中水分
2,900 Bq/l	340 Bq/m ³

②トリチウムが海水から海産物(魚貝藻類)へ移行し、それを成人が年間摂取した場合に預託実効線量が0.05mSvとなる海水中濃度は約13,000Bq/lである。ただし、有機結合型トリチウムとし、実効線量係数 4.2×10^{-8} mSv/Bqを用いた。

第4表 Sr-90, Pu-239の測定結果(全地区平均値) 単位: Bq/kg 生

核種	指標植物	大根葉	魚類	貝類	藻類	指標海産生物
Sr-90	0.29	/	/	/	/	0.049
Pu-239	0.00054	0.00042	-	0.037	0.0032	0.015

各地区の陸水(飲料水)のトリチウムは、いずれもバックグラウンドレベルであった(添付資料、測定値の取り扱い(5)(p.29)参照)。また、大気中水分および海水のトリチウムでは、発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うものが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べ、はるかに低い濃度であった(以上第3表)。参考として、成人の預託実効線量が0.05ミリシーベルトになるトリチウム濃度を前ページの脚注4に示した。

ストロンチウム-90とプルトニウム-239は、各種環境試料から検出されているが、これらは例年の傾向や対照地区での調査結果、および放射性廃棄物放出実績とその核種存在比(参考資料5.7~5.8(p.199~p.205)参照)から過去の核実験のフォールアウトと見なすことができる。濃度はこれまでと同程度であった(第4表)。

2.1.2 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査

(1) 浮遊じん放射能の連続測定

大気中の発電所由来の人工放射性核種を連続的に監視する目的で行っている浮遊じん連続測定の結果では、その指標となるベータ/アルファ放射能濃度比において、発電所の運転に起因する変動は観測されなかった(添付資料第11表(p.82~p.87)参照)。

(2) 核種分析

第5表に、ゲルマニウム半導体検出器による核種分析の結果検出された目的核種の試料毎の平均値を示す。陸上モニタリング、海洋モニタリング関係とも、セシウム-137が検出されたが、バックグラウンドレベルであった。

第5表 検出された目的核種の試料毎の平均値

	試料	核種	単位	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
陸	陸土	Cs-137	Bq/kg 乾土	17	1.5	4.1	36	5.5	49
	指標植物	Cs-137	Bq/kg 生	-	0.2	0.2	-	-	-
上	松葉	Cs-137	"	-	-	-	-	-	0.4
	降下物	Cs-137	Bq/m ²	0.3	-	0.3	-	0.1	0.3
海洋	海水	Cs-137	mBq/l	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.8
	海底土	Cs-137	Bq/kg 乾土	1.6	-	7.3	1.9	1.3	/
	指標海産生物	Cs-137	Bq/kg 生	0.1	-	0.1	-	0.1	-

(注) 対照地区の陸土では、勝山市池ヶ原(奥越高原牧場)の結果を含めて計算した。

(3) トリチウム

第6表にトリチウム測定結果のまとめを示す。第6表に示す平均値は各地区で検出された値から計算した。

雨水から発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うトリチウムが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

海水のトリチウムは過去の核実験の影響で、発電所寄与がなくても検出値がおおよそ2.0Bq/l程度となる可能性がある(注5)。今年度、このレベルを超えるトリチウムが検出されたのは、敦賀地区の2例(14、1100Bq/l)、美浜地区の3例(2.2～2.8Bq/l)、高浜地区の5例(2.1～2.9Bq/l)を合わせた10例(添付資料第27表(p.123～p.125)参照)であったが、発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うものであった。環境安全上問題となるレベルではなく、海水から検出された比較的高い値は一過性のものであり、被ばく評価上はるかに低い濃度であった(注4)。

第6表 トリチウム測定結果(平均値)

単位: Bq/l

試料	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
雨水	2.3	1.2	2.5	3.8	4.2	0.7
海水	100	1.3	1.4	1.0	1.5	0.6

(4) 放射化学分析

放射化学分析の結果の概要を第7表に示す。ストロンチウム-90とプルトニウム-239が、各種環境試料から検出されているが、これらは例年の傾向や対照地区での調査結果、および放射性廃棄物放出実績とその核種存在比(参考資料5.7～5.8(p.199～p.205)参照)から過去の核実験のフォールアウトと見なすことができる。濃度は2000年以降のレベルとほぼ同程度であった。

第7表 Sr-90, Pu-239の測定結果(全地区平均値)

核種	陸土 Bq/kg 乾土	指標植物 Bq/kg 生	降下物 Bq/m ² ・年	海底土 Bq/kg 乾土	指標海産生物 Bq/kg 生
Sr-90	/	0.29	0.22	/	0.049
Pu-239	1.0	0.00054	0.011	0.38	0.015

(注) 陸土では、勝山市池ヶ原(奥越高原牧場)の結果を含めて計算した。

以下に、線量評価に関連した調査、変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査について、調査試料毎に詳細に述べる。

(注5)「測定値の取り扱いについて(5)」(p.29)参照

2. 2 線量評価に関連した調査

2. 2. 1 空間線量

(1) 線量率連続測定

第1表と第1図に、今年度のテレメータシステムによる線量率の連続測定結果の概要を示す。線量率の短期的変動の評価として第1表に示したように、「平均値+標準偏差(σ)の3倍」(測定値の取り扱い(1)(p.26)参照)を超えたものについて原因の調査を行っている。今年度の「平均値+3 σ 」は、春から秋にかけてはほぼ平均値+7.8nGy/hであり、冬期はおよそ平均値+14nGy/hであった。今年度は冬期に雪が少なかったため「平均値+3 σ 」は、例年の値(20~30nGy/h)に比べて小さくなった。また、「平均値+3 σ 」を超える線量率が、各観測局で年間107~235時間観測されているが、降雨、降雪等の自然現象によるものであり、県内発電所からの放射性物質の放出に起因する線量率上昇は観測されなかった。降雨・降雪以外のものとして、敦賀地区で、静穏時の大気中ラドン娘核種

第1表 テレメータシステムによる線量率連続測定結果の概要 線量率単位:nGy/h

地区	観測局	年間 平均 線量率	年間 最高値	M+3 σ を超えた 原因とその時間数*1			地区	観測局	年間 平均 線量率	年間 最高値	M+3 σ を超えた 原因とその時間数*1		
				降雨	降雨以外*2	発電所					降雨	降雨以外*2	発電所
敦賀	敦賀A	53.7	82.2	160	2	0	美浜	新庄C	60.5	87.3	175	0	0
	浦底A	66.6	100.4	196	0	0		郷市C	36.3	83.3	217	0	0
	立石A	62.9	87.7	194	0	0		早瀬C	35.3	68.3	204	0	0
	河野A	43.7	75.8	195	0	0		日向C	41.8	81.0	215	0	0
	ふげん北D	58.8	95.6	197	0	0		三方C	31.6	83.1	221	0	0
	立石B	89.7	110.0	107	3	0		小浜A	43.2	87.6	178	0	0
	立石山頂B	78.3	124.8	202	0	0		日角浜A	39.3	91.8	186	0	0
	ふげん西D	38.3	90.3	222	0	0		宮留A	33.4	88.8	186	0	0
	猪ヶ池B	79.6	127.2	195	0	0		阿納尻A	30.4	65.2	200	0	0
	浦底B	78.0	114.3	191	0	0		長井A	35.6	104.2	189	0	0
	水試裏B	79.3	123.0	187	0	0	宮留C	40.2	112.7	200	0	0	
	色ヶ浜B	81.6	115.0	194	0	0	日角浜C	38.3	112.3	187	0	0	
	沓D	56.2	99.5	191	0	0	本郷C	43.1	116.7	194	0	0	
	赤崎D	50.1	93.8	215	0	0	加斗C	47.0	114.3	196	0	0	
	五幡B	47.6	85.5	218	0	0	小浜C	47.3	110.4	195	0	0	
	阿曽D	48.9	99.6	218	0	0	西津C	36.4	100.0	190	0	0	
	杉津B	52.5	89.1	201	0	0	堅海C	39.8	105.4	203	0	0	
	甲楽城B	45.1	76.8	220	0	0	川上C	49.6	104.5	203	0	0	
	今庄B	39.0	64.2	160	0	0	鹿野C	42.8	137.7	200	0	0	
	越前厨D	39.0	72.0	221	0	0	名田庄C	44.9	92.1	188	0	0	
白木	白木A	71.7	111.3	202	0	0	上中C	37.2	77.9	227	0	0	
	白木峠A	71.4	111.5	201	0	0	小黒飯A	37.5	88.5	214	0	0	
	松ヶ崎D	61.8	101.7	202	0	0	音海A	40.4	101.7	201	0	0	
	白木ID	65.2	101.3	192	0	0	神野浦A	27.7	83.3	211	0	0	
	白木IID	38.4	98.3	208	0	0	山中A	26.8	84.1	206	0	0	
	白木IIID	54.7	96.7	198	0	0	音海C	44.4	87.7	224	0	0	
	白木IVD	45.0	83.0	207	0	0	田ノ浦C	39.0	102.1	205	0	0	
美浜	丹生A	54.4	89.4	222	0	0	小黒飯C	37.8	93.0	213	0	0	
	竹波A	62.2	93.5	216	0	0	神野浦C	29.3	97.4	224	0	0	
	坂尻A	55.2	101.4	207	0	0	日引C	36.1	103.4	206	0	0	
	奥浦C	60.1	103.1	203	0	0	青郷C	39.8	105.1	215	0	0	
	丹生C	52.5	87.0	208	0	0	高浜C	36.8	96.4	212	0	0	
	丹生寮C	48.5	81.1	212	0	0	和田C	37.3	96.3	195	0	0	
	竹波C	74.4	106.2	203	0	0	田井C	43.8	101.6	224	0	0	
	菅浜C	37.5	71.8	212	0	0	夕潮台C	31.0	80.5	208	0	0	
	佐田C	54.7	87.5	235	0	0							

(注) 表中に示した結果は1時間値を基に算出した。降雨には降雪も含まれる。

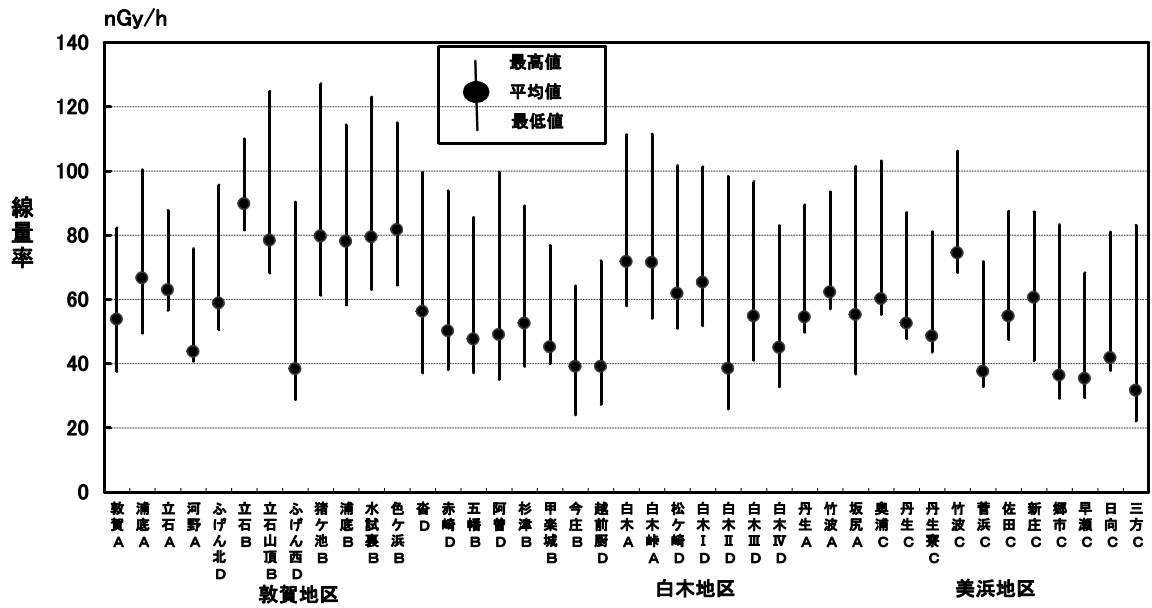
*1: 月毎に算出した数の和である。Mは月平均値、 σ は月間標準偏差である。

*2: 降雨以外の欄は、静穏時の大気中ラドン娘核種濃度の上昇など自然現象による。

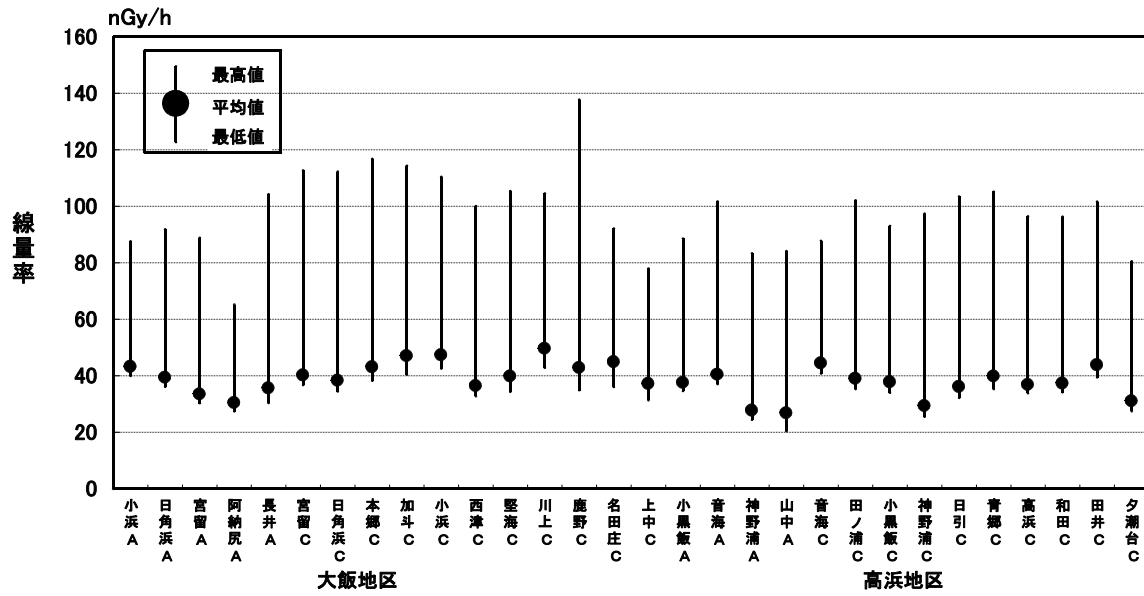
濃度の上昇など自然現象による影響が2～3時間認められた。

図1に、各測定地点の1時間値を基に算出した年間の平均値、最高値、最低値を示した。

第1図(1) 空間線量率連続測定結果 (敦賀、白木、美浜地区)



第1図(2) 空間線量率連続測定結果 (大飯、高浜地区)



(2) 積算線量

熱ルミネセンス線量計 (TLD)、電子線量計および蛍光ガラス線量計を用いた3ヶ月毎の積算線量については、すでに四半期毎に報告したとおり、県内の発電所に起因する有意な線量上昇は認められなかった。以下に年間積算線量について述べる。

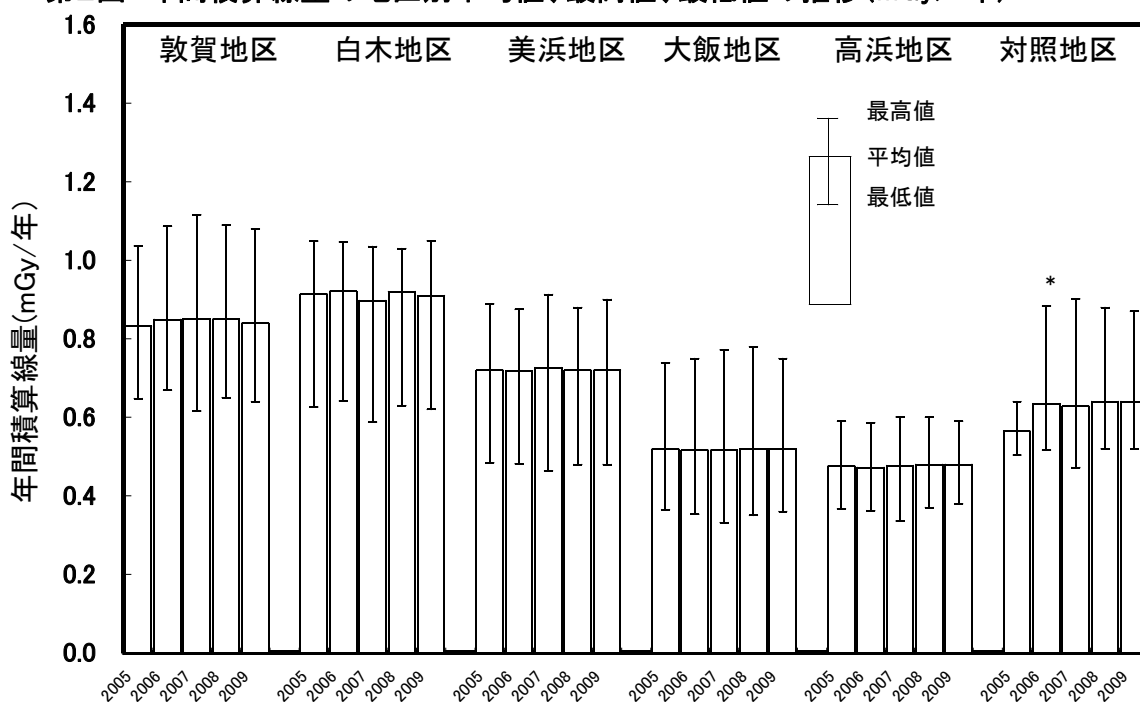
第2表に今年度の年間積算線量の各地区の平均値、最高値、最低値を、第2図に地区別の平均値、最高値、最低値の5年間の推移を、それぞれ示す。年間積算線量は3ヶ月値の和である。

第2表 今年度の各地区の年間積算線量

単位：mGy/年

	敦賀地区	白木地区	美浜地区	大飯地区	高浜地区	対照地区
平均値	0.84	0.91	0.72	0.52	0.48	0.64
最高値	1.08	1.05	0.90	0.75	0.59	0.87
最低値	0.64	0.62	0.48	0.36	0.38	0.52

第2図 年間積算線量の地区別平均値、最高値、最低値の推移(mGy/年)



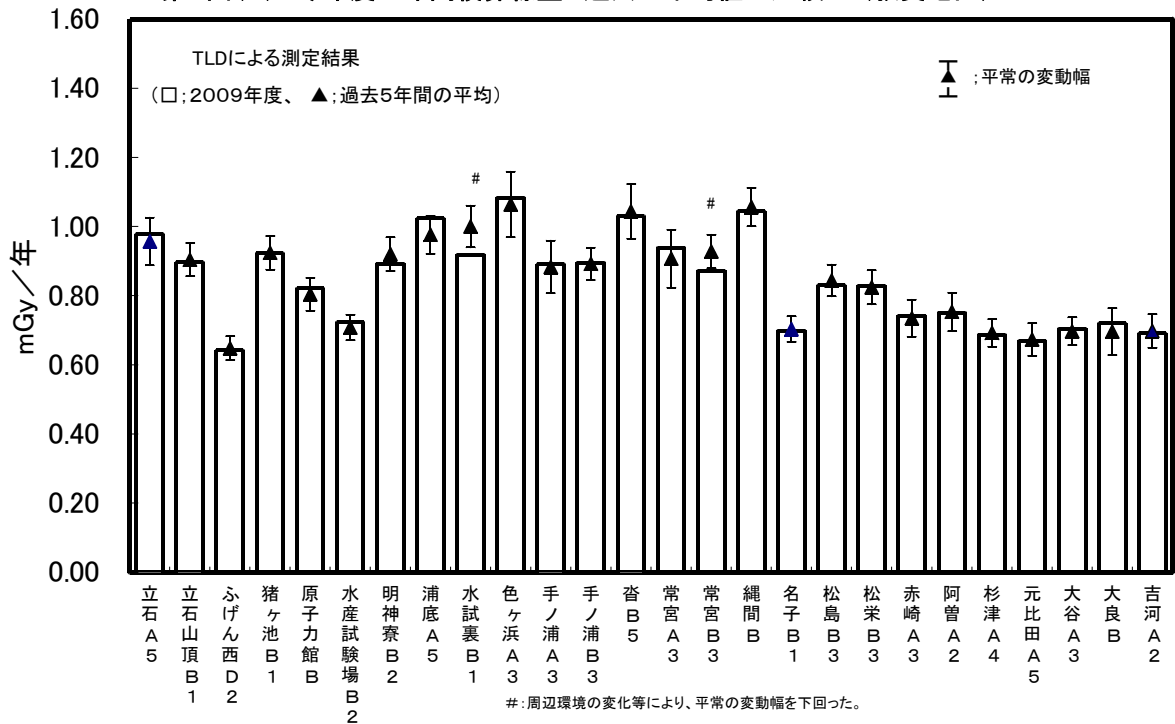
* : 2006年度より、他の地点より比較的線量が高い越前市妙法寺町を新たに調査開始した。

地区および地点により大きな差があるのは、地質によって天然放射性核種の濃度が違うためである。敦賀半島先端部の花崗岩地帯は、第9表の陸土の測定結果 (p. 17) に示すとおり、カリウム-40、トリウム系列核種、ウラン系列核種が高濃度であるため線量が高くなっている。

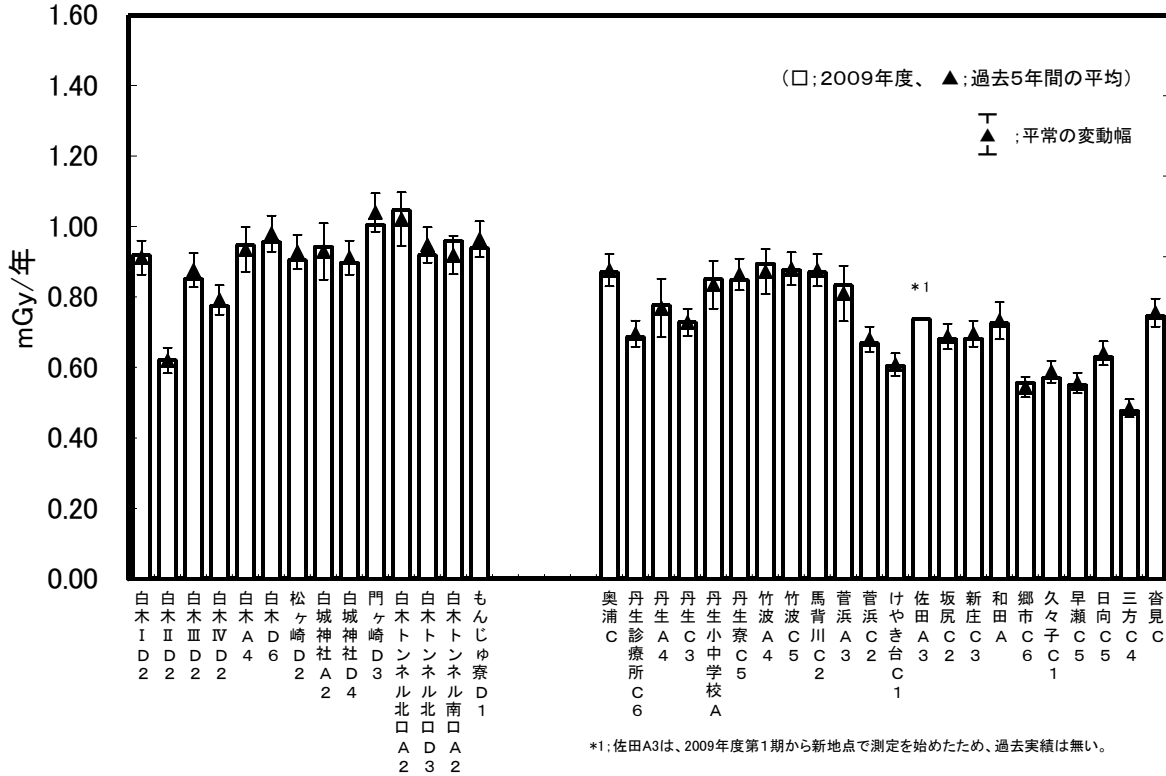
第3図(1~4)に地点毎の今年度の年間積算線量と過去(5ケ年)の平均値およびその平常の変動幅(注6)との比較を示す。今年度の測定値は、敦賀地区の2地点(第3図(1)で#を付した地点)で周辺環境の変化等により平常の変動幅を下回った以外は、いずれの地点でも平常の変動範囲内であった。

(注6) 積算線量の平常の変動幅については、基本的に「標準偏差(σ)の3倍」の考え方に従って、各地点の過去5ケ年の測定結果の変動から求めている。「測定値の取扱い(2) (p. 26)」参照。

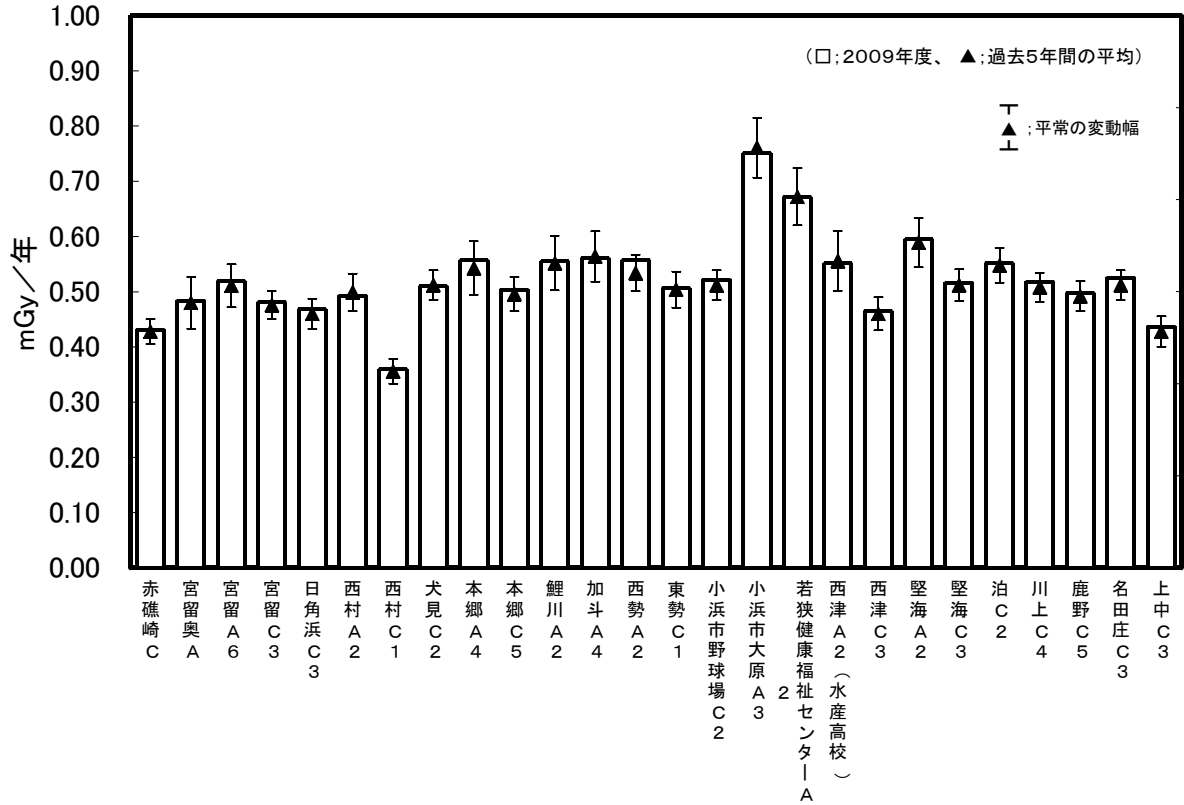
第3図(1) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (敦賀地区)



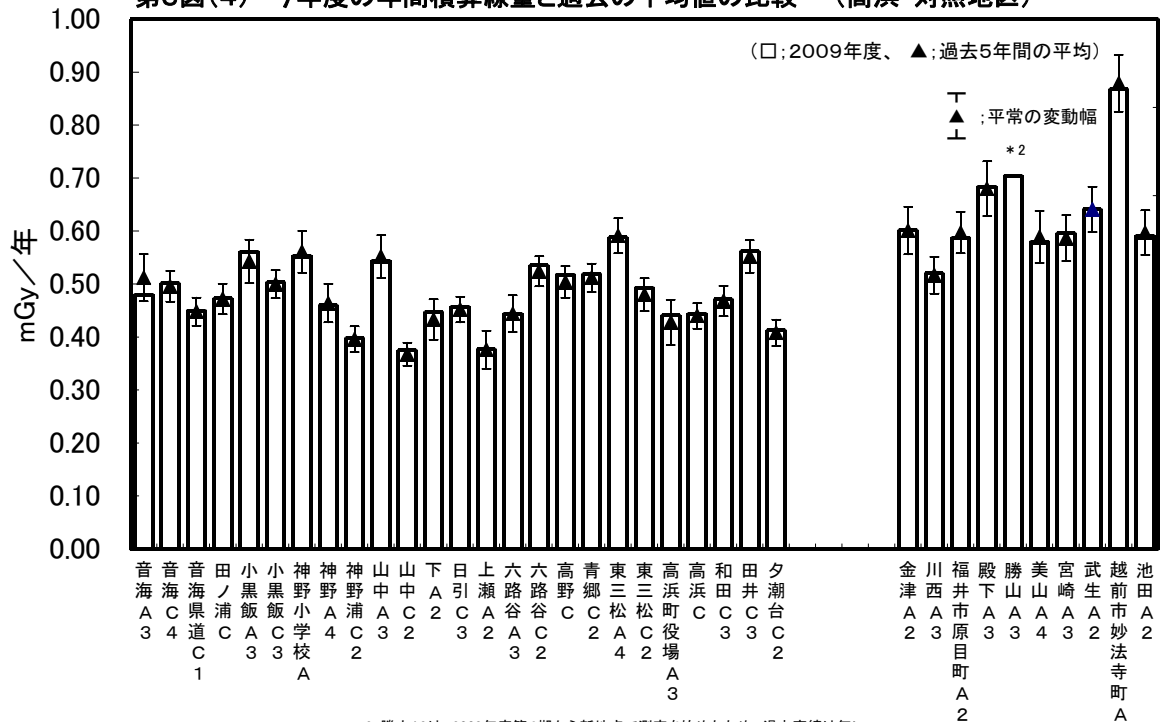
第3図(2) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (白木・美浜地区)



第3図(3) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (大飯地区)



第3図(4) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (高浜・対照地区)



2.2.2 大気・浮遊じん、大気中水分

第3表に今年度の大気・浮遊じん、大気中水分の調査結果の概要を示す。大気・浮遊じんはゲルマニウム半導体検出器による核種分析を、大気中水分はトリチウム分析をそれぞれ行っている。大気・浮遊じんの調査結果では、天然放射性核種であるベリリウム-7を除けば、各地区とも放射性核種は全く検出されず、県内発電所の影響は認められなかった。対照地区を除く各地区の大気中水分に、発電所寄与のトリチウムが検出されたが、すでに述べたように(p.7)、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

第3表 大気中核種の地区別濃度範囲

単位：Bq/m³

地区	²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹³¹ I	³ H
敦賀	—	—	—	—	—	—	0.0054 ~ 0.068
白木	—	—	—	—	—	—	0.0068 ~ 0.046
美浜	—	—	—	—	—	—	0.016 ~ 0.042
大飯	—	—	—	—	—	—	0.016 ~ 0.083
高浜	—	—	—	—	—	—	0.020 ~ 0.29
対照	—	—	—	—	—	—	ND ~ 0.0090

(注) —は検出例が1例もないもの、NDは検出限界値未満を示す(以下の第4表~第7表まで同様)。トリチウム濃度については、月平均気温、月平均相対湿度をもとに算出した(付4.3参照)。実効線量が0.05ミリシーベルト/年に相当する大気中トリチウム濃度は340Bq/m³である。

2.2.3 陸水

第4表に今年度の陸水(飲料水)の調査結果の概要を示す。今年度の調査結果では、各地区とも県内の発電所に起因する核種は検出されなかった。トリチウムは今年度、バックグラウンドと判定されるレベル(p.29参照)であり、環境安全上の問題はなかった。

第4表 飲料水の地区別核種濃度範囲

核種分析：m Bq/l、³H：Bq/l

地区	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹³¹ I	³ H
敦賀	—	—	—	—	—	0.7 ~ 1.6
白木	—	—	—	—	—	ND ~ 1.4
美浜	—	—	—	—	—	0.9 ~ 1.6
大飯	—	—	—	—	—	0.7 ~ 1.5
高浜	—	—	—	—	—	0.9 ~ 1.3
対照	—	—	—	—	—	0.6 ~ 0.9

(注)実効線量が0.05ミリシーベルト/年に相当する飲料水のトリチウム濃度は2,900 Bq/lである。

2.2.4 農産物、指標植物

指標植物(ヨモギ)は通常食用とはしないが、農産物が入手困難な季節でも各発電所近傍で採取が可能なこと、および形状も比較的葉菜に近いので、評価の基礎データに用いることができることから調査対象としている。

第5表に今年度の調査結果の概要を示す。今年度の調査結果では、ゲルマニウム半導体検出器による核種分析で検出されたものはセシウム-137のみであった。放射化学分析ではストロンチウム-90とプルトニウム-239が検出されているが、すでに述べたように(p.7)、これらの核種は過去の核実験のフォールアウトによるものであり、県内の発電所に起因する放射性核種は検出されなかった。

第5表 葉菜、指標植物の地区別核種濃度範囲

単位：Bq/kg生

地区	²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹³¹ I	⁹⁰ Sr	²³⁹ Pu
敦賀	—	—	—	—	—	—	0.22	—
白木	—	—	—	—	ND～0.2	—	0.30	ND～0.00054
美浜	—	—	—	—	ND～0.3	—	0.36	0.00086
大飯	—	—	—	—	—	—	0.12	—
高浜	—	—	—	—	—	—	0.32	—
対照	—	—	—	—	—	—	0.43	—

(注) ⁹⁰Sr、²³⁹Pu は放射化学分析の結果

2.2.5 海産食品、指標海産生物

指標海産生物(ホンダワラ)は通常食用とはしないが、食用魚貝藻類が入手困難な季節でも各発電所近傍の定点で採取が可能なこと、および生態が食品と似ていて濃縮係数も比較的高いと考えられるので、評価の基礎データに用いることができることから調査対象としている。

第6表に今年度の海産食品(近海魚、サザエ、アワビ、ワカメ、モズク等)、指標海産生物の測定結果の概要を示す。今年度の調査結果では、ゲルマニウム半導体検出器による核種分析で検出されたのはセシウム-137のみで、放射化学分析ではストロンチウム-90とプルトニウム-239が検出されているが、すでに述べたように(p.7)、これらの核種は過去の核実験のフォールアウトによるものであり、県内の発電所に起因する放射性核種は検出されなかった。

第6表 海産食品、指標海産生物の地区別核種濃度範囲

単位：Bq/kg生

地区	種類	²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹³¹ I	⁹⁰ Sr	²³⁹ Pu
敦賀	魚	—	—	—	—	0.1～0.2	/	/	/
	貝	—	—	—	—	—	/	/	/
	藻	—	—	—	—	ND～0.1	—	0.094	0.0036～0.034
白木	魚	—	—	—	—	0.0～0.2	/	/	—
	貝	—	—	—	—	—	/	/	0.017～0.054
	藻	—	—	—	—	—	—	0.032	0.0023～0.012
美浜	魚	—	—	—	—	0.0～0.1	/	/	/
	貝	—	—	—	—	ND～0.0	/	/	/
	藻	—	—	—	—	ND～0.1	—	0.040	0.0018～0.026
大飯	魚	—	—	—	—	0.0～0.2	/	/	/
	貝	—	—	—	—	ND～0.0	/	/	/
	藻	—	—	—	—	—	—	0.056	0.0016～0.018
高浜	魚	—	—	—	—	0.0～0.2	/	/	/
	貝	—	—	—	—	—	/	/	/
	藻	—	—	—	—	ND～0.1	—	0.029	0.0033～0.015
対照	魚	—	—	—	—	0.1～0.2	/	/	/
	貝	—	—	—	—	—	/	/	/
	藻	—	—	—	—	—	—	0.045	0.0047～0.0093

(注)① 0.0は0.05未満を示す。/は調査対象外であることを示す。

②指標海産生物のホンダワラは、藻類に含めた。

③⁹⁰Srと²³⁹Puは放射化学分析により求めた。

2.2.6 海水

第7表に今年度の調査結果の概要を示す。今年度の調査結果では、検出されたのはセシウム-137とトリチウムであった。

セシウム-137の平均濃度は各地区とも2mBq/l程度で昨年度までと同様の値であり、対照地区の福井とも同レベルであることから過去の核実験影響とみなすことができる。

トリチウムについては、今年度、発電所寄与と考えられる値が検出されたのは敦賀地区、美浜地区および高浜地区で合わせて10例あった(第27表(p.123～125)参照)。敦賀地区では、14Bq/lと1100Bq/lの濃度がほぼ同時刻にふげん放水口付近で検出された。試料採取時の放出状況から、比較的高い値はふげんからの通常の管理放出によるものであった(注7)。トリチウムが海産物に濃縮されることはないが、敦賀地区で検出されたトリチウムの年平均濃度(100Bq/l)が1年間継続すると仮定して預託実効線量を試算すると、0.001ミリシーベルト以下であり(注8)、安全側の評価でも環境安全上の問題はなかった。

また、美浜地区、高浜地区とも、いずれも発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うものであり、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

第7表 海水の地区別核種濃度範囲 核種分析：mBq/l、³H：Bq/l

地区	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	³ H (注)
敦賀	—	—	—	1.0～2.1	ND～1100
白木	—	—	—	1.4～2.1	ND～1.9
美浜	—	—	—	ND～2.6	0.5～2.8
大飯	—	—	—	ND～1.9	ND～1.2
高浜	—	—	—	ND～2.5	ND～2.9
対照	—	—	—	1.7～1.8	ND～0.6

(注；6ページの(注4)参照)

2.3 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査

2.3.1 浮遊じん放射能の連続測定

第8表に年間の測定結果の概要を示す。各地点の今年度の放射能濃度測定値はいずれも天然放射能(空気中のラドン娘核種濃度)のレベルであった。発電所由来の人工放射性核種を監視する指標としているベータ/アルファ放射能濃度比では、「平均値(M)+標準偏差(σ)の3倍」を超えるものが、各観測局で7例～17例観測されている。いずれも「平均値(M)+標準偏差(σ)の3倍」をわずかに超えたものであること、もしくは濃度が低い時に観測されていること、またゲルマニウム半導体検出器による核種分析結果でも原子力発電所に起因する核種は検出されなかったことから、すべて天然放射能の変動によるものと考えられる。

(注7)ふげん放水口周辺海域における調査結果を付4.4に示した。

(注8)預託実効線量(mSv)=実効線量係数(mSv/Bq)×年間の核種摂取量(Bq)

年間の核種摂取量(Bq)=365(日)×トリチウム平均濃度(Bq/l)×濃縮係数×摂取量(kg)

$$4.2 \times 10^{-8} \times 365 \times 100 \times 1 \times 0.26 = 4.0 \times 10^{-4} \text{ mSv}$$

有機結合型トリチウム実効線量係数： 4.2×10^{-8} mSv/Bq

敦賀地区海水中トリチウム平均濃度：100(Bq/l)

海産物のトリチウム濃縮係数：1

成人1人1日あたり魚貝藻類総摂取量：0.26(kg)

第 8 表 浮遊じんの連続測定結果の概要

単位：Bq/m³

地区	観測局	ベータ (β)		アルファ (α)		β / α 放射能		β / α 比の M + 3σ を 超えた数
		放射能濃度		放射能濃度		濃度比 (%)		
		年間平均	年間最大	年間平均	年間最大	年間平均	年間最大	
敦賀	浦底 A	3.6	38.0	7.3	84.5	50	64	10
	立石 A	3.3	17.6	6.8	42.6	49	64	14
白木	白木 A	3.6	40.7	7.0	78.9	51	63	11
	白木峠 A	2.6	10.9	5.2	22.9	51	67	17
美浜	丹生 A	3.1	16.3	5.9	31.7	53	69	7
	竹波 A	4.0	27.6	8.1	58.1	49	61	9
大飯	日角浜 A	3.3	16.5	6.7	34.1	50	62	14
	宮留 A	3.2	16.2	6.5	35.7	50	63	12
高浜	小黑飯 A	2.3	9.4	4.7	18.7	50	62	12
	音海 A	2.6	9.3	5.4	19.7	49	65	13
	神野浦 A	2.4	9.6	4.8	19.8	50	69	14

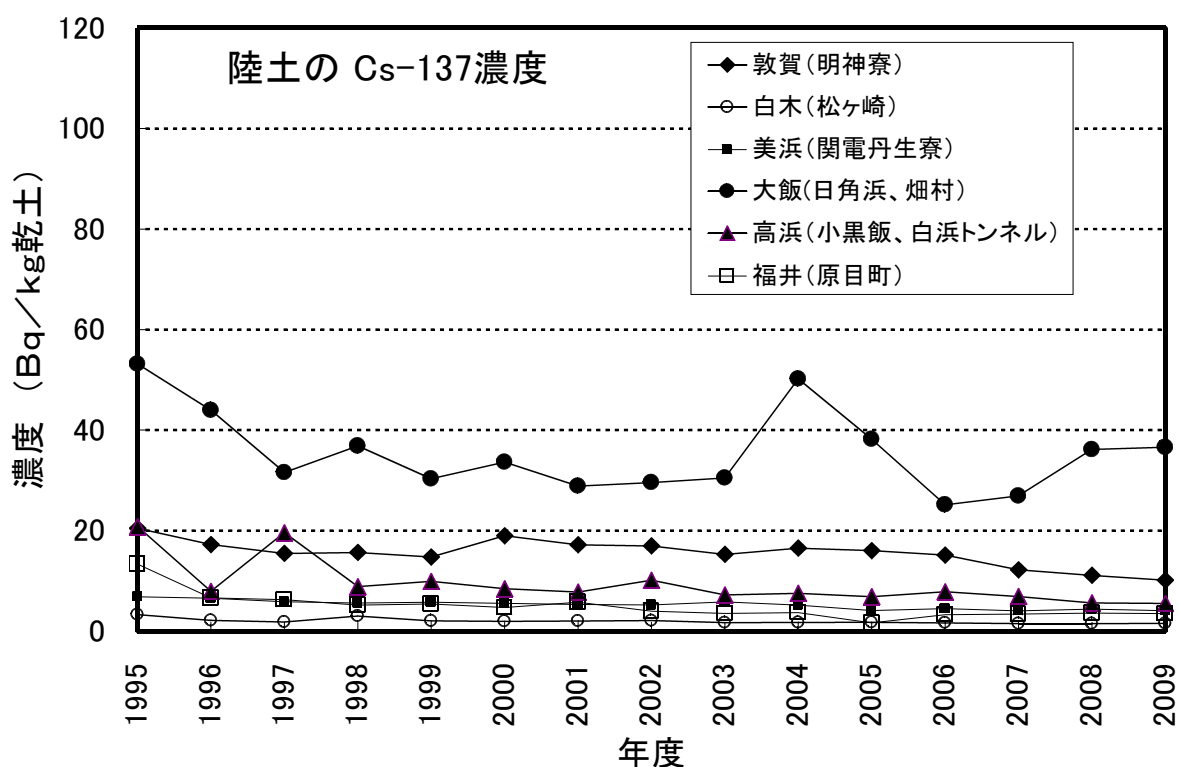
2.3.2 陸 土

今年度の調査結果では、各地区ともいずれも県内の発電所に由来する核種は検出されなかった。第 4 図に各地区の陸土のセシウム-137 濃度（年間平均値、以下のグラフでも同様）の推移を示す。セシウム-137 は過去の核実験の影響が蓄積したものである。地点により差があるのは、周辺環境や土質が異なるためであり、それぞれの地点ではいずれも従来の測定値と同程度であった。

なお、第 9 表に示すように、陸土にはかなり高い濃度の天然放射性核種が含まれて自然の放射線源となっており、空間線量の測定値の大部分はこれらの寄与によるものである。

これらゲルマニウム半導体検出器による核種分析のほか、放射化学分析によるプルトニウムの分析を白木地区および対照地区の陸土について行っている（添付資料第 28 表その 3 (p. 128) 参照）。今年度の結果は昨年度までと同程度であった。

第 4 図 陸土のセシウム-137濃度の推移



第9表 陸土中の天然放射性核種の平均濃度

単位：Bq/kg 乾土

地区	地点	カリウム-40	トリウム系列	ウラン系列
敦賀	浦底・敦賀発電所北端	1 1 0 0	7 9	4 5
白木	白木（松ヶ崎）	1 2 0 0	1 1 0	5 2
美浜	丹生（関電丹生寮敷地内）	1 2 0 0	9 1	5 0
大飯	日角浜・畑村	3 0 0	2 3	2 1
高浜	小黑飯（旧道脇・白浜トンネル上）	6 7 0	4 6	3 1
対照	福井市原目町	5 5 0	2 6	1 8

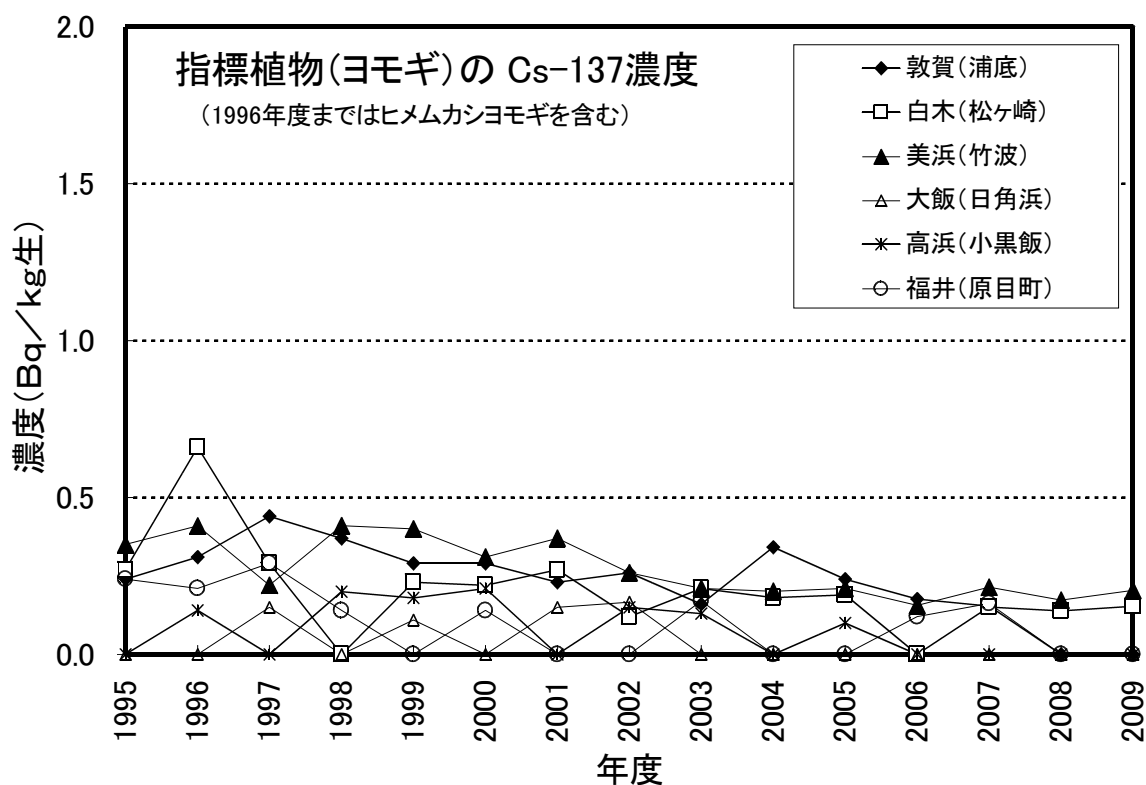
2.3.3 指標植物、松葉

指標植物（ヨモギ）については、被ばく評価に関連した調査として既に農産物のところで述べたが、松葉も含め改めて変動傾向について述べる。

今年度の調査結果では各地区とも県内の発電所に起因する核種は検出されなかった。指標植物では、天然放射性核種のベリリウム-7を除けば、白木地区と美浜地区で従来と同程度のセシウム-137が検出された。また、松葉からもセシウム-137が検出されたが、対照地区のみで1990年以前と同程度であった（注9）。

第5図に代表的な地点の指標植物のセシウム-137濃度の推移を示す。

第5図 指標植物のセシウム-137濃度の推移



(注) 上記の図は、検出値があるものだけの平均値
測定値がND(検出限界値未満)の場合、図では0のところに表示されている。
(第7図においても同様である)

(注9) 詳細調査を付4.5に示した。

2. 3. 4 降 下 物

今年度の毎月の調査結果では、コバルト-60等の発電所に起因する核種は、いずれの地区からも検出されなかった。降水物で検出されたのは天然放射性核種のベリリウム-7を除けば、敦賀地区、美浜地区、高浜地区および対照地区で、3月分の試料のみからセシウム-137が検出された(注10)。

地点毎に月間試料を合わせ年間集合試料として改めて測定しているが、いずれの地点の年間集合試料からも発電所に起因する核種は検出されなかった。

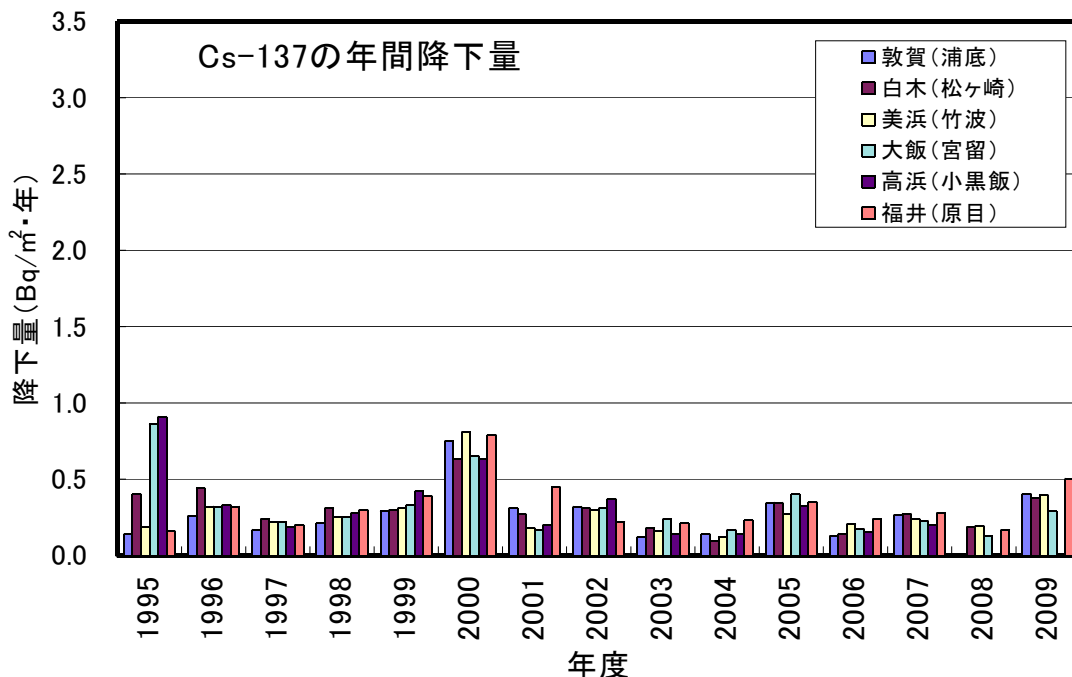
今年度の各地区のセシウム-137の年間降下量は0.16～0.50Bq/m²・年(添付資料第29表(p.130)参照)であり、2006～2008年度と比べると比較的多かった(注10)。第6図に、県が採取した年間集合試料から得られたセシウム-137の15年間の降下量の推移を示す。

なお、天然放射性核種のベリリウム-7は、例年の傾向どおり秋から冬にかけて降下量が増加しており、最大で、1200 Bq/m²・月(添付資料第19表(p.101～p.104)参照)の降下量が観測されている。ナトリウム-22は宇宙線によるもので、0.35～0.47(平均0.40)Bq/m²・年(添付資料第29表(p.130)参照)観測されており、ベリリウム-7の約1/10,000程度の降下が見られる。(今年度のベリリウム-7の年間降下量の全地区の平均値は、約3,500Bq/m²・年である。)

これらゲルマニウム半導体検出器による核種分析のほか、雨水のトリチウム濃度、及び年間集合試料を用いた放射化学分析による各地区のストロンチウム-90とプルトニウム-239の年間降下量を求めている(添付資料第29表(p.130)参照)。

雨水のトリチウム濃度は、過去の実績とほぼ同程度の値が検出されたが、発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うものであった。また、放射化学分析によるストロンチウム-90とプルトニウム-239の結果は2006～2008年度と比べると比較的多かった。

第6図 セシウム-137の年間降下量の推移



(注) 1995年度の地域差は、再浮遊の違いによる。

備考) 2006年度の測定結果については、各地区で試料の一部に欠損があったことから、参考値とする。

2009年度の高浜地区の測定結果については、年間集合試料が作成できなかったため欠測とした。

(注10) 黄砂も含めた自然現象によると考えられる。詳細は付4.6を参照。

2.3.5 海底土

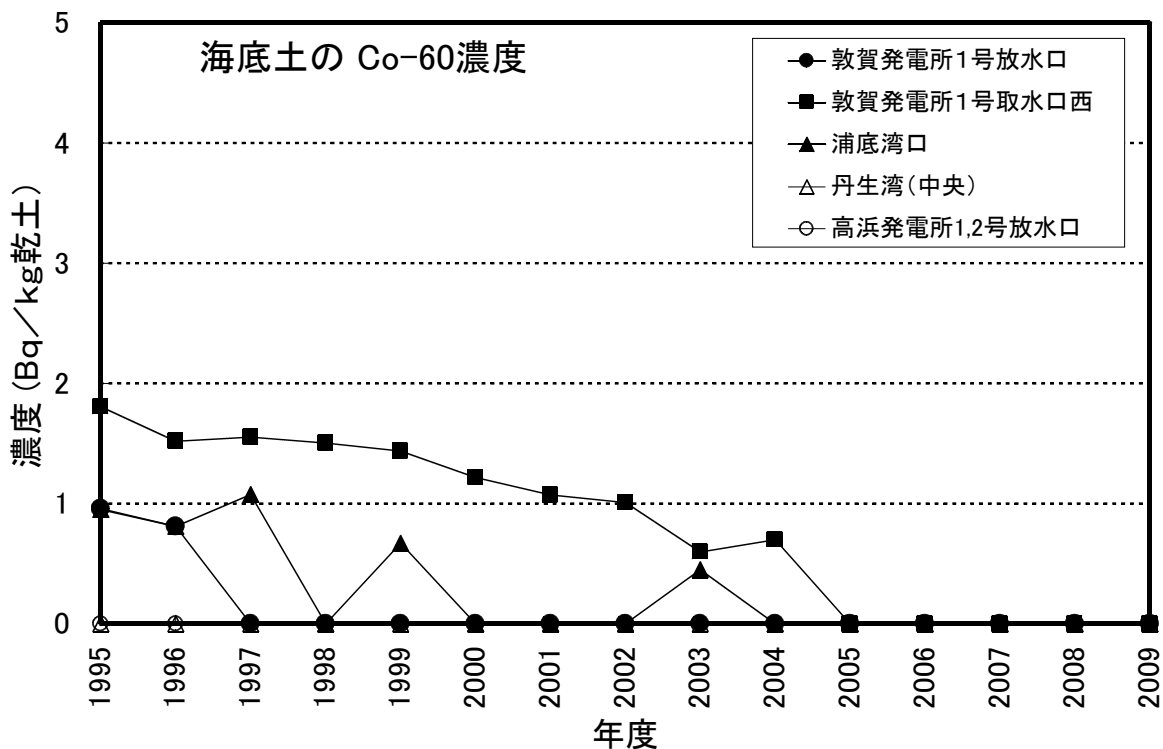
今年度の調査では、コバルト-60等の発電所に起因する核種はいずれの地区からも検出されなかった。

なお、参考までに、1995～2009年度までの浦底湾（敦賀発電所1号放水口、敦賀発電所1号取水口西、浦底湾口）、丹生湾、内浦湾（高浜発電所1,2号放水口）における海底土のコバルト-60濃度の推移を第7図に示す。

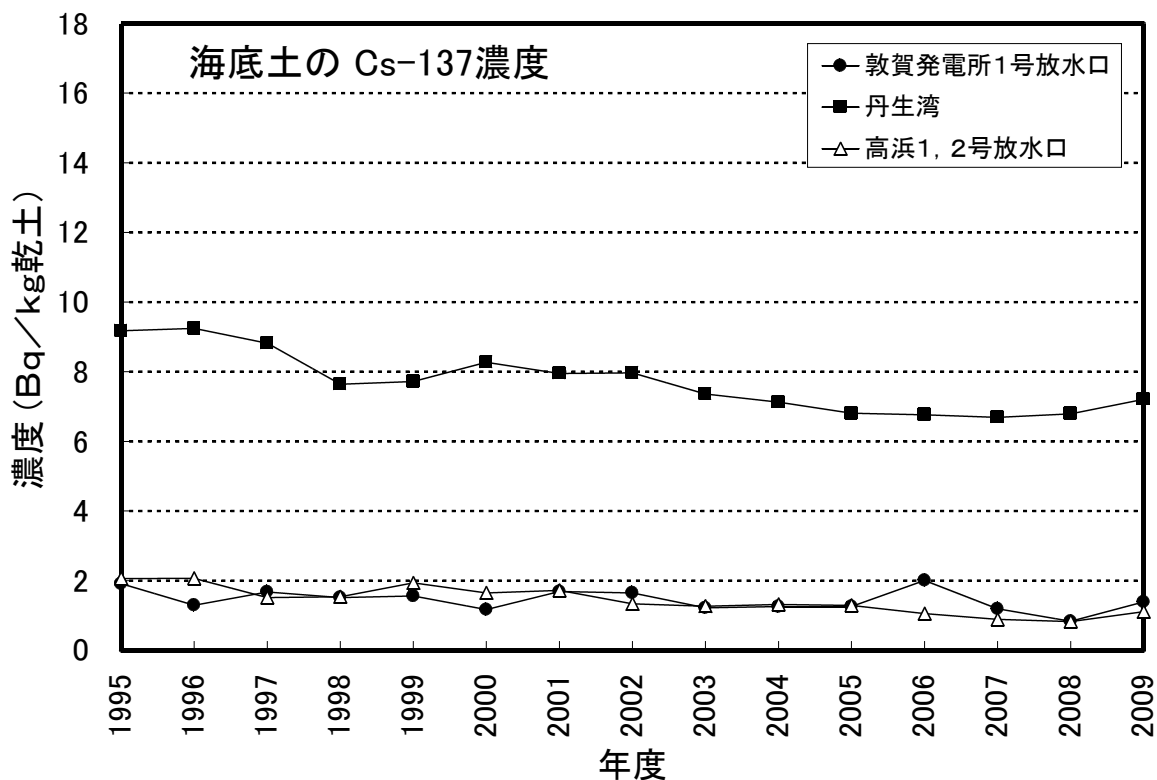
第8図に浦底湾（敦賀発電所1号放水口）、丹生湾、内浦湾（高浜発電所1,2号放水口）における海底土のセシウム-137濃度の推移を示す。セシウム-137は過去の核実験由来であり、各地点とも今年度の測定結果は従来と同程度であった。この図に示した地点以外の各地区の海底土からもセシウム-137が検出されているが、底質が有機質に富んだ腐敗泥のところの濃度が高く、砂質のところは低くなっており、いずれも発電所稼動前の調査と同様の傾向を示している。

これらゲルマニウム半導体検出器による核種分析のほか、放射化学分析により海底土についてプルトニウム-238、プルトニウム-239の濃度を求めている（添付資料第28表その4(p.129)参照）。今年度の結果は、プルトニウム-238、プルトニウム-239とも昨年度までと同程度であった。

第7図 海底土のコバルト-60濃度の推移



第8図 海底土のセシウム-137濃度の推移



2.3.6 指標海産生物

指標海産生物の調査結果は、海産物についての預託実効線量の評価の際にも役立てているため、既に2.2.5海産食品、指標海産生物で取扱ったが、発電所に起因する核種の変動傾向を把握するため、改めて今年度の指標海産生物の調査結果について述べる。

今年度のホンダワラの調査の結果では、コバルト-60等の発電所に起因する放射性核種はいずれの地区からも検出されなかった。

ホンダワラのセシウム-137については、いずれの地区でも従来と同程度の0.1Bq/kg生以下の極めて低い濃度となっており、過去の核実験影響のレベルであった。

(参考) 今年度のセシウム-137 分析結果

環境モニタリングの目的のひとつに「環境における放射性物質の蓄積状況の把握」を掲げていることでもあり、以下に環境で最も多く検出されているセシウム-137 について、各試料区分毎の今年度の結果と過去3ヶ年の検出実績の比較のまとめたものを示す。

今年度の検出実績は、いずれも過去と同程度で、増加傾向は認められない。また、対照地区も含め各地区でほぼ同一水準であるという結果は、「今年度の値はいずれも過去に行なわれた核実験によるフォールアウト」というこれまでの評価を裏づけるものであり、原子力発電所に起因するものは認められなかった。

今年度のセシウム-137 分析結果

単位:浮遊じん(mBq/m³)、降下物(mBq/m²)、陸水・海水(mBq/l)、その他(Bq/Kg)

試料	敦 賀		白 木		美 浜	
	09年度	06~08年度	09年度	06~08年度	09年度	06~08年度
浮遊じん	—	—	—	—	—	—
陸水	—	—	—	—	—	—
陸土	8.4~28	8.5~28	1.4~1.6	0.8~2.2	3.1~5.7	3.1~6.5
指標植物	—	ND~0.2	ND~0.2	ND~0.2	ND~0.3	ND~0.3
松葉	—	—	—	—	—	—
農産物	—	0.0	0.0	ND~0.0	—	—
降下物	ND~0.3	ND~0.1	—	ND~0.1	ND~0.3	ND~0.2
海水	1.0~2.1	ND~2.4	1.4~2.1	ND~2.3	ND~2.6	ND~2.2
海底土	ND~3.3	ND~4.0	—	—	ND~8.3	ND~9.5
海産食品(魚類)	0.1~0.2	ND~0.2	0.0~0.2	0.1~0.2	0.0~0.1	ND~0.1
〃(貝類)	—	ND~0.0	—	ND~0.0	ND~0.0	ND~0.0
〃(藻類)	—	—	—	ND~0.0	—	—
指標海産生物	ND~0.1	ND~0.1	—	—	ND~0.1	ND~0.2
試料	大 飯		高 浜		対 照	
	09年度	06~08年度	09年度	06~08年度	09年度	06~08年度
浮遊じん	—	—	—	—	—	—
陸水	—	—	—	—	—	—
陸土	3.8~70	1.5~89	4.3~7.1	3.0~13	3.1~140	2.5~150
指標植物	—	—	—	—	—	ND~0.2
松葉	—	—	—	—	ND~0.6	—
農産物	—	—	—	—	—	—
降下物	—	—	ND~0.1	—	ND~0.3	ND~0.1
海水	ND~1.9	ND~2.0	ND~2.5	ND~2.1	1.7~1.8	ND~1.8
海底土	ND~3.9	ND~5.5	ND~3.9	ND~2.5	/	/
海産食品(魚類)	0.0~0.2	0.0~0.2	0.0~0.2	0.0~0.2	0.1~0.2	0.1~0.2
〃(貝類)	ND~0.0	ND~0.0	—	—	—	—
〃(藻類)	—	—	—	—	—	—
指標海産生物	—	ND~0.1	ND~0.1	ND~0.3	—	ND~0.1

(注1) —またはNDは「検出されず」を、0.0は0.05未満で検出限界値以上の測定値を示す。

06~08年度の欄で、—と記したものは検出実績が1例もないものである。/は調査対象外を示す。

(注2) 降下物で、過去3ヶ年の実績を超えたセシウム-137が検出された。

これは、黄砂も含めた自然現象によると考えられる。詳細は付4.6を参照。

3. 添 付 資 料

3. 1 調査方法

3. 2 調査地点図表

第 1 図～第 8 図 調査地点図

第 1 表 調査地点の詳細

3. 3 測定法

第 2 表～第 7 表 測定法、測定器

3. 4 測定結果

第 8 表～第10表 空間線量測定結果

第11表 浮遊じん放射能の連続測定結果

第12表 大気中のヨウ素－131分析結果

第13表～第23表 核種分析結果

第24表～第27表 トリチウム分析結果

第28表 放射化学分析等による ^{90}Sr , ^{137}Cs ,
 ^{239}Pu 分析結果

第29表 年間降下物の ^{90}Sr , ^{22}Na , ^{60}Co , ^{137}Cs , ^{239}Pu
分析結果 [参考：定期外調査]

第30表 原乳の核種分析結果 [参考：定期外調査]

第31表 各地の積雪量（2009年12月～2010年3月）
[参考データ]

3.1 調査方法

3.1.1 調査地点（概要）

調査地点はおおむね以下のとおりである。

①調査対象地区：（調査地区）敦賀、白木、美浜、大飯、高浜
（対照地区）福井市等嶺北地方

②陸上試料採取地点：ほぼ主風向下の各発電所から約1～2 kmの集落近傍の定点

③海洋試料採取地点：各放水口および放水口沖約1 kmの定点

調査の分担実績を3.1.3 (p. 25)に示す。また、調査地点図を第1図～第8図 (p. 31～p. 39)に、調査地点の詳細を第1表 (p. 40～p. 43)にそれぞれ示す。

3.1.2 調査方法（概要）

空間線量測定法、浮遊じん放射能の連続測定法、ゲルマニウム検出器による核種分析測定法および各種試料の対象核種と検出目標値、各機関で用いている測定器を第2表～第7表 (p. 44～p. 48)に示す。

核種濃度の測定は大部分がゲルマニウム検出器による核種分析である。ゲルマニウム検出器による核種分析の目的核種はマンガン-54 (^{54}Mn)、コバルト-58 (^{58}Co)、コバルト-60 (^{60}Co)、セシウム-137 (^{137}Cs)およびヨウ素-131 (^{131}I)である。その他に、ナトリウム-22 (^{22}Na)も平成7年度より対象核種としている。

ヨウ素-131を対象とする試料については、試料の前処理および測定までに要する日数に特に留意した。また、セシウム-137は、一部の試料についてゲルマニウム検出器を用いたアンチコインシデンス測定も行っている。

ゲルマニウム検出器による核種分析では、ガンマ線を放出する他の核種も同時に分析できるので、起源の判断や自然放射線の寄与などの参考とするため、ルテニウム-106 (^{106}Ru)、セリウム-144 (^{144}Ce)、カリウム-40 (^{40}K)、ベリリウム-7 (^7Be)、トリウム系列、ウラン系列等の核種の濃度も測定結果に併記した。

以上のほかに、ストロンチウム-90 (^{90}Sr)、プルトニウム-238 (^{238}Pu)、プルトニウム-239 (^{239}Pu)の放射化学分析およびトリチウム (^3H)分析を行っている。

前処理法および分析測定法は、以下に列挙する方法に準拠した。

なお、測定結果の評価等に関する取扱いは「3.1.4 測定値の取扱い (p. 26～p. 29)」に一括して記載した。

<前処理法>

(1)降下物

- ・月間降下物（水盤法）の前処理法
（昭和58年3月：福井県環境放射能測定技術会議 資料）

<分析測定法>

(1)線量率連続測定

- ・連続モニタによる環境 γ 線測定法
（平成8年3月1訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ）

(2) 積算線量

- ・ TLD測定マニュアル^{*1}
(昭和55年1月：福井県環境放射能測定技術会議)
(平成6年3月：一部改訂^{*2})
(平成8年3月：一部改訂^{*2})
- ・ 熱ルミネセンス線量計を用いた環境 γ 線量測定法
(平成2年2月1訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ)
- ・ 蛍光ガラス線量計を用いた環境 γ 線量測定法
(平成14年7月：文部科学省 放射能測定法シリーズ)
- ・ 蛍光ガラス線量計測定マニュアル
(平成19年2月：福井県環境放射能測定技術会議)

(3) ゲルマニウム検出器による核種分析測定法

- ・ Ge(Li)検出器による環境試料の核種分析法
(昭和50年8月：福井県衛生研究所 調査研究報告)
- ・ ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリ
(平成4年8月3訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ)

(4) トリチウム

- ・ トリチウム分析法
(平成14年7月2訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ)
- ・ トリチウム迅速分析法^{*3}
(平成9年12月：福井県環境放射能測定技術会議)

(5) ストロンチウム-90

- ・ 放射性ストロンチウム分析法
(昭和55年1月：福井県環境放射能測定技術会議)
(昭和60年3月：一部改訂)
- ・ 放射性ストロンチウム分析法
(昭和58年12月3訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ)

(6) プルトニウム

- ・ プルトニウム・アメリシウム逐次分析法
(平成2年11月：文部科学省 放射能測定法シリーズ)

(*1) 昭和60年度から TLD 測定マニュアルの p.9 第1表(棄却限界表)として ASTM:E178-80 を用いている。

(*2) 平成6年度より3ヵ月平均値の標準偏差の算出を、従来の一次回帰から求める方法から個々の測定地点より求める方法に改訂した。さらに、平成8年度より基本的に全地点の平均的な相対標準偏差3.5%を用いる方法に改訂した。

(*3) 試料調整から3時間以内で 74 Bq/l (当時の公衆の年実効線量当量限度 1 ミシーベルトの 1000 分の 1 に相当する濃度) を確認できる方法である。

3. 1. 3 調査の分担実績（平成21年度）

区分	定期調査												放射化学分析等 県, 原子力機構	
	県						原電	原子力機構			関電			
調査機関	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	敦賀	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	各地区	
調査項目	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	敦賀	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	各地区	
線量率(年間連続)	4	2	3	5	4		10	6	5	11	11	10		
積算線量	11(44)	4(16)	6(24)	11(44)	10(40)	10(40)	15(56)	1(4)	10(40)	16(64)	15(60)	15(60)		
浮遊じん(年間連続)	2	2	2	2	3									
<核種分析>														
大気中ヨウ素-131	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)									
浮遊じん	2(16)	2(16)	2(16)	2(16)	3(20)	1(12)	3(36)		1(12)	1(12)	1(12)	2(24)		
陸水	飲料水	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		1(4)	1(2)	1(2)	2(4)		
	河川水									1(2)				
陸土	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	2(3)	1(2)	1(4)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	(5)	
指標植物	1(7)	1(7)	1(7)	1(7)	1(7)	1(7)							(18)	
松葉						1(4)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)		
農産物	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)							(1)	
原乳*			1(3)			1(3)								
降下物	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)		1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	(11)	
海水	2(4)	1(2)	2(4)	1(2)	2(4)	1(2)	2(4)	1(2)	2(4)	2(8)	1(4)	2(8)		
海底土	6(7)	5(7)	7(9)	3(4)	7(9)		2(6)	2(8)	2(8)	4(16)	2(8)	3(12)	(22)	
海産食品	魚類	(8)	(4)	(5)	(4)	(4)	(3)	(1)	(1)	(2)	(4)	(2)	(2)	(6)
	貝類	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(1)	(1)	(1)	(2)	(1)	(1)	(10)	
	藻類	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(2)	(1)	(1)	(2)	(1)	(1)	(15)	
指標海産生物	ホヅラ	4(10)	1(4)	2(8)	1(4)	3(8)	1(4)	5(10)	1(4)	1(4)	2(8)	1(4)	3(12)	(23)
核種分析合計														
	(89)	(77)	(89)	(74)	(89)	(58)	(79)	(21)	(52)	(72)	(50)	(80)	(111)	
<トリチウム>														
陸水	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		1(4)	1(2)	1(2)	2(4)		
大気中水分	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	2(24)	2(24)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)		
月間雨水	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		
海水	3(6)	2(4)	4(8)	2(4)	3(6)	1(2)	1(4)	1(4)	1(4)	2(8)	1(4)	3(24)		
トリチウム合計														
	(26)	(24)	(28)	(24)	(26)	(22)	(36)	(28)	(24)	(26)	(22)	(44)		
放射能調査 合計														
	(115)	(101)	(117)	(98)	(115)	(80)	(115)	(49)	(76)	(98)	(72)	(124)	(111)	

(注) 調査地点数を示す。()内は年間試料数である。

* : 定期外調査として実施した。

3. 1. 4 測定値の取り扱いについて

(1) テレメータシステムによる線量率連続測定結果

- ① 空間線量率は空気吸収線量率とし、テレメータシステムにより収集された10分値等をもとに計算された1時間値を、nGy/hで報告する。
- ② 測定値は小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。
- ③ 報告書では、地点毎に各月の最高値、最低値、平均値(M)および標準偏差(σ)を記載するとともに、各月の $M+3\sigma$ を超えたデータについては、降雨等の気象状況、近接局の結果、放射線のエネルギー情報等を調査し、変動原因を報告する。
なお、原子力施設からの影響が確認された場合には、その状況を報告する。
- ④ 変動原因の報告において「降雨」とする条件は基本的に以下の場合とし、気象観測装置の設置状況等考慮して総合的に判断する。
 - (a) 雨量計(0.5mm以上)の指示値があった場合、指示開始1時間前から指示終了後2時間までを「降雨あり」とする。
 - (b) 感雨計の指示があった場合、指示開始から指示終了後1時間までを「降雨あり」とする。
 - (c) 空間線量率測定地点で気象観測をおこなっていない地点では、近接局の雨量計または感雨計の指示値により「降雨あり/なし」を判断する。

(2) 積算線量測定結果

- ① 積算線量は空気吸収線量を、mGy/92日単位で報告する。
- ② 測定値は、小数点以下第3位まで表示し、第4位を四捨五入する。
- ③ 地点毎の過去5ケ年の平均値(M)を求め、平常の変動幅($M-3 \times C.V. \times M$) ~ ($M+3 \times C.V. \times M$)の範囲を超えた場合は、周辺環境等の変化等の原因の調査を行う。評価に用いる相対標準偏差(C.V.)は、過去の平均的な値である3.5%とする。ただし、自然放射線の変動等での平均的な変動範囲を上回る固有の変動幅がある地点については、地点毎に求めた過去5ケ年の標準偏差(σ)を用いる。周辺環境等の変化により過去の蓄積データが2年に満たない地点の相対標準偏差(C.V.)は、3.5%とする。
- ④ 表-1に今年度の平常の変動幅を示す。基本的には2004年度から2008年度までの5年間で計算し、地点変更があった場合は、現在と同じ状況となった後のデータで計算している。
 - ・ 県(A)の測定データについては、TLDリーダ更新(2005年度末)前後の測定値の有意差検定の結果、統計的に有意差が認められたため、更新後の2006年度第1期からの3ケ年のデータで計算している。
 - ・ 日本原電(B)は、2005年度より電子線量計を採用しているが、2004年度の事前調査結果も含めて計算している。
 - ・ 原子力機構(D)は、2007年度より蛍光ガラス線量計を採用しているが、2006年度までの事前測定値を含め計算している。
- ⑤ 年間積算値の平常の変動幅については、経験的にも3ヶ月値から求めた平常の変動幅の2倍であることが知られている。平成2年度以降これを採用している。

表-1 積算線量における平常の変動幅 (平成21年度用)

※2年未満の期間では、評価用 $\sigma = 3.5\%$ 固定

<敦賀地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ個数
A	立石A5 (八坂神社)	0.239	0.01155	4.83	4.8	0.205	0.274	12
B	立石山頂B1 (山頂付近)	0.226	0.00806	3.56	3.6	0.202	0.250	20
D	ふげん西D2 (西敷地境界付近)	0.162	0.00471	2.90	3.5	0.145	0.180	19
B	猪ヶ池B1(敦賀原子力館下)	0.231	0.00604	2.61	3.5	0.207	0.256	20
B	原子力館B(敦賀原子力館敷地)	0.201	0.00789	3.93	3.9	0.177	0.224	20
B	水産試験場B2 (水産試験場)	0.177	0.00395	2.23	3.5	0.158	0.195	20
B	明神寮B2 (明神寮)	0.230	0.00789	3.42	3.5	0.206	0.255	20
A	浦底A5 (剣神社)	0.244	0.00919	3.76	3.8	0.217	0.272	12
B	水試裏B1(水産試験場裏)	0.250	0.01011	4.04	4.0	0.220	0.280	20
A	色ヶ浜A3 (本隆寺)	0.266	0.01583	5.95	6.0	0.218	0.313	12
A	手ノ浦A3 (舟幸寺)	0.221	0.01267	5.74	5.7	0.183	0.259	12
B	手ノ浦B3 (舟幸寺)	0.223	0.00706	3.16	3.5	0.200	0.247	20
B	沓B5 (常福寺)	0.261	0.01317	5.04	5.0	0.222	0.301	20
A	常宮A3 (常宮小学校)	0.227	0.01396	6.16	6.2	0.185	0.269	12
B	常宮B3 (常宮神社)	0.232	0.00749	3.22	3.5	0.208	0.257	20
B	縄間B (宗清寺)	0.264	0.00881	3.33	3.5	0.237	0.292	20
B	名子B1 (名子バス停)	0.176	0.00455	2.59	3.5	0.157	0.194	12
B	松島B3 (原電松島寮)	0.211	0.00768	3.63	3.6	0.188	0.234	20
B	松栄B3 (敦賀地方合同庁舎)	0.206	0.00824	3.99	4.0	0.182	0.231	20
A	赤崎A3 (赤崎小学校グラウンド)	0.184	0.00893	4.85	4.9	0.157	0.211	12
A	阿曽A2 (ふれあい会館)	0.188	0.00925	4.91	4.9	0.161	0.216	12
A	杉津A4 (東浦小中学校)	0.173	0.00666	3.85	3.9	0.153	0.193	12
A	元比田A5 (集落掲示板横)	0.168	0.00787	4.68	4.7	0.145	0.192	12
A	大谷A3 (八幡神社)	0.174	0.00670	3.85	3.8	0.154	0.194	12
B	大良B (大良集会所)	0.174	0.01129	6.49	6.5	0.140	0.208	20
A	吉河A2 (原子力センター)	0.175	0.00804	4.61	4.6	0.150	0.199	12

<白木地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ個数
D	白木ID2 (北東敷地境界)	0.228	0.00559	2.45	3.5	0.204	0.252	19
D	白木IID2 (東南東敷地境界)	0.155	0.00604	3.89	3.9	0.137	0.174	19
D	白木IIID2 (南南東敷地境界)	0.219	0.00806	3.68	3.7	0.195	0.243	19
D	白木IIVD2 (南西敷地境界)	0.198	0.00651	3.28	3.5	0.177	0.219	19
A	白木A4 (県白木観測局)	0.234	0.01059	4.53	4.5	0.202	0.266	12
D	白木D6 (松原小学校白木分校跡)	0.245	0.00510	2.09	3.5	0.219	0.270	19
D	松ヶ崎D2 (機構モータステーション)	0.232	0.00542	2.34	3.5	0.207	0.256	19
A	白城神社A2 (神社鳥居横)	0.232	0.01331	5.73	5.7	0.192	0.272	12
D	白城神社D4 (神社鳥居横)	0.228	0.00563	2.68	3.5	0.204	0.252	19
D	門ヶ崎D3	0.260	0.00674	2.43	3.5	0.232	0.287	19
A	白木ト初北口A2	0.255	0.01264	4.95	5.0	0.217	0.293	12
D	白木トンネル北口D3	0.237	0.00757	3.24	3.5	0.212	0.262	19
A	白木トンネル南口A2 (溪流水貯水池横)	0.230	0.00909	3.96	4.0	0.202	0.257	12
D	もんじゅ寮D1 (もんじゅ寮前)	0.241	0.00718	3.15	3.5	0.216	0.266	19

<美浜地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ個数
C	奥浦C (奥浦公園奥)	0.219	0.00439	2.01	3.5	0.196	0.242	20
C	丹生診療所C6 (丹生診療所)	0.174	0.00617	3.55	3.5	0.155	0.192	20
A	丹生A4 (中村旅館)	0.192	0.01375	7.15	7.2	0.151	0.234	12
C	丹生C3 (丹生漁港)	0.182	0.00531	2.91	3.5	0.163	0.201	20
A	丹生小中学校A	0.209	0.01129	5.41	5.4	0.175	0.243	12
C	丹生寮C5 (関電丹生寮)	0.216	0.00480	2.22	3.5	0.194	0.239	20
A	竹波A4 (竹波集落センター)	0.218	0.01062	4.87	4.9	0.186	0.250	12
C	竹波C5 (高那弥神社)	0.220	0.00598	2.71	3.5	0.197	0.243	20
C	馬背川C2 (ポンプ場)	0.219	0.00639	2.92	3.5	0.196	0.242	20
A	菅浜A3 (旧菅浜保育所)	0.203	0.01315	6.49	6.5	0.163	0.242	12
C	菅浜C2 (民宿藤田横)	0.170	0.00455	2.68	3.5	0.152	0.188	20
C	けやき台C1 (けやき台ハイツ)	0.152	0.00483	3.18	3.5	0.136	0.168	20
A	佐田A3 (あおなみ保育園)							0
C	坂尻C2 (三谷商店前)	0.172	0.00430	2.50	3.5	0.154	0.190	20
C	新庄C3 (目吉神社)	0.174	0.00440	2.53	3.5	0.155	0.192	20
A	和田A (ふる里交流センター)	0.183	0.00880	4.80	4.8	0.157	0.210	12
C	郷市C6 (美浜町役場)	0.136	0.00483	3.56	3.6	0.121	0.150	20
C	久々子C1 (県園芸試験場)	0.147	0.00371	2.53	3.5	0.131	0.162	20
C	早瀬C5 (水無月神社)	0.139	0.00387	2.80	3.5	0.124	0.153	20
C	日向C5 (日向漁業センター)	0.160	0.00450	2.82	3.5	0.143	0.176	20
C	三方C4 (若狭町役場三方庁舎)	0.121	0.00386	3.20	3.5	0.108	0.133	20
C	沓見C (原子力発電訓練センター)	0.189	0.00511	2.71	3.5	0.169	0.208	20

<大飯地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ個数
C	赤礁崎C(開電あかぐり崎クラブ)	0.107	0.00368	3.42	3.5	0.096	0.119	20
A	宮留奥A(あかぐり海釣公園)	0.120	0.00776	6.46	6.5	0.097	0.143	12
A	宮留A6(県宮留観測局)	0.128	0.00647	5.07	5.1	0.108	0.147	12
C	宮留C3(エルパーク大飯下三叉路)	0.119	0.00420	3.54	3.5	0.106	0.132	20
C	日角浜C3(大島公民館)	0.115	0.00459	3.98	4.0	0.102	0.129	20
A	西村A2(常禅寺)	0.125	0.00568	4.55	4.6	0.108	0.142	12
C	西村C1(西村神社南口県道脇)	0.089	0.00374	4.19	4.2	0.078	0.100	20
C	犬見C2(集落手前道端)	0.128	0.00437	3.42	3.5	0.114	0.141	20
A	本郷A4 (町営住宅サンハイムうらら)	0.136	0.00808	5.94	5.9	0.112	0.160	12
C	本郷C5(おおい町役場)	0.124	0.00518	4.18	4.2	0.108	0.139	19
A	鯉川A2(牛尾神社)	0.138	0.00824	5.98	6.0	0.113	0.163	12
A	加斗A4(加斗小学校)	0.141	0.00757	5.37	5.4	0.118	0.164	12
A	西勢A2 (民宿つどい前ゲートボール場)	0.134	0.00548	4.10	4.1	0.117	0.150	12
C	東勢C1(旧道脇)	0.126	0.00542	4.30	4.3	0.110	0.142	20
C	小浜市野球場C2 (小浜市営野球場)	0.128	0.00436	3.41	3.5	0.114	0.141	20
A	小浜市大原A3(栖雲寺)	0.190	0.00901	4.74	4.7	0.163	0.217	12
A	若狭健康福祉センターA2	0.168	0.00865	5.15	5.2	0.142	0.194	12
A	西津A2(水産高校)	0.139	0.00903	6.49	6.5	0.112	0.166	12
C	西津C3(小浜漁協西津支所)	0.115	0.00502	4.37	4.4	0.100	0.130	20
A	堅海A2(旧堅海小学校)	0.147	0.00742	5.04	5.0	0.125	0.170	12
C	堅海C3(県栽培漁業センター)	0.128	0.00479	3.73	3.7	0.114	0.143	20
C	泊C2(大谷旅館前)	0.137	0.00523	3.82	3.8	0.121	0.152	20
C	川上C4(川上公民館)	0.127	0.00422	3.32	3.5	0.114	0.140	20
C	鹿野C5(佐分利小学校)	0.123	0.00454	3.69	3.7	0.109	0.137	20
C	名田庄C3(名田庄観光館)	0.128	0.00439	3.43	3.5	0.114	0.141	20
C	上中C3(若狭町上中体育館)	0.107	0.00458	4.29	4.3	0.093	0.120	20

<高浜地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ個数
A	音海A3(児玉旅館)	0.128	0.00683	5.34	5.3	0.108	0.148	12
C	音海C4(音海漁港奥)	0.124	0.00479	3.85	3.9	0.110	0.139	20
C	音海県道C1 (日本海港湾橋保税上屋入口門付近)	0.112	0.00444	3.98	4.0	0.098	0.125	20
C	田ノ浦C (開電モニターステーション)	0.118	0.00479	4.07	4.1	0.103	0.132	20
A	小黒飯A3(寿奎寺裏旧道脇)	0.136	0.00684	5.04	5.0	0.115	0.156	12
C	小黒飯C3(白浜神社北口)	0.125	0.00436	3.49	3.5	0.112	0.138	20
A	旧神野小学校A	0.140	0.00658	4.69	4.7	0.120	0.160	12
A	神野A4(桃源寺)	0.116	0.00605	5.22	5.2	0.098	0.134	12
C	神野浦C2(集落南西道路脇)	0.099	0.00405	4.08	4.1	0.087	0.111	20
A	山中A3(内浦小学校)	0.138	0.00673	4.87	4.9	0.118	0.158	12
C	山中C2(JA若狭内浦出張所)	0.092	0.00364	3.97	4.0	0.081	0.103	20
A	下A2(産霊神社)	0.108	0.00635	5.86	5.9	0.089	0.127	12
C	日引C3(旧日引小学校)	0.113	0.00406	3.60	3.6	0.101	0.125	20
A	上瀬A2(山神神社)	0.094	0.00600	6.39	6.4	0.076	0.112	12
A	六路谷A3(ふれあい会館)	0.111	0.00575	5.18	5.2	0.094	0.128	12
C	六路谷C2(杉森神社横)	0.131	0.00473	3.62	3.6	0.117	0.145	20
C	高野C(青郷小学校旧高野分校)	0.126	0.00498	3.94	3.9	0.111	0.141	20
C	青郷C2(青郷小学校)	0.128	0.00447	3.48	3.5	0.115	0.142	20
A	東三松A4(東三松グラウンド)	0.148	0.00552	3.74	3.7	0.131	0.164	12
C	東三松C2(民宿萩の家)	0.120	0.00514	4.29	4.3	0.104	0.135	20
A	高浜町役場A3(高浜町役場前庭)	0.107	0.00713	6.66	6.7	0.086	0.128	12
C	高浜C(高浜小学校)	0.110	0.00398	3.60	3.6	0.098	0.122	20
C	和田C3(和田小学校)	0.117	0.00479	4.09	4.1	0.103	0.132	20
C	田井C3(田井コミュニティセンター)	0.138	0.00508	3.68	3.7	0.123	0.153	20
C	夕潮台C2(夕潮台公園)	0.102	0.00414	4.06	4.1	0.089	0.114	20

<対照地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	$M-3\sigma$	$M+3\sigma$	データ個数
A	金津A 2 (坂井健康福祉センター)	0.150	0.00749	4.99	5.0	0.128	0.173	12
A	川西A 3 (川西中学校)	0.129	0.00576	4.46	4.5	0.112	0.147	12
A	福井市原目町A 2 (福井分析管理室)	0.149	0.00653	4.37	4.4	0.130	0.169	12
A	殿下A 3 (殿下小学校)	0.170	0.00859	5.05	5.1	0.144	0.196	12
A	勝山A 3 (奥越土木(勝山))	0.176			3.5	0.158	0.195	1
A	美山A 4 (美山児童館)	0.147	0.00821	5.57	5.6	0.123	0.172	12
A	宮崎A 3 (宮崎中学校)	0.147	0.00721	4.92	4.9	0.125	0.168	12
A	武生A 2 (丹南土木事務所)	0.160	0.00714	4.46	4.5	0.139	0.182	12
A	越前市妙法寺町A (白山神社)	0.220	0.00896	4.08	4.1	0.193	0.246	12
A	池田A 2 (池田町役場)	0.149	0.00700	4.69	4.7	0.128	0.170	12

(3) テレメータシステムによる浮遊じん放射能の連続測定

① 浮遊じん放射能濃度はラドン娘核種に等価で各娘核種 ($R_{aA} \sim R_{aC}$) の比を1と仮定した放射能濃度で、測定のカイクルである3時間値を測定値(報告値)とする。

単位は、ベータ(β)放射能濃度およびアルファ(α)放射能濃度は、 Bq/m^3 とし、 β/α 放射能濃度比は%とする。

② 測定値は小数点以下第1位まで、放射能濃度比は整数とし、いずれもその次の位を四捨五入する。

③ 報告書では、地点毎に各月の最高値、最低値、平均値(M)および標準偏差(σ)を記載するとともに、濃度比が各月の $M+3\sigma$ を超え β 放射能濃度が高いデータについては、近接局の結果、空間線量率等を調査し、変動原因を報告する。なお、原子力施設等からの影響が確認された場合には、その状況を報告する。

参考：浮遊じん放射能が天然放射性核種のみの場合、放射能濃度は通常 $0.1 \sim$ 数 $10Bq/m^3$ 程度変化するが、 β/α 放射能濃度比はほぼ一定である。一方、主に β 線放出核種である発電所由来の人工放射性核種がこれに加わった場合、 β/α 放射能濃度比は高くなる特徴を持っている。テレメータシステムによる浮遊じん放射能測定は、環境の空気を吸引しながら同時に測定を行い、10分周期でリアルタイムデータが収集され、システムによる自動チェックが行われている。さらに職員によって、異常の有無を日常業務で詳細に確認している。

(4) ゲルマニウム検出器による核種分析結果

① 各試料区分毎の報告単位は、核種分析結果の各表に示されている。

② 測定値は原則として、有効数字2桁または各表示単位の小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。

③ 放射能濃度をN、その誤差を ΔN とした時に $N \geq (3 \times \Delta N)$ の場合を検出されたものとし、通常は過去3年間の最低値～最高値と比べ、これを超えた場合はそれ以前の値を参考に、過去の核実験影響および発電所寄与について検討する。

④ 各種環境試料中の放射性核種濃度については、試料の種類によっても、また核種や環境条件によっても異なるため、関連する核種(例えばセシウム-137の場合はセシウム-134)の有無等も考慮し、起源を判断する。

(5) トリチウム分析結果

① 各試料区分毎の報告単位は、 Bq/l で報告する。

② 測定値は、有効数字2桁または各表示単位の小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。

③ トリチウム濃度をN、その誤差を ΔN とした時に、 $N \geq (3 \times \Delta N)$ の場合を検出されたものとする。

④ 発電所影響の調査を行う検討基準として、海水の調査結果のうち、 $2.0Bq/l$ 以上のデータを除いた過去3年間の調査結果(およびそのバックグラウンドレベル)を基に平均値(M) $+3 \times$ 標準偏差(σ)を算出し、 $(M+3\sigma)$ が $2.0Bq/l$ 未満の時は、 $(M+3\sigma)$ を検討基準とする。また、 $(M+3\sigma)$ が $2.0Bq/l$ 以上の時は、 $2.0Bq/l$ を検討基準とする。

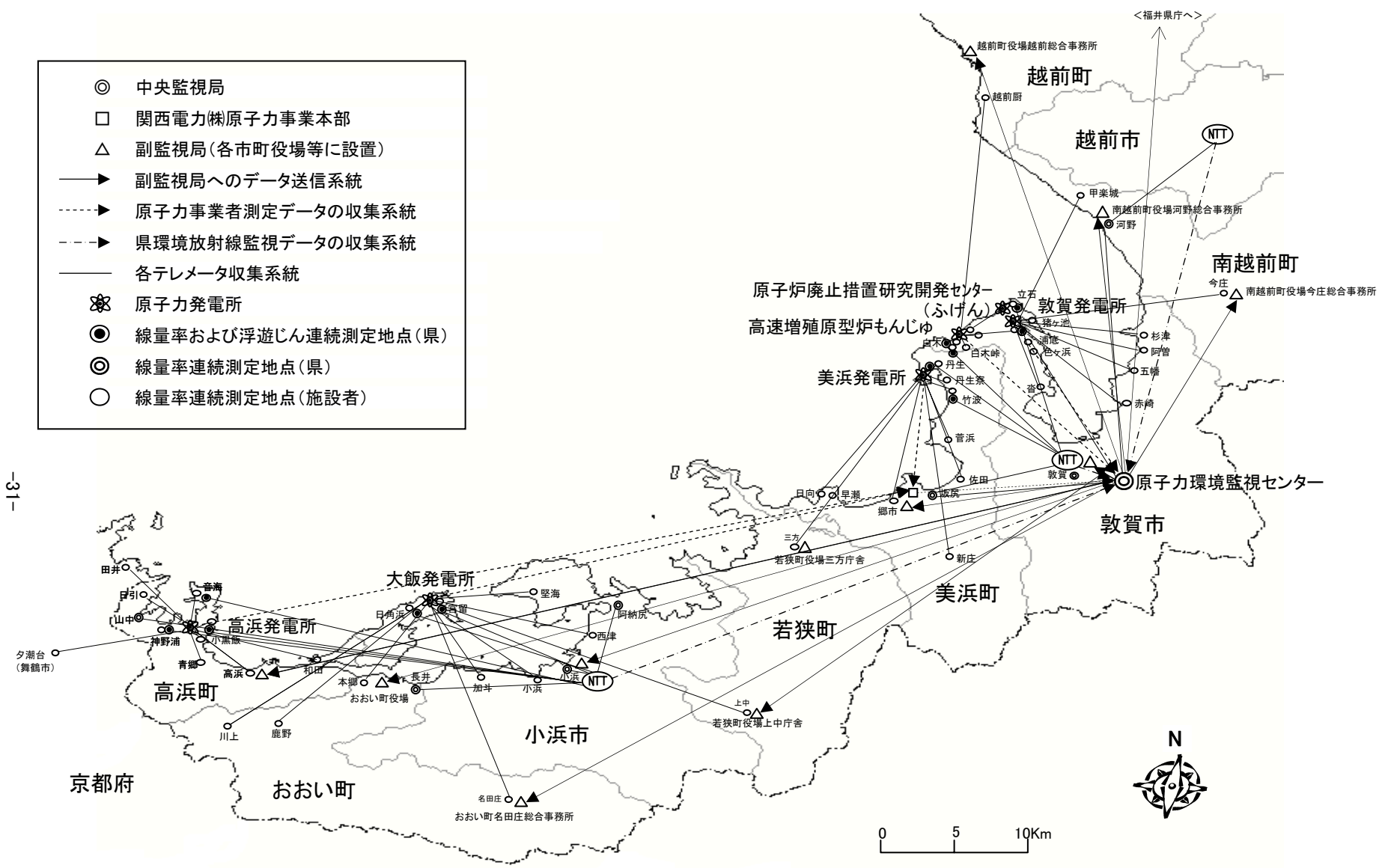
2006～2008年度の214試料の統計計算結果では、海水のトリチウム濃度の平均値は $0.74Bq/l$ 、標準偏差(σ)は 0.55 となっており、 $(M+3\sigma)$ は、 $2.4Bq/l$ であるため、今年度の検討基準は $2.0Bq/l$ となる。

(6) 放射化学分析による⁹⁰Sr、²³⁹⁽⁺²⁴⁰⁾Pu、²³⁸Pu分析結果

放射能濃度を N 、その誤差を ΔN とした時に、 $N \geq (3 \times \Delta N)$ の場合を検出されたものとする。各試料区分毎の報告単位は、第28表～第29表 (p. 126～p. 130) の各表に示されている。測定値は原則として、有効数字2桁とする。

第1図 各放射線監視テレメータシステムの主なデータ収集・送信系統図

- ◎ 中央監視局
- 関西電力㈱原子力事業本部
- △ 副監視局(各市町役場等に設置)
- 副監視局へのデータ送信系統
- - - 原子力事業者測定データの収集系統
- - - 県環境放射線監視データの収集系統
- 各テレメータ収集系統
- ☼ 原子力発電所
- 線量率および浮遊じん連続測定地点(県)
- ◎ 線量率連続測定地点(県)
- 線量率連続測定地点(施設者)



第2図 空間線量率連続測定・積算線量測定地点(全域)

☒	原子力発電所	◎	線量率連続測定地点(県)
●	線量率および浮遊じん連続測定地点(県)	○	線量率連続測定地点(施設者)
○	線量率連続測定地点(施設者)	☆	県テレメータ中央監視局
●	積算線量測定地点(県・施設者)	△	副監視局

線量率(県、施設者)および浮遊じん(県)連続測定の結果は、「環境放射線監視テレメータシステム」により、原子力環境監視センターに一括収集・表示するとともに、12箇所の副監視局(県庁および市町役場等に設置)にも表示している。

関西電力(株)高浜発電所			
1号機	PWR	1974. 11	826MW
2号機	PWR	1975. 11	826MW
3号機	PWR	1985. 1	870MW
4号機	PWR	1985. 6	870MW

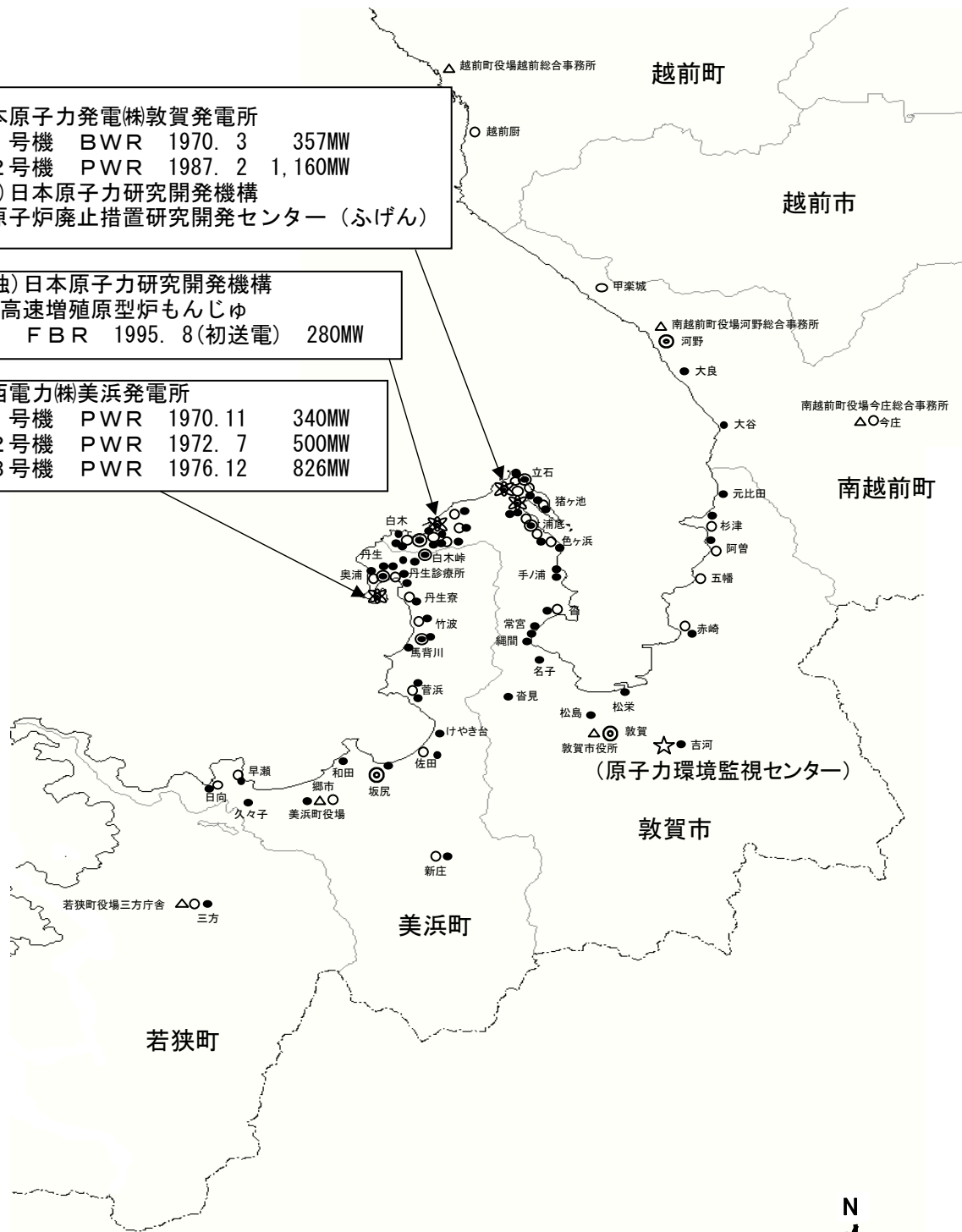
関西電力(株)大飯発電所			
1号機	PWR	1979. 3	1,175MW
2号機	PWR	1979. 12	1,175MW
3号機	PWR	1991. 12	1,180MW
4号機	PWR	1993. 2	1,180MW



日本原子力発電(株)敦賀発電所
 1号機 BWR 1970. 3 357MW
 2号機 PWR 1987. 2 1,160MW
 (独)日本原子力研究開発機構
 原子炉廃止措置研究開発センター (ふげん)

(独)日本原子力研究開発機構
 高速増殖原型炉もんじゅ
 FBR 1995. 8(初送電) 280MW

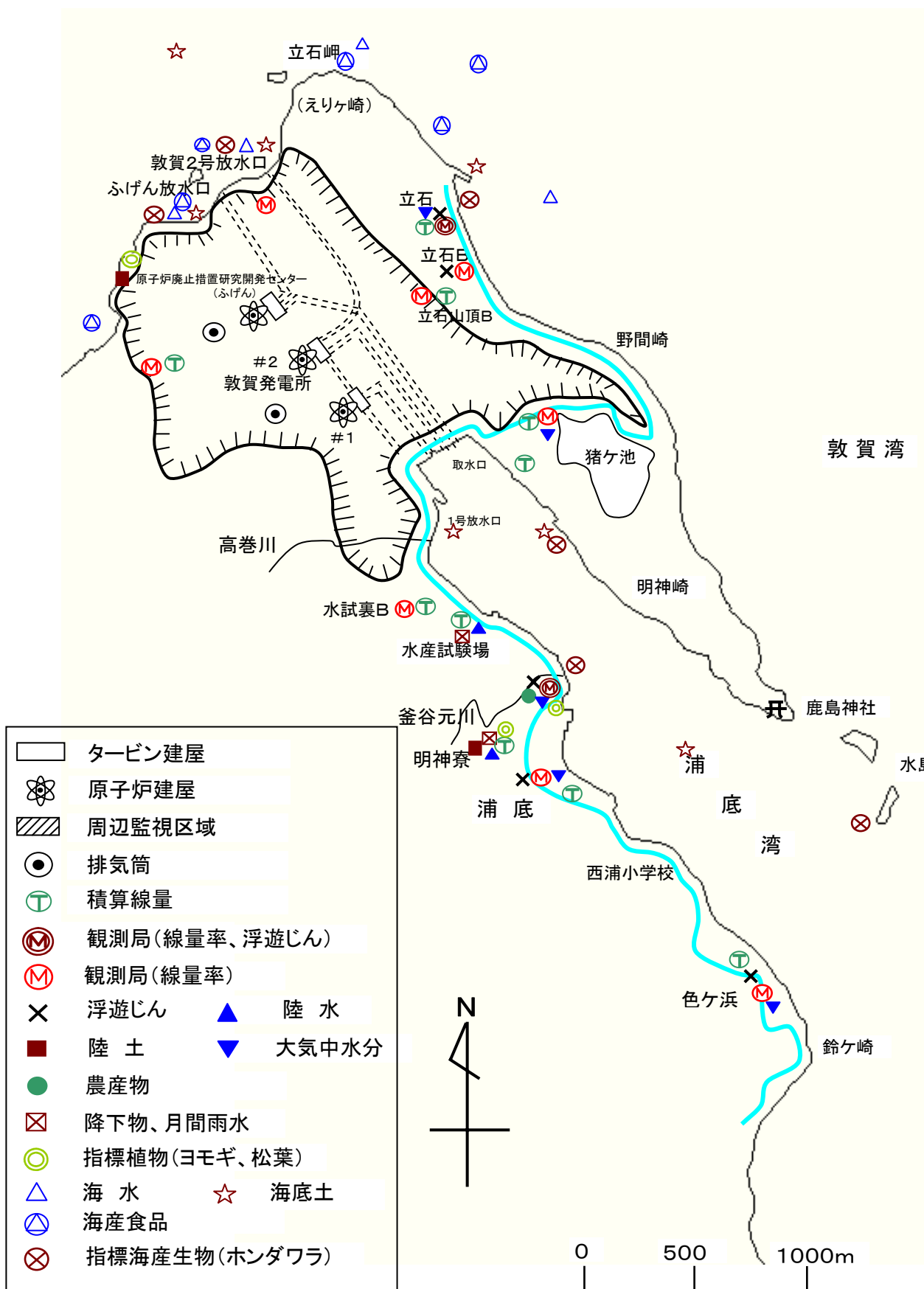
関西電力(株)美浜発電所
 1号機 PWR 1970. 11 340MW
 2号機 PWR 1972. 7 500MW
 3号機 PWR 1976. 12 826MW



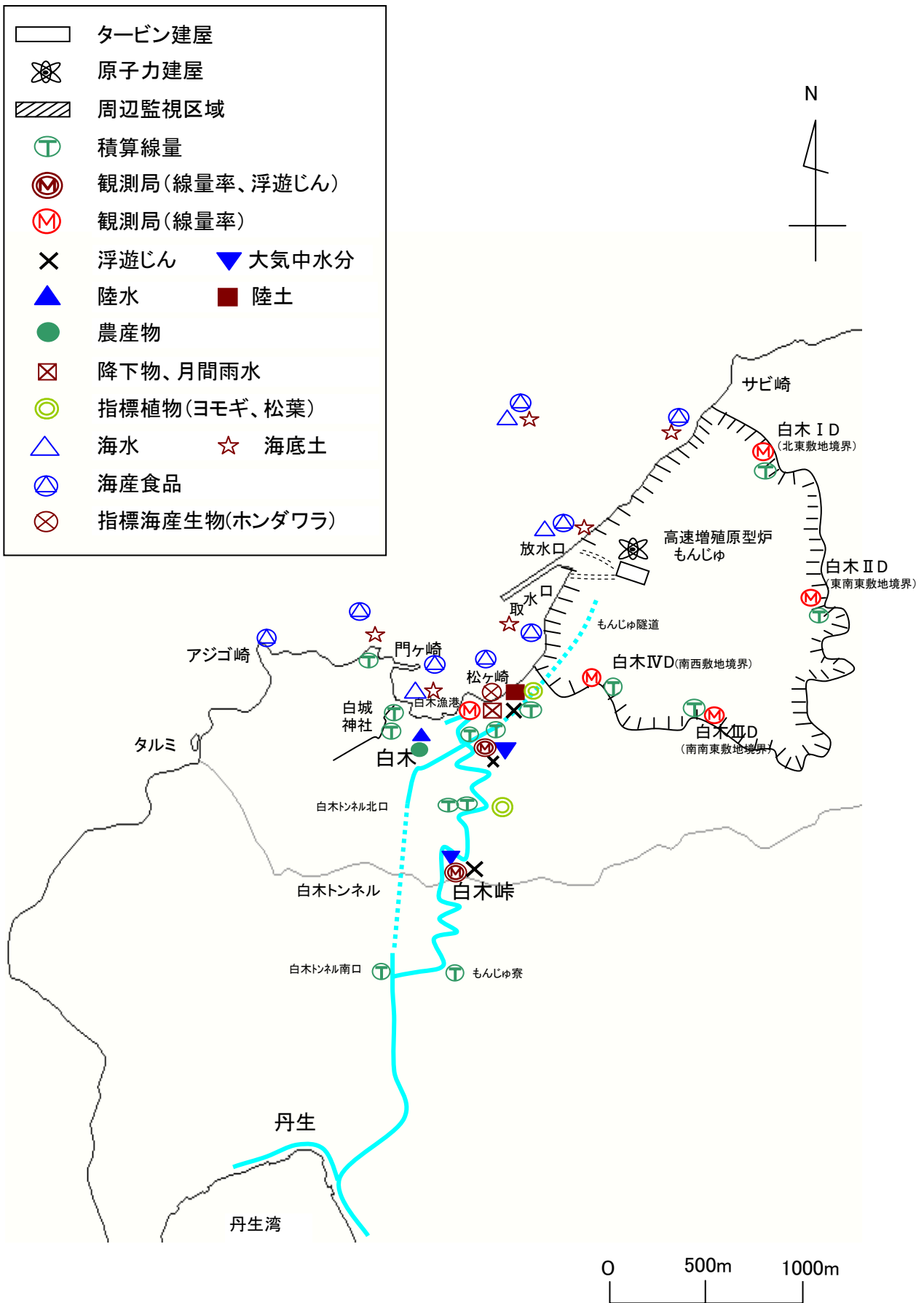
0 5 10Km



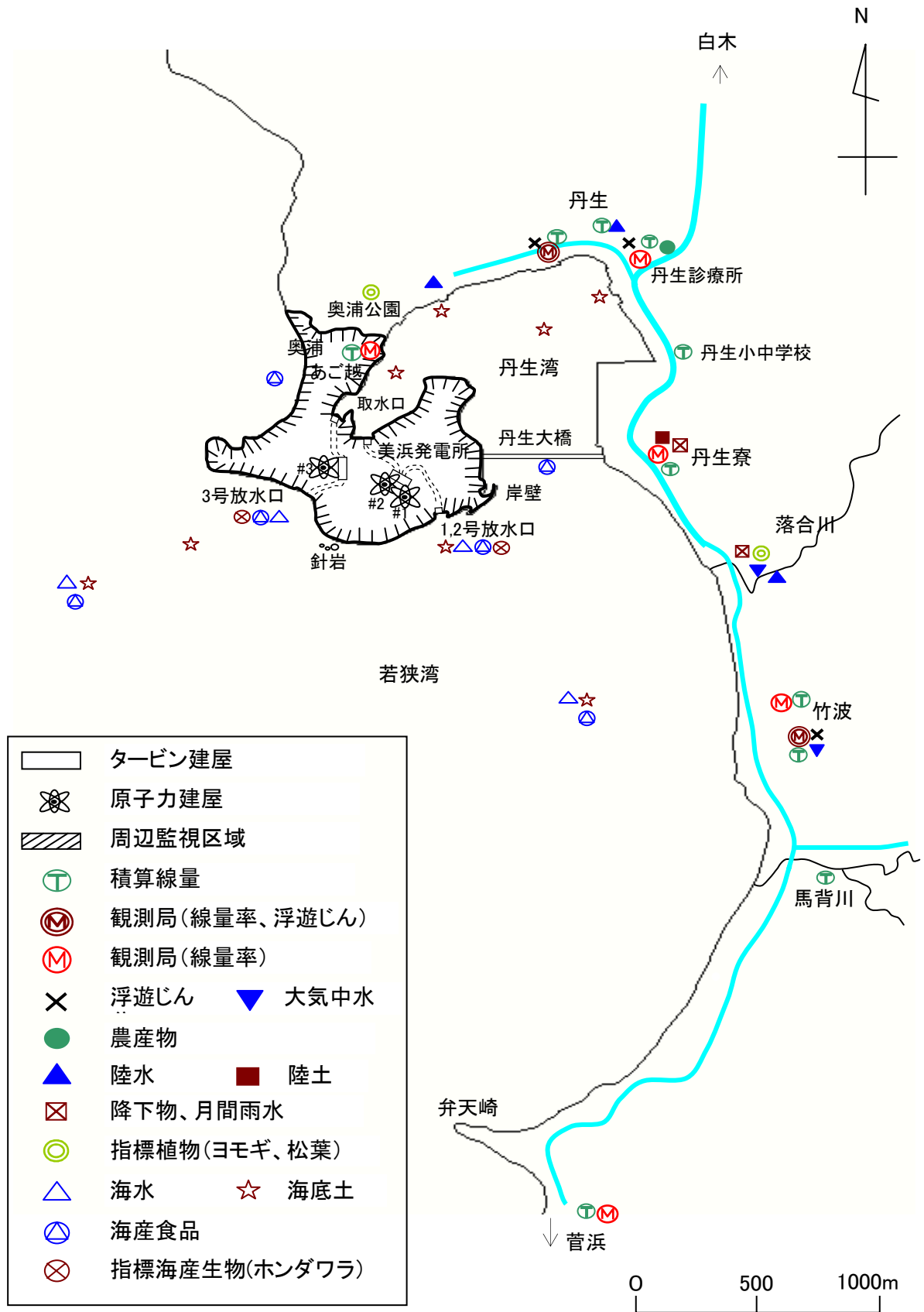
第3図 敦賀発電所および原子炉廃止措置研究開発センター (ふげん)周辺の試料採取地点



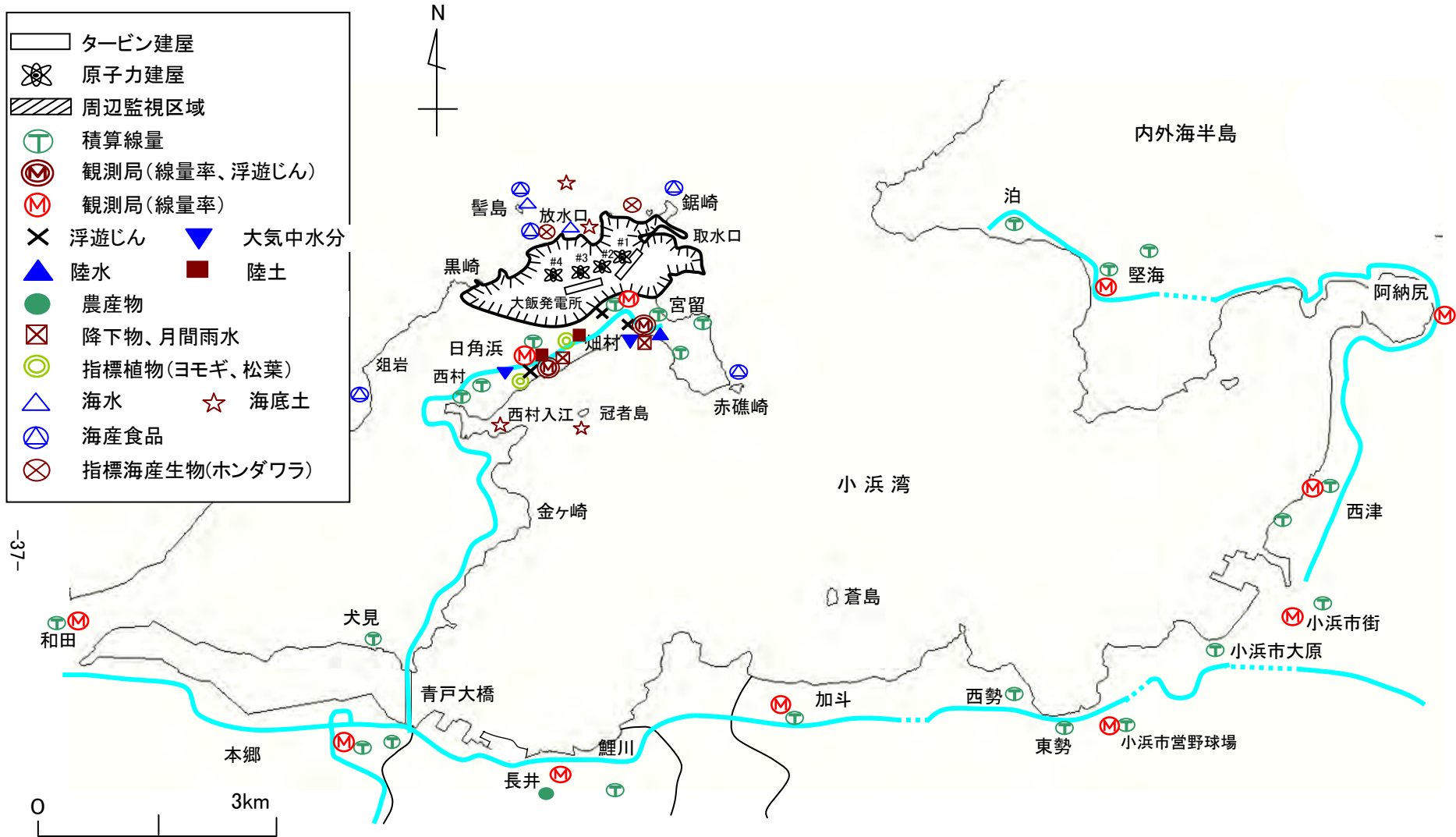
第4図 高速増殖原型炉もんじゅ周辺の試料採取地点



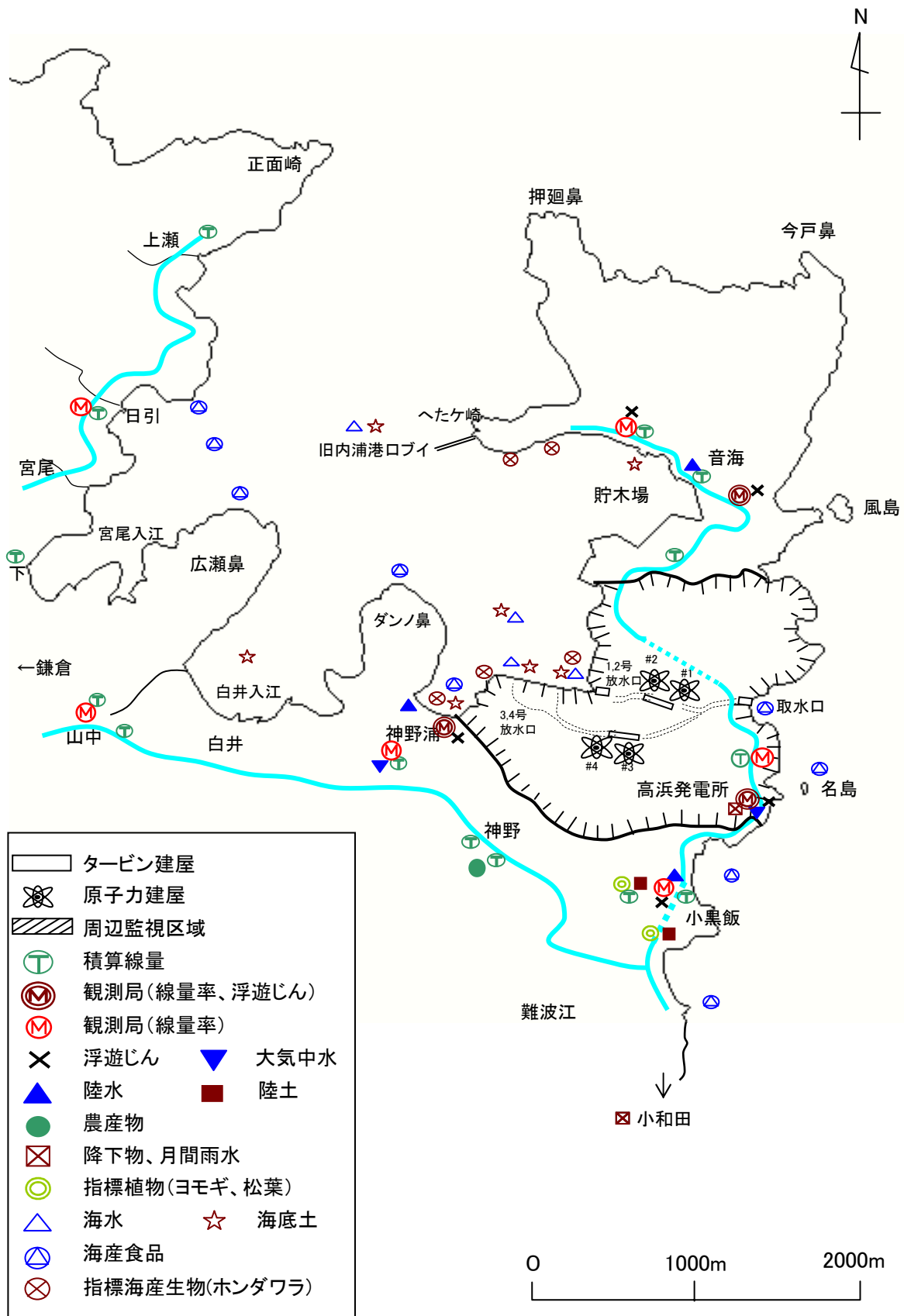
第5図 美浜発電所周辺の試料採取地点



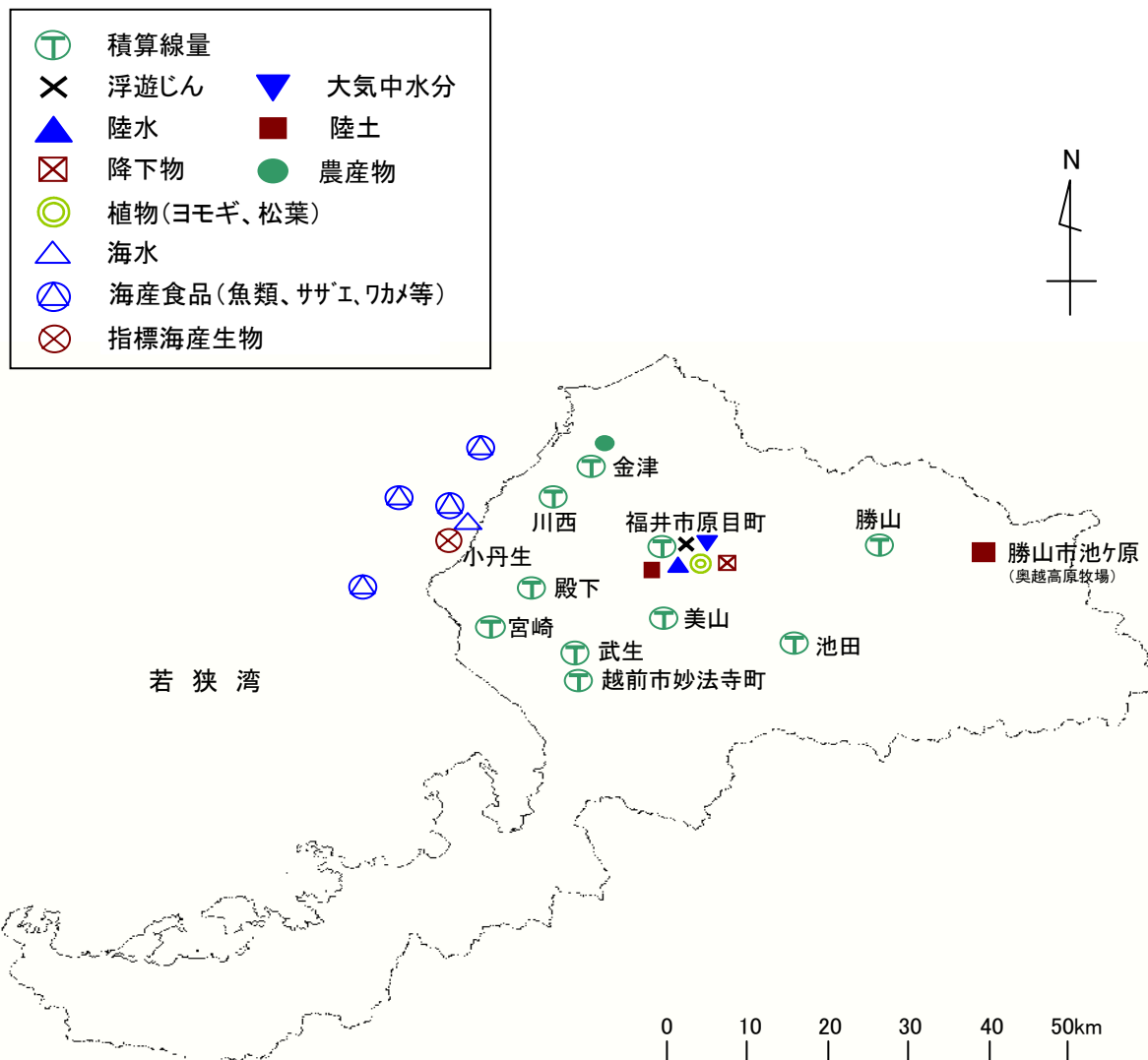
第6図 大飯発電所周辺の試料採取地点



第7図 高浜発電所周辺の試料採取地点



第8図 対照地区（嶺北地区）の試料採取地点



第1表 調査地点の詳細 その1 線量率連続測定

敦賀地区	敦賀 A (福井県敦賀合同庁舎) (1)	大飯地区	小浜 A (小浜市役所) (1)
	浦底 A ☆ (明神寮下県道脇) (2)		日角浜 A ☆ (大島小学校) (2)
	立石 A ☆ (八坂神社) (3)		宮留 A ☆ (宮留バス停) (3)
	河野 A (南越前町河野総合事務所) (4)		阿納尻 A (内外海小学校) (4)
	ふげん北 D (北敷地境界付近) (5)		長井 A (地区ゲートボール場横) (5)
	立石 B (集落入口県道脇) (6)		宮留 C (エルパーク大飯下三叉路) (6)
	立石山頂 B (山頂付近) (7)		日角浜 C (大島公民館) (7)
	賀ふげん西 D (西敷地境界付近) (8)		本郷 C (おおい町役場) (8)
	猪ヶ池 B (敦賀原子力館下) (9)		加斗 C (加斗小学校) (9)
	浦底 B (警備派出所跡北) (10)		小浜 C (小浜市営野球場) (10)
	水試裏 B (水産試験場裏) (11)		西津 C (小浜漁協西津支所) (11)
	色ヶ浜 B (白山神社) (12)		堅海 C (県栽培漁業センター) (12)
	杳 D (旧市営駐車場) (13)		川上 C (川上公民館) (13)
	赤崎 D (赤崎区民センター) (14)		鹿野 C (佐分利小学校) (14)
	五幡 B (東浦公民館) (15)		名田庄 C (名田庄観光館) (15)
	阿曾 D (東浦体育館) (16)		上中 C (若狭町上中体育館) (16)
	杉津 B (東浦小中学校下国道脇) (17)		
	甲楽城 B (河野小学校前) (18)		
	今庄 B (南越前町今庄総合事務所) (19)		
	越前厨 D (城崎小学校脇) (20)		
白木地区	白木 A ☆ (松原小学校白木分校跡) (1)	高浜地区	小黒飯 A ☆ (集落北県道脇) (1)
	白木峠 A ☆ (旧道市町境) (2)		音海 A ☆ (旧音海小中学校プール跡横) (2)
	松ヶ崎 D (もんじゅ隧道南口付近) (3)		神野浦 A ☆ (気比神社) (3)
	白木Ⅰ D (北東敷地境界) (4)		山中 A (内浦小中学校) (4)
	白木Ⅱ D (東南東敷地境界) (5)		音海 C (音海漁港奥) (5)
	白木Ⅲ D (南南東敷地境界) (6)		田ノ浦 C (南東敷地境界) (6)
	白木Ⅳ D (南西敷地境界) (7)		小黒飯 C (白浜トンネル北口) (7)
美浜地区	丹生 A ☆ (丹生バス停) (1)		神野浦 C (道路脇) (8)
	竹波 A ☆ (竹波集落センター) (2)		日引 C (旧日引小学校) (9)
	坂尻 A (坂尻トンネル東側出口南) (3)		青郷 C (青郷小学校) (10)
	奥浦 C (奥浦公園奥) (4)		高浜 C (高浜小学校) (11)
	丹生 C (丹生診療所) (5)		和田 C (和田小学校) (12)
	丹生寮 C (関電丹生寮敷地内) (6)		田井 C (田井コミュニティーセンター) (13)
	竹波 C (高那弥神社) (7)		夕潮台 C (夕潮台公園) (14)
	菅浜 C (農業構造改善センター) (8)		
	佐田 C (美浜東小学校) (9)		
	新庄 C (日吉神社) (10)		
	郷市 C (美浜町役場) (11)		
	早瀬 C (水無月神社) (12)		
	日向 C (日向漁業センター) (13)		
	三方 C (若狭町役場三方庁舎) (14)		

☆印の地点では、浮遊じん放射能の連続測定を行っている。

第1表 調査地点の詳細 その2 積算線量測定地点

敦賀地区	立石 A 5 (八坂神社) (1)	美浜地区	奥浦 C (奥浦公園奥) (1)	
	立石山頂 B 1 (山頂付近) (2)		丹生診療所 C 6 (丹生診療所) (2)	
	ふげん西 D 2 (西敷地境界付近) (3)		丹生 A 4 (中村旅館) (3)	
	猪ヶ池 B 1 (敦賀原子力館下) (4)		丹生 C 3 (丹生漁港) (4)	
	原子力館 B (敦賀原子力館敷地) (5)		丹生小中学校A (5)	
	水産試験場 B 2 (水産試験場) (6)		丹生寮 C 5 (関電丹生寮) (6)	
	明神寮 B 2 (明神寮) (7)		竹波 A 4 (竹波集落センター) (7)	
	浦底 A 5 (剣神社) (8)		竹波 C 5 (高那弥神社) (8)	
	水試裏 B 1 (水産試験場裏) (9)		馬背川 C 2 (ポンプ場) (9)	
	色ヶ浜 A 3 (本隆寺) (10)		菅浜 A 3 (旧菅浜保育所) (10)	
	手ノ浦 A 3 (舟幸寺) (11)		菅浜 C 2 (民宿藤田横) (11)	
	手ノ浦 B 3 (舟幸寺) (12)		けやき台 C 1 (けやき台ハイツ) (12)	
	沓 B 5 (常福寺) (13)		佐田 A 3 (あおなみ保育園) (13)	
	常宮 A 3 (常宮小学校) (14)		坂尻 C 2 (三谷商店前) (14)	
	常宮 B 3 (常宮神社) (15)		新庄 C 3 (日吉神社) (15)	
	縄間 B (宗清寺) (16)		和田 A (ふる里交流センター) (16)	
	名子 B 1 (名子バス停) (17)		郷市 C 6 (美浜町役場) (17)	
	松島 B 3 (原電松島寮) (18)		久々子 C 1 (県園芸試験場) (18)	
	松栄 B 3 (敦賀地方合同庁舎) (19)		早瀬 C 5 (水無月神社) (19)	
	赤崎 A 3 (赤崎小学校グラウンド) (20)		日向 C 5 (日向漁業センター) (20)	
	阿曾 A 2 (ふれあい会館) (21)		三方 C 4 (若狭町役場三方庁舎) (21)	
	杉津 A 4 (東浦小中学校) (22)		沓見 C (原子力発電訓練センター) (22)	
	元比田 A 5 (集落掲示板横) (23)		大飯地区	赤礁崎 C (関電あかぐり崎クラブ) (1)
	大谷 A 3 (八幡神社) (24)			宮留奥 A (あかぐり海釣公園) (2)
	大良 B (大良集会所) (25)			宮留 A 6 (県宮留観測局) (3)
	吉河 A 2 (原子力センター) (26)			宮留 C 3 (エルパーク大飯下三叉路) (4)
白木 I D 2 (北東敷地境界) (1)	日角浜 C 3 (大島公民館) (5)			
白木 II D 2 (東南東敷地境界) (2)	西村 A 2 (常禅寺) (6)			
白木 III D 2 (南南東敷地境界) (3)	西村 C 1 (西村トンネル南口県道脇) (7)			
白木 IV D 2 (南西敷地境界) (4)	犬見 C 2 (集落手前道端) (8)			
白木 A 4 (県白木観測局) (5)	本郷 A 4 (町営住宅サンハイムうらら) (9)			
白木 D 6 (松原小学校白木分校跡) (6)	本郷 C 5 (おおい町役場) (10)			
松ヶ崎 D 2 (機構モニタステーション) (7)	鯉川 A 2 (牛尾神社) (11)			
白城神社 A 2 (神社鳥居横) (8)	加斗 A 4 (加斗小学校) (12)			
白城神社 D 4 (//) (9)	西勢 A 2 (民宿つどい前ゲートボール場) (13)			
門ヶ崎 D 3 (10)	東勢 C 1 (旧道脇) (14)			
白木トンネル北口 A 2 (11)	小浜市野球場 C 2 (小浜市営野球場) (15)			
白木トンネル北口 D 3 (12)	小浜市大原 A 3 (栖雲寺) (16)			
白木トンネル南口 A 2 (渓流水貯水池横) (13)	若狭健康福祉センター A 2 (17)			
もんじゅ寮 D 1 (もんじゅ寮前) (14)	西津 A 2 (水産高校) (18)			
	西津 C 3 (小浜漁協西津支所) (19)			
	堅海 A 2 (旧堅海小学校) (20)			
	堅海 C 3 (県栽培漁業センター) (21)			
	泊 C 2 (大谷旅館前) (22)			
	川上 C 4 (川上公民館) (23)			
	鹿野 C 5 (佐分利小学校) (24)			
	名田庄 C 3 (名田庄観光館) (25)			
	上中 C 3 (若狭町上中体育館) (26)			

第1表 調査地点の詳細 その2 積算線量測定地点(つづき)

高 浜 地 区	音 海	A 3	(児玉旅館)	(1)	対 照 地 区	金 津	A 2	(坂井健康福祉センター)	(1)
	音 海	C 4	(音海漁港奥)	(2)		川 西	A 3	(川西中学校)	(2)
	音海県道	C 1	(日本海港湾(株)保税上屋入口門付近)	(3)		福井市原目町	A 2	(福井分析管理室)	(3)
	田ノ浦	C	(関電モーターステーション)	(4)		殿 下	A 3	(殿下小学校)	(4)
	小黒飯	A 3	(寿奎寺裏旧道脇)	(5)		勝 山	A 3	(奥越土木(勝山))	(5)
	小黒飯	C 3	(白浜トンネル北口)	(6)		美 山	A 4	(美山児童館)	(6)
	旧神野小学校	A		(7)		宮 崎	A 3	(宮崎中学校)	(7)
	神 野	A 4	(桃源寺)	(8)		武 生	A 2	(丹南土木事務所)	(8)
	神 野 浦	C 2	(集落南西道路脇)	(9)		越前市妙法寺町	A	(白山神社)	(9)
	山 中	A 3	(内浦小中学校)	(10)		池 田	A 2	(池田町役場)	(10)
	山 中	C 2	(JA若狭内浦出張所)	(11)					
	下	A 2	(産霊神社)	(12)					
	日 引	C 3	(旧日引小学校)	(13)					
	上 瀬	A 2	(山神神社)	(14)					
	六 路 谷	A 3	(ふれあい会館)	(15)					
	六 路 谷	C 2	(杉森神社横)	(16)					
	高 野	C	(青郷小学校旧高野分校)	(17)					
	青 郷	C 2	(青郷小学校)	(18)					
	東 三 松	A 4	(東三松グラウンド)	(19)					
	東 三 松	C 2	(民宿萩の家)	(20)					
	高浜町役場	A 3	(高浜町役場前庭)	(21)					
	高 浜	C	(高浜小学校)	(22)					
	和 田	C 3	(和田小学校)	(23)					
	田 井	C 3	(田井コミュニティーセンター)	(24)					
	夕 潮 台	C 2	(夕潮台公園)	(25)					

第1表 調査地点の詳細 その3 陸上試料採取地点(定点)

項目	地区	採取地点		
大 ヨ 気 ウ 中 素 131	敦賀	浦底A (県テレメ観測局)		
	白木	白木A //		
	美浜	竹波A //		
	大飯	宮留A //		
	高浜	小黑飯A //		
浮 遊 じ ん	敦賀	立石A (県テレメ観測局) * 立石B (原電モニタステーション)		
		浦底A (県テレメ観測局) 浦底B (原電モニタステーション)		
		色ヶ浜B //		
	白木	白木A (県テレメ観測局) 白木峠A (県テレメ観測局) * 松ヶ崎D (機構モニタステーション)		
	美浜	丹生A (県テレメ観測局) * 丹生C (関電モニタポスト)		
		竹波A (県テレメ観測局)		
	大飯	宮留A (県テレメ観測局) 宮留C (関電モニタポスト)		
		日角浜A (県テレメ観測局) * 音海A (県テレメ観測局) * 音海C (関電モニタポスト)		
	高浜	小黑飯A (県テレメ観測局) 小黑飯C (関電モニタポスト)		
		神野浦A (県テレメ観測局) *		
	対照	福井市原目町 (福井分析管理室)		
	陸 水	敦賀	浦底 (水試蛇口) " (明神寮蛇口)	
		白木	白木 (民家蛇口)	
		美浜	丹生 (民家蛇口) " (旧漁協蛇口)	
			竹波 (落合川(河川水))	
		大飯	宮留 (民家蛇口)	
		高浜	小黑飯 (民家蛇口) 音海 (民家蛇口)	
		対照	福井市原目町 (福井分析管理室蛇口)	
		大 気 中 水 分	敦賀	立石A (八坂神社) 猪ヶ池B (敦賀原子力館下) 浦底A (明神寮下県道脇) 浦底B (警備派出所跡北) 色ヶ浜B (白山神社)
			白木	白木A (松原小白木分校跡) 白木峠A (旧道市町境)
美浜			竹波A (竹波集落センター) 竹波C (落合川ポンプ所)	
大飯	宮留A (宮留バス停) 日角浜C (大島公民館)			
高浜	小黑飯A (集落北県道脇) 神野浦C (道路脇)			
対照	福井市原目町 (福井分析管理室)			

項目	地区	採取地点
陸 土	敦賀	浦底 (明神寮) 敦賀発電所北端周辺
	白木	松ヶ崎 (機構モニタステーション)
	美浜	丹生 (関電丹生寮)
	大飯	日角浜 (島山神社) 畑村 (県道脇)
	高浜	小黑飯 (県道脇) " (白浜トンネル上)
対照	福井市原目町 (衛環研) 勝山市池ヶ原 (奥越高原牧場)	
指 標 植 物	敦賀	浦底 (明神寮下県道脇)
	白木	白木 (松ヶ崎付近)
	美浜	竹波 (落合川取水場付近)
	大飯	日角浜 (島山神社付近)
	高浜	小黑飯 (旧道脇)
対照	福井市原目町 (福井分析管理室付近)	
松 葉	敦賀	浦底 (明神寮) 敦賀発電所北端周辺
	白木	白木トンネル北口付近
	美浜	丹生 (奥浦公園入口付近)
	大飯	畑村 (道路脇)
	高浜	小黑飯 (白浜トンネル上)
対照	福井市寮町 (県農試)	
農 産 物	敦賀	浦底
	白木	白木
	美浜	丹生
	大飯	長井
	高浜	神野
対照	あわら市	
降 下 物	敦賀	浦底 (水試屋上) " (明神寮)
	白木	松ヶ崎 (機構モニタステーション)
	美浜	竹波 (落合川取水場) 丹生 (関電丹生寮)
	大飯	宮留A (県テレメ観測局) 日角浜 (ヴィラ大島)
	高浜	小黑飯A (県テレメ観測局) 小和田 (小和田ポンプ所)
対照	福井市原目町 (福井分析管理室)	

(注1) 浮遊じん採取地点のうちで、*の地点は3ヶ月間の集合試料を分析。

(注2) 大気中水分採取地点のうちで、竹波Cおよび福井市原目町を除いては、線量率観測局舎内に設置した除湿器で採取している。

(注3) 海洋試料の詳細な採取地点は図3～図8の採取地点図と各測定結果の採取地点欄に示されている。

第2表 空間線量測定法

積算線量	県 関電	各地点に3本(6素子)の熱ルミネッセンス線量計(TLD)を配備し3ヶ月毎の積算線量を測定	TLDの校正は ¹³⁷ Csで約0.2~0.3mGy照射して実施
	原電	各地点に1台の電子線量計を配備し、3ヶ月毎の積算線量を測定	電子式線量計の校正は ¹³⁷ Csで約0.2~0.3mGy照射して実施
	原子力 機構	各地点に4個の蛍光ガラス線量計を配備し、3ヶ月毎の積算線量を測定	蛍光ガラス線量計の校正は ¹³⁷ Csで約0.2~0.3mGy照射して実施
線量率 (連続測定)	県	鉄筋コンクリート製固定観測局屋上の地上高約2.8mに設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②約14ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	NaI(Tl)測定器の校正は ²²⁶ Raの3.7MBq等の線源を用い垂直方向1mで照射して実施。 電離箱については ²²⁶ Ra 3.7MBqを用い、感度確認を実施。
	原電	軽量気泡コンクリート(屋根は鉄筋コンクリート)製固定観測局屋上の地上高約4.5mに設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	NaI(Tl)測定器の校正は ²²⁶ Raの3.7MBq等の密封線源を用い垂直方向1mで実施。
	関電 美浜	鉄筋コンクリート製固定観測局屋上の地上高約3.2mに設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	
	関電 大飯 高浜	軽量気泡コンクリート製固定観測局屋上の地上高約3.4m(高浜は約3.5m)に設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ(高浜は14ℓ)球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	
	原子力 機構	鉄筋コンクリート製固定観測局で地上高約3.5mに設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"(ふげん西D、ふげん北Dは3"球形)NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	NaI(Tl)測定器の校正は ²²⁶ Ra3.7MBqの線源を用い垂直方向1mで実施。
線量率 (モータリク ^レ カー)	県	車:ワンボックス 検出器:2"φ×2"NaI(Tl)	検出器位置:屋根(地上高2.7m)
	原電	車:ワゴン 検出器:2"φ×2"NaI(Tl)	検出器位置:窓際(地上高1.5m)
	関電	車:ワゴン 検出器:2"φ×2"NaI(Tl)	検出器位置:屋根(地上高3.5m)
	原子力 機構	車:マイクロバス 検出器:2"球形NaI(Tl) 検出器位置:屋根(地上高2.9m)	車:マイクロバス 検出器:3"球形NaI(Tl) 検出器位置:屋根(地上高2.9m)

第3表 浮遊じん放射能の連続測定法

浮遊じん (連続測定)	県 HE-40T長尺ろ紙(90m)を用い毎分約100ℓで3時間吸引し、ろ紙をステップ送りする。吸引中、ろ紙に吸着した放射能のアルファ(α)線およびベータ(β)線をZnS塗布プラスチックシンチレーション検出器(有効径50mmφ、0.5mm厚)を用いて波形弁別方式により同時測定し、それぞれの計数值より平衡仮定した3時間平均濃度を求め、β/α放射能濃度比を求める。(平成9年度機器更新、平成10年度より新装置)	校正は測定装置集塵面と同一形状の標準線源(U ₃ O ₈ 、 ²⁴¹ Am、 ³⁶ Cl)により実施。
----------------	---	---

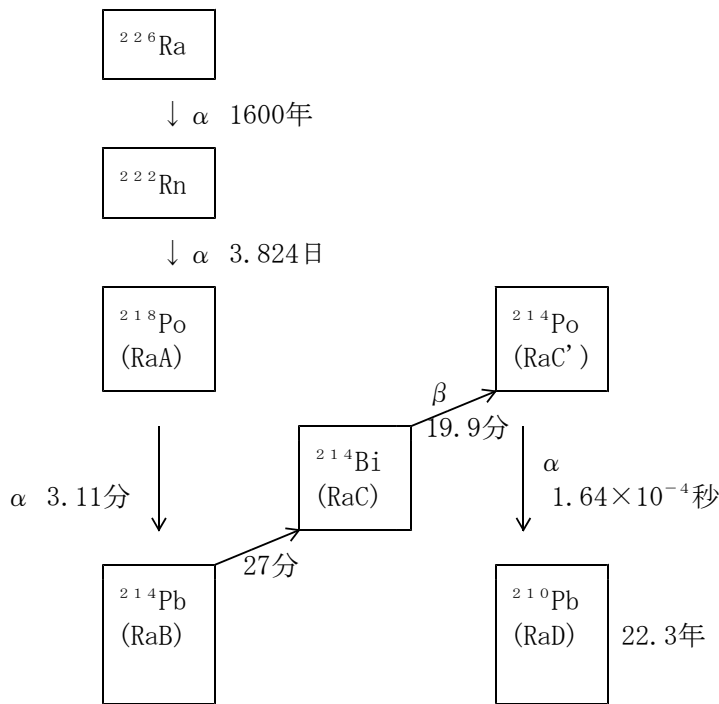


図1 ラドン(Rn)娘核種崩壊系列

浮遊じん放射能の連続測定において算出している放射能濃度は、ラドンの娘核種RaA、RaB、RaC、RaC'、それぞれの比が1 : 1 : 1 : 1と仮定して計算されるラドン娘核種あたりの平衡仮定濃度である。

$$Q = \frac{\lambda \cdot C \times 10^3}{\varepsilon \cdot \zeta \cdot \eta \cdot q \cdot F(S, T) \cdot \kappa} \quad \text{---- (1)}$$

Q : ラドン娘核種濃度 (Bq/m³)、λ : RaA の崩壊定数(sec⁻¹)

C : 測定時間中の正味の計数值、ε : 計数効率、ζ : 発現効率

η : 捕集効率、q : 捕集流量 (ℓ・sec⁻¹)、κ : 補正係数

F(S, T) : Batemannの式の解(sec)

S : 捕集開始から現在までの時間(sec)、T : 計数開始から現在までの時間(sec)

平衡仮定濃度Qは、α計数值、β計数值からそれぞれ求められ(Q_A、Q_Bとする)、Q_Aに対するQ_Bの比率(Q_B/Q_A=R_{B/A})をモニタリングの指標としている。通常では、ほとんどがラドン娘核種による計数值であるため、R_{B/A}はほぼ一定であるが、発電所の寄与があった場合、放出される核種はほとんどがβ線放出核種であり、β計数值が増えるため、R_{B/A}が上昇する。

空気中のガス状ヨウ素-131に対しては、ろ紙を通過した空気を50℃に加温し、毎分20ℓでCHC-50 (TEDA添着活性炭)に通して捕集し、ゲルマニウム測定器でバッチ測定している。

第4表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析測定法

区分	試料	測定試料形態	測定用試料量	目的核種	参考核種	天然核種	
陸上モニタリング	大気	県：活性炭カートリッジ CHC-50 (TEDA添着炭)	県：約 400m ³ (連続採取)	¹³¹ I (ガス状)			
	浮遊じん	県ろ紙：HE-40T " "：GB-100R 原電 "：HE-40T 関電・機構："	県：約4000m ³ (連続採取) "：約1000m ³ (1日採取) 原電：約2000m ³ (連続採取) 関電・機構：約2000m ³ (")	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	
	陸水	県：直接(マリネリ容器) その他：樹脂吸着	県：2ℓ その他：5ℓ	⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs			
	陸土	乾燥ふるい、2mm以下 (0~5cmで採取)	乾土 300g程度	⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs		⁷ Be, ⁴⁰ K Th-, U-系列	
	農産物 植物	乾燥物 (粉碎)	生 500g程度 生 400g程度(補助)	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce	⁷ Be, ⁴⁰ K	
	グ	降下物	樹脂吸着	県・原電・関電：約 0.2m ² 以上 原子力機構：約 0.5m ²	⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs	¹⁴⁰ Ba	⁷ Be
海洋モニタリング	海水	MnO ₂ 法、AMP法	20ℓ	⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	⁵⁹ Fe, ¹³⁴ Cs		
	海底土	乾燥ふるい、2mm以下 (主にエクマンハンマーで採取)	乾土 300g程度	¹³⁷ Cs		⁷ Be, ⁴⁰ K Th-, U-系列	
	海産 食品	魚類	灰化物	生 1Kg程度	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce	⁷ Be, ⁴⁰ K
		貝類	灰化物	生(除殻) 200g程度			
	グ	藻類	乾燥物 (粉碎)	生 500g程度	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs		
指標海産生物		乾燥物(粉碎)	ホンダワラ：生、1Kg程度	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce ¹⁴⁰ Ba		

(注) 計測時間は500分以上。試料採取から測定までの期間は、¹³¹Iを対象とする試料は10日以内、¹³¹Iを対象としない試料は30日以内を目標とする。測定容器は各機関ともプラスチック製カップウェア V-1 (直径60mm、高さ30mm)、V-2 (同80mm、40mm)、V-3 (同95mm、50mm)、マリネリ容器(2ℓ)を使用する。

第4-2表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析の検出目標値

試料	²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹³¹ I	表示単位
陸上モニタリング	大気	△	△	△	△	△	0.2
	浮遊じん	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.2
	陸水	△	200	200	200	200	400
	陸土	△	2	2	1.5	1.5	△
	農産物	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8
	指標植物	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8
	松葉	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	2
海洋モニタリング	降下物	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	2
	海水	△	8	8	8	8	△
	海底土	△	2	2	2	2	△
	魚類	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	△
	貝類	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	△
	藻類	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8
	指標海産生物	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8

(注) △ は対象外。

第5表 液体シンチレーション検出器によるトリチウム測定法

分析試料	採取方法	測定試料	測定
蛇口水	蛇口より直接採取	採取時試料	蒸留後、試料水40mℓ「50mℓ」に乳化シンチレータ60mℓ「50mℓ」を加え冷暗所に放置。500分(50分×10回)測定。検出限界値 0.5~1 Bq/ℓ。 (注)「」内は、原子力機構が採用
河川水	河川より直接採取	採取時試料	
大気中水分	除湿機による	月間試料	
雨水	トリチウム用雨水採取器	3ヶ月間の月別加重平均試料	
海水	船から直接採取	採取時試料	

(注) トリチウム分析結果はBq/ℓで表示する。

第6表 ストロンチウム-90・プルトニウム測定法

区分	種類	分析試料量	
		ストロンチウム-90 (県)	プルトニウム (県、機構)*
海底土	——	——	県: 20g乾土、機構: 20g乾土
陸土	——	——	県: 20g乾土、機構: 50g乾土
降下物	——	樹脂灰化物全量	県: 樹脂灰化物全量
指標植物	ヨモギ	生500~1,000g(灰10~20g)	県: 生500~1,000g(灰10~20g)
農産物	大根葉	——	県: 生、約1,000g(灰、約10g)
海産食品	魚類(メダナ、ハマチ等)	——	県: 生500~1,000g(灰10~20g)
	貝類(サザエ、アサヒ)		機構: 生500~1,500g(灰20g)
	藻類(ワカメ等)		
指標海産生物	ホンダワラ	生200~300g(灰10~20g)	県: 生200~400g(灰10~20g)
測定条件等	——	[目的核種] Sr-90 [分離法] エタノール・エーテル法 [測定時間] 80,000秒以上	[目的核種] Pu-239(+240)、238 [分離法] 県、機構: 陰イオン交換法 [測定時間] 県: 80,000秒以上 (通常200,000秒) 機構: 80,000秒

第7表 測定器

	県	原電	関電	原子力機構
積算線量	パナソニックUD-5160P UD-200S	富士電機 NSD3	パナソニック UD-512P UD-5120PGL UD-200S	旭テクノガラス FGD-202 FGD-202S SC-1
線量率 (連続測定)	東芝 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 東芝 約14ℓ球形電離箱 Arガス 8気圧 〔両検出器とも Aℓ 1mmカバー付、検 出部へ定温送風〕	富士 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 富士 14.5ℓ球形電離箱 Arガス 8気圧 〔両検出器とも Aℓ 1mmカバー付、検 出部へ定温送風〕	【美浜地区】 富士 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 富士 14.5ℓ球形電離箱 Arガス 約780kPa 〔両検出器とも Aℓ 1mmカバー付、検 出部へ定温送風〕	【敦賀、白木地区】 富士 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 (ふげん西D、ふげん 北Dは3"型) 富士; 14.5ℓ球形 電離箱Arガス 8気圧 〔両検出器とも Aℓ 1mmカバー付、検 出部へ定温送風〕
			【大飯地区】 富士 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 富士 14.5ℓ球形電離箱 Arガス 8気圧 〔両検出器とも A11mmカバー付き、検 出部へ定温送風〕	【高浜地区】 アロカ 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 アロカ 14ℓ球形電離箱 N ₂ +Arガス 4気圧 〔両検出器とも AAS3mmカバー付き、検 出部へ定温送風〕
浮遊じんの 放射能 (連続測定)	富士電機 検出器2"φ プラスチックシンチレータ、 ZnS(Ag)シンチレータ塗布			
トリチウム	アロカ LSC-LB5	アロカ LSC-LB5	アロカ LSC-LB5	アロカ LSC-LB5, LSC-LB3
ガンマ線 スペクトロ メトリー	オルテック GEM50-83-S HPGe55% キャンベラ GC4518 HPGe56% キャンベラ GC5019 HPGe57% キャンベラ GX-4519 γ-XHPGe59% キャンベラ GC4019/S HPGe43% キャンベラ製 波高分析器 5台	オルテック GEM-30195 HPGe35% オルテック GEM-30195 HPGe31% オルテック GEM-30195 HPGe35% セイコー E G & G 7700シリーズ 波高分析器 COMPAC WINDOWS2000サーバ	オルテック GEM30-70 HPGe34% オルテック GEM30-70-S HPGe35% プリンストンカンマーテック IGC30185SD HPGe34% オルテック GEM30-70 HPGe34% オルテック GEM30-70 HPGe35% オルテック GEM30-70 HPGe34% セイコーEG&G 7600 波高分析器 3台 富士通 FMVD5270 3台	オルテック GEM-30185 HPGe34% オルテック GEM-30185 HPGe34% オルテック GEM-30185 HPGe32% オルテック GEM-45190 HPGe51% セイコー E G & G 7700シリーズ 波高分析器 2台 富士通 FMV611G 2台
ストロンチウム	富士電機ビコバータ1インチ			
アルファ 放射能 (プルトニウム 239+240)	オルテック表面障壁型シリコン半導体 検出器 BU020-045-AS セイコー E G & G MCA7700			オルテック表面障壁型シリコン半導体 検出器 BR-SNA-450-100 セイコー E G & G MCA7600

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間平均線量率(M)	月間標準偏差(σ)	M+3σをこえた時間	M+3σをこえた時間と原因		過去平均線量率
								降雨	その他	
敦賀	敦賀A	4月	65.9	50.6	53.4	2.3	18	18	0	54.0
		5月	69.1	50.4	53.1	2.7	19	19	0	
		6月	74.0	50.8	53.2	2.6	11	11	0	
		7月	69.3	50.5	53.1	2.1	14	13	1	
		8月	69.6	51.0	53.7	2.7	16	15	1	
		9月	77.3	50.4	53.7	3.1	13	13	0	
		10月	69.5	50.5	53.6	2.1	7	7	0	
		11月	71.2	50.6	53.6	2.4	13	13	0	
		12月	74.5	37.6	53.7	5.3	8	8	0	
		1月	82.2	43.4	54.7	6.6	12	12	0	
		2月	73.5	50.5	54.4	3.5	15	15	0	
		3月	77.3	49.4	54.6	4.1	16	16	0	
		年間	82.2	37.6	53.7	3.6	162	160	2	
		浦底A	浦底A	4月	88.4	63.5	65.9	2.4	18	
5月	86.3			62.9	65.9	2.8	18	18	0	
6月	94.2			63.5	66.4	2.7	16	16	0	
7月	80.9			62.8	65.4	2.1	23	23	0	
8月	89.4			62.9	65.7	2.9	19	19	0	
9月	93.2			63.9	66.8	3.0	14	14	0	
10月	74.1			63.7	66.6	1.4	17	17	0	
11月	90.1			63.6	66.8	2.5	13	13	0	
12月	88.9			58.9	67.5	3.8	11	11	0	
1月	100.4			49.5	67.3	8.4	12	12	0	
2月	99.1			62.7	67.1	4.1	16	16	0	
3月	91.6			63.7	67.5	4.6	19	19	0	
年間	100.4			49.5	66.6	3.9	196	196	0	
立石A	立石A			4月	72.9	60.2	62.1	1.5	19	19
		5月	72.0	60.1	62.4	1.4	18	18	0	
		6月	75.9	61.0	63.1	1.3	11	11	0	
		7月	72.1	60.7	62.4	1.2	13	13	0	
		8月	72.3	60.1	62.3	1.4	19	19	0	
		9月	80.2	61.2	63.3	1.7	13	13	0	
		10月	70.1	60.8	62.9	1.1	18	18	0	
		11月	78.1	60.7	62.8	1.7	12	12	0	
		12月	77.2	60.7	63.7	2.7	15	15	0	
		1月	87.7	56.6	64.0	4.6	16	16	0	
		2月	83.9	60.0	62.7	2.8	19	19	0	
		3月	84.2	59.9	62.8	3.2	21	21	0	
		年間	87.7	56.6	62.9	2.4	194	194	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間平均線量率(M)	月間標準偏差(σ)	M+3σをこえた時間	M+3σをこえた時間と原因		過去平均線量率	
								降雨	その他		
敦賀	河野A	4月	54.5	41.5	43.2	1.7	21	21	0	43.5	
		5月	57.1	41.2	43.1	2.0	19	19	0		
		6月	58.6	41.3	43.1	2.0	14	14	0		
		7月	55.2	40.8	43.0	1.5	18	18	0		
		8月	54.8	41.3	43.1	1.4	15	15	0		
		9月	60.7	41.3	43.1	2.1	15	15	0		
		10月	50.4	41.3	42.9	1.0	16	16	0		
		11月	58.1	41.4	43.5	1.9	15	15	0		
		12月	68.6	41.6	44.9	3.5	14	14	0		
		1月	75.8	41.7	46.0	4.7	14	14	0		
		2月	58.1	41.6	44.3	2.7	19	19	0		
		3月	63.4	41.6	44.6	3.4	15	15	0		
		年間	75.8	40.8	43.7	2.7	195	195	0		
		白木	白木A	4月	86.6	68.5	71.1	2.4	23		23
5月	93.5			67.6	71.2	3.0	18	18	0		
6月	100.3			68.6	71.8	2.8	13	13	0		
7月	96.0			68.0	70.9	2.6	17	17	0		
8月	94.8			67.5	70.6	2.8	18	18	0		
9月	105.6			68.6	72.1	3.6	15	15	0		
10月	86.1			68.3	71.3	1.7	14	14	0		
11月	93.2			68.4	71.5	3.0	16	16	0		
12月	90.5			68.1	72.7	3.7	17	17	0		
1月	111.3			58.0	72.9	7.0	12	12	0		
2月	93.4			68.5	71.8	3.6	18	18	0		
3月	97.5			68.8	72.5	4.8	21	21	0		
年間	111.3			58.0	71.7	3.7	202	202	0		
白木峠A	白木峠A			4月	88.9	68.4	71.1	2.4	24	24	0
			5月	91.5	67.9	71.4	3.0	21	21	0	
			6月	101.2	68.6	71.9	3.0	14	14	0	
			7月	98.6	67.8	70.9	2.7	19	19	0	
			8月	99.9	67.4	70.7	3.0	16	16	0	
			9月	107.1	69.5	72.8	3.8	16	16	0	
			10月	83.9	68.4	72.1	1.8	13	13	0	
			11月	95.4	68.7	72.0	3.1	17	17	0	
			12月	91.8	59.3	71.3	4.0	13	13	0	
			1月	111.5	54.1	70.3	7.6	9	9	0	
2月	94.6		65.1	70.5	3.8	19	19	0			
3月	101.8	64.4	71.3	4.8	20	20	0				
年間	111.5	54.1	71.4	3.9	201	201	0				

過去平均線量率：2006～2008年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間平均線量率(M)	月間標準偏差(σ)	M+3σをこえた時間	M+3σをこえた時間と原因		過去平均線量率
								降雨	その他	
美浜	丹生A	4月	67.3	51.4	53.3	2.1	25	25	0	54.4
		5月	74.9	51.4	53.7	2.9	20	20	0	
		6月	79.5	52.1	54.1	2.6	14	14	0	
		7月	73.8	51.5	53.8	2.2	20	20	0	
		8月	72.0	51.3	53.7	2.2	18	18	0	
		9月	81.3	51.8	54.3	3.0	13	13	0	
		10月	70.2	51.5	54.0	1.7	18	18	0	
		11月	70.5	52.0	54.3	2.6	20	20	0	
		12月	71.7	52.1	55.6	3.8	18	18	0	
		1月	89.4	49.8	56.5	6.2	19	19	0	
		2月	78.6	51.1	54.4	3.5	16	16	0	
		3月	78.2	51.0	54.8	4.8	21	21	0	
		年間	89.4	49.8	54.4	3.5	222	222	0	
美浜	竹波A	4月	76.2	58.7	61.2	2.3	20	20	0	62.5
		5月	81.2	58.5	61.4	2.9	20	20	0	
		6月	88.7	59.6	62.3	2.7	14	14	0	
		7月	77.4	59.3	61.6	2.3	20	20	0	
		8月	81.4	58.6	61.6	2.4	17	17	0	
		9月	91.0	59.9	62.4	3.0	16	16	0	
		10月	82.0	58.7	61.5	1.9	15	15	0	
		11月	81.6	59.1	62.2	2.5	19	19	0	
		12月	80.1	57.1	63.0	3.8	17	17	0	
		1月	93.5	58.2	64.4	6.0	22	22	0	
		2月	81.3	58.8	62.3	3.4	16	16	0	
		3月	85.6	57.9	62.5	4.6	20	20	0	
		年間	93.5	57.1	62.2	3.4	216	216	0	
美浜	坂尻A	4月	72.3	52.7	54.9	2.6	26	26	0	55.9
		5月	78.5	51.9	54.9	3.1	22	22	0	
		6月	86.5	52.1	55.1	3.4	12	12	0	
		7月	73.7	52.1	54.6	2.6	19	19	0	
		8月	83.2	51.9	54.9	2.9	18	18	0	
		9月	92.8	53.4	56.2	3.7	14	14	0	
		10月	76.8	52.3	55.2	2.2	12	12	0	
		11月	82.3	52.8	55.6	3.0	20	20	0	
		12月	78.0	42.7	55.4	5.0	11	11	0	
		1月	101.4	36.8	54.1	8.8	17	17	0	
		2月	84.2	51.3	55.4	3.8	17	17	0	
		3月	80.6	49.1	56.2	5.0	19	19	0	
		年間	101.4	36.8	55.2	4.3	207	207	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	小浜A	4月	53.9	40.5	42.6	1.8	19	19	0	42.9
		5月	64.3	40.3	42.6	2.1	14	14	0	
		6月	60.6	40.5	42.7	2.1	12	12	0	
		7月	52.8	40.6	42.6	1.7	16	16	0	
		8月	63.9	40.5	42.7	2.4	15	15	0	
		9月	72.9	40.5	42.9	3.1	14	14	0	
		10月	69.6	40.0	43.0	2.5	10	10	0	
		11月	87.6	40.1	43.8	4.4	16	16	0	
		12月	59.8	40.2	43.6	2.6	16	16	0	
		1月	69.5	40.4	44.3	3.7	15	15	0	
		2月	73.5	40.2	43.5	3.4	16	16	0	
		3月	63.2	40.5	44.0	3.8	15	15	0	
		年間	87.6	40.0	43.2	3.0	178	178	0	
		大飯	日角浜A	4月	59.0	36.8	38.7	2.3	16	
5月	61.2			36.6	38.5	2.3	16	16	0	
6月	62.8			36.9	39.0	2.4	15	15	0	
7月	51.8			36.7	38.6	1.9	20	20	0	
8月	56.5			36.6	38.7	2.4	18	18	0	
9月	84.2			36.8	39.0	3.5	14	14	0	
10月	67.0			36.8	39.1	2.8	11	11	0	
11月	91.7			36.2	39.8	4.9	15	15	0	
12月	64.3			36.2	39.6	3.0	17	17	0	
1月	80.6			36.9	40.8	4.8	17	17	0	
2月	91.8			36.8	39.9	4.9	15	15	0	
3月	59.3			36.7	40.4	4.3	12	12	0	
年間	91.8			36.2	39.3	3.5	186	186	0	
大飯	宮留A			4月	50.7	30.9	33.1	2.2	15	15
		5月	54.2	30.9	32.9	2.3	16	16	0	
		6月	56.0	31.0	33.3	2.5	14	14	0	
		7月	46.0	30.8	32.8	2.0	19	19	0	
		8月	50.5	30.6	32.9	2.4	16	16	0	
		9月	70.6	30.6	32.9	3.2	14	14	0	
		10月	62.4	30.4	32.8	2.8	9	9	0	
		11月	88.8	30.4	33.8	5.0	13	13	0	
		12月	54.6	30.8	33.7	3.0	16	16	0	
		1月	69.7	30.7	34.8	4.9	19	19	0	
		2月	81.1	30.5	33.8	4.6	17	17	0	
		3月	52.9	30.6	34.1	4.3	18	18	0	
		年間	88.8	30.4	33.4	3.5	186	186	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間平均線量率(M)	月間標準偏差(σ)	M+3σをこえた時間	M+3σをこえた時間と原因		過去平均線量率
								降雨	その他	
大飯	阿納尻A	4月	44.4	27.6	29.8	2.0	14	14	0	30.2
		5月	49.1	27.5	29.4	2.1	15	15	0	
		6月	50.2	27.7	29.7	2.2	13	13	0	
		7月	38.1	27.5	29.4	1.7	25	25	0	
		8月	45.8	27.5	29.6	2.1	16	16	0	
		9月	57.2	27.6	29.9	3.0	15	15	0	
		10月	53.8	27.9	30.1	2.4	12	12	0	
		11月	58.2	27.9	31.1	3.8	17	17	0	
		12月	44.6	28.2	31.1	2.9	21	21	0	
		1月	61.4	27.9	32.4	5.0	20	20	0	
		2月	59.0	27.7	30.9	3.7	15	15	0	
		3月	65.2	27.9	31.5	4.9	17	17	0	
		年間	65.2	27.5	30.4	3.3	200	200	0	
	長井A	4月	50.0	32.2	34.7	2.4	19	19	0	35.4
		5月	54.6	32.2	34.5	2.3	20	20	0	
		6月	56.7	32.4	34.9	2.4	15	15	0	
		7月	55.4	32.5	34.6	2.2	14	14	0	
		8月	58.3	32.2	34.9	2.6	21	21	0	
		9月	77.5	32.9	35.4	3.6	14	14	0	
		10月	71.0	32.8	35.2	3.3	9	9	0	
		11月	104.2	32.2	36.9	6.8	14	14	0	
		12月	64.9	30.5	35.8	3.9	17	17	0	
		1月	103.2	32.9	37.3	6.5	8	8	0	
2月		65.5	32.4	36.2	4.9	21	21	0		
3月		63.5	32.3	36.8	5.2	17	17	0		
年間		104.2	30.5	35.6	4.2	189	189	0		
高浜	小黒飯A	4月	52.6	35.0	37.0	2.4	21	21	0	37.3
		5月	60.1	34.9	36.8	2.2	20	20	0	
		6月	63.0	35.4	37.1	2.4	13	13	0	
		7月	52.4	34.8	36.8	1.9	22	22	0	
		8月	60.0	34.7	37.0	2.8	20	20	0	
		9月	75.4	35.5	37.1	3.3	13	13	0	
		10月	63.8	35.2	37.0	2.5	10	10	0	
		11月	82.4	35.2	38.6	5.4	21	21	0	
		12月	59.5	34.9	37.7	3.0	21	21	0	
		1月	88.5	35.4	38.8	5.1	12	12	0	
		2月	60.5	35.0	38.0	4.0	20	20	0	
		3月	56.0	35.0	38.5	4.3	21	21	0	
		年間	88.5	34.7	37.5	3.5	214	214	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間平均線量率(M)	月間標準偏差(σ)	M+3σをこえた時間	M+3σをこえた時間と原因		過去平均線量率
								降雨	その他	
高浜	音海A	4月	66.4	37.4	39.4	3.0	15	15	0	39.8
		5月	63.3	37.2	39.2	2.5	19	19	0	
		6月	65.5	37.6	39.4	2.6	14	14	0	
		7月	55.3	37.4	39.1	1.9	19	19	0	
		8月	60.5	37.1	39.2	2.8	20	20	0	
		9月	82.6	37.7	39.6	3.6	14	14	0	
		10月	65.9	37.4	39.5	2.8	12	12	0	
		11月	87.9	37.2	41.2	5.8	20	20	0	
		12月	61.4	37.3	40.9	3.4	21	21	0	
		1月	101.7	38.2	43.0	6.0	10	10	0	
		2月	78.7	38.7	42.1	5.2	15	15	0	
		3月	70.4	38.6	42.6	5.4	22	22	0	
		年間	101.7	37.1	40.4	4.2	201	201	0	
神野浦	神野浦A	4月	44.3	25.3	27.1	2.7	24	24	0	27.6
		5月	48.2	25.1	26.8	2.1	18	18	0	
		6月	50.7	25.5	27.1	2.2	12	12	0	
		7月	41.0	25.2	26.7	1.6	22	22	0	
		8月	47.3	24.8	26.8	2.3	20	20	0	
		9月	67.4	25.6	27.3	3.0	12	12	0	
		10月	54.6	25.3	27.1	2.6	11	11	0	
		11月	83.3	25.2	29.0	6.3	21	21	0	
		12月	50.6	24.5	28.0	3.5	17	17	0	
		1月	78.3	25.4	29.2	5.6	13	13	0	
		2月	54.5	25.1	28.2	4.2	22	22	0	
		3月	52.1	25.1	29.0	5.1	19	19	0	
		年間	83.3	24.5	27.7	3.8	211	211	0	
山中	山中A	4月	44.5	24.4	26.3	3.0	21	21	0	26.8
		5月	48.0	24.1	26.0	2.5	17	17	0	
		6月	52.2	24.3	26.2	2.6	13	13	0	
		7月	43.6	24.1	26.0	2.1	19	19	0	
		8月	49.0	23.9	26.2	2.9	18	18	0	
		9月	62.3	24.1	26.2	3.5	14	14	0	
		10月	56.8	24.0	26.2	2.8	11	11	0	
		11月	74.5	24.0	28.4	6.3	19	19	0	
		12月	48.4	20.5	27.0	3.5	17	17	0	
		1月	84.1	21.0	27.8	6.0	14	14	0	
		2月	48.7	22.1	27.3	4.0	23	23	0	
		3月	50.7	24.4	28.3	4.8	20	20	0	
		年間	84.1	20.5	26.8	4.0	206	206	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	ふげん北D	4月	74.3	54.5	57.3	2.3	21	21	0	61.5
		5月	77.3	54.7	58.4	2.7	20	20	0	
		6月	87.4	55.5	59.4	2.7	11	11	0	
		7月	80.6	54.6	57.9	2.3	17	17	0	
		8月	80.8	55.5	58.4	2.6	19	19	0	
		9月	95.6	56.6	60.8	3.5	13	13	0	
		10月	69.1	56.2	59.3	1.5	19	19	0	
		11月	87.2	56.1	58.9	2.9	13	13	0	
		12月	77.9	55.3	59.5	3.8	15	15	0	
		1月	90.3	50.6	59.6	5.8	15	15	0	
		2月	78.8	54.6	58.2	3.7	18	18	0	
		3月	86.0	55.2	58.7	4.6	16	16	0	
		年間	95.6	50.6	58.8	3.5	197	197	0	
		立石B	立石B	4月	98.1	84.8	88.2	1.8	7	
5月	100.0			86.3	91.4	1.9	5	5	0	
6月	101.0			86.4	91.8	1.7	8	6	2	
7月	96.6			86.7	89.7	1.5	6	5	1	
8月	99.2			86.9	89.7	1.6	8	8	0	
9月	107.6			89.7	93.1	2.0	11	11	0	
10月	97.4			87.7	92.5	2.0	0	0	0	
11月	101.8			85.8	89.4	2.0	8	8	0	
12月	98.2			84.9	88.5	2.0	11	11	0	
1月	110.0			81.6	87.5	3.3	10	10	0	
2月	99.4			83.7	86.8	1.9	15	15	0	
3月	99.9			84.5	87.2	2.1	21	21	0	
年間	110.0			81.6	89.7	2.9	110	107	3	
立石山頂B	立石山頂B			4月	94.9	72.6	75.8	2.7	18	18
		5月	96.8	72.3	77.0	3.3	22	22	0	
		6月	110.0	74.3	78.6	3.3	12	12	0	
		7月	98.1	73.1	76.8	2.9	18	18	0	
		8月	101.4	72.4	76.7	3.4	20	20	0	
		9月	121.4	76.0	80.3	4.2	16	16	0	
		10月	92.3	74.7	79.1	2.3	16	16	0	
		11月	117.4	74.3	78.9	4.0	13	13	0	
		12月	103.0	74.9	80.2	3.9	18	18	0	
		1月	124.8	68.2	79.1	6.8	16	16	0	
		2月	113.0	74.0	78.5	4.8	19	19	0	
		3月	104.9	73.5	78.8	5.3	14	14	0	
		年間	124.8	68.2	78.3	4.3	202	202	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	ぶんげん西D	4月	61.3	34.8	37.5	3.1	25	25	0	38.8
		5月	66.3	34.8	38.2	3.9	19	19	0	
		6月	76.3	36.0	38.8	3.7	13	13	0	
		7月	68.2	35.6	38.4	3.2	18	18	0	
		8月	68.3	35.6	38.6	3.9	21	21	0	
		9月	84.8	37.0	39.8	4.5	16	16	0	
		10月	55.4	35.9	38.6	2.0	19	19	0	
		11月	78.1	35.2	38.4	4.3	15	15	0	
		12月	60.8	34.2	38.4	4.1	22	22	0	
		1月	90.3	28.8	38.4	7.4	15	15	0	
		2月	67.4	33.1	37.0	5.0	23	23	0	
		3月	68.6	33.4	37.7	6.0	16	16	0	
		年間	90.3	28.8	38.3	4.5	222	222	0	
		猪ヶ池	池B	4月	99.8	73.9	78.0	3.2	20	
5月	109.0			74.2	78.5	4.2	18	18	0	
6月	127.0			75.5	80.2	4.0	13	13	0	
7月	104.0			74.4	78.6	3.3	18	18	0	
8月	110.4			74.3	79.0	4.0	20	20	0	
9月	126.7			76.3	81.5	4.8	15	15	0	
10月	96.3			75.3	79.8	2.4	17	17	0	
11月	119.3			74.8	79.7	4.2	14	14	0	
12月	104.0			72.8	80.7	5.0	15	15	0	
1月	127.2			61.3	79.8	9.4	12	12	0	
2月	119.0			73.5	79.2	5.3	16	16	0	
3月	107.7			74.3	79.5	6.0	17	17	0	
年間	127.2			61.3	79.6	5.0	195	195	0	
浦底	底B			4月	106.0	75.1	78.4	3.2	18	18
		5月	104.0	75.3	79.2	3.4	19	19	0	
		6月	113.0	76.5	80.0	3.2	15	15	0	
		7月	96.0	75.8	78.7	2.6	20	20	0	
		8月	106.5	75.6	79.5	3.4	22	22	0	
		9月	114.3	77.1	81.3	3.8	15	15	0	
		10月	98.0	76.3	80.5	2.1	14	14	0	
		11月	111.9	71.8	78.3	4.6	10	10	0	
		12月	97.5	66.8	75.6	4.6	14	14	0	
		1月	113.9	58.3	75.1	9.3	9	9	0	
		2月	108.0	68.7	74.4	4.8	17	17	0	
		3月	99.7	70.7	75.1	5.3	18	18	0	
		年間	114.3	58.3	78.0	5.1	191	191	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	水試裏B	4月	99.4	73.4	77.3	3.2	22	22	0	79.9
		5月	105.0	73.5	78.6	3.8	19	19	0	
		6月	123.0	74.7	80.5	3.5	13	13	0	
		7月	100.0	74.5	78.4	3.0	17	17	0	
		8月	108.8	74.2	78.7	3.7	18	18	0	
		9月	118.4	76.9	81.7	4.1	14	14	0	
		10月	92.4	75.0	80.6	2.2	13	13	0	
		11月	113.2	75.0	80.2	3.7	11	11	0	
		12月	103.0	72.4	79.9	4.6	14	14	0	
		1月	119.3	63.1	78.9	8.8	13	13	0	
		2月	114.0	73.7	78.2	5.1	17	17	0	
		3月	107.6	73.5	78.6	6.0	16	16	0	
		年間	123.0	63.1	79.3	4.8	187	187	0	
色ヶ浜B	色ヶ浜B	4月	102.0	79.0	81.9	2.6	18	18	0	80.4
		5月	102.0	79.3	82.0	2.8	22	22	0	
		6月	109.0	79.7	82.5	2.7	17	17	0	
		7月	96.9	79.5	81.9	2.2	20	20	0	
		8月	103.5	79.0	82.1	2.7	22	22	0	
		9月	110.8	80.5	83.1	3.2	14	14	0	
		10月	96.4	79.8	82.7	1.6	16	16	0	
		11月	107.8	76.5	82.4	3.3	14	14	0	
		12月	99.4	72.2	80.3	4.1	10	10	0	
		1月	115.0	64.5	80.5	8.4	10	10	0	
		2月	107.0	74.6	79.3	4.2	16	16	0	
		3月	99.5	75.6	79.6	4.6	15	15	0	
		年間	115.0	64.5	81.6	4.1	194	194	0	
沓D	沓D	4月	73.8	52.7	56.4	2.7	17	17	0	59.7
		5月	84.8	52.7	56.7	3.7	21	21	0	
		6月	87.3	54.1	57.7	3.3	15	15	0	
		7月	84.6	52.6	56.3	2.7	13	13	0	
		8月	80.7	52.9	56.7	2.9	16	16	0	
		9月	90.5	54.9	58.8	3.7	15	15	0	
		10月	71.2	52.3	56.5	2.1	13	13	0	
		11月	78.6	52.4	56.0	3.0	17	17	0	
		12月	81.8	43.6	55.8	5.7	21	21	0	
		1月	99.5	37.1	54.5	10.0	9	9	0	
		2月	77.8	48.1	54.4	4.5	16	16	0	
		3月	84.1	48.2	54.9	5.3	18	18	0	
		年間	99.5	37.1	56.2	4.8	191	191	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	赤崎D	4月	64.4	47.2	49.7	2.3	28	28	0	50.5
		5月	78.2	47.5	50.0	3.1	16	16	0	
		6月	73.8	48.2	50.2	2.5	16	16	0	
		7月	68.0	47.6	49.6	2.0	16	16	0	
		8月	70.1	47.5	49.9	2.4	20	20	0	
		9月	78.3	47.8	50.2	3.0	14	14	0	
		10月	64.1	47.4	50.0	1.6	15	15	0	
		11月	71.2	47.6	50.0	2.5	21	21	0	
		12月	74.5	42.5	50.5	4.5	17	17	0	
		1月	93.8	38.2	50.8	8.0	10	10	0	
		2月	71.3	46.7	50.3	4.0	21	21	0	
		3月	75.5	43.9	50.4	4.7	21	21	0	
		年間	93.8	38.2	50.1	3.8	215	215	0	
五幡B	五幡B	4月	66.2	44.1	47.0	2.8	27	27	0	46.9
		5月	80.2	44.6	47.2	3.7	20	20	0	
		6月	73.1	44.8	47.3	2.9	18	18	0	
		7月	64.9	44.5	47.1	2.3	19	19	0	
		8月	71.1	44.8	47.8	3.0	24	24	0	
		9月	83.7	45.3	48.0	3.7	14	14	0	
		10月	62.5	45.2	47.6	1.7	16	16	0	
		11月	72.5	44.1	47.6	3.0	17	17	0	
		12月	80.2	41.4	47.9	5.1	20	20	0	
		1月	85.5	37.2	48.4	7.0	7	7	0	
		2月	70.4	43.3	47.3	4.4	17	17	0	
		3月	75.4	42.6	47.9	5.3	19	19	0	
		年間	85.5	37.2	47.6	4.0	218	218	0	
阿曾D	阿曾D	4月	69.2	46.3	48.9	2.9	25	25	0	49.5
		5月	79.7	46.6	49.0	3.7	19	19	0	
		6月	75.2	46.4	49.1	2.9	20	20	0	
		7月	66.0	45.6	48.3	2.4	20	20	0	
		8月	76.6	46.0	48.7	3.4	23	23	0	
		9月	81.0	47.0	49.6	3.6	15	15	0	
		10月	63.8	46.6	48.6	1.7	15	15	0	
		11月	75.2	45.8	48.4	2.9	16	16	0	
		12月	69.9	41.3	49.2	4.9	15	15	0	
		1月	99.6	35.1	49.4	9.0	8	8	0	
		2月	76.3	43.3	48.7	4.8	20	20	0	
		3月	76.9	41.8	49.1	5.5	22	22	0	
		年間	99.6	35.1	48.9	4.4	218	218	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	杉津B	4月	75.7	48.6	52.3	3.2	24	24	0	52.1
		5月	81.8	49.5	52.6	3.8	21	21	0	
		6月	82.5	50.1	52.9	3.2	16	16	0	
		7月	73.4	49.7	52.0	2.7	18	18	0	
		8月	84.0	49.3	52.5	3.6	22	22	0	
		9月	89.1	50.5	53.7	4.2	14	14	0	
		10月	67.5	49.5	53.3	1.8	12	12	0	
		11月	83.1	48.2	52.9	3.5	14	14	0	
		12月	78.7	45.4	52.3	4.9	13	13	0	
		1月	88.9	39.2	52.5	8.3	10	10	0	
		2月	74.8	45.4	51.2	4.8	19	19	0	
		3月	78.7	46.3	51.8	5.6	18	18	0	
		年間	89.1	39.2	52.5	4.5	201	201	0	
甲楽城B	甲楽城B	4月	60.9	41.3	45.0	2.4	23	23	0	44.8
		5月	71.9	42.9	45.2	3.2	18	18	0	
		6月	72.1	42.5	45.1	3.1	16	16	0	
		7月	60.0	42.2	44.4	2.3	22	22	0	
		8月	64.4	42.2	44.6	2.2	16	16	0	
		9月	75.1	43.0	45.3	3.4	15	15	0	
		10月	57.6	43.0	45.2	1.6	17	17	0	
		11月	70.1	41.8	45.4	3.2	13	13	0	
		12月	62.7	40.9	45.0	3.5	14	14	0	
		1月	76.8	40.2	46.1	5.8	22	22	0	
		2月	68.1	40.0	44.5	4.0	26	26	0	
		3月	63.8	41.1	45.1	4.6	18	18	0	
		年間	76.8	40.0	45.1	3.5	220	220	0	
今庄B	今庄B	4月	57.9	36.2	39.2	2.5	15	15	0	39.9
		5月	58.5	36.5	39.7	2.8	18	18	0	
		6月	64.2	36.7	40.0	2.7	11	11	0	
		7月	51.9	36.8	39.6	2.2	17	17	0	
		8月	63.0	36.8	40.4	2.9	18	18	0	
		9月	64.1	37.2	41.1	3.2	15	15	0	
		10月	57.8	36.5	40.0	2.0	7	7	0	
		11月	58.9	36.0	39.7	3.0	16	16	0	
		12月	64.2	25.3	38.2	5.2	10	10	0	
		1月	60.0	24.1	35.3	6.2	11	11	0	
		2月	61.4	24.5	34.6	5.1	9	9	0	
		3月	59.3	33.7	39.5	4.4	13	13	0	
		年間	64.2	24.1	39.0	4.2	160	160	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間平均線量率(M)	月間標準偏差(σ)	M+3σをこえた時間	M+3σをこえた時間と原因		過去平均線量率
								降雨	その他	
敦賀	越前厨D	4月	50.4	35.7	38.2	2.3	28	28	0	40.8
		5月	70.6	36.1	38.7	3.6	17	17	0	
		6月	67.6	36.5	39.4	3.1	18	18	0	
		7月	66.1	36.2	38.6	2.9	19	19	0	
		8月	62.3	36.0	38.5	2.4	20	20	0	
		9月	64.6	36.9	39.7	3.0	17	17	0	
		10月	52.5	36.2	39.0	1.9	15	15	0	
		11月	60.6	35.9	38.9	3.2	18	18	0	
		12月	61.6	35.7	39.7	4.0	14	14	0	
		1月	72.0	27.3	39.3	6.4	13	13	0	
		2月	59.1	35.6	38.9	3.9	20	20	0	
		3月	65.9	35.1	39.3	4.8	22	22	0	
		年間	72.0	27.3	39.0	3.7	221	221	0	
白木	松ヶ崎D	4月	76.2	56.2	59.5	2.5	24	24	0	63.8
		5月	86.3	56.6	59.7	3.3	18	18	0	
		6月	88.8	56.9	60.2	2.9	13	13	0	
		7月	83.7	56.6	59.5	2.5	15	15	0	
		8月	86.7	56.3	59.6	2.9	19	19	0	
		9月	94.2	57.6	61.5	4.0	13	13	0	
		10月	74.4	60.0	63.2	1.7	16	16	0	
		11月	87.9	60.0	63.1	3.1	15	15	0	
		12月	86.6	59.5	63.9	4.0	15	15	0	
		1月	101.7	51.0	64.6	6.9	14	14	0	
		2月	88.3	59.8	63.3	4.0	19	19	0	
		3月	92.4	59.7	64.0	5.3	21	21	0	
		年間	101.7	51.0	61.8	4.3	202	202	0	
白木	I D	4月	82.5	61.1	64.2	2.6	24	24	0	67.4
		5月	88.7	60.0	64.4	3.1	18	18	0	
		6月	95.0	61.7	65.5	2.8	10	10	0	
		7月	90.4	60.6	64.2	2.6	16	16	0	
		8月	93.2	59.4	63.7	3.3	18	18	0	
		9月	101.3	63.7	67.1	3.6	14	14	0	
		10月	75.4	62.6	67.0	1.7	9	9	0	
		11月	92.6	63.1	67.3	3.0	15	15	0	
		12月	84.2	59.5	66.4	3.5	17	17	0	
		1月	94.8	51.8	64.2	6.6	11	11	0	
		2月	87.2	59.7	64.1	3.7	22	22	0	
		3月	94.5	59.5	64.3	4.6	18	18	0	
		年間	101.3	51.8	65.2	3.9	192	192	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
白木	白木IID	4月	57.4	34.6	37.4	3.3	28	28	0	39.8
		5月	69.6	34.7	37.7	4.1	20	20	0	
		6月	76.9	35.3	38.2	3.8	13	13	0	
		7月	71.0	34.4	37.7	3.5	19	19	0	
		8月	75.9	34.1	37.7	4.3	20	20	0	
		9月	88.3	36.4	39.8	4.9	14	14	0	
		10月	59.6	36.1	39.3	2.3	16	16	0	
		11月	72.0	36.0	39.6	4.3	17	17	0	
		12月	59.7	31.0	39.2	4.4	12	12	0	
		1月	98.3	25.9	38.4	8.4	10	10	0	
		2月	67.7	31.4	37.4	5.2	21	21	0	
		3月	78.5	32.6	38.4	6.3	18	18	0	
		年間	98.3	25.9	38.4	4.9	208	208	0	
		白木	白木IIID	4月	70.1	51.0	54.2	2.5	24	
5月	80.7			50.3	53.9	3.2	19	19	0	
6月	84.7			51.7	54.6	3.0	14	14	0	
7月	80.6			49.9	53.4	2.7	18	18	0	
8月	84.5			49.8	53.1	3.3	18	18	0	
9月	90.9			51.8	55.2	3.9	15	15	0	
10月	67.6			51.7	54.9	1.9	13	13	0	
11月	76.3			52.1	56.5	3.3	21	21	0	
12月	73.7			46.0	56.1	4.2	10	10	0	
1月	96.7			41.1	55.2	7.4	7	7	0	
2月	80.4			47.7	54.3	4.1	18	18	0	
3月	88.0			50.2	54.9	5.1	21	21	0	
年間	96.7			41.1	54.7	4.1	198	198	0	
白木	白木IIVD			4月	61.5	41.0	44.2	2.7	25	25
		5月	72.8	41.4	44.9	3.5	19	19	0	
		6月	78.4	42.5	45.7	3.2	13	13	0	
		7月	70.4	41.1	44.8	2.9	18	18	0	
		8月	76.0	40.8	44.3	3.4	19	19	0	
		9月	83.0	43.1	46.5	4.0	15	15	0	
		10月	57.4	42.9	45.9	1.8	14	14	0	
		11月	68.8	42.4	45.7	3.2	17	17	0	
		12月	62.7	37.8	45.5	3.5	17	17	0	
		1月	80.9	32.8	44.7	7.0	12	12	0	
		2月	68.3	38.8	43.8	4.0	21	21	0	
		3月	75.8	40.1	44.6	5.1	17	17	0	
		年間	83.0	32.8	45.0	4.0	207	207	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	奥浦C	4月	76.8	56.5	59.4	2.5	20	20	0	62.5
		5月	81.4	56.2	59.8	3.3	19	19	0	
		6月	92.4	57.6	60.6	3.1	11	11	0	
		7月	82.8	56.3	59.6	2.7	18	18	0	
		8月	85.6	56.1	59.6	3.0	17	17	0	
		9月	98.0	57.1	61.0	3.9	13	13	0	
		10月	84.0	56.2	59.7	2.3	16	16	0	
		11月	83.2	56.8	59.7	3.3	21	21	0	
		12月	82.4	56.2	60.6	4.5	18	18	0	
		1月	103.1	55.8	61.9	7.4	13	13	0	
		2月	94.9	55.9	59.5	4.5	16	16	0	
		3月	87.3	55.3	60.0	5.8	21	21	0	
		年間	103.1	55.3	60.1	4.4	203	203	0	
丹生C	丹生C	4月	66.8	49.3	52.2	2.2	21	21	0	52.7
		5月	71.5	49.2	52.2	2.7	19	19	0	
		6月	76.8	50.1	52.9	2.5	14	14	0	
		7月	70.9	50.4	52.7	2.2	18	18	0	
		8月	70.7	49.7	52.5	2.3	17	17	0	
		9月	79.4	49.0	51.7	3.0	12	12	0	
		10月	68.1	48.7	51.2	1.7	14	14	0	
		11月	68.9	49.1	51.9	2.7	22	22	0	
		12月	67.3	48.3	53.0	3.5	17	17	0	
		1月	87.0	47.8	54.1	6.0	15	15	0	
		2月	76.2	48.7	52.4	3.6	15	15	0	
		3月	75.7	48.4	52.9	4.6	24	24	0	
		年間	87.0	47.8	52.5	3.0	208	208	0	
丹生寮C	丹生寮C	4月	64.1	44.7	47.8	2.5	22	22	0	56.2
		5月	67.5	44.6	48.2	3.0	19	19	0	
		6月	75.1	45.8	48.6	2.6	13	13	0	
		7月	67.4	45.6	48.3	2.5	18	18	0	
		8月	69.6	45.0	48.3	2.6	18	18	0	
		9月	80.4	45.7	48.2	3.2	13	13	0	
		10月	73.0	45.5	47.6	2.2	14	14	0	
		11月	70.2	45.0	48.0	3.1	20	20	0	
		12月	71.4	45.0	49.1	4.2	18	18	0	
		1月	81.1	43.6	50.6	6.9	20	20	0	
		2月	74.4	44.9	48.3	4.1	19	19	0	
		3月	74.2	44.9	49.2	5.3	18	18	0	
		年間	81.1	43.6	48.5	4.1	212	212	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	竹波C	4月	88.0	70.9	74.2	2.2	17	17	0	74.7
		5月	91.7	70.5	74.4	2.7	20	20	0	
		6月	101.0	72.3	75.3	2.6	12	12	0	
		7月	90.8	71.6	74.3	2.2	18	18	0	
		8月	93.7	71.0	74.5	2.4	16	16	0	
		9月	102.7	71.5	75.0	2.9	14	14	0	
		10月	91.9	70.2	73.7	2.0	13	13	0	
		11月	93.0	71.1	73.7	2.5	20	20	0	
		12月	93.1	68.4	74.5	3.8	18	18	0	
		1月	106.2	69.9	75.3	6.1	19	19	0	
		2月	93.2	69.9	73.6	3.4	17	17	0	
		3月	97.4	68.8	74.0	4.7	19	19	0	
		年間	106.2	68.4	74.4	2.8	203	203	0	
		菅浜	菅浜C	4月	49.8	34.4	37.1	2.1	26	
5月	58.3			34.6	37.3	2.9	17	17	0	
6月	63.2			34.4	37.3	2.8	12	12	0	
7月	53.7			34.6	37.1	2.1	23	23	0	
8月	55.6			34.6	37.1	2.3	18	18	0	
9月	71.8			35.0	37.2	3.2	15	15	0	
10月	52.5			35.0	37.1	1.9	13	13	0	
11月	55.9			34.1	36.7	2.3	21	21	0	
12月	55.4			32.9	37.8	3.6	12	12	0	
1月	67.7			34.1	39.8	5.6	17	17	0	
2月	58.0			33.3	37.6	3.5	15	15	0	
3月	61.9			33.7	38.0	4.3	23	23	0	
年間	71.8			32.9	37.5	3.4	212	212	0	
佐田	佐田C			4月	65.9	52.5	54.4	2.0	28	28
		5月	70.8	52.2	54.5	2.3	21	21	0	
		6月	76.9	52.4	54.6	2.4	13	13	0	
		7月	66.1	52.7	54.5	1.8	25	25	0	
		8月	72.9	52.7	54.6	2.2	19	19	0	
		9月	80.2	52.9	54.7	2.7	15	15	0	
		10月	67.8	51.7	54.6	1.6	18	18	0	
		11月	73.1	51.9	54.0	2.3	23	23	0	
		12月	73.3	47.5	54.7	3.5	19	19	0	
		1月	87.5	50.0	56.2	5.6	18	18	0	
		2月	74.9	51.8	54.7	3.1	17	17	0	
		3月	74.4	51.5	55.0	3.9	19	19	0	
		年間	87.5	47.5	54.7	3.2	235	235	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	新庄C	4月	78.5	58.6	61.0	2.3	19	19	0	61.2
		5月	79.6	58.6	61.2	2.5	21	21	0	
		6月	83.6	58.3	61.5	2.3	14	14	0	
		7月	77.2	58.0	61.0	1.8	15	15	0	
		8月	79.8	58.7	61.5	2.2	16	16	0	
		9月	84.0	59.2	62.3	2.7	15	15	0	
		10月	80.8	58.6	61.7	1.9	10	10	0	
		11月	87.3	58.1	61.3	3.4	15	15	0	
		12月	82.4	47.8	60.4	4.9	9	9	0	
		1月	86.6	40.9	52.6	7.5	9	9	0	
		2月	84.0	48.5	59.2	4.9	13	13	0	
		3月	84.5	54.8	62.0	4.9	19	19	0	
		年間	87.3	40.9	60.5	4.2	175	175	0	
		郷市	郷市C	4月	53.0	33.0	35.4	2.6	26	
5月	60.0			32.6	35.4	3.4	19	19	0	
6月	63.5			33.0	35.6	3.1	14	14	0	
7月	51.6			33.0	35.6	2.5	24	24	0	
8月	60.0			33.1	35.9	2.9	15	15	0	
9月	75.3			33.5	36.2	3.9	14	14	0	
10月	60.8			33.4	36.0	2.7	13	13	0	
11月	62.9			33.1	36.0	3.5	22	22	0	
12月	64.2			29.2	36.7	4.7	12	12	0	
1月	83.3			29.4	38.5	8.0	23	23	0	
2月	63.5			31.0	36.4	4.3	19	19	0	
3月	67.7			32.3	37.3	5.4	16	16	0	
年間	83.3			29.2	36.3	3.8	217	217	0	
早瀬	早瀬C			4月	46.4	32.6	34.8	1.9	22	22
		5月	51.1	31.4	34.6	2.3	19	19	0	
		6月	54.4	32.2	35.1	2.1	12	12	0	
		7月	45.1	32.6	34.8	1.7	21	21	0	
		8月	48.5	30.5	34.9	1.9	16	16	0	
		9月	60.8	33.2	35.5	2.7	15	15	0	
		10月	58.5	32.6	35.2	2.2	11	11	0	
		11月	56.4	32.1	35.0	2.7	21	21	0	
		12月	58.1	29.4	35.3	3.2	14	14	0	
		1月	68.3	30.2	36.9	5.6	21	21	0	
		2月	53.4	31.7	35.2	3.0	15	15	0	
		3月	56.4	31.3	35.7	3.7	17	17	0	
		年間	68.3	29.4	35.3	2.3	204	204	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	日向C	4月	53.7	39.1	41.0	2.2	26	26	0	41.9
		5月	62.5	39.1	41.2	2.8	17	17	0	
		6月	66.0	39.3	41.2	2.6	12	12	0	
		7月	52.6	39.2	41.1	1.9	26	26	0	
		8月	60.1	39.1	41.2	2.2	20	20	0	
		9月	72.0	39.3	41.3	3.1	16	16	0	
		10月	67.0	39.0	41.2	2.1	11	11	0	
		11月	62.3	39.3	41.6	2.8	24	24	0	
		12月	69.2	37.9	42.2	3.6	14	14	0	
		1月	81.0	38.6	44.4	6.2	15	15	0	
		2月	64.0	39.2	42.1	3.5	16	16	0	
		3月	67.1	39.2	42.7	4.4	18	18	0	
		年間	81.0	37.9	41.8	3.0	215	215	0	
	三方C	4月	45.0	28.4	30.9	2.5	25	25	0	32.1
		5月	53.5	26.2	31.0	3.0	17	17	0	
		6月	61.2	28.7	31.2	2.9	15	15	0	
		7月	48.2	28.7	31.2	2.2	18	18	0	
		8月	54.8	28.5	31.4	2.8	16	16	0	
		9月	65.4	28.7	31.7	3.8	16	16	0	
		10月	66.5	28.7	31.5	2.9	10	10	0	
		11月	60.7	28.7	31.7	4.2	23	23	0	
		12月	63.4	26.8	32.2	4.5	23	23	0	
		1月	83.1	22.2	31.4	8.4	20	20	0	
2月		58.5	27.2	31.8	4.3	18	18	0		
3月		57.8	28.1	32.7	5.5	20	20	0		
年間		83.1	22.2	31.6	3.9	221	221	0		
大飯	宮留C	4月	63.0	37.4	39.4	2.9	19	19	0	40.1
		5月	69.8	37.3	39.4	3.1	19	19	0	
		6月	72.4	37.3	39.7	3.4	15	15	0	
		7月	62.0	37.4	39.4	2.8	22	22	0	
		8月	66.2	37.1	39.3	3.5	17	17	0	
		9月	95.5	37.5	39.7	4.6	14	14	0	
		10月	74.2	37.3	39.9	3.5	13	13	0	
		11月	104.8	37.2	41.1	6.2	14	14	0	
		12月	73.5	36.8	40.6	3.7	17	17	0	
		1月	79.1	37.4	41.8	5.7	19	19	0	
		2月	112.7	37.3	40.8	6.3	16	16	0	
		3月	67.2	37.2	41.2	5.6	15	15	0	
		年間	112.7	36.8	40.2	4.4	200	200	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	日角浜C	4月	64.5	35.2	37.5	3.0	15	15	0	38.1
		5月	67.7	35.0	37.3	3.0	18	18	0	
		6月	69.8	34.5	38.0	3.3	15	15	0	
		7月	57.2	35.1	37.6	2.7	20	20	0	
		8月	62.9	35.0	37.6	3.4	17	17	0	
		9月	100.2	35.5	38.0	4.7	14	14	0	
		10月	72.3	35.2	38.1	3.6	12	12	0	
		11月	105.6	35.1	39.2	6.5	16	16	0	
		12月	70.2	34.9	38.5	3.9	16	16	0	
		1月	68.0	35.3	39.6	5.1	18	18	0	
		2月	112.3	35.0	38.8	6.6	14	14	0	
		3月	65.0	34.8	39.4	5.7	12	12	0	
		年間	112.3	34.5	38.3	4.4	187	187	0	
本郷	C	4月	59.1	39.9	42.0	2.4	22	22	0	43.0
		5月	63.3	39.5	42.0	2.3	22	22	0	
		6月	67.5	40.1	42.4	2.6	14	14	0	
		7月	56.8	40.2	42.2	2.1	17	17	0	
		8月	67.8	39.4	42.6	2.9	17	17	0	
		9月	80.4	40.3	42.7	3.7	14	14	0	
		10月	80.2	40.3	42.8	3.4	10	10	0	
		11月	100.2	39.6	44.3	6.3	14	14	0	
		12月	75.0	38.3	43.2	4.1	18	18	0	
		1月	116.7	40.3	44.5	6.6	8	8	0	
		2月	79.0	40.3	43.7	5.1	19	19	0	
		3月	70.9	39.9	44.3	5.3	19	19	0	
		年間	116.7	38.3	43.1	3.7	194	194	0	
加斗	C	4月	63.8	43.0	46.1	2.7	21	21	0	47.2
		5月	75.1	43.2	46.2	3.0	20	20	0	
		6月	75.6	43.5	46.6	3.0	15	15	0	
		7月	69.4	43.3	46.2	2.7	16	16	0	
		8月	76.5	43.5	46.4	3.7	21	21	0	
		9月	107.2	43.0	47.0	4.9	13	13	0	
		10月	83.3	43.4	46.7	3.5	12	12	0	
		11月	114.3	43.2	47.9	6.9	12	12	0	
		12月	75.2	40.5	47.0	4.1	16	16	0	
		1月	106.3	43.6	48.1	6.0	12	12	0	
		2月	98.7	43.4	47.5	5.9	20	20	0	
		3月	74.6	43.3	48.0	5.9	18	18	0	
		年間	114.3	40.5	47.0	4.3	196	196	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	小浜C	4月	68.9	43.5	46.4	3.0	18	18	0	47.8
		5月	75.3	43.4	46.3	2.9	17	17	0	
		6月	77.3	44.0	47.1	3.2	15	15	0	
		7月	65.8	43.7	46.5	2.7	17	17	0	
		8月	79.2	42.9	46.6	3.7	15	15	0	
		9月	108.8	43.0	47.5	5.2	15	15	0	
		10月	76.8	43.9	47.1	3.4	16	16	0	
		11月	110.4	43.9	48.1	6.8	13	13	0	
		12月	79.8	43.1	47.5	4.3	15	15	0	
		1月	89.9	43.0	48.4	5.7	16	16	0	
		2月	100.0	43.1	47.6	5.7	18	18	0	
		3月	79.1	42.6	48.2	6.3	20	20	0	
		年間	110.4	42.6	47.3	4.3	195	195	0	
西津	C	4月	54.1	33.7	36.0	2.6	19	19	0	36.5
		5月	63.4	33.5	36.0	2.8	16	16	0	
		6月	63.7	32.8	35.5	3.0	11	11	0	
		7月	48.2	32.9	35.0	2.2	20	20	0	
		8月	60.5	32.8	35.3	3.2	17	17	0	
		9月	72.2	33.0	35.5	4.1	15	15	0	
		10月	77.4	32.9	35.8	3.8	11	11	0	
		11月	93.8	32.8	37.0	6.3	17	17	0	
		12月	61.2	33.2	36.9	4.0	15	15	0	
		1月	100.0	33.1	38.5	6.9	14	14	0	
		2月	74.5	33.3	37.0	4.9	17	17	0	
		3月	73.1	33.3	37.8	5.9	18	18	0	
		年間	100.0	32.8	36.4	4.1	190	190	0	
堅海	C	4月	66.1	34.4	38.1	2.8	12	12	0	40.0
		5月	65.9	34.8	37.3	2.8	18	18	0	
		6月	70.9	35.2	39.3	3.4	13	13	0	
		7月	54.1	37.0	39.5	2.5	24	24	0	
		8月	63.3	37.1	39.9	3.1	20	20	0	
		9月	80.0	37.7	40.2	3.9	12	12	0	
		10月	85.7	36.5	40.1	4.1	12	12	0	
		11月	87.0	36.5	40.8	6.1	15	15	0	
		12月	62.2	37.0	40.3	3.7	21	21	0	
		1月	105.4	35.7	41.6	7.0	16	16	0	
		2月	69.5	36.1	40.3	4.9	18	18	0	
		3月	87.8	35.8	40.7	6.4	22	22	0	
		年間	105.4	34.4	39.8	4.9	203	203	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	川上C	4月	72.0	45.8	48.7	3.3	22	22	0	49.4
		5月	70.3	46.0	48.4	2.6	19	19	0	
		6月	75.0	46.0	48.8	2.5	12	12	0	
		7月	66.9	45.8	48.5	2.4	15	15	0	
		8月	76.1	45.8	49.4	3.6	20	20	0	
		9月	83.4	46.0	49.1	3.9	18	18	0	
		10月	85.2	45.8	48.9	3.5	13	13	0	
		11月	104.5	46.1	51.6	8.3	23	23	0	
		12月	89.8	44.7	49.8	4.7	15	15	0	
		1月	104.2	42.9	50.6	6.5	12	12	0	
		2月	79.3	43.1	50.1	5.6	19	19	0	
		3月	79.7	43.6	50.8	5.7	15	15	0	
		年間	104.5	42.9	49.6	4.2	203	203	0	
鹿野	C	4月	65.4	39.1	42.1	3.4	22	22	0	43.2
		5月	65.3	39.4	42.0	3.0	18	18	0	
		6月	70.0	39.6	42.4	3.1	13	13	0	
		7月	62.2	39.3	41.7	2.7	14	14	0	
		8月	73.0	39.0	42.4	3.6	19	19	0	
		9月	86.8	39.5	42.6	4.5	16	16	0	
		10月	92.5	39.2	42.3	4.6	11	11	0	
		11月	106.9	39.2	44.6	8.8	19	19	0	
		12月	75.6	36.6	42.6	4.8	23	23	0	
		1月	137.7	38.4	44.0	8.2	7	7	0	
		2月	82.4	35.0	43.3	6.4	18	18	0	
		3月	72.5	39.1	44.1	6.3	20	20	0	
		年間	137.7	35.0	42.8	5.6	200	200	0	
名田庄	C	4月	56.1	40.8	43.7	2.7	20	20	0	44.9
		5月	62.1	40.9	43.8	2.9	19	19	0	
		6月	68.3	41.0	44.7	3.1	10	10	0	
		7月	66.4	41.6	44.3	2.8	11	11	0	
		8月	75.4	40.6	45.2	4.2	16	16	0	
		9月	84.2	41.0	45.0	4.1	16	16	0	
		10月	71.4	41.1	44.8	3.4	11	11	0	
		11月	92.1	40.8	46.5	6.5	16	16	0	
		12月	74.2	39.0	45.2	4.5	18	18	0	
		1月	83.9	37.8	45.7	5.4	15	15	0	
		2月	66.4	36.1	45.0	5.0	16	16	0	
		3月	73.9	37.8	45.3	5.5	20	20	0	
		年間	92.1	36.1	44.9	4.7	188	188	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	上中C	4月	54.7	34.0	36.3	2.8	25	25	0	37.0
		5月	63.8	33.6	36.1	3.0	19	19	0	
		6月	67.3	34.0	36.3	3.2	15	15	0	
		7月	56.1	34.0	36.1	2.6	21	21	0	
		8月	67.0	33.8	36.4	3.6	20	20	0	
		9月	77.9	33.9	36.6	4.1	14	14	0	
		10月	69.6	34.2	37.1	2.9	13	13	0	
		11月	76.9	34.1	38.1	5.0	20	20	0	
		12月	74.0	31.4	38.1	4.4	17	17	0	
		1月	71.5	33.6	39.3	5.8	22	22	0	
		2月	64.2	33.8	37.8	4.6	22	22	0	
		3月	65.8	32.1	38.7	5.8	19	19	0	
		年間	77.9	31.4	37.2	4.6	227	227	0	
高浜	音海C	4月	70.1	41.8	43.8	3.0	17	17	0	44.4
		5月	69.3	41.9	43.7	2.5	19	19	0	
		6月	70.6	41.9	44.1	2.6	14	14	0	
		7月	61.1	42.2	43.9	1.9	20	20	0	
		8月	65.3	40.9	43.7	2.7	21	21	0	
		9月	85.7	41.8	44.2	3.5	15	15	0	
		10月	71.3	41.9	44.0	2.8	13	13	0	
		11月	87.7	41.8	45.5	5.6	23	23	0	
		12月	65.6	41.9	44.6	3.1	21	21	0	
		1月	80.5	41.7	45.7	4.9	16	16	0	
		2月	78.3	41.8	44.8	4.6	19	19	0	
		3月	70.6	41.6	45.4	5.0	26	26	0	
		年間	87.7	40.9	44.4	4.2	224	224	0	
	田ノ浦C	4月	61.7	36.2	38.4	2.9	19	19	0	39.1
		5月	67.1	36.2	38.3	2.7	19	19	0	
		6月	69.9	36.7	38.7	2.9	14	14	0	
		7月	56.6	36.3	38.1	2.2	21	21	0	
		8月	64.5	35.7	38.1	3.3	18	18	0	
		9月	88.3	37.0	39.0	4.0	12	12	0	
		10月	73.6	36.4	38.6	3.0	9	9	0	
		11月	87.9	36.4	40.1	6.2	21	21	0	
		12月	63.9	35.4	38.9	3.4	22	22	0	
		1月	102.1	36.6	40.3	6.1	9	9	0	
		2月	67.4	35.9	39.3	4.8	21	21	0	
		3月	62.6	36.0	39.9	5.4	20	20	0	
		年間	102.1	35.4	39.0	3.8	205	205	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	小黒飯C	4月	55.8	35.1	37.3	2.8	23	23	0	38.0
		5月	64.4	35.2	37.2	2.5	17	17	0	
		6月	67.5	35.7	37.5	2.8	13	13	0	
		7月	54.4	35.2	37.1	2.2	22	22	0	
		8月	63.6	34.3	37.3	3.3	20	20	0	
		9月	81.1	35.4	37.6	3.8	14	14	0	
		10月	68.6	35.4	37.4	3.1	10	10	0	
		11月	89.8	35.1	39.2	6.6	20	20	0	
		12月	63.9	34.1	37.8	3.7	19	19	0	
		1月	93.0	34.9	39.3	6.1	14	14	0	
		2月	64.9	34.5	37.9	4.8	21	21	0	
		3月	58.9	34.2	38.3	5.1	20	20	0	
		年間	93.0	34.1	37.8	4.3	213	213	0	
		神野浦	神野浦C	4月	51.0	26.0	28.4	3.5	23	
5月	58.1			26.1	28.1	3.0	19	19	0	
6月	63.0			26.4	28.5	3.3	13	13	0	
7月	49.9			25.9	28.0	2.5	24	24	0	
8月	58.7			25.8	28.2	3.6	22	22	0	
9月	86.3			26.5	28.7	4.6	12	12	0	
10月	69.7			26.6	28.7	3.8	11	11	0	
11月	97.4			26.6	31.0	7.9	22	22	0	
12月	56.3			25.6	29.7	4.5	18	18	0	
1月	85.2			26.3	31.3	6.8	17	17	0	
2月	57.0			26.0	29.8	4.9	23	23	0	
3月	57.7			26.3	30.8	6.1	20	20	0	
年間	97.4			25.6	29.3	4.6	224	224	0	
日引	日引C			4月	65.2	33.5	35.5	3.2	18	18
		5月	62.1	33.5	35.3	2.6	19	19	0	
		6月	65.3	33.8	35.5	2.7	13	13	0	
		7月	53.8	33.5	35.2	2.1	20	20	0	
		8月	58.4	33.1	35.2	2.8	19	19	0	
		9月	74.8	33.8	35.6	3.5	13	13	0	
		10月	71.3	33.6	35.5	3.3	11	11	0	
		11月	89.1	33.5	37.3	6.5	22	22	0	
		12月	60.6	32.3	36.2	3.5	16	16	0	
		1月	103.4	32.8	37.8	6.5	16	16	0	
		2月	67.5	32.6	36.6	5.0	19	19	0	
		3月	63.2	33.5	37.5	5.6	20	20	0	
		年間	103.4	32.3	36.1	4.2	206	206	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	青郷C	4月	63.1	36.8	39.5	3.3	21	21	0	40.0
		5月	66.0	35.5	38.9	2.7	18	18	0	
		6月	67.5	36.5	38.9	3.0	14	14	0	
		7月	56.2	35.8	38.1	2.6	20	20	0	
		8月	62.3	35.9	38.5	3.3	20	20	0	
		9月	81.3	36.3	38.7	4.1	14	14	0	
		10月	74.4	35.8	38.7	3.4	12	12	0	
		11月	91.4	36.5	41.5	8.3	23	23	0	
		12月	74.3	35.4	40.3	4.6	18	18	0	
		1月	105.1	36.3	42.0	6.9	16	16	0	
		2月	70.8	36.1	41.0	5.1	23	23	0	
		3月	68.2	36.9	41.9	5.9	16	16	0	
		年間	105.1	35.4	39.8	5.1	215	215	0	
高浜	C	4月	54.6	34.0	36.2	2.7	23	23	0	36.5
		5月	57.0	33.9	36.1	2.2	18	18	0	
		6月	57.6	34.1	36.2	2.4	14	14	0	
		7月	50.9	33.9	36.0	2.0	17	17	0	
		8月	55.9	34.5	36.4	2.5	24	24	0	
		9月	71.4	34.0	36.2	3.3	14	14	0	
		10月	66.8	34.1	36.3	3.0	13	13	0	
		11月	88.8	34.1	37.9	6.0	17	17	0	
		12月	60.7	34.1	36.9	3.1	25	25	0	
		1月	96.4	34.4	38.0	5.3	8	8	0	
		2月	62.6	34.0	37.4	4.4	22	22	0	
		3月	58.1	34.0	38.0	4.6	17	17	0	
		年間	96.4	33.9	36.8	3.7	212	212	0	
和田	C	4月	60.7	34.7	36.7	2.7	16	16	0	37.0
		5月	60.3	34.7	36.5	2.3	16	16	0	
		6月	59.9	34.7	36.6	2.5	14	14	0	
		7月	52.0	34.2	36.3	2.1	20	20	0	
		8月	57.6	34.6	36.6	2.7	21	21	0	
		9月	81.8	34.7	36.7	3.7	14	14	0	
		10月	64.0	34.8	36.8	2.9	10	10	0	
		11月	94.3	34.7	38.4	6.0	13	13	0	
		12月	61.5	34.7	37.5	3.5	19	19	0	
		1月	96.3	35.2	38.7	5.6	11	11	0	
		2月	72.1	34.6	38.0	4.7	19	19	0	
		3月	58.8	34.6	38.6	5.0	22	22	0	
		年間	96.3	34.2	37.3	3.7	195	195	0	

過去平均線量率：2006～2008年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	田井C	4月	69.7	40.8	43.3	3.6	25	25	0	43.7
		5月	77.0	40.6	42.9	3.2	19	19	0	
		6月	74.6	40.2	43.1	3.1	14	14	0	
		7月	63.6	40.6	42.8	2.5	19	19	0	
		8月	68.2	40.2	43.0	3.3	21	21	0	
		9月	94.8	41.2	43.4	4.3	14	14	0	
		10月	82.5	41.0	43.1	3.2	9	9	0	
		11月	101.6	40.4	45.0	6.7	18	18	0	
		12月	73.7	39.5	44.0	4.1	19	19	0	
		1月	83.3	39.6	45.8	6.6	22	22	0	
		2月	79.5	40.0	44.3	5.3	19	19	0	
		3月	68.5	40.9	45.0	5.7	25	25	0	
		年間	101.6	39.5	43.8	4.6	224	224	0	
		夕潮台C	4月	45.5	28.3	30.4	2.5	22	22	
	5月		50.1	27.9	30.2	2.2	21	21	0	
	6月		55.2	28.4	30.6	2.7	11	11	0	
	7月		43.9	28.2	30.1	1.8	18	18	0	
	8月		47.9	27.9	30.4	2.6	20	20	0	
	9月		61.1	28.4	30.6	2.9	13	13	0	
	10月		49.7	28.0	30.7	2.3	13	13	0	
	11月		64.4	28.3	32.3	4.6	23	23	0	
	12月		50.3	28.2	31.1	2.7	19	19	0	
	1月		80.5	28.3	32.0	4.9	16	16	0	
2月	57.8		27.5	31.4	4.3	18	18	0		
3月	51.1		28.1	31.8	4.1	14	14	0		
年間	80.5	27.5	31.0	2.9	208	208	0			

過去平均線量率：2006～2008年度

<第8、9表に関する注釈>

- 第8、9表に示した結果は、1時間値を基に算出したものである。「M+3 σ 」を超えた時間数の年間値は、月間の時間数の和である。降雨には、降雪も含まれる。
参考として、過去平均線量率の欄に2006～2008年度の平均値（ただし積雪期の第4期を除く）を示した。
- 以下の地点では2006年度以降に観測局周辺の状況変化や測定装置更新等があり、測定値が若干変化した。

(1) 県（A）

①敦賀Aは、これまでの設置地点（敦賀市役所敷地内）に敦賀市防災センターが建設されるため、2006年5月9日に測定機器を撤去し、同地点の地上に設置した仮設モニタ（可搬型モニタリングポスト）による監視・測定を実施した。その後、移転先の福井県嶺南振興局敦賀合同庁舎敷地内の新局舎への測定機器の移設が完了したため、2006年5月16日より新局舎での測定を開始した。

参考として、地点移動前後の線量率の比較、および移設期間中の仮設モニタの測定結果を表1に示す。

表1 敦賀A局舎移転に伴う空間線量率測定結果

線量率単位：nGy/h

測定地点・種別	計算処理対象期間：2006年	最高値	最低値	平均線量率(M)	標準偏差(σ)	M+3 σ を超えた時間	M+3 σ を超えた原因とその時間	
							降雨	その他
旧局舎	1日1時～9日9時	75.4	59.2	61.4	2.6	5	5	0
新局舎	16日17時～31日24時	61.7	49.8	52.1	1.8	6	6	0
仮設MP	9日10時～16日16時	85.0	72.5	76.2	2.7	3	3	0

②音海Aは、2009年12月から2010年1月にかけて周辺でプール撤去工事が行われ、周辺環境が変化した。

(2) 関西電力（C）

①奥浦Cは、道路改良工事のため2007年10月から2008年6月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化した。

②丹生寮Cは、関電丹生寮の建て替えのため2008年1月から11月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化した。

③青郷Cは、青郷小学校体育館改修のため2009年5月から12月にかけて周辺で工事が行われ、その間周辺環境が変化するとともに線量率が変化した。

(3) 原子力機構（D）

①赤崎Dでは、2006年4月から9月にかけて、隣接する赤崎区民センターの改築により周辺環境が変化した。

3. 観測局の気象観測について

観測局に気象観測装置（雨量計、感雨計）が実装されている局、またはその近傍に併設されている局は表2のとおりである。

表2 気象観測装置実装局

地区	気 象 観 測 局 名 称					備 考
敦賀	敦 賀A	浦 底A	立 石A	河 野A	沓 D	*：線量率連続測定地点から幾分離れて気象観測装置が設置されているもの。
	赤 崎D	杉 津B	甲楽城B	今 庄B	越前厨D	
白木	白 木A	白木峠A	松ヶ崎D	—	—	
美浜	丹 生A	竹 波A	坂 尻A	竹 波C*	新 庄C*	
	郷 市C	三 方C*	—	—	—	
大飯	小 浜A	日角浜A	宮 留A	阿納尻A	長 井A	
	日角浜C	本 郷C	小 浜C	名田庄C*	上 中C*	
高浜	小黒飯A	音 海A	神野浦A	山 中A	神野浦C	
	高 浜C*	夕潮台C*	—	—	—	

気象観測装置が設置されていない局については、次表のように近くの地点で気象観測装置（雨量計と感雨計）が設置されている局で代用する。

表3 気象観測装置代用局一覧

測定地点	代用局	測定地点	代用局
ふげん北D	敦賀発電所気象露場	佐 田C	郷市C
立 石B		早 瀬C	
立石山頂B		日 向C	
ふげん西D		宮 留C	日角浜C
猪ヶ池B		川 上C	本郷C
浦 底B		鹿 野C	
水試裏B		加 斗C	小浜C
色ヶ浜B	西 津C		
五 幡B	杉津B	堅 海C	
阿 曾D	赤崎D		
白 木ID	もんじゅ気象露場	田ノ浦C	神野浦C
白 木IID		音 海C	
白 木IIID		小黒飯C	
白 木IIVD		日 引C	
奥 浦C	落合川ポンプ場	田 井C	高浜（関電高浜営業所）
丹 生C		青 郷C	
丹生寮C		高 浜C	
竹 波C		和 田C	
菅 浜C		夕潮台C	舞鶴（関電舞鶴営業所）

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量(92日換算値)				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
敦賀	立石A5	0.231	0.239	0.245	0.263	0.978	0.239	0.957	06.04
	立石山頂B1	0.219	0.226	0.227	0.225	0.897	0.226	0.904	04.04
	ふげん西D2	0.165	0.160	0.161	0.156	0.642	0.162	0.648	03.04
	猪ヶ池B1	0.232	0.236	0.229	0.226	0.923	0.231	0.924	04.04
	原子力館B	0.209	0.212	0.206	0.194	0.821	0.201	0.804	04.04
	水産試験場B2	0.180	0.181	0.181	0.181	0.723	0.177	0.708	04.04
	明神寮B2	0.225	0.227	0.225	0.216	0.893	0.230	0.920	04.04
	浦底A5	0.251	0.252	0.255	0.265	1.023	0.244	0.976	02.04
	水試裏B1	0.229	0.232	0.227	0.231	0.919	0.250	1.000	04.04
	色ヶ浜A3	0.258	0.269	0.270	0.286	1.084	0.266	1.064	02.04
	手ノ浦A3	0.221	0.222	0.223	0.225	0.891	0.221	0.883	02.04
	手ノ浦B3	0.225	0.230	0.223	0.218	0.896	0.223	0.892	04.04
	沓B5	0.264	0.266	0.261	0.239	1.030	0.261	1.044	04.04
	常宮A3	0.228	0.232	0.229	0.251	0.939	0.227	0.907	02.04
	常宮B3	0.220	0.218	0.218	0.216	0.872	0.232	0.928	04.04
	縄間B	0.263	0.267	0.259	0.255	1.044	0.264	1.056	04.04
	名子B1	0.176	0.177	0.173	0.173	0.699	0.176	0.703	06.04
	松島B3	0.207	0.212	0.205	0.206	0.830	0.211	0.844	04.04
	松栄B3	0.210	0.212	0.205	0.202	0.829	0.206	0.824	04.04
	赤崎A3	0.180	0.184	0.187	0.191	0.742	0.184	0.735	02.04
	阿曾A2	0.185	0.183	0.185	0.198	0.751	0.188	0.753	02.04
	杉津A4	0.173	0.168	0.173	0.174	0.687	0.173	0.692	02.04
	元比田A5	0.158	0.163	0.170	0.178	0.669	0.168	0.673	02.04
	大谷A3	0.178	0.171	0.181	0.175	0.705	0.174	0.697	02.04
大良B	0.185	0.185	0.180	0.170	0.720	0.174	0.696	04.04	
吉河A2	0.173	0.172	0.174	0.173	0.691	0.175	0.698	02.04	

過去の平均値：2004～2008年度

県(A)は2006～2008年度
(p.81注釈(17)参照)

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量(92日換算値)				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
白木	白木ⅠD2	0.232	0.229	0.236	0.222	0.919	0.228	0.912	03.04
	白木ⅡD2	0.158	0.156	0.156	0.151	0.621	0.155	0.620	03.04
	白木ⅢD2	0.215	0.214	0.214	0.209	0.852	0.219	0.876	03.04
	白木ⅣD2	0.195	0.197	0.194	0.189	0.775	0.198	0.792	03.04
	白木A4	0.237	0.228	0.252	0.230	0.947	0.234	0.935	02.04
	白木D6	0.243	0.239	0.237	0.237	0.956	0.245	0.980	03.04
	松ヶ崎D2	0.233	0.225	0.225	0.222	0.905	0.232	0.928	03.04
	白城神社A2	0.230	0.234	0.232	0.248	0.943	0.232	0.929	02.04
	白城神社D4	0.227	0.225	0.224	0.222	0.898	0.228	0.912	03.04
	門ヶ崎D3	0.254	0.254	0.249	0.248	1.005	0.260	1.040	03.04
	白木トンネル北口A2	0.257	0.267	0.259	0.264	1.046	0.255	1.021	02.04
	白木トンネル北口D3	0.236	0.230	0.230	0.223	0.919	0.237	0.948	03.04
	白木トンネル南口A2	0.229	0.240	0.239	0.252	0.959	0.230	0.919	02.04
	もんじゅ寮D1	0.242	0.235	0.234	0.228	0.939	0.241	0.964	04.04
美浜	奥浦C	0.213	0.214	0.221	0.222	0.870	0.219	0.876	96.04
	丹生診療所C6	0.171	0.165	0.177	0.174	0.687	0.174	0.696	97.01
	丹生A4	0.199	0.188	0.200	0.189	0.776	0.192	0.769	02.04
	丹生C3	0.178	0.177	0.185	0.188	0.728	0.182	0.728	96.04
	丹生小中学校A	0.203	0.215	0.220	0.213	0.851	0.209	0.835	04.04
	丹生寮C5	0.208	0.208	0.217	0.215	0.848	0.216	0.864	97.01
	竹波A4	0.211	0.226	0.222	0.235	0.895	0.218	0.872	02.04
	竹波C5	0.211	0.215	0.222	0.229	0.877	0.220	0.880	96.10
	馬背川C2	0.213	0.214	0.223	0.221	0.871	0.219	0.876	96.04
	菅浜A3	0.205	0.201	0.222	0.205	0.833	0.203	0.810	02.04
	菅浜C2	0.164	0.163	0.171	0.171	0.669	0.170	0.680	96.04
	けやき台C1	0.148	0.146	0.155	0.156	0.605	0.152	0.608	96.04
	佐田A3*1	0.178	0.179	0.188	0.193	0.738	/*1	/*1	09.04

過去の平均値：2004～2008年度

県(A)は2006～2008年度
(p.81注釈(17)参照)

*1；佐田A3は、あおなみ保育園立て替え工事が、2009年3月で完了したため、2009年4月から測定を再開した。
(佐田A3は、設置環境が変化したため、過去実績は無い。)

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量（92日換算値）				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
美浜	坂尻C2	0.166	0.168	0.171	0.176	0.681	0.172	0.688	96.04
	新庄C3	0.168	0.168	0.173	0.173	0.682	0.174	0.696	97.01
	和田A	0.184	0.173	0.184	0.185	0.726	0.183	0.733	04.04
	郷市C6	0.135	0.136	0.142	0.144	0.557	0.136	0.544	97.01
	久々子C1	0.140	0.140	0.144	0.146	0.570	0.147	0.588	96.04
	早瀬C5	0.133	0.135	0.138	0.145	0.551	0.139	0.556	97.07
	日向C5	0.152	0.154	0.159	0.165	0.630	0.160	0.640	97.01
	三方C4	0.116	0.116	0.122	0.124	0.478	0.121	0.484	96.10
	沓見C	0.185	0.183	0.191	0.188	0.747	0.189	0.756	04.04
大飯	赤礁崎C	0.103	0.104	0.110	0.114	0.431	0.107	0.428	04.04
	宮留奥A	0.119	0.114	0.123	0.127	0.484	0.120	0.480	04.04
	宮留A6	0.128	0.125	0.128	0.136	0.519	0.128	0.511	02.04
	宮留C3	0.117	0.115	0.124	0.125	0.481	0.119	0.476	02.10
	日角浜C3	0.114	0.111	0.121	0.122	0.468	0.115	0.460	02.10
	西村A2	0.120	0.119	0.127	0.126	0.493	0.125	0.499	02.04
	西村C1	0.088	0.085	0.093	0.094	0.360	0.089	0.356	96.04
	犬見C2	0.123	0.125	0.129	0.133	0.510	0.128	0.512	96.04
	本郷A4	0.136	0.135	0.141	0.145	0.557	0.136	0.543	02.04
	本郷C5	0.120	0.121	0.130	0.133	0.504	0.124	0.496	04.07
	鯉川A2	0.138	0.133	0.142	0.141	0.555	0.138	0.552	02.04
	加斗A4	0.135	0.139	0.146	0.140	0.561	0.141	0.564	02.04
	西勢A2	0.137	0.133	0.134	0.152	0.557	0.134	0.534	02.04
	東勢C1	0.126	0.119	0.133	0.129	0.507	0.126	0.504	96.04
	小浜市野球場C2	0.127	0.125	0.133	0.137	0.522	0.128	0.512	02.10
	小浜市大原A3	0.183	0.181	0.187	0.200	0.751	0.190	0.761	03.07
	若狭健康福祉センターA2	0.167	0.170	0.160	0.176	0.672	0.168	0.672	02.04
	西津A2（水産高校）	0.128	0.139	0.133	0.151	0.551	0.139	0.556	02.04

過去の平均値：2004～2008年度

県（A）は2006～2008年度
（p.81注釈（17）参照）

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量(92日換算値)				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
大飯	西津C3	0.112	0.111	0.119	0.123	0.465	0.115	0.460	02.10
	堅海A2	0.147	0.142	0.154	0.153	0.595	0.147	0.589	02.04
	堅海C3	0.124	0.125	0.131	0.136	0.516	0.128	0.512	02.10
	泊C2	0.134	0.131	0.143	0.144	0.552	0.137	0.548	96.04
	川上C4	0.125	0.125	0.131	0.137	0.518	0.127	0.508	02.07
	鹿野C5	0.119	0.121	0.127	0.131	0.498	0.123	0.492	02.10
	名田庄C3	0.128	0.125	0.137	0.136	0.526	0.128	0.512	02.10
	上中C3	0.103	0.107	0.110	0.117	0.437	0.107	0.428	02.10
高浜	音海A3	0.117	0.113	0.123	0.126	0.480	0.128	0.512	02.04
	音海C4	0.122	0.120	0.131	0.129	0.502	0.124	0.496	99.01
	音海県道C1	0.107	0.108	0.118	0.117	0.450	0.112	0.448	96.04
	田ノ浦C	0.115	0.113	0.124	0.121	0.473	0.118	0.472	99.01
	小黑飯A3	0.131	0.135	0.144	0.151	0.561	0.136	0.543	02.04
	小黑飯C3	0.120	0.121	0.132	0.130	0.503	0.125	0.500	99.01
	神野小学校A	0.137	0.142	0.136	0.138	0.553	0.140	0.561	04.04
	神野A4	0.111	0.115	0.111	0.122	0.460	0.116	0.464	02.04
	神野浦C2	0.096	0.093	0.106	0.103	0.398	0.099	0.396	96.04
	山中A3	0.137	0.133	0.130	0.142	0.544	0.138	0.552	02.04
	山中C2	0.089	0.089	0.100	0.097	0.375	0.092	0.368	96.04
	下A2	0.108	0.109	0.111	0.118	0.447	0.108	0.433	02.04
	目引C3	0.110	0.108	0.122	0.117	0.457	0.113	0.452	96.04
	上瀬A2	0.096	0.090	0.099	0.092	0.377	0.094	0.376	02.04
	六路谷A3	0.104	0.110	0.111	0.118	0.444	0.111	0.444	02.04
	六路谷C2	0.130	0.126	0.142	0.137	0.535	0.131	0.524	96.04
	高野C	0.125	0.124	0.137	0.132	0.518	0.126	0.504	04.04
	青郷C2	0.125	0.123	0.137	0.134	0.519	0.128	0.512	96.04
	東三松A4	0.146	0.143	0.150	0.151	0.588	0.148	0.591	02.04

過去の平均値：2004～2008年度

県(A)は2006～2008年度
(p.81注釈(17)参照)

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量(92日換算値)				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
高浜	東三松C2	0.116	0.119	0.130	0.128	0.493	0.120	0.480	96.04
	高浜町役場A3	0.106	0.105	0.113	0.116	0.441	0.107	0.428	02.04
	高浜C	0.106	0.107	0.116	0.115	0.444	0.110	0.440	99.01
	和田C3	0.114	0.112	0.125	0.120	0.471	0.117	0.468	96.04
	田井C3	0.133	0.135	0.145	0.149	0.562	0.138	0.552	99.01
	夕潮台C2	0.097	0.100	0.108	0.108	0.413	0.102	0.408	96.04
対照	金津A2	0.153	0.142	0.153	0.154	0.602	0.150	0.601	02.04
	川西A3	0.130	0.126	0.127	0.136	0.520	0.129	0.517	02.04
	福井市原目町A2	0.146	0.141	0.150	0.151	0.587	0.149	0.597	02.04
	殿下A3	0.167	0.162	0.176	0.179	0.684	0.170	0.680	02.04
	勝山A3*2	0.181	0.171	0.175	0.177	0.704	/*2	/*2	09.01
	美山A4	0.149	0.142	0.146	0.143	0.580	0.147	0.589	02.04
	宮崎A3	0.149	0.147	0.151	0.150	0.596	0.147	0.587	02.04
	武生A2	0.158	0.152	0.165	0.166	0.641	0.160	0.641	02.04
	越前市妙法寺町A	0.220	0.212	0.214	0.222	0.868	0.220	0.879	06.04
	池田A2	0.152	0.144	0.153	0.143	0.591	0.149	0.597	02.04

過去の平均値：2004～2008年度

県(A)は2006～2008年度
(p.81注釈(17)参照)

*2；勝山A3は、2009年1月に地点移動を行ったため、年間積算値の過去実績はない。

＜第10表に関する注釈＞

- (1) 第10表に示した年間積算値は、四半期値の和である。過去の平均値は、2004年度第1期から2008年度第4期までのデータから算出した。2004年度第1期以降に設置状況や周辺環境に変化のあった場合は、その時点からの平均値を示した。
設置状況等の変化により過去のデータが2年未満の地点については、過去平均値を()で示した。
- (2) 本郷C4は、2004年7月から12月にかけて、隣接してiネットびあプラザが設置され、周辺環境が変化した。暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2007年度第1期に、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定(危険率5%)を行ったところ、有意差が認められたため、2004年度第2期から地点番号をひとつ進めて「本郷C5」とした。
- (3) 日本原電線は、2005年度から積算線量測定に、これまでのTLDに替えて電子式線量計を採用している。従って、2005年度第1期より地点番号を一つずつ進めた。
- (4) 県は、2006年度第1期から、新規に対照地区の越前市妙法寺Aで測定を開始した。
- (5) 立石A4は、2006年2月から3月にかけて、周辺で工事が行われ、周辺環境が変化した。暫定的に同じ地点番号として取り扱ってきた。2007年度第1期に、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、有意差が認められたため、2006年度第1期から地点番号をひとつ進めて「立石A5」とした。
- (6) 名子Bは、NTTによる携帯電話の無線基地局の設置(工事期間:2006年3月~4月)に伴い周辺環境が変化した。暫定的に同じ地点番号として取り扱ってきた。しかし、2006年度の年間積算値において、平常の変動幅を下回った。このため、周辺環境の変化が生じた前後(2004年度第1期~2005年度第4期と2006年度第1期~2007年度第1期)で、データの有意差検定を行ったところ、有意差が認められたため、2006年度第1期から地点番号をひとつ進めて「名子B1」とした。
- (7) (独)日本原子力研究開発機構は、2007年度第1期から積算線量測定に、これまでのTLDに替えて蛍光ガラス線量計(RPLD)を採用している。従って、2007年度第1期から地点番号を一つずつ進めた。
- (8) 東三松C2は、2007年7月より約2m移動するとともに、道路拡張工事のため2007年9月から10月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化した。暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2008年度第3期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (9) 奥浦Cは、道路改良工事のため2007年10月から2008年6月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化した。暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2009年度第2期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (10) 丹生寮C5は、関電丹生寮建て替えのため2008年1月から11月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化した。暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2009年度第3期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (11) 菅浜C2は、2008年7月から10月にかけて周辺で新築工事が行われたと共に、11月に約2.6m移動するなど周辺環境が変化した。暫定的に従来と同一地点として取り扱った。

- てきた。2009年度第3期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (12) 武生 A2 は、2008年11月から駐車場拡張工事が行われ、12月初めに県道側に約20m移動するなど周辺環境が変化したが、暫定的に従来と統一地点として取り扱ってきた。2009年度第4期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (13) 「勝山 A2」は、行政組織統合により2009年1月に旧奥越健康福祉センターから奥越土木事務所（勝山土木部）に地点を約800m移設したため、2008年度第4期から地点番号をひとつ進めて、「勝山 A3」とした。
- (14) 音海 A3 は、2008年1月に駐車場整備のため、約1.5m移動して、周辺環境が変化している。2008年度第4期に測定結果の「平均値の差」および「ばらつきの差」の有意差検定を行ったところ、いずれも有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (15) 山中 A3 は、2008年1月に衛星アンテナ設置のため、約0.7m移動し、周辺環境が変化している。2008年度第4期に測定結果の「平均値の差」および「ばらつきの差」の有意差検定を行ったところ、いずれも有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (16) 竹波 A4 は、2008年1月に衛星アンテナ設置のため、約2m移動し、周辺環境が変化している。2008年度第4期に測定結果の「平均値の差」および「ばらつきの差」の有意差検定を行ったところ、いずれも有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (17) 2008年度第4期の手ノ浦 A3、白木 A4 および竹波 A4 の測定結果が平常の変動幅「平均値＋標準偏差の3倍」を超過したため、県のTLDリーダー更新前後（2002年度第1期～2005年度第4期と2006年度第1期～2008年度第4期）で、県の全ての積算線量測定地点（51地点）について、測定値の「平均値の差」および「ばらつきの差」の有意差検定を行った。結果は、21地点で、「平均値の差」および「ばらつきの差」のいずれかに有意差があった。このことから、県は、2009年度の積算線量測定結果の評価に用いる「過去の平均値」および「平常の変動幅」の算出にあたっては、新TLDリーダー採用後の2006年度第1期からのデータを用いた。
- (18) 佐田 A2 は、あおなみ保育園建て替え工事のため、2008年度第2期から2008年度第4期まで測定を休止していたが、工事が2009年3月末までに完了したので、2009年度第1期から測定を再開した。設置環境が変化したため、地点番号をひとつ進めて2009年度第1期から「佐田 A3」とする。
- (19) 常宮 B3 は、2009年4月に測定地点周辺の整備工事のため約30m移動し、周辺環境が変化しているが、その後の測定結果が平常の変動幅内であることからデータの蓄積を待って有意差検定を行うものとし、暫定的に従来と同一地点として取り扱った。移設に対してこのように取り扱ったが、p.26とp.41の括弧内詳細地点名は、設置地点の変更経緯より「常宮神社敷地」から「常宮神社」に変更する。
- ＊積算線量測定地点「常宮」の設置地点の変更経緯
- ・2004年4月13日に移設したが、暫定的に従来と同一地点として取り扱い、地点名は常宮 B2（常宮神社）とした。
 - ・2005年度より、同一地点における積算線量測定をTLDから電子線量計に変更したのに伴い、地点番号をひとつ進めて常宮 B3（常宮神社敷地）とした。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ) 放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比M	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
			敦賀	浦底A	4月	14.9	0.3	3.9	3.0	29.5	0.7	7.8	6.1	60	43
		5月	18.0	0.7	3.7	3.3	36.7	1.3	7.3	6.4	59	44	51	3	1
		6月	20.0	0.5	4.2	3.8	46.2	1.0	8.9	8.1	58	40	47	3	1
		7月	18.9	0.6	3.2	2.6	42.8	1.3	7.1	5.9	57	40	46	3	1
		8月	38.0	0.4	5.8	5.8	84.5	0.8	12.2	12.3	56	41	48	4	0
		9月	21.6	0.7	4.2	3.3	50.5	1.4	8.8	7.1	57	40	48	3	0
		10月	13.8	0.3	4.5	2.9	29.8	0.6	8.8	5.9	62	42	51	3	2
		11月	18.3	0.5	3.2	2.1	33.1	0.9	6.1	4.0	62	45	52	3	1
		12月	8.5	0.3	2.8	1.7	16.8	0.5	5.3	3.1	60	45	53	3	0
		1月	9.8	0.3	2.7	1.6	19.2	0.6	5.1	3.1	61	47	53	3	0
		2月	13.9	0.5	2.7	2.2	25.2	1.0	5.1	4.1	63	46	53	3	2
		3月	8.2	0.7	2.6	1.3	15.9	1.3	5.0	2.5	64	41	53	3	1
		年間	38.0	0.3	3.6	3.2	84.5	0.5	7.3	6.6	64	40	50	4	10
		過去実績	51.5	0.3	4.0	3.6	107.4	0.5	7.9	7.2	67	40	51	4	8
立石A		4月	12.3	0.4	3.2	1.9	24.7	0.8	6.6	3.9	57	42	49	2	1
		5月	12.9	0.7	3.3	2.2	27.9	1.2	6.7	4.5	60	44	50	3	3
		6月	14.8	0.5	3.8	2.4	27.9	1.0	7.7	4.8	60	42	50	3	1
		7月	11.4	0.7	3.2	1.9	24.4	1.5	6.9	4.1	60	39	47	4	1
		8月	17.6	0.4	4.1	2.4	42.6	0.9	9.1	5.4	57	38	46	3	1
		9月	11.1	0.7	3.8	2.0	22.8	1.6	8.2	4.2	56	41	46	3	1
		10月	13.6	0.3	4.2	2.5	32.2	0.6	9.4	5.5	56	39	46	3	1
		11月	7.8	0.5	3.0	1.5	14.6	1.0	5.7	2.9	63	41	52	4	1
		12月	7.1	0.3	2.6	1.4	13.3	0.5	5.1	2.7	62	44	52	3	0
		1月	8.3	0.4	2.6	1.5	17.8	0.8	5.2	3.1	58	44	51	3	0
		2月	8.7	0.5	2.6	1.6	17.4	1.1	5.1	3.2	63	45	51	3	1
		3月	8.3	0.8	2.6	1.2	16.9	1.6	5.2	2.4	64	42	51	3	3
		年間	17.6	0.3	3.3	2.0	42.6	0.5	6.8	4.3	64	38	49	4	14
		過去実績	20.7	0.3	3.4	2.1	42.0	0.7	6.9	4.4	63	39	49	4	9

過去実績：2006～2008年度

- (注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。
- (注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。
- (注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。
これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。
なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものであると見なされる。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ) 放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比M	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
			白木	白木A	4月	13.0	0.3	3.4	2.3	25.0	0.7	6.8	4.6	58	44
		5月	18.5	0.6	3.9	3.3	39.9	1.2	7.8	6.7	60	44	50	3	2
		6月	22.1	0.4	4.7	4.2	43.0	0.7	9.2	8.3	63	44	51	3	2
		7月	16.8	0.5	3.7	3.1	34.7	0.9	7.2	5.9	60	44	52	3	0
		8月	40.7	0.3	5.5	5.5	78.9	0.7	10.8	10.8	59	43	50	3	0
		9月	19.5	0.5	4.3	3.2	39.2	1.1	8.5	6.4	61	44	50	3	1
		10月	12.8	0.3	4.1	2.6	26.6	0.5	8.1	5.3	57	45	51	3	0
		11月	18.9	0.5	3.0	1.9	32.8	1.0	5.8	3.7	60	42	51	3	1
		12月	7.7	0.2	2.5	1.3	14.9	0.5	4.8	2.6	59	45	51	3	0
		1月	12.8	0.2	2.4	1.5	25.7	0.3	4.7	3.1	60	45	52	3	1
		2月	16.4	0.6	2.7	2.3	30.3	1.1	5.1	4.4	62	46	53	3	1
		3月	7.8	0.8	2.6	1.3	15.3	1.4	5.0	2.5	62	41	53	3	1
		年間	40.7	0.2	3.6	3.1	78.9	0.3	7.0	6.1	63	41	51	3	11
		過去実績	37.9	0.2	3.7	3.2	72.7	0.4	7.3	6.4	68	41	51	4	11
	白木峠A	4月	7.7	0.4	2.4	1.1	15.8	0.7	5.0	2.3	57	44	49	3	2
		5月	8.0	0.6	2.5	1.5	16.4	1.1	4.9	3.0	62	43	51	3	2
		6月	10.7	0.3	2.9	1.8	21.0	0.5	5.7	3.6	64	45	51	3	4
		7月	8.0	0.4	2.5	1.4	16.4	0.8	4.9	2.8	61	43	51	3	1
		8月	10.9	0.3	3.3	1.9	22.9	0.6	6.5	3.9	60	42	50	3	2
		9月	7.6	0.5	2.9	1.3	16.6	1.1	6.0	2.9	56	42	48	3	1
		10月	10.0	0.3	3.2	1.8	22.0	0.6	6.9	3.8	55	41	47	3	0
		11月	5.1	0.5	2.4	1.0	11.1	1.0	4.8	2.0	58	43	51	3	0
		12月	6.1	0.2	2.4	1.1	13.2	0.5	4.7	2.3	58	43	50	3	0
		1月	5.6	0.2	2.2	1.1	11.6	0.4	4.3	2.2	64	43	53	3	1
		2月	8.0	0.6	2.4	1.4	15.1	1.2	4.5	2.7	67	46	53	3	2
		3月	4.8	0.8	2.4	0.9	9.9	1.5	4.8	1.9	67	41	51	4	2
		年間	10.9	0.2	2.6	1.4	22.9	0.4	5.2	3.0	67	41	51	4	17
		過去実績	13.7	0.0	2.7	1.5	26.5	0.1	5.3	3.1	66	41	51	4	13

過去実績：2006～2008年度

- (注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。
- (注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。
- (注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。
これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。
なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものと見なされる。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ) 放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比M	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
			美浜	丹生A	4月	11.3	0.4	3.5	2.5	22.5	0.7	6.8	5.0	64	44
		5月	12.1	0.6	3.2	2.5	24.1	1.0	6.1	4.7	62	45	53	3	2
		6月	16.3	0.4	3.6	2.7	31.7	0.7	6.8	5.2	61	44	53	3	0
		7月	11.7	0.5	2.8	1.8	21.4	0.9	5.6	3.7	63	43	52	4	1
		8月	14.9	0.3	3.6	2.3	30.1	0.8	7.1	4.6	59	43	50	3	0
		9月	12.0	0.6	3.5	2.1	24.2	1.1	6.6	4.0	61	46	53	3	0
		10月	13.2	0.4	4.2	2.8	24.5	0.7	7.9	5.3	63	46	54	3	1
		11月	7.5	0.5	2.7	1.4	14.4	0.9	5.1	2.5	61	46	54	3	0
		12月	7.6	0.2	2.5	1.4	14.0	0.4	4.6	2.6	63	46	54	3	0
		1月	9.7	0.1	2.4	1.5	17.3	0.3	4.4	2.8	64	47	56	3	0
		2月	11.7	0.6	2.6	2.1	20.6	1.0	4.7	3.8	69	47	57	3	2
		3月	6.2	0.7	2.5	1.1	11.8	1.3	4.6	2.1	65	44	55	3	0
		年間	16.3	0.1	3.1	2.2	31.7	0.3	5.9	4.2	69	43	53	4	7
		過去実績	17.2	0.3	3.4	2.3	33.4	0.5	6.5	4.6	67	42	52	4	11
	竹波A	4月	13.0	0.4	3.9	2.6	28.7	0.8	8.0	5.4	57	42	48	3	1
		5月	19.1	0.6	4.3	3.8	41.5	1.3	9.0	7.8	56	43	48	2	1
		6月	20.0	0.4	4.7	3.9	40.9	0.7	9.7	8.1	58	42	49	3	2
		7月	13.5	0.7	4.0	2.7	27.1	1.3	8.2	5.5	57	43	50	3	0
		8月	27.6	0.3	5.8	5.1	58.1	0.8	12.2	10.6	56	40	48	3	0
		9月	25.0	0.6	4.6	3.4	50.4	1.2	9.9	7.2	56	40	47	3	1
		10月	13.4	0.4	4.6	3.0	29.4	0.8	9.6	6.3	56	40	49	3	0
		11月	17.3	0.5	3.3	2.0	34.1	0.9	6.6	4.0	58	44	50	3	1
		12月	8.8	0.2	3.0	1.8	18.0	0.5	5.9	3.6	57	44	50	3	0
		1月	15.6	0.3	3.1	2.3	30.7	0.6	6.2	4.6	58	44	50	2	1
		2月	14.0	0.6	3.1	2.6	28.4	1.1	6.0	5.0	61	46	51	3	1
		3月	11.4	0.8	3.1	1.8	21.4	1.6	6.1	3.5	61	41	51	3	1
		年間	27.6	0.2	4.0	3.2	58.1	0.5	8.1	6.6	61	40	49	3	9
		過去実績	44.2	0.3	4.3	3.6	88.3	0.5	8.9	7.6	66	39	48	3	11

過去実績：2006～2008年度

- (注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。
- (注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。
- (注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。
これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。
なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものと見なされる。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ) 放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比M	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
			大飯	日角浜A	4月	10.8	0.4	3.5	2.4	22.8	0.8	7.1	5.1	61	44
5月	15.0	0.5	3.1		2.6	31.7	1.1	6.2	5.2	58	45	50	3	1	
6月	13.8	0.6	3.8		2.9	29.3	1.0	7.7	6.0	60	43	49	3	3	
7月	16.5	0.4	3.0		2.6	33.7	0.8	6.2	5.4	58	44	50	3	2	
8月	15.2	0.3	3.5		2.6	34.1	0.6	7.0	5.4	56	43	50	3	0	
9月	12.4	0.5	3.3		2.3	26.6	1.0	6.9	4.9	55	41	48	3	0	
10月	11.5	0.3	4.2		2.7	25.9	0.5	8.7	5.9	58	41	49	3	1	
11月	10.2	0.3	3.6		2.5	21.0	0.7	7.3	5.1	58	44	50	3	1	
12月	12.2	0.5	3.3		2.2	28.4	0.9	6.6	4.6	57	43	50	3	0	
1月	12.4	0.3	3.1		2.2	24.8	0.6	6.1	4.3	61	45	51	3	1	
2月	11.1	0.5	2.8		2.1	22.9	0.9	5.5	4.1	59	45	51	2	3	
3月	9.6	0.7	2.5		1.5	19.7	1.4	4.9	3.1	62	41	51	3	1	
年間	16.5	0.3	3.3		2.5	34.1	0.5	6.7	5.1	62	41	50	3	14	
過去実績	20.1	0.2	3.6		2.8	39.2	0.3	7.2	5.6	64	41	50	3	10	
宮留A	4月	11.0	0.4	3.4	2.5	24.3	0.7	7.2	5.3	55	42	48	2	0	
	5月	15.8	0.5	3.1	2.7	35.7	0.9	6.4	5.6	57	43	48	2	2	
	6月	13.8	0.6	3.5	2.8	28.6	1.1	7.2	5.9	63	42	49	3	3	
	7月	16.2	0.3	2.8	2.6	32.0	0.6	5.6	5.1	60	44	51	3	1	
	8月	15.0	0.3	3.2	2.5	28.7	0.6	6.4	5.1	59	43	50	3	2	
	9月	11.7	0.5	3.2	2.3	23.4	1.0	6.3	4.7	57	42	50	3	0	
	10月	11.4	0.3	4.3	2.8	23.5	0.5	8.7	5.9	58	42	49	3	0	
	11月	10.1	0.4	3.6	2.5	21.2	0.8	7.3	5.0	58	43	49	3	2	
	12月	11.9	0.4	3.2	2.2	24.0	0.8	6.4	4.4	60	43	50	3	1	
	1月	12.4	0.3	3.0	2.2	25.1	0.6	6.1	4.5	58	42	51	3	0	
	2月	10.5	0.5	2.7	2.1	21.1	1.0	5.3	4.1	61	45	52	3	1	
	3月	9.4	0.7	2.4	1.5	18.8	1.3	4.7	2.9	58	41	51	3	0	
	年間	16.2	0.3	3.2	2.5	35.7	0.5	6.5	5.0	63	41	50	3	12	
	過去実績	22.2	0.2	3.6	2.8	44.3	0.5	7.2	5.8	64	40	50	4	12	

過去実績：2006～2008年度

- (注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。
- (注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。
- (注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。
これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。
なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものと見なされる。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ) 放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比M	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
			高浜	小黒飯A	4月	5.2	0.4	2.3	1.0	11.4	0.7	4.7	2.0	58	44
		5月	9.4	0.4	2.2	1.4	18.7	0.9	4.3	2.6	59	45	51	3	2
		6月	7.1	0.6	2.7	1.4	15.5	1.2	5.5	3.0	61	44	49	3	2
		7月	7.9	0.3	2.0	1.3	14.6	0.7	4.1	2.6	60	44	50	3	2
		8月	7.0	0.3	2.2	1.2	15.1	0.7	4.6	2.5	56	41	48	3	1
		9月	6.6	0.5	2.1	1.2	14.8	1.1	4.4	2.4	55	41	48	3	0
		10月	7.8	0.2	2.5	1.2	17.6	0.5	5.4	2.7	57	40	48	3	0
		11月	6.9	0.4	2.4	1.3	14.2	0.7	5.0	2.8	57	44	49	3	0
		12月	6.1	0.5	2.3	1.1	14.0	1.0	4.8	2.4	57	42	49	3	0
		1月	7.7	0.3	2.5	1.2	17.0	0.6	5.0	2.6	59	44	50	3	0
		2月	6.4	0.5	2.1	1.1	13.1	1.0	4.1	2.2	61	43	51	3	1
		3月	5.4	0.5	2.1	0.9	11.6	1.0	4.1	1.9	62	41	51	3	4
		年間	9.4	0.2	2.3	1.2	18.7	0.5	4.7	2.5	62	40	50	3	12
		過去実績	10.3	0.3	2.7	1.5	22.3	0.7	5.6	3.1	63	39	49	4	12
	音海A	4月	6.0	0.4	2.5	1.1	12.0	0.9	5.2	2.3	55	43	48	2	1
		5月	9.1	0.4	2.4	1.5	19.3	0.8	4.8	3.0	58	43	49	3	1
		6月	8.0	0.6	2.9	1.6	16.0	1.4	6.1	3.4	65	42	49	3	5
		7月	9.3	0.4	2.3	1.5	18.7	0.8	4.7	3.1	62	43	49	3	2
		8月	9.2	0.3	2.6	1.5	18.4	0.7	5.2	3.0	56	43	49	2	0
		9月	8.8	0.6	2.6	1.5	18.3	1.2	5.4	3.1	55	42	48	3	1
		10月	8.4	0.4	3.1	1.6	18.1	0.7	6.6	3.4	56	42	48	3	0
		11月	9.0	0.4	3.2	1.8	19.7	0.8	6.5	3.7	58	41	49	3	1
		12月	8.4	0.4	2.8	1.5	16.5	0.8	5.7	3.1	58	38	49	3	0
		1月	7.3	0.7	2.8	1.5	15.2	1.2	5.6	3.2	61	44	52	3	0
		2月	6.1	0.4	2.2	1.2	11.9	0.7	4.4	2.4	61	45	52	3	1
		3月	5.4	0.6	2.2	1.0	11.3	1.2	4.4	2.1	62	40	51	3	1
		年間	9.3	0.3	2.6	1.5	19.7	0.7	5.4	3.1	65	38	49	3	13
		過去実績	12.2	0.3	2.9	1.7	26.5	0.6	5.9	3.5	64	41	49	3	12

過去実績：2006～2008年度

- (注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。
- (注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。
- (注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。
これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。
なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものと見なされる。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ) 放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比 M	月間標準偏差 σ	M + 3σ を超えた数
			高浜	神野浦 A	4 月	4.8	0.4	2.2	0.9	9.3	0.8	4.2	1.7	61	46
		5 月	9.6	0.5	2.2	1.3	19.8	1.0	4.3	2.6	61	43	51	3	1
		6 月	6.8	0.5	2.8	1.4	12.9	1.0	5.5	2.9	69	42	50	3	2
		7 月	7.0	0.3	2.0	1.3	13.9	0.7	4.1	2.6	61	43	49	3	2
		8 月	6.8	0.3	2.4	1.3	13.6	0.5	4.9	2.8	60	41	49	3	2
		9 月	6.4	0.5	2.4	1.2	14.8	1.1	5.0	2.6	57	42	48	3	0
		10月	7.1	0.3	2.7	1.3	16.3	0.7	5.8	2.9	58	41	47	3	2
		11月	8.5	0.4	2.7	1.6	17.1	0.7	5.4	3.2	56	43	51	2	0
		12月	8.5	0.4	2.4	1.3	18.7	0.8	4.7	2.7	57	45	51	3	0
		1 月	7.5	0.6	2.5	1.3	14.7	1.0	4.9	2.7	63	43	53	3	2
		2 月	6.0	0.4	2.1	1.1	11.5	0.8	4.0	2.2	60	46	53	3	0
		3 月	5.7	0.6	2.2	1.0	11.2	1.2	4.2	2.0	61	42	52	3	1
		年間	9.6	0.3	2.4	1.3	19.8	0.5	4.8	2.7	69	41	50	3	14
		過去実績	10.5	0.3	2.8	1.6	21.9	0.6	5.6	3.2	63	41	50	3	11

過去実績：2006～2008年度

- (注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。
- (注2) 「M + 3σ を超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。
- (注3) 「平均値 + 標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。
 これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。
 なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものと見なされる。

第12表 大気中のヨウ素-131分析結果

単位：mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	¹³¹ 粒子状 I 濃度	¹³¹ ガス状 I 濃度	過去実績		機関
					¹³¹ 粒子状 I	¹³¹ ガス状 I	
敦賀	浦底A	09.04.09～09.05.12	—	—	—	—	A
		09.05.12～09.06.03	—	—			
		09.06.03～09.07.09	—	—			
		09.07.09～09.08.05	—	—			
		09.08.05～09.09.03	—	—			
		09.09.03～09.10.08	—	—			
		09.10.08～09.11.05	—	—			
		09.11.05～09.12.02	—	—			
		09.12.02～10.01.07	—	—			
		10.01.07～10.02.03	—	—			
		10.02.03～10.03.03	—	—			
		10.03.03～10.04.08	—	—			
白木	白木A	09.04.08～09.05.12	—	—	—	—	A
		09.05.12～09.06.03	—	—			
		09.06.03～09.07.08	—	—			
		09.07.08～09.08.05	—	—			
		09.08.05～09.09.03	—	—			
		09.09.03～09.10.07	—	—			
		09.10.07～09.11.05	—	—			
		09.11.05～09.12.02	—	—			
		09.12.02～10.01.06	—	—			
		10.01.06～10.02.03	—	—			
		10.02.03～10.03.03	—	—			
		10.03.03～10.04.07	—	—			
美浜	竹波A	09.04.08～09.05.12	—	—	—	—	A
		09.05.12～09.06.03	—	—			
		09.06.03～09.07.08	—	—			
		09.07.08～09.08.05	—	—			
		09.08.05～09.09.03	—	—			
		09.09.03～09.10.07	—	—			
		09.10.07～09.11.05	—	—			
		09.11.05～09.12.02	—	—			
		09.12.02～10.01.06	—	—			
		10.01.06～10.02.03	—	—			
		10.02.03～10.03.03	—	—			
		10.03.03～10.04.07	—	—			

過去実績：2006～2008年度

第12表 大気中のヨウ素-131分析結果

単位：mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	¹³¹ 粒子状 I 濃度	¹³¹ ガス状 I 濃度	過去実績		機関
					¹³¹ 粒子状 I	¹³¹ ガス状 I	
大飯	宮留A	09.04.08～09.05.11	—	—	—	—	A
		09.05.11～09.06.02	—	—			
		09.06.02～09.07.08	—	—			
		09.07.08～09.08.04	—	—			
		09.08.04～09.09.02	—	—			
		09.09.02～09.10.07	—	—			
		09.10.07～09.11.04	—	—			
		09.11.04～09.12.01	—	—			
		09.12.01～10.01.06	—	—			
		10.01.06～10.02.02	—	—			
		10.02.02～10.03.02	—	—			
		10.03.02～10.04.07	—	—			
高浜	小黒飯A	09.04.07～09.05.11	—	—	—	—	A
		09.05.11～09.06.02	—	—			
		09.06.02～09.07.07	—	—			
		09.07.07～09.08.04	—	—			
		09.08.04～09.09.02	—	—			
		09.09.02～09.10.06	—	—			
		09.10.06～09.11.04	—	—			
		09.11.04～09.12.01	—	—			
		09.12.01～10.01.05	—	—			
		10.01.05～10.02.02	—	—			
		10.02.02～10.03.02	—	—			
		10.03.02～10.04.06	—	—			

過去実績：2006～2008年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関	
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁷ Be	⁶⁰ Co		¹³⁷ Cs
敦賀	立石B	09.04.01~09.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.3	-	-	B
	〃	09.05.07~09.06.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	-	-	
	〃	09.06.01~09.07.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-	
	〃	09.07.01~09.08.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	-	-	
	〃	09.08.03~09.09.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0	-	-	
	〃	09.09.01~09.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.8	-	-	
	〃	09.10.01~09.11.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.8	-	-	
	〃	09.11.02~09.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.1	-	-	
	〃	09.12.01~10.01.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	-	-	
	〃	10.01.04~10.02.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-	
	〃	10.02.01~10.03.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.1	-	-	
	〃	10.03.01~10.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-	
浦底A	浦底A	09.04.09~09.05.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-	A
	〃	09.05.12~09.06.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.6	-	-	
	〃	09.06.03~09.07.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.1	-	-	
	〃	09.07.09~09.08.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.6	-	-	
	〃	09.08.05~09.09.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.7	-	-	
	〃	09.09.03~09.10.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3	-	-	
	〃	09.10.08~09.11.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-	
	〃	09.11.05~09.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	-	-	
	〃	09.12.02~10.01.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	-	-	
	〃	10.01.07~10.02.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3	-	-	
	〃	10.02.03~10.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	-	-	
	〃	10.03.03~10.04.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.4	-	-	
浦底B	浦底B	09.04.01~09.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.1	-	-	B
	〃	09.05.07~09.06.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	-	-	
	〃	09.06.01~09.07.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.1	-	-	
	〃	09.07.01~09.08.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	-	-	
	〃	09.08.03~09.09.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.3	-	-	
	〃	09.09.01~09.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3	-	-	
	〃	09.10.01~09.11.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4	-	-	
	〃	09.11.02~09.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.6	-	-	
	〃	09.12.01~10.01.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	-	-	
	〃	10.01.04~10.02.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-	
	〃	10.02.01~10.03.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	-	-	
	〃	10.03.01~10.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.1	-	-	
色ヶ浜B	色ヶ浜B	09.04.01~09.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.8	-	-	B
	〃	09.05.07~09.06.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	-	-	
	〃	09.06.01~09.07.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7	-	-	
	〃	09.07.01~09.08.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	-	-	
	〃	09.08.03~09.09.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0	-	-	
	〃	09.09.01~09.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.5	-	-	

過去実績：2006～2008年度

(注) ヨウ素-131は、ガス状のものを含まない浮遊じんのみの測定結果である。

以下の核種分析結果の表では/は調査対象外、-は検出限界値未満、0.0は0.05未満で検出限界値以上の測定値を意味する。

過去実績の欄で、-と記したものは、検出値が1例もないものである。濃度は採取時の値である。

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関	
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁷ Be	⁶⁰ Co		¹³⁷ Cs
敦賀	色ヶ浜B	09.10.01~09.11.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	-	-	B
	〃	09.11.02~09.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.2	-	-	
	〃	09.12.01~10.01.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.1	-	-	
	〃	10.01.04~10.02.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7	-	-	
	〃	10.02.01~10.03.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	-	-	
	〃	10.03.01~10.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	-	-	
白木	白木A	09.04.08~09.05.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.5	-	-	A
	〃	09.05.12~09.06.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	-	-	
	〃	09.06.03~09.07.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.8	-	-	
	〃	09.07.08~09.08.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.8	-	-	
	〃	09.08.05~09.09.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2	-	-	
	〃	09.09.03~09.10.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	-	-	
	〃	09.10.07~09.11.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.5	-	-	
	〃	09.11.05~09.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.8	-	-	
	〃	09.12.02~10.01.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7	-	-	
	〃	10.01.06~10.02.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.4	-	-	
	〃	10.02.03~10.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-	
	〃	10.03.03~10.04.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	-	-	
	松ヶ崎D	09.04.01~09.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.5	-	-	D
	〃	09.05.07~09.06.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.9	-	-	
	〃	09.06.01~09.07.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.8	-	-	
	〃	09.07.01~09.08.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.6	-	-	
	〃	09.08.03~09.09.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	-	-	
	〃	09.09.01~09.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3	-	-	
	〃	09.10.01~09.11.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.4	-	-	
	〃	09.11.02~09.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.5	-	-	
	〃	09.12.01~10.01.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.8	-	-	
	〃	10.01.04~10.02.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.5	-	-	
〃	10.02.01~10.03.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.7	-	-		
〃	10.03.01~10.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.6	-	-		
美浜	竹波A	09.04.08~09.05.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.3	-	-	A
	〃	09.05.12~09.06.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-	
	〃	09.06.03~09.07.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.7	-	-	
	〃	09.07.08~09.08.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.7	-	-	
	〃	09.08.05~09.09.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0	-	-	
	〃	09.09.03~09.10.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-	
	〃	09.10.07~09.11.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.1	-	-	
	〃	09.11.05~09.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	-	-	
	〃	09.12.02~10.01.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.4	-	-	
	〃	10.01.06~10.02.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.5	-	-	
	〃	10.02.03~10.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.4	-	-	
	〃	10.03.03~10.04.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-	

過去実績：2006~2008年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関	
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁷ Be	⁶⁰ Co		¹³⁷ Cs
美浜	丹生C	09.04.01~09.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.6	-	-	C
	〃	09.05.07~09.06.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.9	-	-	
	〃	09.06.02~09.07.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-	
	〃	09.07.01~09.08.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5	-	-	
	〃	09.08.03~09.09.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.8	-	-	
	〃	09.09.01~09.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.7	-	-	
	〃	09.10.01~09.11.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.9	-	-	
	〃	09.11.02~09.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.9	-	-	
	〃	09.12.01~10.01.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-	
	〃	10.01.04~10.02.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.5	-	-	
	〃	10.02.01~10.03.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.8	-	-	
大飯	宮留A	09.04.08~09.05.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4	-	-	A
	〃	09.05.11~09.06.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-	
	〃	09.06.02~09.07.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	-	-	
	〃	09.07.08~09.08.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.8	-	-	
	〃	09.08.04~09.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.6	-	-	
	〃	09.09.02~09.10.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.1	-	-	
	〃	09.10.07~09.11.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	-	-	
	〃	09.11.04~09.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.9	-	-	
	〃	09.12.01~10.01.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	-	-	
	〃	10.01.06~10.02.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-	
	〃	10.02.02~10.03.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-	
	〃	10.03.02~10.04.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	-	-	
	宮留C	09.04.02~09.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.3	-	-	C
	〃	09.05.08~09.06.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.7	-	-	
	〃	09.06.03~09.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7	-	-	
	〃	09.07.02~09.08.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3	-	-	
	〃	09.08.04~09.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.8	-	-	
	〃	09.09.02~09.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-	
	〃	09.10.02~09.11.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4	-	-	
	〃	09.11.04~09.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.6	-	-	
	〃	09.12.02~10.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-	
〃	10.01.05~10.02.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.5	-	-		
高浜	音海C	09.04.02~09.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.8	-	-	C
	〃	09.05.08~09.06.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.8	-	-	
	〃	09.06.03~09.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.4	-	-	
	〃	09.07.02~09.08.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.2	-	-	
	〃	09.08.04~09.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.5	-	-	
	〃	09.09.02~09.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.7	-	-	

過去実績：2006～2008年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関			
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs				
高浜	音海C	09.10.02~09.11.04	-	-	-	-	-	-	-	-	6.1	-	-	C			
	"	09.11.04~09.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	6.5	-	-				
	"	09.12.02~10.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	5.8	-	-				
	"	10.01.05~10.02.02	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	-	-				
	"	10.02.02~10.03.02	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	-	-				
	"	10.03.02~10.04.02	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	-	-				
	小黒飯A	09.04.07~09.05.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4	-	-	A		
		"	09.05.11~09.06.02	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	-	-			
		"	09.06.02~09.07.07	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	-	-			
		"	09.07.07~09.08.04	-	-	-	-	-	-	-	-	1.8	-	-			
		"	09.08.04~09.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	3.3	-	-			
		"	09.09.02~09.10.06	-	-	-	-	-	-	-	-	4.6	-	-			
		"	09.10.06~09.11.04	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	-	-			
		"	09.11.04~09.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	-	-			
		"	09.12.01~10.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-			
		"	10.01.05~10.02.02	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-			
		"	10.02.02~10.03.02	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	-	-			
		"	10.03.02~10.04.06	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	-	-			
		小黒飯C	09.04.02~09.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.9	-		-	C
			"	09.05.08~09.06.03	-	-	-	-	-	-	-	-	5.9	-		-	
"	09.06.03~09.07.02		-	-	-	-	-	-	-	-	4.6	-	-				
"	09.07.02~09.08.04		-	-	-	-	-	-	-	-	2.3	-	-				
"	09.08.04~09.09.02		-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	-	-				
"	09.09.02~09.10.02		-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-				
"	09.10.02~09.11.04		-	-	-	-	-	-	-	-	6.4	-	-				
"	09.11.04~09.12.02		-	-	-	-	-	-	-	-	7.1	-	-				
"	09.12.02~10.01.05		-	-	-	-	-	-	-	-	6.3	-	-				
"	10.01.05~10.02.02		-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-				
"	10.02.02~10.03.02		-	-	-	-	-	-	-	-	6.6	-	-				
"	10.03.02~10.04.02		-	-	-	-	-	-	-	-	5.9	-	-				
対照	原目町(衛研)	09.04.02~09.04.03	-	-	-	-	-	-	-	-	6.5	-	-	A			
	"	09.05.01~09.05.02	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-				
	"	09.06.01~09.06.02	-	-	-	-	-	-	-	-	8.0	-	-				
	"	09.07.01~09.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	1.8	-	-				
	"	09.08.03~09.08.04	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	-	-				
	"	09.09.01~09.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	6.3	-	-				
	"	09.10.01~09.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	6.7	-	-				
	"	09.11.26~09.11.27	-	-	-	-	-	-	-	-	6.9	-	-				
	"	09.12.01~09.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3	-	-				
	"	10.01.04~10.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	5.1	-	-				
	"	10.02.01~10.02.02	-	-	-	-	-	-	-	-	3.3	-	-				
	"	10.03.01~10.03.02	-	-	-	-	-	-	-	-	3.1	-	-				

過去実績：2006~2008年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん(参考データ：3ヶ月試料)

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関	
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁷ Be	⁶⁰ Co		¹³⁷ Cs
敦賀	立石A	09.04.09~09.07.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.7	-	-	A
	〃	09.07.09~09.10.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.7	-	-	
	〃	09.10.08~10.01.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.8	-	-	
	〃	10.01.07~10.04.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.2	-	-	
白木	白木峠A	09.04.08~09.07.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.4	-	-	A
	〃	09.07.08~09.10.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.3	-	-	
	〃	09.10.07~10.01.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.4	-	-	
	〃	10.01.06~10.04.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.9	-	-	
美浜	丹生A	09.04.08~09.07.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.7	-	-	A
	〃	09.07.08~09.10.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	-	-	
	〃	09.10.07~10.01.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.9	-	-	
	〃	10.01.06~10.04.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.6	-	-	
大飯	日角浜A	09.04.08~09.07.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2	-	-	A
	〃	09.07.08~09.10.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.5	-	-	
	〃	09.10.07~10.01.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.4	-	-	
	〃	10.01.06~10.04.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.9	-	-	
高浜	音海A	09.04.07~09.07.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.4	-	-	A
	〃	09.07.07~09.10.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.3	-	-	
	〃	09.10.06~10.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.1	-	-	
	〃	10.01.05~10.04.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.1	-	-	
	神野浦A	09.04.07~09.07.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.9	-	-	A
	〃	09.07.07~09.10.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.8	-	-	
	〃	09.10.06~10.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.2	-	-	
	〃	10.01.05~10.04.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	-	-	

過去実績：2006~2008年度

(注) 吸引量は約12,000立方メートル

第14表 核種分析結果 その2 陸水

単位： mBq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種					参考核種		天然核種	過去実績		機関	
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁷ Be	⁶⁰ Co		¹³⁷ Cs
敦賀	浦底（水試）	水道水	09.06.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	09.09.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	09.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	10.03.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	浦底（明神寮）	〃	09.04.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	B
	〃	〃	09.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
〃	〃	09.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
白木	〃	〃	10.01.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	白木（民家）	〃	09.06.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	09.09.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	09.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	10.03.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	09.05.13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	D
	〃	〃	09.08.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
〃	〃	09.11.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
美浜	〃	〃	10.02.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	丹生（旧漁協）	〃	09.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	10.01.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	丹生（民家）	〃	09.06.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	09.09.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
〃	〃	09.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
大飯	〃	〃	10.03.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	宮留（民家）	〃	09.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	09.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	09.12.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	10.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	09.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C
〃	〃	10.01.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
高浜	音海（民家）	〃	09.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	09.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	09.12.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	10.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	09.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	10.01.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	小黒飯（民家）	〃	09.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
〃	〃	10.01.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

過去実績：2006～2008年度

(注) 機関Aはマリネリピーカーを用いて直接測定、その他の機関はパウデックス樹脂に吸着後測定。

第14表 核種分析結果 その2 陸水

単位： mBq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種					参考核種		天然核種	過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
対照	原目町(衛研)	水道水	09.06.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	09.09.10	—	—	—	—	—	—	—	—			
	〃	〃	09.12.10	—	—	—	—	—	—	—	—			
	〃	〃	10.03.12	—	—	—	—	—	—	—	—			
美浜	竹波(落合川)	河川水	09.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	10.01.04	—	—	—	—	—	—	—	—			

過去実績：2006～2008年度

(注) 機関Aはマリネリピーカーを用いて直接測定、その他の機関はパウデックス樹脂に吸着後測定。

第15表 核種分析結果 その3 陸土

単位：Bq/kg 乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関		
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs			
敦賀	浦底(明神寮)	土床	09.05.12	—	—	—	8.4	—	—	8.3	820	53	32	—	8.5~18	A		
	〃	〃	09.11.05	—	—	—	11	—	—	4.5	850	71	46			B		
	〃	〃	09.07.01	—	—	—	11	—	—	—	1300	85	38					
	〃	〃	10.01.07	—	—	—	9.8	—	—	5.2	1200	79	39					
	〃	〃	09.05.13	—	—	—	24	—	—	—	1200	85	54	—	20 ~28	D		
	〃	〃	09.08.05	—	—	—	28	—	—	—	1200	87	55					
	〃	〃	09.11.13	—	—	—	19	—	—	—	1200	93	50					
	〃	〃	10.02.10	—	—	—	21	—	—	—	1200	78	43					
白木	松ヶ崎	土床	09.05.12	—	—	—	1.4	—	—	9.7	1200	110	55	—	0.8~2.2	A		
	〃	〃	09.11.05	—	—	—	1.6	—	—	5.2	1200	110	58			D		
	〃	〃	09.07.09	—	—	—	1.6	—	—	7.0	1200	110	46					
	〃	〃	10.01.14	—	—	—	1.5	—	—	22	1200	93	47					
美浜	丹生	〃	09.05.12	—	—	—	3.4	—	—	27	1100	77	44	—	3.1~6.5	A		
	〃	〃	09.11.05	—	—	—	4.0	—	—	5.9	1200	89	52			C		
	〃	〃	09.07.01	—	—	—	3.1	—	—	—	1200	99	51					
	〃	〃	10.01.04	—	—	—	5.7	—	—	12	1200	97	53					
大飯	日角浜	未耕土	09.05.11	—	—	—	68	—	—	17	300	28	23	—	44 ~89	A		
	〃	〃	09.11.04	—	—	—	70	—	—	7.3	290	25	22					
	畑村	〃	09.07.02	—	—	—	3.9	—	—	13	310	20	20			—	1.5~4.4	C
	〃	〃	10.01.05	—	—	—	3.8	—	—	—	310	19	18					
高浜	小黑飯	山土	09.05.11	—	—	—	6.1	—	—	17	560	45	27	—	4.3~13	A		
	〃	〃	09.11.04	—	—	—	7.1	—	—	8.7	590	49	30					
	〃	未耕土	09.07.02	—	—	—	4.3	—	—	35	910	52	32			—	3.0~9.0	C
	〃	〃	10.01.05	—	—	—	4.5	—	—	15	600	37	33					
対照	原目町(衛研)	未耕土	09.05.19	—	—	—	3.9	—	—	15	550	26	18	—	2.5~4.5	A		
	〃	〃	09.12.01	—	—	—	3.1	—	—	15	550	25	18					
	奥越高原牧場	山土	09.06.09	—	—	—	140	—	—	13	180	20	13			—	130 ~150	A

過去実績：2006~2008年度

(注) 0~5cmで採取した試料の粒径2mm以下を分析した。Th系列(Th-Ser)はTl-208から系列ガンマ線放出比30.7%を用いて、U系列(U-Ser)はBi-214またはPb-214から系列ガンマ線放出比44.2%(または36.0%)を用いて求めたものである。

第16表 核種分析結果 その4 指標植物

単位： Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底	ヨモギ	09.05.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	52	300	—	ND~0.2	A
	〃	〃	09.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50	280			
	〃	〃	09.07.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	54	270			
	〃	〃	09.08.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	74	260			
	〃	〃	09.09.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	49	270			
	〃	〃	09.10.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	78	200			
	〃	〃	09.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110	230			
白木	松ヶ崎	〃	09.05.12	—	—	—	—	—	—	—	—	53	230	—	ND~0.2	A	
	〃	〃	09.06.01	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	32				230
	〃	〃	09.07.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	66				280
	〃	〃	09.08.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	78				250
	〃	〃	09.09.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	49				250
	〃	〃	09.10.07	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	80				190
	〃	〃	09.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	91				150
美浜	竹波	〃	09.05.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	63	270	—	ND~0.3	A
	〃	〃	09.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	53	270			
	〃	〃	09.07.08	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	71	270			
	〃	〃	09.08.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130	280			
	〃	〃	09.09.01	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	73	260			
	〃	〃	09.10.07	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	100	180			
	〃	〃	09.11.02	—	—	—	—	—	0.3	—	—	—	140	230			
大飯	日角浜	〃	09.05.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	66	280	—	—	A
	〃	〃	09.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	64	270			
	〃	〃	09.07.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	34	220			
	〃	〃	09.08.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	86	260			
	〃	〃	09.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	39	270			
	〃	〃	09.10.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	55	190			
	〃	〃	09.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110	230			
高浜	小黒飯	〃	09.05.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	68	250	—	—	A
	〃	〃	09.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51	310			
	〃	〃	09.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	65	280			
	〃	〃	09.08.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100	250			
	〃	〃	09.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	67	260			
	〃	〃	09.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	76	220			
	〃	〃	09.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	310	210			
対照	原目町(衛研付近)	ヨモギ	09.05.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	47	230	—	ND~0.2	A
	〃	〃	09.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51	250			
	〃	〃	09.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25	190			
	〃	〃	09.08.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	76	220			
	〃	〃	09.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	240			
	〃	〃	09.10.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	73	210			
	〃	〃	09.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	77	230			

過去実績：2006~2008年度

第17表 核種分析結果 その5 松葉（2年葉）

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底（明神寮）	松葉	09.04.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	53	89	—	—	B
	〃	〃	09.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	37	86	—	—	
	発電所北端周辺	〃	09.08.19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23	75			—
	〃	〃	10.02.17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	65	82			
白木	白木トンネル北口付近	〃	09.08.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	37	75	—	—	D
	〃	〃	10.02.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	38	64			
美浜	丹生	〃	09.04.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23	58	—	—	C
	〃	〃	09.10.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32	47			
大飯	畑村	〃	09.04.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	47	80	—	—	C
	〃	〃	09.10.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31	64			
高浜	小黒飯	〃	09.04.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	68	67	—	—	C
	〃	〃	09.10.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	38	45			
対照	福井市寮町(県農試)*1	〃	09.11.06	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	71	63	—	—	A
	〃*2	〃	09.12.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110	78			
	〃*3	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	38	70			
	〃*4	〃	〃	—	—	—	—	—	0.6	—	—	—	56	68			

過去実績：2006～2008年度

注) *1：県農試の定点とその周辺（テニスコート横芝生および土手）で採取した集合試料。
 *2：県農試の定点。
 *3：県農試内テニスコート横芝生。
 *4：県農試内土手。
 *2から*4の試料は11月に調査した集合試料（*1）から¹³⁷Csが検出されたので、詳細調査を実施した。
 詳細は付4. 5を参照。

第18表 核種分析結果 その6 農産物

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底	大根葉	09.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.0	120	—	0.0	A
白木	白木	〃	09.11.04	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	6.8	110	—	ND~0.0	A
美浜	丹生	〃	09.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.3	120	—	—	A
大飯	長井	〃	09.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	100	—	—	A
高浜	神野	〃	09.11.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18	120	—	—	A
対照	あわら市	〃	09.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.1	120	—	—	A

過去実績：2006~2008年度

第19表 核種分析結果 その7 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種							参考核種			天然核種	過去実績		機関	
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs			
敦賀	浦底（水試）	09.04.09～09.05.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	220	—	ND～0.1	A
	〃	09.05.12～09.06.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	140			
	〃	09.06.03～09.07.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	180			
	〃	09.07.09～09.08.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	240			
	〃	09.08.05～09.09.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	93			
	〃	09.09.03～09.10.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	230			
	〃	09.10.08～09.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100			
	〃	09.11.05～09.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130			
	〃	09.12.02～10.01.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1100			
	〃	10.01.07～10.02.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	790			
	〃	10.02.03～10.03.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	510			
	〃	10.03.03～10.04.08	—	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	—	350			
	浦底（明神寮）	〃	09.04.01～09.05.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
〃		09.05.07～09.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	140			
〃		09.06.01～09.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	86			
〃		09.07.01～09.08.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	270			
〃		09.08.03～09.09.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110			
〃		09.09.01～09.10.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	160			
〃		09.10.01～09.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130			
〃		09.11.02～09.12.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130			
〃		09.12.01～10.01.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1200			
〃		10.01.04～10.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	880			
〃		10.02.01～10.03.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	580			
〃		10.03.01～10.04.01	—	—	—	—	—	—	0.3	—	—	—	—	340			
白木		松ヶ崎	09.04.08～09.05.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	240	—	ND～0.1
	〃	09.05.12～09.06.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120			
	〃	09.06.03～09.07.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120			
	〃	09.07.08～09.08.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	180			
	〃	09.08.05～09.09.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	90			
	〃	09.09.03～09.10.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110			
	〃	09.10.07～09.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	65			
	〃	09.11.05～09.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	63			
	〃	09.12.02～10.01.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	710			
	〃	10.01.06～10.02.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	550			
	〃	10.02.03～10.03.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	320			
	〃	10.03.03～10.04.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	210			

過去実績：2006～2008年度

(注) 各地区で過去3ケ年の実績を超えたCs-137が観測された。これは、黄砂も含めた自然現象によると考えられる。

詳細は付4.6を参照。

第19表 核種分析結果 その7 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種							参考核種			天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
白木	松ヶ崎	09.04.01～09.05.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	190	—	—	D
	〃	09.05.07～09.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	150			
	〃	09.06.01～09.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	67			
	〃	09.07.01～09.08.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	210			
	〃	09.08.03～09.09.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	71			
	〃	09.09.01～09.10.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130			
	〃	09.10.01～09.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	73			
	〃	09.11.02～09.12.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	87			
	〃	09.12.01～10.01.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	630			
	〃	10.01.04～10.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	550			
	〃	10.02.01～10.03.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	340			
	〃	10.03.01～10.04.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	240			
美浜	竹波（落合川取水場）	09.04.08～09.05.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	280	—	ND～0.2	A
	〃	09.05.12～09.06.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	160			
	〃	09.06.03～09.07.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	160			
	〃	09.07.08～09.08.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	240			
	〃	09.08.05～09.09.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	78			
	〃	09.09.03～09.10.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	200			
	〃	09.10.07～09.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110			
	〃	09.11.05～09.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120			
	〃	09.12.02～10.01.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	910			
	〃	10.01.06～10.02.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	540			
	〃	10.02.03～10.03.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	420			
	〃	10.03.03～10.04.07	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	—	360			
	丹生	〃	09.04.01～09.05.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
〃		09.05.07～09.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	170			
〃		09.06.02～09.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	92			
〃		09.07.01～09.08.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	300			
〃		09.08.03～09.09.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110			
〃		09.09.01～09.10.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	160			
〃		09.10.01～09.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120			
〃		09.11.02～09.12.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	180			
〃		09.12.01～10.01.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	910			
〃		10.01.04～10.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	600			
〃		10.02.01～10.03.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	430			
〃		10.03.01～10.04.01	—	—	—	—	—	0.3	—	—	—	—	350			

過去実績：2006～2008年度

(注) 各地区で過去3ケ年の実績を超えたCs-137が観測された。これは、黄砂も含めた自然現象によると考えられる。

詳細は付4.6を参照。

第19表 核種分析結果 その7 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種							参考核種			天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
大飯	宮留A	09.04.08～09.05.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	250	—	—	A
	〃	09.05.11～09.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130			
	〃	09.06.02～09.07.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130			
	〃	09.07.08～09.08.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	210			
	〃	09.08.04～09.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	74			
	〃	09.09.02～09.10.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	190			
	〃	09.10.07～09.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	240			
	〃	09.11.04～09.12.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	310			
	〃	09.12.01～10.01.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	630			
	〃	10.01.06～10.02.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	280			
	〃	10.02.02～10.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	340			
	〃	10.03.02～10.04.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	440			
	日角浜	〃	09.04.02～09.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
〃		09.05.08～09.06.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120			
〃		09.06.03～09.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110			
〃		09.07.02～09.08.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	210			
〃		09.08.04～09.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	87			
〃		09.09.02～09.10.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	170			
〃		09.10.02～09.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	360			
〃		09.11.04～09.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	380			
〃		09.12.02～10.01.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	650			
〃		10.01.05～10.02.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	260			
〃		10.02.02～10.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	360			
〃		10.03.02～10.04.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	400			
高浜		小黒飯A	09.04.07～09.05.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	270	—	—
	〃	09.05.11～09.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	92			
	〃	09.06.02～09.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	99			
	〃	09.07.07～09.08.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	240			
	〃	09.08.04～09.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100			
	〃	09.09.02～09.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110			
	〃	09.10.06～09.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	340			
	〃	09.11.04～09.12.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	320			
	〃	09.12.01～10.01.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	410			
	〃	10.01.05～10.02.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	280			
	〃	10.02.02～10.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	420			
	〃	10.03.02～10.04.06	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	—	420			

過去実績：2006～2008年度

(注) 各地区で過去3ケ年の実績を超えたCs-137が観測された。これは、黄砂も含めた自然現象によると考えられる。

詳細は付4.6を参照。

第19表 核種分析結果 その7 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種			天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
高浜	小和田	09.04.02~09.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	350	-	-	C
	〃	09.05.08~09.06.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130			
	〃	09.06.03~09.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	120			
	〃	09.07.02~09.08.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	270			
	〃	09.08.04~09.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130			
	〃	09.09.02~09.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	160			
	〃	09.10.02~09.11.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	410			
	〃	09.11.04~09.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	330			
	〃	09.12.02~10.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	530			
	〃	10.01.05~10.02.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	270			
	〃	10.02.02~10.03.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	490			
	〃	10.03.02~10.04.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	510			
対照	原目町(衛研)	09.04.06~09.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	290	-	ND~0.1	A
	〃	09.05.08~09.06.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150			
	〃	09.06.02~09.07.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	140			
	〃	09.07.06~09.08.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	280			
	〃	09.08.03~09.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	86			
	〃	09.09.02~09.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150			
	〃	09.10.01~09.11.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	180			
	〃	09.11.02~09.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	280			
	〃	09.12.01~10.01.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1200			
	〃	10.01.04~10.02.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	660			
	〃	10.02.01~10.03.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	460			
	〃	10.03.02~10.04.05	-	-	-	-	-	0.3	-	-	-	340			

過去実績：2006~2008年度

(注) 各地区で過去3ケ年の実績を超えたCs-137が観測された。これは、黄砂も含めた自然現象によると考えられる。

詳細は付4.6を参照。

第20表 核種分析結果 その8 海水

単位：mBq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁵⁹ Fe	¹³⁴ Cs	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	立石沖	海水	09.08.06	—	—	—	2.0	—	—	—	2.0~2.4	B
	〃	〃	10.02.08	—	—	—	2.1	—	—	—	—	B
	2号放水口	〃	09.04.24	—	—	—	1.5	—	—	—	1.3~2.3	A
	〃	〃	09.08.06	—	—	—	2.0	—	—	—	—	B
	〃	〃	09.10.13	—	—	—	1.7	—	—	—	—	A
	〃	〃	10.02.08	—	—	—	2.0	—	—	—	—	B
	ふげん放水口	〃	09.04.24	—	—	—	2.0	—	—	—	ND~2.4	A
	〃	〃	09.09.08	—	—	—	1.5	—	—	—	—	D
	〃	〃	09.10.13	—	—	—	1.0	—	—	—	—	A
〃	〃	10.03.12	—	—	—	1.8	—	—	—	—	D	
白木	もんじゅ放水口	〃	09.04.24	—	—	—	1.7	—	—	—	ND~2.3	A
	〃	〃	09.08.04	—	—	—	2.1	—	—	—	—	D
	〃	〃	09.10.15	—	—	—	1.4	—	—	—	—	A
	〃	〃	10.02.09	—	—	—	1.7	—	—	—	—	D
	白木漁港	〃	09.08.04	—	—	—	1.7	—	—	—	1.2~2.3	D
	〃	〃	10.02.09	—	—	—	1.9	—	—	—	—	D
美浜	1, 2号放水口	〃	09.04.24	—	—	—	1.4	—	—	—	ND~2.2	A
	〃	〃	09.05.14	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	09.08.06	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	09.10.15	—	—	—	1.7	—	—	—	—	A
	〃	〃	09.11.09	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	10.02.15	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	3号放水口	〃	09.04.24	—	—	—	1.5	—	—	—	ND~1.8	A
	〃	〃	09.05.14	—	—	—	2.6	—	—	—	—	C
	〃	〃	09.08.06	—	—	—	1.5	—	—	—	—	C
	〃	〃	09.10.15	—	—	—	1.6	—	—	—	—	A
	〃	〃	09.11.09	—	—	—	1.9	—	—	—	—	C
	〃	〃	10.02.15	—	—	—	2.2	—	—	—	—	C
大飯	放水口	〃	09.04.20	—	—	—	1.5	—	—	—	ND~2.0	A
	〃	〃	09.05.12	—	—	—	1.8	—	—	—	—	C
	〃	〃	09.08.04	—	—	—	1.7	—	—	—	—	C
	〃	〃	09.10.14	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	09.11.05	—	—	—	1.7	—	—	—	—	C
	〃	〃	10.02.09	—	—	—	1.9	—	—	—	—	C
高浜	1, 2号放水口	〃	09.04.20	—	—	—	1.2	—	—	—	ND~2.0	A
	〃	〃	09.05.13	—	—	—	2.5	—	—	—	—	C
	〃	〃	09.08.05	—	—	—	2.0	—	—	—	—	C
	〃	〃	09.10.14	—	—	—	1.4	—	—	—	—	A
	〃	〃	09.11.06	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	10.02.08	—	—	—	1.8	—	—	—	—	C
	3, 4号放水口	〃	09.04.20	—	—	—	1.5	—	—	—	ND~2.1	A
	〃	〃	09.05.13	—	—	—	1.8	—	—	—	—	C
	〃	〃	09.08.05	—	—	—	1.6	—	—	—	—	C
	〃	〃	09.10.14	—	—	—	1.1	—	—	—	—	A
	〃	〃	09.11.06	—	—	—	2.2	—	—	—	—	C
〃	〃	10.02.08	—	—	—	—	—	—	—	—	C	
対照	福井市小丹生町	〃	09.04.09	—	—	—	1.8	—	—	—	ND~1.8	A
	〃	〃	09.10.08	—	—	—	1.7	—	—	—	—	A

過去実績：2006~2008年度

第21表 核種分析結果 その9 海底土

単位：Bq/kg 乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	1号放水口	砂	09.10.13	—	—	—	—	—	—	5.9	1500	45	29	—	ND~2.0	A
	〃	砂・泥	09.07.07	—	—	—	1.3	—	—	—	1600	69	34			B
	〃	〃	10.01.19	—	—	—	1.5	—	—	7.3	1500	66	32			B
	明神崎F	砂	09.10.08	—	—	—	0.3	—	—	7.3	1300	21	15	—	ND~0.3	A
	浦底湾口	砂・泥	09.10.13	—	—	—	3.3	—	—	—	750	61	31	—	3.1~4.0	A
	立石	砂	〃	—	—	—	—	—	—	3.8	1000	47	24	—	—	A
	〃	〃	09.06.09	—	—	—	—	—	—	9.4	1100	32	18			D
	〃	〃	09.09.08	—	—	—	—	—	—	5.0	960	25	14			D
	〃	〃	09.12.01	—	—	—	—	—	—	—	1000	55	25			D
	〃	〃	10.03.12	—	—	—	—	—	—	4.3	1100	33	17			D
	2号放水口	〃	09.04.24	—	—	—	—	—	—	—	840	19	16	—	—	A
	〃	〃	09.10.13	—	—	—	—	—	—	2.7	900	21	15			A
	〃	〃	09.04.09	—	—	—	—	—	—	—	1000	19	14			B
	〃	〃	09.07.07	—	—	—	—	—	—	—	990	21	15			B
	〃	〃	09.10.06	—	—	—	—	—	—	3.3	960	17	12			B
	〃	〃	10.01.19	—	—	—	—	—	—	5.0	1000	18	13			B
	ふげん放水口	〃	09.11.24	—	—	—	—	—	—	6.9	730	22	16	—	—	A
	〃	〃	09.06.09	—	—	—	—	—	—	4.6	670	26	19			D
	〃	〃	09.09.08	—	—	—	—	—	—	11	800	29	15			D
	〃	〃	09.12.01	—	—	—	—	—	—	9.7	950	25	15			D
〃	〃	10.03.12	—	—	—	—	—	—	15	980	23	13			D	
白木	もんじゅ放水口	〃	09.04.24	—	—	—	—	—	—	—	1500	19	16	—	—	A
	〃	〃	09.10.15	—	—	—	—	—	—	2.5	1300	15	13			A
	〃	〃	09.05.12	—	—	—	—	—	—	—	1300	19	12			D
	〃	〃	09.08.04	—	—	—	—	—	—	—	1300	16	9.7			D
	〃	〃	09.11.10	—	—	—	—	—	—	—	1300	18	8.7			D
	〃	〃	10.02.09	—	—	—	—	—	—	4.8	1400	20	13			D
	もんじゅ放水口沖	〃	09.04.24	—	—	—	—	—	—	5.3	940	140	43	—	—	A
	〃	〃	09.10.15	—	—	—	—	—	—	5.4	1100	190	55			A
	もんじゅ放水口東	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	1300	23	16	—	—	A
	もんじゅ取水口	〃	〃	—	—	—	—	—	—	3.1	1400	19	15	—	—	A
	白木漁港	〃	09.05.12	—	—	—	—	—	—	—	1400	18	14	—	—	D
	〃	〃	09.08.04	—	—	—	—	—	—	—	1400	19	12			D
	〃	〃	09.11.10	—	—	—	—	—	—	—	1400	19	12			D
	〃	〃	10.02.09	—	—	—	—	—	—	—	1400	19	13			D
門ヶ崎	〃	09.10.15	—	—	—	—	—	—	—	1100	23	19	—	—	A	
美浜	1, 2号放水口	泥	09.04.24	—	—	—	—	—	—	21	540	31	14	—	ND~0.4	A
	〃	砂・泥	09.10.15	—	—	—	—	—	—	11	730	49	19			A
	〃	砂	09.05.14	—	—	—	—	—	—	14	580	44	18			C
	〃	〃	09.08.06	—	—	—	—	—	—	42	520	34	16			C
	〃	〃	09.11.09	—	—	—	—	—	—	7.5	760	29	16			C
	〃	〃	10.02.15	—	—	—	—	—	—	11	770	39	18			C

過去実績：2006~2008年度

(注) エクマンバージ等の採泥器で採取した試料の粒径2mm以下を分析した。天然核種の求め方は陸土と同様である。

第21表 核種分析結果 その9 海底土

単位：Bq/kg 乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関	
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
美浜	1, 2号放水口沖	砂	09.10.15	—	—	—	—	—	—	—	4.4	980	74	29	—	—	A
	〃	〃	09.05.14	—	—	—	—	—	—	—	—	1100	99	57	—	—	C
	〃	〃	09.08.06	—	—	—	—	—	—	—	—	1100	120	72	—	—	C
	〃	〃	09.11.09	—	—	—	—	—	—	—	—	1100	110	62	—	—	C
	〃	〃	10.02.15	—	—	—	—	—	—	—	9.4	1100	58	30	—	—	C
	3号放水口	〃	09.05.14	—	—	—	—	—	—	—	—	880	26	17	—	—	C
	〃	〃	09.08.06	—	—	—	—	—	—	—	—	860	32	19	—	—	C
	〃	〃	09.11.09	—	—	—	—	—	—	—	—	910	42	19	—	—	C
	〃	〃	10.02.15	—	—	—	—	—	—	—	—	820	30	17	—	—	C
	3号放水口沖	〃	09.10.15	—	—	—	—	—	—	—	3.6	890	55	23	—	—	A
	丹生湾中央	泥	09.04.24	—	—	—	8.3	—	—	—	13	780	78	35	—	5.8~8.1	A
	〃	〃	09.10.15	—	—	—	6.9	—	—	—	8.9	690	69	29	—	5.8~8.1	A
	〃	〃	09.05.14	—	—	—	7.2	—	—	—	—	690	69	32	—	5.8~8.1	C
	〃	〃	09.08.06	—	—	—	7.0	—	—	—	—	680	64	32	—	5.8~8.1	C
	〃	〃	09.11.09	—	—	—	6.8	—	—	—	—	660	60	31	—	5.8~8.1	C
	〃	〃	10.02.15	—	—	—	6.9	—	—	—	—	660	69	31	—	5.8~8.1	C
避難港	〃	09.10.15	—	—	—	8.2	—	—	—	7.8	780	80	40	—	7.8~9.5	A	
丹生湾奥	砂	〃	〃	—	—	—	—	—	—	4.8	1300	28	20	—	1.9~3.0	A	
美浜発電所取水口	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	6.8	1100	51	29	—	ND~1.0	A	
大飯	放水口	〃	09.04.20	—	—	—	—	—	—	4.5	130	3.9	4.2	—	ND~0.2	A	
	〃	〃	09.10.14	—	—	—	0.2	—	—	6.0	180	5.3	5.2	—	ND~0.2	A	
	〃	〃	09.05.12	—	—	—	—	—	—	2.4	110	3.9	4.3	—	ND~0.2	C	
	〃	〃	09.08.04	—	—	—	—	—	—	6.8	130	5.1	4.6	—	ND~0.2	C	
	〃	〃	09.11.05	—	—	—	—	—	—	2.6	81	3.5	3.9	—	ND~0.2	C	
	〃	〃	10.02.09	—	—	—	—	—	—	4.2	110	3.8	3.9	—	ND~0.2	C	
	放水口沖	〃	09.05.12	—	—	—	—	—	—	3.1	140	5.5	4.9	—	—	C	
	〃	〃	09.08.04	—	—	—	—	—	—	—	130	4.9	4.9	—	—	C	
	〃	〃	09.11.05	—	—	—	—	—	—	2.8	140	5.5	4.8	—	—	C	
	〃	〃	10.02.09	—	—	—	—	—	—	6.4	150	5.1	5.2	—	—	C	
	冠者島横	〃	09.10.14	—	—	—	1.6	—	—	4.0	290	14	8.7	—	0.3~0.8	A	
西村入江	砂・泥	〃	〃	—	—	—	3.9	—	—	7.2	510	23	15	—	4.3~5.5	A	
高浜	1, 2号放水口	砂	09.04.20	—	—	—	0.8	—	—	7.0	410	19	12	—	0.7~1.4	A	
	〃	〃	09.10.14	—	—	—	1.1	—	—	9.8	460	21	14	—	0.7~1.4	A	
	〃	〃	09.05.13	—	—	—	1.0	—	—	16	490	25	15	—	0.7~1.4	C	
	〃	〃	09.08.05	—	—	—	1.0	—	—	—	390	19	12	—	0.7~1.4	C	
	〃	〃	09.11.06	—	—	—	1.3	—	—	14	350	19	11	—	0.7~1.4	C	
	〃	〃	10.02.08	—	—	—	1.4	—	—	44	480	27	15	—	0.7~1.4	C	
	3, 4号放水口	〃	09.04.20	—	—	—	0.8	—	—	12	500	29	19	—	ND~1.1	A	
	〃	砂・泥	09.10.14	—	—	—	0.7	—	—	23	390	21	13	—	ND~1.1	A	
	〃	砂	09.05.13	—	—	—	—	—	—	—	460	27	17	—	ND~1.1	C	
	〃	〃	09.08.05	—	—	—	—	—	—	8.5	430	25	15	—	ND~1.1	C	
	〃	〃	09.11.06	—	—	—	0.7	—	—	11	380	17	11	—	ND~1.1	C	
〃	〃	10.02.08	—	—	—	0.7	—	—	18	400	21	12	—	ND~1.1	C		

過去実績：2006~2008年度

(注) エクマンバージ等の採泥器で採取した試料の粒径2mm以下を分析した。天然核種の求め方は陸土と同様である。

第21表 核種分析結果 その9 海底土

単位：Bq/kg 乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
高浜	放水口沖	砂・泥	09.10.14	—	—	—	2.2	—	—	7.6	400	18	11	—	1.1~2.5	A
	〃	泥	09.05.13	—	—	—	1.6	—	—	4.0	360	16	9.8			C
	〃	砂	09.08.05	—	—	—	1.8	—	—	—	370	16	10			C
	〃	泥	09.11.06	—	—	—	1.4	—	—	—	360	18	10			C
	〃	砂	10.02.08	—	—	—	1.4	—	—	—	370	16	10			C
	旧内浦港ロブイ	砂	09.10.14	—	—	—	—	—	—	—	510	9.2	8.1	—	1.2~1.9	A
	神野浦	〃	〃	—	—	—	0.7	—	—	6.7	270	9.4	5.2	—	0.6~1.0	A
	白井入江	〃	〃	—	—	—	0.9	—	—	6.2	260	9.1	7.5	—	0.6~1.2	A
	音海	泥	〃	—	—	—	3.9	—	—	7.3	420	19	14	—	0.8~1.7	A

過去実績：2006~2008年度

(注) エクマンバージ等の採泥器で採取した試料の粒径2mm以下を分析した。天然核種の求め方は陸土と同様である。

第22表 核種分析結果 その10 海産食品

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	部位	採取年月日	目的核種						参考核種		天然核種		平均体長 cm	平均体重 g	過去実績		機関
					²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K			⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	えりヶ崎	メジナ	肉	09.04.04	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	120	18	194	—	ND~0.2	A
	立石漁港	ヒラメ	全身	09.04.05	—	—	—	—	/	0.1	—	—	0.4	95	27	143	—	ND~0.2	A
	色ヶ浜(養殖)	マダイ	肉	09.06.03	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	140	40	1591	—	ND~0.2	A
	〃	〃	〃	09.09.04	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	140	37	1461	—	ND~0.2	A
	立石沖	ハマチ	〃	09.10.14	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	120	30	400	—	ND~0.2	B
	〃	〃	〃	09.10.16	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	120	36	744	—	ND~0.2	D
	立石漁港	ブリ	〃	〃	—	—	—	—	/	0.2	—	—	—	140	35	751	—	ND~0.2	A
	〃	サワラ	〃	〃	—	—	—	—	/	0.2	—	—	—	170	51	983	—	ND~0.2	A
	色ヶ浜(養殖)	マダイ	〃	09.12.01	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	140	37	1509	—	ND~0.2	A
	〃	〃	〃	10.03.02	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	130	34	1245	—	ND~0.2	A
	立石漁港	サザエ	除殻	09.06.05	—	—	—	—	/	—	—	—	3.4	72		73	—	ND~0.0	A
	ふげん放水口	〃	〃	09.06.07	—	—	—	—	/	—	—	—	4.5	79		59	—	ND~0.0	A
	2号放水口	〃	〃	09.07.08	—	—	—	—	/	—	—	—	3.2	61		81	—	ND~0.0	A
	立石沖	〃	〃	09.07.14	—	—	—	—	/	—	—	—	7.1	78		80	—	ND~0.0	B
えりヶ崎	ワカメ	除根	09.04.03	—	—	—	—	—	—	—	—	3.5	300			—	—	A	
立石沖	〃	〃	09.04.10	—	—	—	—	—	—	—	—	1.1	210			—	—	B	
えりヶ崎	〃	〃	09.05.02	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3	140			—	—	A	
長崎(3・4号東浸食洞沖)	〃	〃	09.05.03	—	—	—	—	—	—	—	—	1.5	190			—	—	A	
白木	門ヶ崎沖	メジナ	肉	09.04.09	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	19	247	—	0.1~0.2	A
	もんじゅ放水口	アジ	全身	09.05.09	—	—	—	—	/	0.1	—	—	0.6	100	12	24	—	0.1~0.2	A
	白木沖	〃	〃	09.07.24	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	97	7	3	—	0.1~0.2	D
	門ヶ崎沖	ブリ	肉	09.10.02	—	—	—	—	/	0.2	—	—	—	140	34	646	—	0.1~0.2	A
	アジゴ崎	サワラ	〃	〃	—	—	—	—	/	0.2	—	—	—	170	42	537	—	0.1~0.2	A
	白木沖	アジ	全身	09.10.16	—	—	—	—	/	0.0	—	—	—	50	14	50	—	0.1~0.2	D
	もんじゅ放水口東	アワビ	除殻	09.06.09	—	—	—	—	/	—	—	—	4.5	70		198	—	ND~0.0	A
	アジゴ崎	サザエ	〃	09.06.10	—	—	—	—	/	—	—	—	13	91		53	—	ND~0.0	A
	門ヶ崎	〃	〃	09.07.02	—	—	—	—	/	—	—	—	4.3	73		46	—	ND~0.0	A
	白木沿岸	〃	〃	09.07.31	—	—	—	—	/	—	—	—	3.4	55		66	—	ND~0.0	D
	もんじゅ取水口	ワカメ	除根	09.04.03	—	—	—	—	—	—	—	—	3.7	250			—	ND~0.0	A
	松ヶ崎	〃	〃	09.05.02	—	—	—	—	—	—	—	—	1.2	200			—	ND~0.0	A
	門ヶ崎	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	1.2	210			—	ND~0.0	A
	白木沿岸	〃	〃	09.05.11	—	—	—	—	—	—	—	—	4.7	150			—	ND~0.0	D
美浜	3号放水口沖	アジ	全身	09.04.07	—	—	—	—	/	0.1	—	—	0.6	99	11	40	—	ND~0.1	A
	1, 2号放水口	イワシ	〃	09.04.22	—	—	—	—	/	0.0	—	—	1.5	120	10	10	—	ND~0.1	A
	〃	アジ	〃	09.06.09	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	120	8	3	—	ND~0.1	C
	3号放水口	〃	〃	〃	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	120	8	3	—	ND~0.1	C
	1, 2号放水口	〃	〃	09.07.09	—	—	—	—	/	0.0	—	—	0.3	100	6	2	—	ND~0.1	A
	〃	〃	〃	09.10.13	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	120	11	9	—	ND~0.1	C
	3号放水口	〃	〃	〃	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	11	9	—	ND~0.1	C
	1, 2号放水口沖	〃	〃	09.10.19	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	120	9	10	—	ND~0.1	A
	〃	カワハギ	〃	〃	—	—	—	—	/	0.0	—	—	—	100	16	78	—	ND~0.1	A
	3号放水口付近	サザエ	除殻	09.06.01	—	—	—	—	/	—	—	—	5.6	84		55	—	ND~0.0	A
あご越沖	〃	〃	09.06.14	—	—	—	—	/	0.0	—	—	5.2	84		48	—	ND~0.0	A	

過去実績：2006~2008年度

(注) 実績欄の値は、地区毎の魚、貝、藻別にまとめて求めたものである。付帯データのうち体長は全長、重量は全身または殻込みの重量である。各放水口は放水口付近を含む。

第22表 核種分析結果 その10 海産食品

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	部位	採取年月日	目的核種						参考核種		天然核種		平均体長 cm	平均体重 g	過去実績		機関
					²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K			⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
美浜	3号放水口沖	サザエ	除殻	09.07.06	-	-	-	-	/	0.0	-	-	4.8	64		47	-	ND~0.0	A
	1, 2号放水口	〃	〃	09.07.07	-	-	-	-	/	-	-	-	3.8	55		59			C
	3号放水口	〃	〃	〃	-	-	-	-	/	-	-	-	4.9	66		58			C
	1, 2号放水口	ワカメ	除根	09.04.07	-	-	-	-	-	-	-	-	1.1	270			-	-	A
	3号放水口付近	〃	〃	09.05.10	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3	220					A
	丹生大橋下	モズク	全体	09.05.12	-	-	-	-	-	-	-	-	4.4	120					A
	1, 2号放水口	ワカメ	除根	10.03.03	-	-	-	-	/	-	-	-	0.7	200					C
	3号放水口	〃	〃	〃	-	-	-	-	/	-	-	-	1.0	210					C
大飯	髷島	アジ	肉	09.04.09	-	-	-	-	/	0.2	-	-	0.7	110	15	52	-	0.0~0.2	A
	裾崎	カレイ	全身	〃	-	-	-	-	/	0.1	-	-	0.9	98	18	91			A
	放水口	アジ	肉	09.06.15	-	-	-	-	/	0.2	-	-	-	120	34	410			C
	肥前(添浜)	カワハギ	全身	09.10.06	-	-	-	-	/	0.0	-	-	0.2	72	15	77			A
	〃	マダイ	〃	〃	-	-	-	-	/	0.0	-	-	-	89	12	64			A
	放水口	アジ	〃	09.10.21	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	20	69			C
	赤礁崎	サザエ	除殻	09.06.01	-	-	-	-	/	-	-	-	5.8	81		103	-	ND~0.0	A
	〃	アワビ	〃	〃	-	-	-	-	/	0.0	-	-	5.7	71		178			A
	放水口	サザエ	〃	09.07.06	-	-	-	-	/	-	-	-	4.4	68		84			C
	肥前(添浜)	〃	〃	09.07.08	-	-	-	-	/	-	-	-	3.9	64		67			A
	赤礁崎	ワカメ	除根	09.04.03	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0	390			-	-	A
	〃	〃	〃	09.05.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	340					A
	〃	モズク	全体	09.05.09	-	-	-	-	-	-	-	-	9.4	52					A
	放水口	ワカメ	除根	10.03.10	-	-	-	-	/	-	-	-	-	100					C
高浜	小黒飯漁港前	スズキ	肉	09.04.16	-	-	-	-	/	0.2	-	-	-	110	30	448	-	0.0~0.2	A
	神野浦	ナマコ	全身	09.05.04	-	-	-	-	/	0.0	-	-	1.7	22	19	245			A
	内浦湾	カンパチ	肉	09.06.17	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	140	42	1006			C
	難波江	メジナ	〃	09.10.02	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	120	23	454			A
	名島	タコ	全身	09.10.06	-	-	-	-	/	0.0	-	-	0.5	68	52	570			A
	内浦湾	ブリ	肉	09.10.19	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	120	58	2650			C
	取水口	サザエ	除殻	09.06.07	-	-	-	-	/	-	-	-	5.2	73		83	-	-	A
	ダンノ鼻	〃	〃	09.06.10	-	-	-	-	/	-	-	-	4.6	68		87			A
	神野浦	〃	〃	09.07.06	-	-	-	-	/	-	-	-	4.6	75		70			A
	内浦湾	〃	〃	09.07.12	-	-	-	-	/	-	-	-	7.5	72		58			C
	小黒飯漁港	ワカメ	除根	09.04.05	-	-	-	-	-	-	-	-	2.7	210			-	-	A
	神野浦	〃	〃	09.05.02	-	-	-	-	-	-	-	-	1.6	220					A
	名島	〃	〃	09.05.06	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9	250					A
	内浦湾	〃	〃	10.03.15	-	-	-	-	/	-	-	-	0.7	180					C
対照	越廼沖	アジ	全身	09.04.07	-	-	-	-	/	0.2	-	-	-	140	19	64	-	0.1~0.2	A
	〃	スズキ	肉	〃	-	-	-	-	/	0.2	-	-	-	120	57	1781			A
	鷹巣沖	ハマチ	〃	09.10.02	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	140	30	222*			A
	〃	サザエ	除殻	09.06.03	-	-	-	-	/	-	-	-	3.2	74		99	-	-	A
	越前町	ワカメ	除根	09.06.09	-	-	-	-	-	-	-	-	1.7	250			-	-	A
	越廼(茶崎)	〃	〃	09.06.22	-	-	-	-	-	-	-	-	1.3	240					A

過去実績：2006~2008年度

(注) 実績欄の値は、地区毎の魚、貝、藻別にまとめて求めたものである。付帯データのうち体長は全長、重量は全身または殻込みの重量である。各放水口は放水口付近を含む。

* 採取量(全身)ではなく、供試料(肉)の平均重量

第23表 核種分析結果 その11 指標海産生物

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	明神崎F	ホンダワラ	09.04.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	290	—	ND~0.1	B
	〃	〃	09.11.02	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	6.2	240	—	—	A
	水島	〃	09.04.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.7	270	—	—	B
	〃	〃	09.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	310	—	—	B
	釜谷元川河口	〃	09.04.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.7	270	—	ND~0.1	B
	〃	〃	09.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.5	170	—	—	A
	立石	〃	09.04.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.4	230	—	—	B
	〃	〃	09.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	230	—	—	B
	2号放水口	〃	09.04.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.3	370	—	—	B
	〃	〃	09.06.16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18	240	—	—	A
	〃	〃	09.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	270	—	—	B
	〃	〃	09.09.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.8	170	—	—	A
	〃	〃	09.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.8	260	—	—	B
	〃	〃	09.11.24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.3	250	—	—	A
	〃	〃	10.01.19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31	310	—	—	B
	〃	〃	10.03.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.1	250	—	—	A
	ふげん放水口	〃	09.04.24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	260	—	—	D
	〃	〃	09.06.16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20	280	—	—	A
	〃	〃	09.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	220	—	—	D
	〃	〃	09.09.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.5	220	—	—	A
〃	〃	09.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.3	240	—	—	D	
〃	〃	09.11.24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.3	320	—	—	A	
〃	〃	10.01.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	330	—	—	D	
〃	〃	10.03.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.8	240	—	—	A	
白木	松ヶ崎	〃	09.04.24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.6	270	—	—	D
	〃	〃	09.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.3	360	—	—	A
	〃	〃	09.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.4	230	—	—	D
	〃	〃	09.09.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	240	—	—	A
	〃	〃	09.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.9	170	—	—	D
	〃	〃	09.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.2	200	—	—	A
	〃	〃	10.01.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.4	300	—	—	D
	〃	〃	10.03.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.8	250	—	—	A
美浜	1, 2号放水口	〃	09.04.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19	230	—	ND~0.2	C
	〃	〃	09.06.16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	290	—	—	A
	〃	〃	09.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17	340	—	—	C
	〃	〃	09.09.18	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	38	190	—	—	A
	〃	〃	09.10.07	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	9.2	230	—	—	C
	〃	〃	09.11.24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.3	360	—	—	A
	〃	〃	10.01.19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	400	—	—	C
	〃	〃	10.03.18	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	24	290	—	—	A

過去実績：2006~2008年度

(注) ホンダワラは除根試料を分析した。

第23表 核種分析結果 その11 指標海産生物

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関	
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
美浜	3号放水口	ホンダワラ	09.04.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	310	—	ND~0.1	C	
	〃	〃	09.06.16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.8	240				A
	〃	〃	09.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.1	260				C
	〃	〃	09.09.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	140				A
	〃	〃	09.10.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.7	170				C
	〃	〃	09.11.24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.2	240				A
	〃	〃	10.01.19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19	310				C
	〃	〃	10.03.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.9	340				A
大飯	放水口	〃	09.04.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.1	270	—	ND~0.1	C	
	〃	〃	09.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	47	220				C
	〃	〃	09.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9	190				C
	〃	〃	10.01.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.4	330				C
	台場浜	〃	09.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21	380	—	ND~0.1	A	
	〃	〃	09.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.5	240				A
	〃	〃	09.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.4	200				A
	〃	〃	10.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	250				A
高浜	1, 2号放水口	〃	09.04.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	250	—	ND~0.1	C	
	〃	〃	09.06.16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.0	300				A
	〃	〃	09.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.1	220				C
	〃	〃	09.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.4	240				C
	〃	〃	10.01.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.0	340				C
	3, 4号放水口	〃	09.04.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.6	190	—	ND~0.1	C	
	〃	〃	09.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.3	230				C
	〃	〃	09.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.9	210				C
	〃	〃	10.01.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.0	290				C
	神野浦	〃	09.06.02	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	13	270	—	ND~0.3	A	
	〃	〃	09.09.02	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	12	270				A
	〃	〃	09.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.3	290				A
	〃	〃	10.03.02	—	—	—	—	—	—	0.1	—	—	14	310				A
	音海	〃	09.04.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.9	320	—	ND~0.1	C	
	〃	〃	09.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.7	300				C
	〃	〃	09.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.4	210				C
	〃	〃	10.01.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.0	310				C
	へたケ崎	〃	09.09.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	230	/	/	A	
	〃	〃	09.11.24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.1	280				A
	〃	〃	10.03.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.5	280				A
対照	福井市小丹生町	〃	09.04.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.2	330	—	ND~0.1	A	
	〃	〃	09.07.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21	250				A
	〃	〃	09.10.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.8	210				A
	〃	〃	10.03.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.5	320				A

過去実績：2006~2008年度

(注) ホンダワラは除根試料を分析した。

第24表 トリチウム分析結果 その1 陸水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	浦底（水試）	水道水	09.06.03	1.6	ND～1.4	A
		〃	09.09.03	0.7		
		〃	09.12.02	1.0		
		〃	10.03.03	1.3		
	浦底（明神寮）	〃	09.04.07	1.2	0.9～1.2	B
		〃	09.07.01	1.0		
		〃	09.10.06	1.1		
		〃	10.01.07	0.9		
白木	白木（民家）	〃	09.05.13	0.6	ND～1.5	D
		〃	09.06.03	0.8		A
		〃	09.08.06	1.4		D
		〃	09.09.03	—		A
		〃	09.11.12	—		D
		〃	09.12.02	1.3		A
		〃	10.02.09	—		D
		〃	10.03.03	1.3		A
美浜	丹生（旧漁協）	〃	09.07.01	1.6	0.7～1.8	C
		〃	10.01.04	1.1		
	丹生（民家）	〃	09.06.03	1.6	ND～1.4	A
		〃	09.09.03	0.9		
		〃	09.12.02	1.1		
		〃	10.03.03	1.5		
大飯	宮留（民家）	〃	09.06.02	1.3	ND～1.3	A
		〃	09.07.02	1.5		C
		〃	09.09.02	1.3		A
		〃	09.12.01	1.2		
		〃	10.01.05	0.7		C
		〃	10.03.02	1.1		A
高浜	音海（民家）	〃	09.06.02	1.1	ND～1.6	A
		〃	09.07.02	1.1		C
		〃	09.09.02	1.0		A
		〃	09.12.01	0.9		

過去実績：2006～2008年度

(注) 計数値が計数誤差の3倍未満の場合は、検出されず（－、またはND）とした。

第24表 トリチウム分析結果 その1 陸水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関
高浜	音海（民家）	水道水	10.01.05	0.9	ND～1.6	C
		〃	10.03.02	1.2		A
	小黒飯（民家）	〃	09.07.02	1.3	0.7～1.5	C
		〃	10.01.05	0.9		
対照	福井市原目町（衛研）	〃	09.06.08	0.9	ND～0.8	A
		〃	09.09.10	0.7		
		〃	09.12.10	0.7		
		〃	10.03.12	0.6		

過去実績：2006～2008年度

（注）計数値が計数誤差の3倍未満の場合は、検出されず（－、またはND）とした。

第25表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	立石A	09.04.06～09.05.07	1.8	1.0～11	D
		09.05.07～09.06.01	1.9		
		09.06.01～09.07.06	1.4		
		09.07.06～09.08.03	1.9		
		09.08.03～09.09.07	2.3		
		09.09.07～09.10.05	1.0		
		09.10.05～09.11.02	1.9		
		09.11.02～09.12.07	0.9		
		09.12.07～10.01.04	1.9		
		10.01.04～10.02.01	1.1		
		10.02.01～10.03.01	1.8		
		10.03.01～10.04.05	2.6		
		猪ヶ池B			
09.05.07～09.06.01	5.7				
09.06.01～09.07.01	4.0				
09.07.01～09.08.03	3.4				
09.08.03～09.09.01	3.7				
09.09.01～09.10.01	3.3				
09.10.01～09.11.02	3.1				
09.11.02～09.12.01	3.0				
09.12.01～10.01.04	4.6				
10.01.04～10.02.01	2.9				
10.02.01～10.03.01	3.8				
10.03.01～10.04.01	6.4				
浦底A				09.04.09～09.05.12	2.5
		09.05.12～09.06.03	3.6		
		09.06.03～09.07.09	1.8		
		09.07.09～09.08.05	1.5		
		09.08.05～09.09.03	2.7		
		09.09.03～09.10.08	3.3		
		09.10.08～09.11.05	2.7		
		09.11.05～09.12.02	2.4		

過去実績：2006～2008年度

(注) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、
対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

第25表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	浦底A	09.12.02～10.01.07	3.0	2.1～9.7	A
		10.01.07～10.02.03	2.8		
		10.02.03～10.03.03	2.7		
		10.03.03～10.04.08	8.9		
	浦底B	09.04.01～09.05.07	2.5	1.9～9.7	B
		09.05.07～09.06.01	2.5		
		09.06.01～09.07.01	2.0		
		09.07.01～09.08.03	1.5		
		09.08.03～09.09.01	1.8		
		09.09.01～09.10.01	2.3		
		09.10.01～09.11.02	1.8		
		09.11.02～09.12.01	2.1		
		09.12.01～10.01.04	2.3		
		10.01.04～10.02.01	2.3		
		10.02.01～10.03.01	2.3		
		10.03.01～10.04.01	7.5		
色ヶ浜B	09.04.01～09.05.07	2.1	1.6～5.0	B	
	09.05.07～09.06.01	1.9			
	09.06.01～09.07.01	1.8			
	09.07.01～09.08.03	1.7			
	09.08.03～09.09.01	1.4			
	09.09.01～09.10.01	1.8			
	09.10.01～09.11.02	1.5			
	09.11.02～09.12.01	1.8			
	09.12.01～10.01.04	2.1			
	10.01.04～10.02.01	1.6			
	10.02.01～10.03.01	1.6			
	10.03.01～10.04.01	3.0			
白木	白木A	09.04.08～09.05.12	3.3	1.0～2.8	A
		09.05.12～09.06.03	2.3		
		09.06.03～09.07.08	1.6		
		09.07.08～09.08.05	1.2		

過去実績：2006～2008年度

(注) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、
対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

第25表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
白木	白木A	09.08.05～09.09.03	2.0	1.0～2.8	A
		09.09.03～09.10.07	2.4		
		09.10.07～09.11.05	2.3		
		09.11.05～09.12.02	1.8		
		09.12.02～10.01.06	1.2		
		10.01.06～10.02.03	1.7		
		10.02.03～10.03.03	1.9		
		10.03.03～10.04.07	1.9		
	白木峠A	09.04.06～09.05.07	3.9	1.3～4.5	D
		09.05.07～09.06.01	4.2		
		09.06.01～09.07.06	2.4		
		09.07.06～09.08.03	1.4		
		09.08.03～09.09.07	2.5		
		09.09.07～09.10.05	1.6		
		09.10.05～09.11.02	3.4		
		09.11.02～09.12.07	1.5		
		09.12.07～10.01.04	2.5		
		10.01.04～10.02.01	1.7		
		10.02.01～10.03.01	2.7		
10.03.01～10.04.05	2.6				
美浜	竹波A	09.04.08～09.05.12	5.6	1.7～4.3	A
		09.05.12～09.06.03	4.1		
		09.06.03～09.07.08	3.1		
		09.07.08～09.08.05	2.2		
		09.08.05～09.09.03	2.2		
		09.09.03～09.10.07	2.9		
		09.10.07～09.11.05	3.6		
		09.11.05～09.12.02	2.3		
		09.12.02～10.01.06	2.3		
		10.01.06～10.02.03	2.7		
		10.02.03～10.03.03	2.9		
		10.03.03～10.04.07	2.7		

過去実績：2006～2008年度

(注) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、
対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

第25表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
美浜	竹波（落合川ポンプ所）	09.04.01～09.05.07	4.5	1.7～6.5	C
		09.05.07～09.06.02	5.1		
		09.06.02～09.07.01	3.6		
		09.07.01～09.08.03	2.4		
		09.08.03～09.09.01	2.9		
		09.09.01～09.10.01	2.9		
		09.10.07～09.11.02*	3.3		
		09.11.02～09.12.01	2.1		
		09.12.01～10.01.04	5.4		
		10.01.04～10.02.01	5.4		
		10.02.01～10.03.01	5.2		
		10.03.01～10.04.01	2.1		
大飯	宮留A	09.04.08～09.05.11	5.8	2.0～19	A
		09.05.11～09.06.02	6.4		
		09.06.02～09.07.08	5.7		
		09.07.08～09.08.04	5.6		
		09.08.04～09.09.02	11		
		09.09.02～09.10.07	9.9		
		09.10.07～09.11.04	8.7		
		09.11.04～09.12.01	8.3		
		09.12.01～10.01.06	6.9		
		10.01.06～10.02.02	3.8		
		10.02.02～10.03.02	8.0		
		10.03.02～10.04.07	9.5		
	日角浜C		09.04.02～09.05.08	3.8	1.9～6.8
09.05.08～09.06.03			3.7		
09.06.03～09.07.02			3.8		
09.07.02～09.08.04			2.1		
09.08.04～09.09.02			3.5		
09.09.02～09.10.02			4.5		
09.10.02～09.11.04			4.8		
09.11.04～09.12.02	4.4				

過去実績：2006～2008年度

(注) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、
対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

*：美浜地区（落合川ポンプ所）の10月分については、未採取期間があったので、参考値とする。

第25表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関				
大飯	日角浜C	09.12.02～10.01.05	5.7	1.9～6.8	C				
		10.01.05～10.02.02	3.1						
		10.02.02～10.03.02	3.1						
		10.03.02～10.04.02	3.3						
高浜	小黒飯A	09.04.07～09.05.11	23	7.9～52	A				
		09.05.11～09.06.02	15						
		09.06.02～09.07.07	13						
		09.07.07～09.08.04	10						
		09.08.04～09.09.02	15						
		09.09.02～09.10.06	25						
		09.10.06～09.11.04	39						
		09.11.04～09.12.01	34						
		09.12.01～10.01.05	22						
		10.01.05～10.02.02	17						
		10.02.02～10.03.02	17						
		10.03.02～10.04.06	12						
		高浜	神野浦C			09.04.02～09.05.08	9.7	3.5～12	C
						09.05.08～09.06.03	8.1		
09.06.03～09.07.02	8.7								
09.07.02～09.08.04	5.4								
09.08.04～09.09.02	6.0								
09.09.02～09.10.02	5.6								
09.10.02～09.11.04	5.3								
09.11.04～09.12.02	7.6								
09.12.02～10.01.05	3.4								
10.01.05～10.02.02	2.9								
10.02.02～10.03.02	5.3								
10.03.02～10.04.02	2.7								
対照	原目町(衛研)			09.04.09～09.05.01	1.2	ND～1.0	A		
		09.05.01～09.06.01	0.8						
		09.06.01～09.07.01	—						
		09.07.01～09.08.05	1.0						

過去実績：2006～2008年度

(注) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、
対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

第25表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
対照	原目町（衛研）	09.08.05～09.09.02	—	ND～1.0	A
		09.09.02～09.10.05	—		
		09.10.05～09.11.04	1.0		
		09.11.04～09.12.01	0.9		
		09.12.01～10.01.04	0.8		
		10.01.04～10.02.04	—		
		10.02.04～10.03.01	0.9		
		10.03.01～10.04.02	1.0		

過去実績：2006～2008年度

- (注1) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。
- (注2) 大気水分中のトリチウム分析については、2005年度第1期から1ヶ月試料を分析している。
- (注3) 白木地区白木Aの4月の試料で、3.3Bq/lと過去実績(1.0～2.8Bq/l)を上回った。なお、過去最高値は、2006年3月の4.4Bq/lである。
- (注4) 美浜地区竹波Aの4月の試料で、5.6Bq/lと過去実績(1.7～4.3Bq/l)を上回った。この値は過去最高値である。なお、これまでの最高値は、2006年3月の5.5Bq/lであった。
- (備考) 大気中水分のトリチウム分析は、吸入に伴う内部被ばく線量を把握する目的で行っている。内部被ばく線量把握のために必要な空气中濃度への換算方法等を付4.3に示す。

第26表 トリチウム分析結果 その3 雨水

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	浦底（水試）	09.04.09～09.07.09	1.3	1.1～6.6	A
		09.07.09～09.10.08	1.6		
		09.10.08～10.01.07	1.3		
		10.01.07～10.04.08	6.2		
	浦底（明神寮）	09.04.01～09.07.01	1.5	1.3～3.5	B
		09.07.01～09.10.01	1.5		
		09.10.01～10.01.04	1.2		
		10.01.04～10.04.01	3.5		
白木	松ヶ崎（原子力機構Mステーション）	09.04.08～09.07.08	1.2	ND～1.4	A
		09.07.08～09.10.07	1.3		
		09.10.07～10.01.06	0.8		
		10.01.06～10.04.07	1.9		
		09.04.01～09.07.01	1.0	ND～1.5	D
		09.07.01～09.10.01	0.9		
		09.10.01～10.01.04	0.7		
		10.01.04～10.04.01	1.9		
美浜	竹波（落合川取水場）	09.04.08～09.07.08	2.1	1.1～3.0	A
		09.07.08～09.10.07	2.1		
		09.10.07～10.01.06	2.0		
		10.01.06～10.04.07	2.9		
	丹生（関電丹生寮敷地内）	09.04.01～09.07.01	2.8	1.2～3.8	C
		09.07.01～09.10.01	2.6		
		09.10.01～10.01.04	2.5		
		10.01.04～10.04.01	3.3		
大飯	宮留（県テレメ観測局）	09.04.08～09.07.08	2.7	2.2～6.0	A
		09.07.08～09.10.07	4.4		
		09.10.07～10.01.06	4.9		
		10.01.06～10.04.07	6.7		
	日角浜（ヴィラ大島）	09.04.02～09.07.02	2.0	1.2～4.2	C
		09.07.02～09.10.02	2.3		
		09.10.02～10.01.05	4.0		
		10.01.05～10.04.02	3.0		
高浜	小黒飯（県テレメ観測局）	09.04.07～09.07.07	5.6	5.1～9.5	A
		09.07.07～09.10.06	8.2		
		09.10.06～10.01.05	5.7		
		10.01.05～10.04.06	6.8		

過去実績：2006～2008年度

第26表 トリチウム分析結果 その3 雨水

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
高浜	小和田（小和田ポンプ所）	09.04.02～09.07.02	1.8	0.8～2.8	C
		09.07.02～09.10.02	2.4		
		09.10.02～10.01.05	1.5		
		10.01.05～10.04.02	1.9		
対照	福井市原目町（衛研）	09.04.09～09.07.06	—	ND～0.8	A
		09.07.06～09.10.05	—		
		09.10.05～10.01.04	0.6		
		10.01.04～10.04.05	0.8		

過去実績：2006～2008年度

（注1）雨水のトリチウム分析については、2005年度第1期から3ヶ月の混合試料を分析している。

（注2）大飯地区宮留（県テレメ観測局）の第4期試料で、6.7Bq/lと過去実績（2.2～6.0Bq/l）を上回った。なお、過去最高値は、1999年3月の24Bq/lである。

第27表 トリチウム分析結果 その4 海水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関	
敦賀	立石岬	海水	09.04.24	1.1	ND~1.6	A	
		〃	09.10.13	1.1			
	敦賀発電所2号放水口	〃	09.04.24	14	ND~1.8	A	
		〃	09.05.20	1.3		B	
		〃	09.08.06	1.2			
		〃	09.10.13	1.0		A	
		〃	09.11.05	1.3		B	
		〃	10.02.08	1.3			
		〃	〃	〃			
	ふげん放水口	〃	09.04.24	1100	ND~6.3	A	
		〃	09.06.09	—		D	
		〃	09.09.08	1.5			
		〃	09.10.13	1.0		A	
		〃	09.12.01	—		D	
		〃	10.03.12	—			
	白木	もんじゅ放水口	〃	09.04.24	—	ND~1.3	A
〃			09.05.12	0.6	D		
〃			09.08.04	1.3			
〃			09.10.15	1.4	A		
〃			09.11.10	—	D		
〃			10.02.09	—			
もんじゅ放水口沖		〃	09.04.24	—	ND~1.0	A	
		〃	09.10.15	1.9			
美浜		美浜発電所1, 2号放水口	〃	09.04.24	0.8	ND~5.7	A
			〃	09.05.14	2.8		C
	〃		09.08.06	0.5			
	〃		09.10.15	1.4	A		
	〃		09.11.09	1.6	C		
	〃		10.02.15	1.0			
	美浜発電所1, 2号放水口沖	〃	09.04.24	1.0	0.6~1.4	A	
		〃	09.10.15	1.7			
	美浜発電所3号放水口	〃	09.04.24	1.2	ND~4.0	A	
		〃	09.05.14	2.4		C	

過去実績：2006~2008年度

(注) 実績欄の値は、同一採取地点毎にまとめて求めたものである。

第27表 トリチウム分析結果 その4 海水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関		
美浜	美浜発電所3号放水口	海水	09.08.06	0.7	ND~4.0	C		
		〃	09.10.15	1.3		A		
		〃	09.11.09	1.3		C		
		〃	10.02.15	0.9				
	美浜発電所3号放水口沖	〃	09.04.24	2.2	ND~2.9	A		
		〃	09.10.15	0.9				
大飯	大飯発電所放水口	〃	09.04.20	0.8	ND~1.9	A		
		〃	09.05.12	0.9		C		
		〃	09.08.04	0.7				
		〃	09.10.14	1.0		A		
		〃	09.11.05	1.2		C		
		〃	10.02.09	—				
	髻島	〃	09.04.20	—	ND~1.0	A		
		〃	09.10.14	1.1				
	高浜	高浜発電所1, 2号放水口	〃	09.04.06	0.9	ND~10	C	
			〃	09.04.20	0.9		A	
〃			09.05.13	1.2	C			
〃			09.07.02	1.7				
〃			09.08.05	1.4				
〃			09.10.06	0.9				
〃			09.10.14	2.3	A			
〃			09.11.06	1.4	C			
〃			10.01.18	1.3				
〃			10.02.08	—				
高浜発電所3, 4号放水口			〃	09.04.06	0.6		ND~3.2	C
			〃	09.04.20	—			A
		〃	09.05.13	1.0	C			
		〃	09.07.02	2.1				
		〃	09.08.05	1.7				
		〃	09.10.06	0.9				
〃		09.10.14	1.4	A				
〃		09.11.06	1.9	C				

過去実績：2006～2008年度

(注) 実績欄の値は、同一採取地点毎にまとめて求めたものである。

第27表 トリチウム分析結果 その4 海水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関
高浜	高浜発電所3, 4号放水口	海水	10.01.18	1.3	ND~3.2	C
		〃	10.02.08	0.8		
	高浜発電所放水口沖	〃	09.04.06	0.8	ND~2.7	C
		〃	09.05.13	1.2		
		〃	09.07.02	1.9		
		〃	09.08.05	2.6		
		〃	09.10.06	1.0		
		〃	09.11.06	2.2		
		〃	10.01.18	1.5		
		〃	10.02.08	—		
	旧内浦港口ブイ	〃	09.04.20	—	ND~2.3	A
〃		09.10.14	2.9			
対照	福井市小丹生町	〃	09.04.09	—	ND~1.0	A
		〃	09.10.08	0.6		

過去実績：2006～2008年度

(注1) 実績欄の値は、同一採取地点毎にまとめて求めたものである。

(注2) 敦賀発電所2号放水口において、過去実績 (ND~1.8Bq/l) を上回る値 (14Bq/l) が検出されたが、過去最高値 (2001年度：16Bq/l) より低い値であった。

(注3) ふげん放水口において、過去実績 (ND~6.3Bq/l) を上回る値 (1,100Bq/l) が検出された。この値は過去最高値である。この結果および(注2)の原因は、原子炉廃止措置研究開発センター「ふげん」からの液体トリチウムの管理放出期間中に海水試料を採取したためと考えられ、詳細は付4.4に示す。

(注4) 旧内浦港口ブイにおいて、過去実績 (ND~2.3Bq/l) を上回る値 (2.9Bq/l) が検出されたが、過去最高値 (2005年度：6.3Bq/l) より低い値であった。

第28表 放射化学分析等による⁹⁰Sr・¹³⁷Cs・²³⁹Pu分析結果

(その1 ストロンチウム-90) 分析機関：A 単位：mBq/kg生

区分	地区	採取地点	種類	採取日	放射能濃度	過去実績
指標植物	敦賀	浦底	ヨモギ	09.06.01	220	180 ~ 330
	白木	白木		09.06.01	300	120 ~ 220
	美浜	竹波		09.06.01	360	810 ~ 1200
	大飯	日角浜		09.06.02	120	170 ~ 340
	高浜	小黒飯		09.06.02	320	520 ~ 890
	対照	福井市原目町		09.06.02	430	210 ~ 340
指標海産生物	敦賀	敦賀2号放水口	ホンダワラ	09.06.16	94	／(注2)
	白木	松ヶ崎		09.06.01	32	ND ~ 39
	美浜	美浜1,2号放水口		09.06.16	40	ND ~ 45
	大飯	台場浜		09.06.02	56	ND ~ 34
	高浜	高浜1,2号放水口		09.06.16	29	ND ~ 40
	対照	小丹生		09.04.09	45	36 ~ 83

過去実績：2006～2008年度

(注1) ーおよびNDは、検出限界値未満を示す(以下、同じ)。

(注2) 今年度より採取地点が変更されたため、過去実績がない。

(第28表続き その2 アンチコリンゲン測定によるセシウム-137)

分析機関：A

単位：生物試料 mBq/kg生、海底土 mBq/kg乾土

区分	地区	採取地点	種類	採取月日	放射能濃度	過去実績
海底土	敦賀	敦賀2号放水口	砂	09.04.24	—	/ (注2)
		ふげん放水口	砂	09.11.24	—	ND ~ 93
	白木	もんじゅ放水口	砂	09.04.24	—	—
	美浜	美浜1,2号放水口	砂・泥	09.10.15	350	280 ~ 350
		美浜1,2号放水口沖	砂	09.10.15	—	130 ~ 180
		美浜3号放水口沖	砂	09.10.15	—	—
	大飯	大飯放水口	砂	09.10.14	270	100 ~ 120
	高浜	高浜1,2号放水口	砂	09.04.20	840	810 ~ 1000
高浜3,4号放水口		砂	09.04.20	700	820 ~ 990	
海産食品	敦賀	えりヶ崎	ワカメ	09.04.03	22	19 ~ 28
	白木	もんじゅ取水口		09.04.03	15	16 ~ 21
	美浜	美浜3号放水口		09.05.10	19	14 ~ 28
	大飯	赤礁崎		09.05.04	23	23 ~ 26
	高浜	名島		09.05.06	20	17 ~ 26
	対照	越前町		09.06.09	15	25 ~ 34
	敦賀	立石漁港	サザエ	09.06.05	19	18 ~ 26
	白木	アジゴ崎		09.06.10	27	16 ~ 35
	美浜	美浜3号放水口付近		09.06.01	22	20 ~ 33
	大飯	赤礁崎		09.06.01	15	21 ~ 28
	高浜	高浜発電所取水口		09.06.07	22	18 ~ 38
	対照	鷹巣沖		09.06.03	15	12 ~ 24
	指標海産生物	敦賀		ふげん放水口	ホンダワラ	09.11.24
明神崎F			09.11.02	56		94 ~ 110
白木		松ヶ崎	09.11.05	37		24 ~ 39
美浜		美浜1,2号放水口	09.11.24	58		53 ~ 85
大飯		台場浜	09.11.04	39		34 ~ 35
高浜		へたヶ崎	09.11.24	28		40 ~ 46

過去実績：2006～2008年度

(その3 プルトニウム-238、239(+240) 陸上試料)

単位：生物試料 mBq/kg生、海底土 mBq/kg乾土

区分	地区	採取地点	種類	採取 月日	²³⁸ Pu 濃度	²³⁹ Pu 濃度	過去実績		機関
							²³⁸ Pu	²³⁹ Pu	
陸土	白木	松ヶ崎	土床	09.05.12	—	41	—	39 ~ 75	A
				09.07.09	—	58			D
				09.11.05	—	37			A
				10.01.14	—	54			D
	対照	勝山市池ヶ原	山土	09.06.09	140	5000	95 ~ 160	4000 ~ 4700	A
指標植物	敦賀	浦底	ヨモギ	09.05.12	—	—	—	ND ~ 0.47	A
	白木	松ヶ崎		09.05.12	—	—	—	ND ~ 0.36	A
				09.06.01	—	0.25			A
				09.07.08	—	—			A
				09.08.05	—	0.54			A
				09.09.01	—	—			A
				09.10.07	—	0.49			A
				09.11.02	—	—			A
	美浜	竹波		09.05.12	—	0.86	—	ND ~ 0.34	A
	大飯	日角浜		09.05.11	—	—	—	ND ~ 0.31	A
	高浜	小黒飯		09.05.11	—	—	—	—	A
	対照	福井市原目町		09.05.01	—	—	—	—	A
農産物	白木	白木	大根葉	09.11.04	—	0.42	—	ND ~ 0.36	A

過去実績：2006～2008年度

注) プルトニウム分析結果において²³⁸Puが検出された場合、²³⁸Pu/²³⁹Pu比が3%前後であれば、核実験フォールアウト由来と判断できる。
今年度²³⁸Puが検出された試料の²³⁸Pu/²³⁹Pu比は、全てその範囲内であった。

(その4 プルトニウム-238、239(+240) 海洋試料)

単位：生物試料 mBq/kg生、海底土 mBq/kg乾土

区分	地区	採取地点	種類	採取月日	²³⁸ Pu濃度	²³⁹ Pu濃度	過去実績		機関
							²³⁸ Pu	²³⁹ Pu	
海底土	敦賀	2号放水口	砂	09.10.15	—	98	／(注2)	／(注2)	A
	白木	もんじゅ放水口	砂	09.04.24	—	70	—	51 ~ 74	A
				09.05.12	—	61			D
				09.10.15	—	48			A
				09.11.10	—	45			D
				09.10.15	—	110			—
	白木	白木漁港	砂	09.05.12	—	56	—	52 ~ 94	D
				09.11.10	—	48			D
				09.10.15	—	90			—
	白木	もんじゅ放水口沖	砂	09.10.15	—	90	—	57 ~ 140	A
白木	門ヶ崎	砂	09.10.15	—	19	—	22 ~ 71	A	
美浜	丹生湾中央	泥	09.10.15	44	1900	43 ~ 60	1700 ~ 1800	A	
大飯	西村入江	砂・泥	09.10.14	21	1300	ND ~ 47	1400 ~ 1500	A	
高浜	放水口沖	砂・泥	09.10.14	22	1100	ND ~ 37	880 ~ 1200	A	
海産食品	白木	門ヶ崎沖	メジナ	09.04.09	—	—	—	—	A
		もんじゅ放水口	マアジ	09.05.09	—	—			A
		門ヶ崎沖	ブリ	09.10.02	—	—			A
		アジゴ崎	サワラ	09.10.02	—	—			A
		白木沖	アジ	09.07.24	—	—			D
		白木沖	アジ	09.11.06	—	—			D
	白木	アジゴ崎	サザエ	09.06.10	1.1	54	ND ~ 1.6	13 ~ 57	A
		ねこ崎	アワビ	09.06.09	0.28	17			A
		門ヶ崎	サザエ	09.07.02	0.65	36			A
		白木沿岸	サザエ	09.07.31	—	42			D
	敦賀	えりヶ崎	ワカメ	09.04.03	—	3.6	—	1.6 ~ 1.9	A
	白木	もんじゅ取水口		09.04.03	—	3.2	—	ND ~ 7.2	A
		松ヶ崎		09.05.02	—	4.4			A
		門ヶ崎		09.05.02	—	3.8			A
		白木沿岸		09.05.11	—	2.3			D
		美浜		1, 2号放水口	09.04.07	—			1.8
大飯	赤礁崎	09.04.03		—	1.6	—	1.2 ~ 1.8	A	
高浜	小黒飯漁港	09.04.05		—	3.3	—	1.8 ~ 4.5	A	
対照	越前町くりや	09.06.09		—	4.7	—	2.3 ~ 3.8	A	
指標海産生物	敦賀	2号放水口		ホンダワラ	09.06.16	—	34	／(注2)	／(注2)
		明神崎F	09.11.02		—	9.7	—	8.9 ~ 13	A
	白木	松ヶ崎	09.06.01		—	12	—	5.5 ~ 18	A
			09.09.01		—	12			A
			09.11.05		—	7.1			A
			10.03.01		—	6.0			A
			09.06.16		—	26			ND ~ 1.8
	美浜	1,2号放水口	09.06.16		—	20	—	7.6 ~ 25	A
	大飯	台場浜	09.06.02		—	18	—	8.8 ~ 15	A
	高浜	1,2号放水口	09.06.16		—	15	—	5.9 ~ 15	A
対照	福井小丹生	09.04.09	—	9.3	—	10 ~ 10	A		

過去実績：2006～2008年度

第29表 年間降下物の⁹⁰Sr・²²Na・⁶⁰Co・¹³⁷Cs・²³⁹Pu分析結果

(参考：定期外調査)

単位：mBq/m²・年

採取地点	採取期間	放射能濃度					過去実績				
		⁹⁰ Sr	²² Na	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	²³⁹ Pu	⁹⁰ Sr	²² Na	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	²³⁹ Pu
浦底 水試 A	09.04.9 ～10.04.08	120	460	—	410	15	ND ～ 75	290 ～ 480	—	130 ～ 270	3.3 ～ 9.0
浦底 明神寮 B	09.04.01 ～10.04.01	/	380	—	420	/	/	270 ～ 350	—	220 ～ 290	/
松ヶ崎 A	09.04.08 ～10.04.7	540	400	—	380	9.7	ND ～ 520	250 ～ 460	—	140 ～ 270	5.3 ～ 5.9
松ヶ崎 D	09.04.01 ～10.04.01	/	360	—	270	/	/	220 ～ 240	—	130 ～ 280	/
竹波 A	09.04.08 ～10.04.07	160	380	—	400	9.6	ND ～ 230	330 ～ 530	—	190 ～ 240	3.4 ～ 7.4
丹生 C	09.04.01 ～10.04.01	/	350	—	460	/	/	320 ～ 410	—	210 ～ 270	/
宮留 A	09.04.08 ～10.04.07	86	370	—	290	8.3	ND ～ 74	250 ～ 430	—	130 ～ 230	4.1 ～ 7.5
日角浜 C	09.04.02 ～10.04.02	/	360	—	160	/	/	220 ～ 270	—	95 ～ 240	/
小黑飯 A	09.04.07 ～10.04.06	270	440	—	※	10	ND ～ 320	210 ～ 520	—	160 ～ 200	3.3 ～ 7.4
小和田 C	09.04.02 ～10.04.02	/	420	—	210	/	/	200 ～ 360	—	150 ～ 210	/
原目町 A	09.04.06 ～10.04.05	130	470	—	500	14	ND ～ 92	210 ～ 450	—	97 ～ 280	4.9 ～ 8.4

過去実績：2006～2008年度

- (注1) 各地点での月間降下物測定試料（パウデックス樹脂）の12ヶ月分を混ぜ合わせ、灰化物集合試料とし、測定したもの。
- (注2) ²²Na, ⁶⁰Co, ¹³⁷CsはGe半導体検出器によるγ線スペクトロメトリによる結果であり、⁹⁰Sr, ²³⁹Puは放射化学分析の結果である。
- (注3) 採取地点のA, B, C, Dはそれぞれ県、原電、関電、原子力機構が分析した試料であることを示す。
- (注4) 各地区の²²Naは宇宙線で生成されたものである。
- (注5) 小黑飯Aの核種分析および²³⁹Pu分析結果については、それぞれ4月～12月分の集合試料の測定値と1月～3月分の集合試料の測定値とを合計したものであるため、参考値とする。
なお、¹³⁷Csについては4月～12月分の測定値が検出限界以下であったので、欠測（「※」）とした。
以下に4月～12月分と1月～3月分の測定結果を示す。
- (注6) 小黑飯Aの⁹⁰Sr分析結果については、4月～12月分集合試料と1月～3月分集合試料を混合し、年間集合試料として再度分析を行った。

単位：mBq/m²・年

採取地点	採取期間	放射能濃度					過去実績				
		⁹⁰ Sr	²² Na	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	²³⁹ Pu	⁹⁰ Sr	²² Na	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	²³⁹ Pu
小黑飯 A	09.04.07 ～10.01.05	220	240	—	—	2.7	ND～320	210～520	—	160～200	3.3～7.4
小黑飯 A	10.01.05 ～10.04.06	/	200	—	140	7.6					

過去実績：2006～2008年度

- *1：4月～12月分集合試料の¹³⁷Cs検出限界値は170mBq/m²であった。
- *2：1月～3月分集合試料については⁹⁰Sr分析を行っていない。

第30表 原乳の核種分析結果（参考：定期外調査）

単位： Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種					参考核種			天然核種	過去実績	機関	
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	¹³⁴ Cs	⁴⁰ K	¹³¹ I		
美浜	安江	原乳	09.06.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51	／注2	A
	〃	〃	09.08.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	52		
	〃	〃	09.10.27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	56		
対照	奥越高原牧場(勝山市池ヶ原)	〃	09.06.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	48	—	A
	〃	〃	09.08.27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51		
	〃	〃	09.10.21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50		

(注1) マリネリピーカーを用いて直接測定。

過去実績：2006～2008年度

(注2) 今年度より測定を開始したため過去実績無し

第31表 各地の積雪量 (2009年12月～2010年1月) [参考データ]

単位：cm

月	日	今庄 (今庄)	敦賀 (松栄)	小浜 (遠敷)	県テレメータ観測局								
					浦底	白木峠	竹波	坂尻	宮留	長井	小黒飯	山中	
12	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	17	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	18	25	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	19	48	20	4	3	3	2	12	—	—	3	3	—
	20	48	13	—	—	—	—	7	—	—	—	—	—
	21	46	11	—	—	—	—	5	—	—	—	8	—
	22	44	9	—	—	—	—	2	—	—	—	3	—
	23	38	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24	31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25	27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26	26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	27	23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28	22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	29	19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	30	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	31	29	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1	1	40	5	—	—	—	—	3	—	—	—	—	
	2	39	5	—	—	—	—	5	—	—	—	14	
	3	35	2	—	—	—	—	2	—	—	—	—	
	4	32	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	5	30	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	6	38	10	—	—	6	—	11	—	—	—	—	
	7	38	9	—	—	2	—	12	—	—	—	6	
	8	37	7	—	—	1	—	13	—	—	—	5	
	9	41	3	—	—	—	—	11	—	—	—	6	
	10	36	—	—	—	—	—	9	—	—	—	—	
	11	33	—	—	—	—	—	8	—	—	—	—	
	12	33	—	—	—	—	—	6	—	—	—	—	
	13	60	11	—	—	—	—	9	—	—	—	2	
	14	79	22	—	18	5	—	16	—	—	—	—	
	15	91	26	—	25	12	2	17	—	—	—	2	
	16	85	16	2	17	×	—	12	—	—	—	1	
	17	73	11	—	13	4	—	11	—	—	—	2	
	18	69	8	—	8	3	—	10	—	—	—	—	
	19	65	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	
	20	59	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	
	21	54	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	22	47	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	23	48	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	24	48	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	25	46	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	26	45	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	27	43	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	28	41	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	29	35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	30	33	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	31	32	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

(注)・積雪深計による定時(午前9時)の測定値を示す。
 ・測定値の0は積雪なし(—)とした。
 ・×は県テレメータ観測局において欠測したデータである。
 ・今庄、敦賀、小浜の値は、気象庁ホームページの気象統計情報(過去の気象データ検索)から引用した。

第31表 各地の積雪量 (2010年2月～2010年3月) [参考データ]

単位：c m

月	日	今庄 (今庄)	敦賀 (松栄)	小浜 (遠敷)	県テレメータ観測局								
					浦底	白木峠	竹波	坂尻	宮留	長井	小黒飯	山中	
2	1	32	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	42	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	83	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8
	5	90	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	87	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	7
	7	87	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
	8	78	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	70	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	55	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	49	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	46	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	13	44	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	14	41	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	15	40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16	37	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	17	39	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	18	44	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
	19	55	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
	20	56	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
	21	51	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
	22	48	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
	23	44	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24	40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25	34	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26	19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	27	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	10	5	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	11	5	5	—	3	3	2	—	—	—	—	—
	11	9	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)・積雪深計による定時(午前9時)の測定値を示す。
 ・測定値の0は積雪なし(—)とした。
 ・×は県テレメータ観測局において欠測したデータである。
 ・今庄、敦賀、小浜の値は、気象庁ホームページの気象統計情報(過去の気象データ検索)から引用した。

4. 付

4. 1 空間放射線の構成成分
4. 2 県環境放射線監視テレメータシステムによる空間線量率及び気象の調査結果
4. 3 大気中水分、雨水（降下物）のトリチウム分析結果について
4. 4 原子炉廃止措置研究開発センター「ふげん」放水口付近海水からのトリチウム検出とその検討結果について
4. 5 対照地区福井市寮町（県農試）の松葉からのセシウム-137検出とその検討結果
4. 6 セシウム-137降下量に関する調査
4. 7 環境モニタリング結果に基づく内部被ばく預託実効線量評価結果

4. 1 空間放射線の構成成分

これまで県内各地点における空間放射線の構成成分を調べるため、ポータブルスペクトロメータを用いて γ 線スペクトル測定を行ってきた。今年度は、TLD設置地点15地点（各サイト3地点）について、空間放射線の構成成分調査を実施した。

今年度の測定地点名と測定結果を表-1と図-1に示す。

測定器は3" ϕ \times 3" NaI(Tl) スペクトロメータ (Aloka JSM-112*)で、測定時間は各10分間である。解析法は脚注に示した。ここで測定した値は降雨等の自然条件や測定条件などにより個々の測定点でも測定毎に20~30%の変動がある。

測定結果の各成分のカリウム-40、ウラン系列、トリウム系列は天然の放射線源である。降雨時には雨により空気中のラドンの娘核種が降下し、地表面に溜まるため、ウラン系列の放射線が増加する。今回の測定時の天候は晴あるいは曇であったが、前日までの数日間は降雨であったことにより、比較的高い測定値となっている。

地域や地点により線量率に差があるのは、地質によって天然放射性核種の濃度が違うためである。敦賀半島はその大部分が花崗岩（酸性岩）からなり、天然放射性核種の濃度が高いので線量率も高い。嶺南地区の西部は粘板岩ないし安山岩等（堆積岩ないし塩基性岩）からなり線量率は低い。嶺北地区については、砂礫および粘土を主体とした沖積層の福井平野に位置しているため線量率は低い。

今年度の調査結果をまとめると、線量率の最も高かったのは、浦底A5の108nGy/hで、最も低かったのは、音海A3の31nGy/hであった。

線量構成比を比較すると、浦底A5は、ウラン系列；19%、トリウム系列；48%、カリウム；33%であり、音海A3は、ウラン系列；23%、トリウム系列；37%、カリウム；41%となっている。

*今年度より使用（平成20年度までは、Aloka JSM-102を使用）

(解析法) 測定エネルギー範囲を0~3.2 MeVとした。測定された波高分布から線量率を求めるには2つのステップが必要である。①波高分布を入射エネルギースペクトルに変換すること、②このエネルギースペクトルから線量率に換算することの2つである。

(1)波高分布→入射エネルギースペクトル変換

入射 γ 線のスペクトル（求めるべきエネルギースペクトル）を \mathbf{N} 、シンチレーションスペクトロメータの出力波高分布を \mathbf{P} とし、これらの関係をベクトルで表示すると

$$\mathbf{P} = \mathbf{N} \cdot \mathbf{R} \quad \text{と書ける。}$$

\mathbf{N} を逐次近似的にレスポンス行列（ \mathbf{R} ）を用いて求めるのがレスポンス行列法である。

(2)入射エネルギースペクトル→線量率換算

(1)で得られた入射 γ 線エネルギースペクトルの各ビンに、そのビンのエネルギーに対応する質量エネルギー吸収係数をかけ、それらを積算して0~3.2 MeVの線量率を求める。ただし、3.0~3.2MeVについては宇宙線寄与分として取り扱い、その影響を除外している。

参考文献：①名古屋工業試験所報告、第31巻 第5号、p132-146（1982）

②福井県衛生研究所年報、第28集、p91~95（1989）

③福井県原子力環境監視センター所報、第8巻、p47~59（2001）

表-1 測定地点と核種別線量率

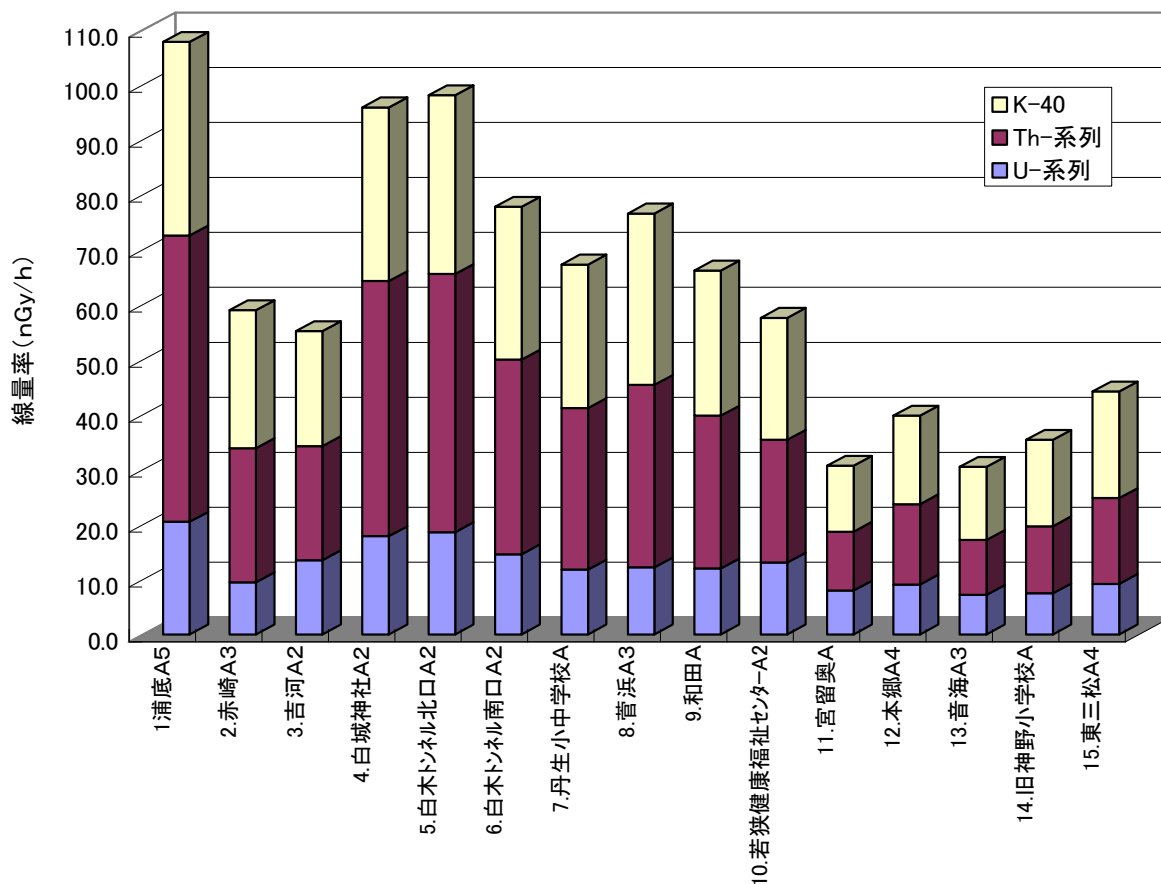
地区	測定地点	線量率 (nGy/h)				線量構成比(%)		
		U-系列	Th-系列	K-40	TOTAL	U-系列	Th-系列	K-40
敦賀市	1 浦底A 5	20.5	52.1	35.2	107.8	19.0	48.3	32.7
	2 赤崎A 3	9.5	24.4	25.1	59.0	16.1	41.4	42.5
	3 吉河A 2	13.5	20.8	20.9	55.2	24.5	37.7	37.9
	4 白城神社A 2	17.9	46.4	31.6	95.9	18.7	48.4	33.0
	5 白木トンネル北口A 2	18.6	47.0	32.5	98.1	19.0	47.9	33.1
	6 白木トンネル南口A 2	14.6	35.4	27.8	77.8	18.8	45.5	35.7
美浜町	7 丹生小中学校A	11.8	29.4	26.1	67.3	17.5	43.7	38.8
	8 菅浜A 3	12.2	33.2	31.2	76.6	15.9	43.3	40.7
	9 和田A	12.0	27.8	26.4	66.2	18.1	42.0	39.9
小浜市	10 若狭健康福祉センターA2	13.1	22.3	22.2	57.6	22.7	38.7	38.5
おおい町	11 宮留奥A	8.0	10.7	12.0	30.7	26.1	34.9	39.1
	12 本郷A 4	9.1	14.6	16.1	39.8	22.9	36.7	40.5
高浜町	13 音海A 3	7.2	10.0	13.3	30.5	23.6	32.8	43.6
	14 旧神野小学校A	7.5	12.2	15.7	35.4	21.2	34.5	44.4
	15 東三松A 4	9.2	15.6	19.4	44.2	20.8	35.3	43.9

測定年月日

地点 1～9 (2010. 3. 8)

地点 10～15 (2010. 3. 12)

図-1 測定結果



4. 2 県環境放射線監視テレメータシステムによる空間線量率及び気象の調査結果

福井県環境放射線監視テレメータシステムでは、各原子力発電所周辺に18ヶ所の観測局を設け、波高弁別器バイアス変調(以下、DBM)方式のNaI(Tl)検出器により、空間線量率を連続測定し10分毎にデータ収集している。

観測局の位置は、添付資料第2図(p.32~p.33)に示した。測定器の仕様、測定項目などの詳細については、各年度の「福井県原子力環境監視センター所報」を参照されたい。

線量率の測定結果では、各観測局の月毎に求めた「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた線量率について、原因の究明を行っている。各観測局で月毎に処理するのは、観測地点の周辺環境の違いと降雨、降雪などの気象条件が季節によって異なるためである。また、検出器に入射する放射線のエネルギー成分を検討するため、DBM通過率(線量率と計数率の比)の解析を行っている。ほかに降雨量、風向、風速等の気象情報も収集しており、線量率が「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた場合には、これらの気象情報や近接局の状況を加味して、線量率上昇の原因を判断している。なお、ここで取り扱ったデータは、すべて1時間値をもとにしたものである。

添付資料第8表(p.49~p.54)は、線量率の最高値、最低値、平均値、標準偏差、「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた時間と原因を観測局別に示している。「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた時間数は各地点とも例年どおり200時間前後であり、原因のほとんどが降雨または降雪によるものであった。

その他に、静穏な気象状態になると、大気中のラドン娘核種の拡散・希釈が抑制されてラドン娘核種濃度が高くなるなどして、「平均値+標準偏差の3倍」を超えることがある。今年度は、敦賀地区の1観測局で2時間観測された。

各観測局の線量率と降雨量の全測定結果を図4.2.1(p.151~p.159)に示す。

図より、降雨または降雪による線量率の上昇が、全局で顕著にみられている。9月から10月にかけての少雨期には、土壌中の水分が蒸発して地中からの放射線に対する遮蔽効果が減少し、線量率が徐々に増加する現象が白木、白木峠、竹波、坂尻観測局等でみられた。

平野部(注)に設置された敦賀、小浜観測局等では、降雨のない期間に数nGy/h程度の1日周期の線量率変化が現れている。これは、大気状態が安定になりやすい夏季に多く見られる現象で、夜半から明け方にかけて地表付近の大気中においてラドン等の天然放射性核種濃度が高くなるために起きる現象である。冬季(12月~2月)には、積雪の影響により顕著な線量率の低下が見られる。今年度は12月および1月に敦賀・美浜地区を中心に降雪があり、積雪が見られた敦賀、浦底、立石、白木、白木峠、坂尻および山中の各観測局で線量率低下が観測された。特に浦底、白木峠、坂尻の各観測局では顕著な線量率低下が観測された。

表4.2.1(p.139~p.146)、図4.2.2(p.160~p.163)にテレメータシステムで観測した気象関係の統計結果を示す。

以上のことより、今年度の調査結果では、県内の原子力発電所の運転による線量率上昇は観測されなかった。

(注)海岸線の俯角、標高100m地点の仰角が共に小さい所を平坦な地としている。参考として下表に各観測局の周辺状況を示す。

(参考) 観測局周辺状況

単位：距離(m)、俯角・仰角(°)

観測局	標高	海までの距離	標高100m(200m)までの距離	海岸線までの俯角	標高100m(200m)までの仰角
敦賀	6	1500	3100	0.2°	2.7°
浦底	12	35	350	18.9°	14.1°
立石	20	40	150	26.6°	28.1°
河野	2	3	230	33.7°	23.1°
白木	20	130	300	8.7°	14.9°
白木峠	180	800	350*	12.7°	3.3°*
丹生	3	15	228	11.3°	23.0°

*：白木峠観測局は標高200mまで

(参考) 観測局周辺状況 (つづき)

単位: 距離(m)、俯角・仰角(°)

観測局	標高	海までの距離	標高100m(200m)までの距離	海岸線までの俯角	標高100m(200m)までの仰角
竹波	10	225	238	2.5°	20.7°
坂尻	35	320	150	6.2°	23.4°
小浜	5	538	725	0.5°	7.5°
日角浜	15	100	338	8.5°	14.1°
宮留	4	50	350	4.6°	15.3°
阿納尻	14	100	290	8.0°	16.5°
長井	14	150	420	5.3°	11.5°
小黑飯	35	25	125	54.5°	27.5°
音海	2	163	213	0.7°	24.7°
神野浦	9	60	340	8.5°	15.0°
山中	144	1100	400*	7.5°	8.0°*

*: 山中観測局は標高200mまで

表4.2.1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 敦賀地区

2009年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
敦賀	月間降雨時間(時間)	85	69	40	76	51	42	51	82	150	238	148	171	1203
	月間感雨時間(時間)	140	150	99	155	117	75	90	149	287	377	266	305	2210
	月間降雨量(mm)	121.0	96.5	84.0	214.5	171.0	70.0	108.5	139.0	260.5	400.5	185.5	210.5	2061.5
	月間平均風速(m/s)	1.9	1.7	2.0	1.9	1.7	1.6	1.5	1.8	2.0	2.1	2.1	2.2	1.9
	無風(0.5m/s未満)出現回数	50	46	24	36	65	71	83	50	24	50	40	52	591
	月間平均気温(°C)	13.3	18.4	22.6	25.9	26.3	23.0	18.0	13.0	7.2	4.4	6.2	7.9	15.6
浦底	月間降雨時間(時間)	70	76	41	81	58	42	47	71	168	255	145	155	1209
	月間感雨時間(時間)	134	151	99	172	106	88	90	147	300	382	282	294	2245
	月間降雨量(mm)	99.5	97.5	117.5	200.5	203.0	73.0	87.0	123.5	251.5	399.5	199.0	223.5	2075.0
	月間平均風速(m/s)	1.7	1.5	1.9	2.1	1.4	1.3	1.1	1.5	2.1	2.2	2.1	2.4	1.8
	無風(0.5m/s未満)出現回数	170	159	145	175	240	175	214	111	46	59	63	81	1638
	月間平均気温(°C)	13.2	18.0	22.4	25.5	25.7	22.7	17.8	13.2	7.5	4.6	6.1	7.6	15.4

表4.2.1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 敦賀地区

2009年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
立石	月間降雨時間(時間)	70	69	33	71	54	42	49	71	126	228	116	137	1066
	月間感雨時間(時間)	129	138	79	148	99	69	84	129	300	374	260	287	2096
	月間降雨量(mm)	93.0	94.0	77.5	184.0	230.0	89.5	122.0	134.5	154.0	252.0	153.5	171.5	1755.5
	月間平均風速(m/s)	2.6	2.3	3.1	3.1	2.5	2.4	2.3	2.8	3.3	3.3	3.2	3.4	2.9
	無風(0.5m/s未満)出現回数	62	58	34	43	41	30	31	12	13	16	20	27	387
	月間平均気温(°C)	14.9	19.3	23.4	26.8	27.3	24.4	20.0	15.3	9.7	6.6	8.0	9.4	17.1
河野	月間降雨時間(時間)	76	68	39	73	56	40	48	79	140	208	107	157	1091
	月間感雨時間(時間)	129	145	79	169	109	79	81	138	330	412	301	288	2260
	月間降雨量(mm)	104.0	88.5	124.5	188.0	138.5	71.0	112.0	148.0	164.5	230.0	138.5	193.0	1700.5
	月間平均風速(m/s)	2.9	2.4	2.7	2.5	2.5	2.8	3.3	3.3	4.7	4.5	3.3	3.0	3.2
	無風(0.5m/s未満)出現回数	31	62	24	23	31	19	25	9	15	8	16	40	303
	月間平均気温(°C)	14.5	19.2	23.4	26.7	27.4	24.4	18.8	12.7	7.7	4.9	5.9	7.4	16.2

表4.2.1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 白木地区

2009年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
白木	月間降雨時間(時間)	73	80	41	82	55	42	52	75	124	229	120	145	1118
	月間感雨時間(時間)	131	133	91	155	105	82	88	151	294	385	313	276	2204
	月間降雨量(mm)	104.5	99.5	92.5	201.5	194.5	84.5	107.5	139.5	150.5	267.0	147.0	175.0	1763.5
	月間平均風速(m/s)	2.8	2.4	2.3	2.1	2.2	2.7	2.7	3.1	3.9	3.6	3.5	3.6	2.9
	無風(0.5m/s未満)出現回数	14	27	7	19	18	16	3	6	0	4	7	13	134
	月間平均気温()	12.5	16.9	21.3	24.5	24.9	21.8	17.2	12.7	7.6	4.9	6.1	7.6	14.9
白木峠	月間降雨時間(時間)	69	80	42	77	57	43	55	76	131	211	115	137	1093
	月間感雨時間(時間)	127	145	99	174	109	82	89	148	299	396	277	279	2224
	月間降雨量(mm)	100.5	101.0	96.0	183.5	189.5	85.5	107.5	127.5	156.5	246.5	137.0	171.5	1702.5
	月間平均風速(m/s)	4.0	3.5	3.6	3.7	3.2	3.7	3.7	4.3	5.0	4.7	4.8	5.3	4.1
	無風(0.5m/s未満)出現回数	16	30	18	25	32	28	26	15	9	2	12	29	242
	月間平均気温()	12.0	16.5	20.7	23.9	24.2	21.1	16.5	11.9	6.4	3.6	5.0	6.4	14.1

表4.2.1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 美浜地区

2009年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
丹生	月間降雨時間(時間)	75	71	41	70	57	42	54	78	135	227	117	152	1119
	月間感雨時間(時間)	130	140	91	145	103	79	85	144	280	382	285	289	2153
	月間降雨量(mm)	95.0	101.0	86.5	200.5	195.0	71.5	126.5	141.5	170.5	280.0	144.0	191.5	1803.5
	月間平均風速(m/s)	1.8	1.5	2.0	1.9	1.6	1.5	1.4	1.7	2.5	2.4	2.0	2.3	1.9
	無風(0.5m/s未満)出現回数	193	160	118	101	104	128	185	85	65	67	91	99	1396
	月間平均気温(°C)	15.1	19.7	24.3	27.7	28.0	24.7	20.0	15.4	9.9	6.8	8.0	9.5	17.5
竹波	月間降雨時間(時間)	80	79	45	81	63	42	56	83	139	236	128	157	1189
	月間感雨時間(時間)	129	140	108	162	117	84	85	156	292	380	292	275	2220
	月間降雨量(mm)	113.0	111.0	99.0	220.5	206.5	68.0	147.0	135.5	191.0	300.5	159.0	205.0	1956.0
	月間平均風速(m/s)	1.3	1.1	1.2	1.0	1.0	1.0	1.0	1.3	2.0	2.1	1.7	1.5	1.3
	無風(0.5m/s未満)出現回数	116	143	107	124	146	101	115	74	64	86	123	119	1318
	月間平均気温(°C)	12.6	17.3	21.9	25.0	25.2	21.9	16.9	12.6	7.5	4.8	6.0	7.4	15.0
坂尻	月間降雨時間(時間)	65	78	55	87	59	38	59	87	130	234	131	160	1183
	月間感雨時間(時間)	126	149	94	152	113	72	89	158	267	371	281	276	2148
	月間降雨量(mm)	93.5	113.5	107.0	215.0	182.5	67.5	147.0	134.0	182.0	368.5	162.5	209.0	1982.0
	月間平均風速(m/s)	1.6	1.3	1.1	1.1	1.1	1.3	1.5	1.5	1.9	1.6	1.8	1.9	1.5
	無風(0.5m/s未満)出現回数	139	154	145	163	141	133	88	124	101	106	105	88	1487
	月間平均気温(°C)	12.7	17.1	21.3	24.7	25.0	21.9	17.2	12.4	6.9	3.6	5.6	7.3	14.7

表4.2.1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 大飯地区

2009年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
小浜	月間降雨時間(時間)	76	74	34	65	70	46	78	110	104	150	125	168	1100
	月間感雨時間(時間)	132	141	98	137	133	80	110	177	233	320	251	295	2107
	月間降雨量(mm)	114.0	93.5	70.0	190.5	201.0	126.5	252.5	254.5	110.0	171.0	162.5	214.0	1960.0
	月間平均風速(m/s)	1.4	1.1	1.2	1.1	1.0	1.0	1.2	1.2	1.5	1.5	1.4	1.4	1.2
	無風(0.5m/s未満)出現回数	74	142	95	104	146	114	58	66	47	37	59	97	1039
	月間平均気温(°C)	12.9	17.8	22.4	25.8	26.0	22.6	17.5	12.5	7.2	4.5	6.3	7.8	15.3
日角浜	月間降雨時間(時間)	72	71	45	63	66	49	73	107	92	150	103	161	1052
	月間感雨時間(時間)	127	142	99	145	124	83	103	189	235	326	272	305	2150
	月間降雨量(mm)	106.5	90.5	91.5	154.0	195.0	103.5	200.0	248.5	103.5	177.5	142.5	187.0	1800.0
	月間平均風速(m/s)	1.5	1.3	1.4	1.2	1.2	1.2	1.3	1.4	1.6	1.6	1.8	1.9	1.4
	無風(0.5m/s未満)出現回数	120	126	106	118	122	108	116	119	96	123	89	95	1338
	月間平均気温(°C)	12.5	17.4	22.0	25.6	26.1	22.7	17.8	12.7	7.6	4.9	6.2	7.7	15.3
宮留	月間降雨時間(時間)	67	71	46	56	59	44	68	103	90	154	105	152	1015
	月間感雨時間(時間)	123	137	102	148	126	83	100	198	232	326	270	296	2141
	月間降雨量(mm)	106.0	90.5	94.0	159.5	185.5	96.5	193.5	226.0	95.0	187.0	140.0	182.0	1755.5
	月間平均風速(m/s)	2.2	2.1	2.1	2.4	2.1	2.4	2.2	2.7	3.1	3.1	3.2	3.5	2.6
	無風(0.5m/s未満)出現回数	76	62	57	55	69	44	55	34	26	24	21	32	555
	月間平均気温(°C)	12.5	17.2	21.7	25.1	25.6	22.5	17.9	12.9	7.9	4.9	6.2	7.7	15.2

表4.2.1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 大飯地区

2009年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
阿納尻	月間降雨時間(時間)	73	70	56	67	60	46	65	107	105	191	114	161	1115
	月間感雨時間(時間)	134	141	117	156	135	87	112	183	236	362	251	305	2219
	月間降雨量(mm)	100.0	94.0	94.5	173.0	169.5	106.0	186.0	215.5	123.0	230.0	154.0	200.0	1845.5
	月間平均風速(m/s)	1.7	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.3	1.7	2.4	2.5	2.3	2.2	1.8
	無風(0.5m/s未満)出現回数	160	124	78	92	99	115	155	112	88	82	68	73	1246
	月間平均気温(°C)	13.8	18.8	23.3	26.7	27.0	23.6	18.7	13.8	8.6	5.4	7.2	8.7	16.4
長井	月間降雨時間(時間)	72	73	38	54	69	38	68	114	80	141	104	152	1003
	月間感雨時間(時間)	129	152	102	149	129	77	107	212	224	315	239	309	2144
	月間降雨量(mm)	106.0	88.5	67.5	151.5	166.5	93.0	203.5	251.0	95.5	130.0	139.0	189.5	1681.5
	月間平均風速(m/s)	2.2	1.9	1.7	1.7	1.8	2.3	2.0	2.4	2.6	2.4	2.6	2.8	2.2
	無風(0.5m/s未満)出現回数	37	54	30	57	43	29	40	33	18	25	30	32	428
	月間平均気温(°C)	12.5	17.2	21.6	25.2	25.3	22.1	17.1	12.0	7.2	4.5	6.0	7.6	14.9

表4.2.1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 高浜地区

2009年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
小黒飯	月間降雨時間(時間)	80	68	37	70	78	48	69	136	92	165	122	173	1138
	月間感雨時間(時間)	132	141	97	157	140	94	92	211	239	333	269	320	2225
	月間降雨量(mm)	141.0	104.5	79.5	155.5	248.5	97.5	216.0	319.5	103.5	184.0	158.5	211.0	2019.0
	月間平均風速(m/s)	0.8	0.7	0.7	1.0	0.6	0.6	0.7	0.7	1.1	1.1	1.0	1.0	0.8
	無風(0.5m/s未満)出現回数	247	292	259	229	301	272	265	253	133	130	143	173	2697
	月間平均気温()	13.4	17.7	22.0	25.2	25.7	22.8	18.6	13.4	8.4	5.5	6.8	8.1	15.7
音海	月間降雨時間(時間)	73	67	36	67	63	48	67	118	89	150	113	154	1045
	月間感雨時間(時間)	112	138	94	150	132	91	96	201	240	327	255	308	2144
	月間降雨量(mm)	121.5	101.0	92.0	113.5	215.0	93.5	189.0	292.0	95.0	148.0	119.5	163.5	1743.5
	月間平均風速(m/s)	2.3	1.9	1.7	2.0	1.4	1.7	2.0	2.6	3.8	4.4	3.2	2.6	2.5
	無風(0.5m/s未満)出現回数	157	155	132	98	172	126	148	85	78	36	75	111	1373
	月間平均気温()	12.8	17.3	21.5	25.0	25.3	22.5	18.1	13.0	8.2	5.3	6.7	7.9	15.3

表4.2.1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 高浜地区

2009年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
神野浦	月間降雨時間(時間)	81	64	31	64	66	46	68	132	111	170	122	175	1130
	月間感雨時間(時間)	119	140	93	169	130	88	96	218	236	331	278	312	2210
	月間降雨量(mm)	144.0	92.0	91.5	126.0	167.5	96.5	210.0	321.0	118.5	192.0	149.5	215.5	1924.0
	月間平均風速(m/s)	1.0	0.7	0.6	0.6	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	0.8	1.0	0.9	0.8
	無風(0.5m/s未満)出現回数	85	194	189	241	242	173	119	140	79	120	83	122	1787
	月間平均気温()	11.8	16.5	20.7	24.3	24.5	21.3	16.5	11.6	6.8	4.0	5.8	7.3	14.3
山中	月間降雨時間(時間)	83	69	37	78	77	51	69	138	90	122	111	172	1097
	月間感雨時間(時間)	133	150	104	177	141	98	90	212	236	312	254	333	2240
	月間降雨量(mm)	152.5	95.5	87.0	157.0	228.0	94.0	213.5	381.0	105.0	132.5	154.5	222.5	2023.0
	月間平均風速(m/s)	2.2	1.8	1.7	2.0	1.5	1.7	2.0	2.7	3.1	3.3	2.7	2.6	2.3
	無風(0.5m/s未満)出現回数	26	62	62	40	63	46	32	14	10	6	13	24	398
	月間平均気温()	12.1	16.5	20.7	23.7	24.1	21.0	16.6	11.1	6.0	3.1	5.0	6.3	13.9

表4. 2. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の風向出現率 敦賀地区

2009年度
単位：%

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	calm
敦賀	4～6月	4.7	1.4	0.1	0.2	1.2	8.8	20.7	10.6	2.5	2.2	1.6	4.1	6.1	6.3	6.8	17.2	5.5
	7～9月	3.3	1.4	0.6	0.6	1.1	11.2	24.9	12.0	2.0	1.5	2.4	4.4	5.9	4.8	7.4	8.7	7.8
	10～12月	2.5	0.9	0.4	0.9	1.5	7.8	18.7	14.1	3.6	3.1	2.8	4.1	4.7	6.8	10.2	10.7	7.2
	1～3月	2.5	0.8	0.5	0.6	1.2	5.0	17.6	10.8	1.9	1.6	2.5	7.3	7.7	9.8	13.0	10.4	6.7
	年 間	3.3	1.1	0.4	0.6	1.2	8.3	20.5	11.9	2.5	2.1	2.3	5.0	6.1	6.9	9.3	11.7	6.8
浦底	4～6月	0.6	0.9	1.1	1.3	1.5	3.7	10.9	17.4	1.4	0.4	0.7	3.1	8.6	21.6	3.8	1.3	21.7
	7～9月	0.4	0.1	0.9	0.9	1.3	3.1	13.0	23.0	1.7	0.3	0.5	2.9	7.6	14.8	2.3	0.5	26.7
	10～12月	0.0	0.5	0.3	0.5	0.8	2.2	9.8	14.1	1.8	1.2	1.2	8.9	15.9	21.8	3.5	0.6	16.8
	1～3月	0.5	0.5	0.3	0.2	0.6	1.0	9.2	15.9	2.2	0.8	1.5	7.6	17.3	29.7	2.4	0.8	9.5
	年 間	0.4	0.5	0.7	0.7	1.0	2.5	10.7	17.6	1.8	0.7	1.0	5.6	12.3	21.9	3.0	0.8	18.8
立石	4～6月	2.2	1.2	0.6	0.5	10.7	14.1	1.7	3.8	3.3	6.1	4.2	4.2	4.2	4.1	13.4	18.8	7.1
	7～9月	2.3	1.0	0.7	0.6	17.3	14.8	1.8	3.5	4.1	6.4	4.5	4.8	3.8	5.0	12.5	11.6	5.2
	10～12月	3.0	2.3	1.4	2.4	10.9	11.9	3.1	4.4	4.8	6.9	2.8	3.6	3.8	4.1	14.6	17.4	2.5
	1～3月	4.2	2.8	2.2	2.0	12.9	10.1	2.4	4.3	4.2	3.6	1.6	2.5	2.8	3.5	17.0	20.8	2.9
	年 間	2.9	1.8	1.2	1.4	13.0	12.8	2.3	4.0	4.1	5.8	3.3	3.8	3.6	4.2	14.3	17.1	4.4
河野	4～6月	0.5	2.8	20.5	24.1	6.6	2.9	2.4	1.6	1.0	1.3	2.5	6.0	17.3	4.1	0.7	0.5	5.4
	7～9月	0.5	2.4	25.4	24.9	6.2	3.8	4.3	3.8	1.2	1.7	2.4	4.3	12.1	2.6	0.8	0.4	3.3
	10～12月	0.9	3.0	27.4	29.3	3.8	1.9	3.2	3.5	0.8	0.9	1.5	5.0	11.3	3.8	0.9	0.7	2.2
	1～3月	1.3	3.2	19.3	25.7	6.0	2.7	3.4	3.1	0.6	1.0	2.0	6.3	11.4	7.9	2.0	1.2	3.0
	年 間	0.8	2.8	23.2	26.0	5.6	2.8	3.3	3.0	0.9	1.2	2.1	5.4	13.0	4.6	1.1	0.7	3.5

表4. 2. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎風向出現率 白木、美浜地区

2009年度
単位：%

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	calm
白木	4～6月	9.0	3.1	1.3	1.2	0.9	3.7	15.6	19.3	10.9	2.9	0.8	0.5	0.5	0.7	7.0	20.4	2.2
	7～9月	6.7	3.1	1.9	1.0	1.0	3.4	16.3	26.8	11.5	2.0	0.5	0.5	0.5	0.4	4.7	17.3	2.4
	10～12月	11.7	7.8	3.2	1.4	1.5	3.3	15.6	24.6	9.3	1.9	0.5	0.2	0.3	0.1	2.9	15.5	0.4
	1～3月	12.0	10.0	3.1	1.4	1.3	3.1	12.4	23.1	9.3	0.6	0.4	0.3	0.4	0.1	3.3	18.2	1.1
	年 間	9.8	6.0	2.4	1.2	1.1	3.4	15.0	23.5	10.3	1.9	0.5	0.3	0.4	0.3	4.5	17.9	1.5
白木峠	4～6月	5.8	1.5	0.8	1.0	1.0	4.3	27.6	10.2	1.1	0.4	0.1	0.2	0.2	0.5	5.7	36.8	2.9
	7～9月	4.2	1.2	0.5	0.7	0.8	6.2	35.6	6.6	0.8	0.5	0.1	0.2	0.2	0.5	5.4	32.6	3.8
	10～12月	7.9	1.8	1.0	0.9	0.9	7.1	28.1	6.9	0.6	0.0	0.0	0.2	0.1	0.3	3.0	39.0	2.3
	1～3月	7.1	1.5	0.9	0.9	1.8	7.6	29.7	5.1	0.7	0.1	0.2	0.0	0.2	0.4	2.3	39.3	2.0
	年 間	6.2	1.5	0.8	0.9	1.1	6.3	30.2	7.2	0.8	0.2	0.1	0.2	0.2	0.4	4.1	36.9	2.8
丹生	4～6月	4.9	5.1	5.2	8.8	14.1	5.4	3.2	3.1	2.6	5.7	8.3	2.8	1.7	1.8	2.1	3.6	21.6
	7～9月	5.3	5.6	6.4	8.9	17.3	7.7	3.2	1.7	2.2	4.8	5.8	3.2	1.2	2.3	3.4	6.0	15.1
	10～12月	7.1	7.7	11.6	9.8	9.6	5.3	2.2	1.9	2.4	5.6	5.8	1.3	1.0	1.0	3.3	9.3	15.2
	1～3月	5.7	7.2	13.0	10.6	12.8	5.7	2.2	2.9	3.2	5.7	5.7	2.0	1.3	1.4	2.4	6.5	12.0
	年 間	5.7	6.4	9.0	9.5	13.5	6.0	2.7	2.4	2.6	5.4	6.4	2.3	1.3	1.6	2.8	6.3	16.0
竹波	4～6月	0.8	1.6	7.8	27.5	3.7	0.6	0.6	0.7	0.8	1.7	16.3	15.1	3.0	1.4	0.9	0.7	16.8
	7～9月	0.6	1.6	7.7	38.4	4.1	1.2	1.0	0.6	0.7	1.7	9.9	9.1	3.3	1.5	1.0	0.9	16.8
	10～12月	0.5	2.0	8.7	36.6	5.0	1.9	1.3	1.4	0.9	1.7	8.8	14.0	3.1	1.2	1.0	0.5	11.5
	1～3月	1.0	1.3	9.8	24.4	4.4	1.6	1.2	1.1	1.4	1.6	7.5	23.3	3.4	1.1	0.9	0.6	15.5
	年 間	0.7	1.6	8.5	31.8	4.3	1.3	1.0	0.9	0.9	1.7	10.6	15.3	3.2	1.3	0.9	0.7	15.1
坂尻	4～6月	9.7	4.3	3.0	3.1	5.8	4.0	2.0	2.3	3.7	10.4	4.1	2.2	3.0	3.7	5.2	13.5	20.1
	7～9月	5.9	2.0	1.4	2.0	7.7	4.9	2.6	3.2	5.6	12.5	3.8	3.5	4.6	3.9	5.3	11.1	19.8
	10～12月	7.1	2.9	2.0	2.8	7.7	4.9	1.7	1.4	5.5	18.7	4.5	2.7	3.9	4.1	5.7	10.4	14.2
	1～3月	7.0	3.2	3.9	5.2	12.6	7.4	1.9	2.7	3.8	8.9	2.2	1.7	2.8	4.5	5.0	13.0	14.1
	年 間	7.4	3.1	2.6	3.3	8.4	5.3	2.1	2.4	4.7	12.7	3.7	2.5	3.6	4.1	5.3	12.0	17.0

表4. 2. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の風向出現率 大飯地区

2009年度
単位：%

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	calm	
小浜	4～6月	1.4	0.6	2.2	35.0	5.0	1.4	1.4	1.0	1.0	1.0	1.3	11.4	10.8	5.0	4.6	2.7	14.2	
	7～9月	1.4	0.8	2.4	31.5	7.7	3.1	3.0	2.7	1.0	1.2	1.4	9.2	6.6	3.0	4.8	3.7	16.5	
	10～12月	2.8	1.7	2.9	38.5	7.1	2.1	2.2	2.2	1.5	3.9	4.6	5.2	5.0	4.5	3.3	4.6	7.8	
	1～3月	3.1	1.4	2.4	27.9	6.8	1.5	1.7	2.2	2.2	2.0	5.2	7.4	7.9	7.0	5.2	4.2	4.9	9.0
	年 間	2.1	1.1	2.5	33.3	6.7	2.0	2.1	2.0	1.4	2.8	3.6	8.4	7.3	4.5	4.2	4.0	11.9	
日角浜	4～6月	1.2	1.1	1.0	1.9	11.9	13.3	3.2	1.4	1.2	0.8	1.3	3.2	17.4	19.5	3.9	1.6	16.1	
	7～9月	1.2	0.9	0.8	1.6	10.1	15.3	5.4	1.8	1.7	1.7	2.0	3.4	16.1	15.5	4.6	2.1	15.8	
	10～12月	1.0	0.9	1.4	3.1	9.4	10.4	5.4	2.7	2.0	2.2	2.5	5.9	20.7	12.1	3.9	1.5	15.0	
	1～3月	0.6	0.5	0.6	2.3	8.9	10.9	5.1	3.3	2.6	2.0	2.4	6.0	26.9	10.0	2.3	1.0	14.5	
	年 間	1.0	0.8	1.0	2.2	10.1	12.5	4.8	2.3	1.9	1.7	2.0	4.6	20.2	14.3	3.7	1.5	15.4	
宮留	4～6月	13.3	8.8	2.2	7.1	2.8	3.3	4.1	3.9	3.7	3.8	3.3	3.8	4.9	8.4	7.8	10.0	8.9	
	7～9月	14.3	10.0	2.2	6.8	4.1	4.3	4.3	7.6	4.7	3.8	2.2	2.3	3.8	5.5	6.7	9.7	7.6	
	10～12月	11.1	6.9	3.8	5.9	3.7	3.6	3.3	5.6	8.5	11.5	3.6	2.6	3.4	5.6	6.4	9.3	5.2	
	1～3月	12.3	7.4	2.8	7.5	3.0	3.1	4.2	6.3	11.2	16.9	3.0	2.1	2.3	3.6	3.7	6.9	3.6	
	年 間	12.7	8.3	2.7	6.8	3.4	3.6	4.0	5.8	7.0	9.0	3.0	2.7	3.6	5.8	6.2	9.0	6.3	
阿納尻	4～6月	11.2	9.2	8.6	6.4	4.1	5.3	4.1	2.4	2.2	2.2	3.6	3.8	3.4	3.4	4.5	9.0	16.6	
	7～9月	8.7	6.2	8.6	5.8	4.6	6.7	6.7	3.9	2.9	4.7	4.8	5.0	5.4	3.5	3.4	5.2	13.9	
	10～12月	5.1	4.9	7.3	5.8	5.1	7.8	7.4	4.0	3.4	6.5	6.6	6.0	4.7	3.9	2.2	3.2	16.1	
	1～3月	5.4	4.7	6.3	4.9	4.4	5.2	6.4	3.9	3.7	9.3	11.1	9.4	5.2	3.3	2.6	3.8	10.5	
	年 間	7.6	6.3	7.7	5.7	4.5	6.3	6.2	3.6	3.0	5.7	6.5	6.0	4.7	3.6	3.2	5.3	14.3	
長井	4～6月	10.8	17.8	5.7	1.5	1.6	1.6	4.2	16.2	16.0	4.4	1.7	1.6	1.6	2.0	2.5	5.3	5.5	
	7～9月	12.8	12.4	3.1	1.4	1.0	0.9	3.8	14.6	22.5	9.0	1.9	0.8	1.0	1.0	1.5	6.5	5.8	
	10～12月	8.6	8.4	3.0	0.8	0.6	0.8	2.9	15.2	26.3	15.1	3.3	1.5	2.0	1.6	1.7	4.1	4.1	
	1～3月	9.2	8.8	2.1	1.0	0.8	1.2	2.5	9.0	21.3	18.9	5.6	2.7	2.8	2.4	2.7	4.8	4.0	
	年 間	10.3	11.9	3.5	1.2	1.0	1.1	3.3	13.8	21.6	11.8	3.1	1.6	1.9	1.7	2.1	5.2	4.9	

表4. 2. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の 風向出現率 高浜地区

2009年度
単位：%

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	calm
小黒飯	4～6月	2.0	3.3	5.1	8.4	7.9	6.0	5.2	3.9	3.3	5.9	4.3	2.6	2.2	0.8	1.1	1.6	36.5
	7～9月	2.7	2.5	2.9	5.1	5.2	3.7	3.0	3.1	4.8	15.0	6.5	3.9	1.5	1.0	1.0	1.7	36.3
	10～12月	4.4	2.6	1.5	2.1	3.0	3.9	3.7	3.2	7.2	17.1	7.3	5.1	2.0	1.4	2.5	3.6	29.6
	1～3月	3.4	2.7	1.8	2.6	3.0	4.6	5.5	5.2	9.1	21.8	8.0	3.7	2.2	1.3	1.5	2.7	20.9
	年 間	3.1	2.7	2.8	4.6	4.8	4.5	4.3	3.8	6.1	14.9	6.5	3.8	2.0	1.1	1.5	2.4	30.9
音海	4～6月	0.9	1.7	2.2	4.5	18.8	3.2	0.7	1.1	0.5	0.5	1.3	4.3	19.1	16.4	3.3	1.1	20.3
	7～9月	1.1	1.0	1.9	3.8	15.1	3.6	1.6	1.0	0.8	1.1	2.1	8.1	20.6	13.9	4.8	1.5	17.9
	10～12月	0.5	1.1	1.3	2.6	7.3	3.0	1.7	1.7	1.1	0.9	2.7	10.0	32.4	14.7	4.1	0.8	14.1
	1～3月	0.9	0.7	1.5	3.4	8.5	2.2	0.9	0.9	0.7	1.3	1.9	9.6	40.9	12.3	3.0	0.7	10.3
	年 間	0.9	1.1	1.7	3.6	12.4	3.0	1.2	1.2	0.8	1.0	2.0	8.0	28.2	14.3	3.8	1.0	15.7
神野浦	4～6月	3.0	14.3	9.5	5.1	2.5	1.3	0.9	9.2	20.5	2.7	1.2	1.5	2.4	2.4	1.1	0.9	21.4
	7～9月	2.8	15.9	6.0	3.1	2.3	1.7	1.0	5.9	17.1	3.3	2.7	3.4	2.1	1.2	0.7	1.1	29.7
	10～12月	4.4	9.0	2.9	2.1	1.4	1.0	0.5	9.0	24.9	7.4	5.8	4.7	5.1	4.0	1.1	1.3	15.3
	1～3月	6.4	11.3	3.1	3.0	2.4	0.7	0.4	4.4	14.3	6.1	6.2	7.0	6.8	7.7	3.3	1.7	15.2
	年 間	4.1	12.6	5.4	3.3	2.2	1.2	0.7	7.1	19.2	4.9	4.0	4.1	4.1	3.8	1.5	1.3	20.5
山中	4～6月	1.6	4.5	9.5	7.9	9.4	4.8	1.3	0.9	1.3	7.7	22.3	11.9	5.1	2.7	0.8	1.5	6.9
	7～9月	1.7	5.9	13.5	7.3	5.7	3.8	1.0	1.1	1.2	7.6	25.0	13.4	2.6	1.4	1.0	0.8	6.7
	10～12月	1.2	3.6	10.5	3.2	2.4	2.0	1.1	0.6	0.9	11.3	30.9	20.6	4.8	1.9	0.7	1.7	2.5
	1～3月	1.6	3.9	12.2	3.4	2.3	2.1	0.4	0.4	1.1	6.5	28.5	23.5	7.6	1.9	1.3	1.0	2.0
	年 間	1.5	4.5	11.4	5.5	4.9	3.2	0.9	0.8	1.1	8.3	26.7	17.3	5.0	2.0	1.0	1.3	4.5

図4.2.1 空間線量率と降雨量の測定結果（2009年4月～2010年3月） 上段：線量率 下段：降雨量

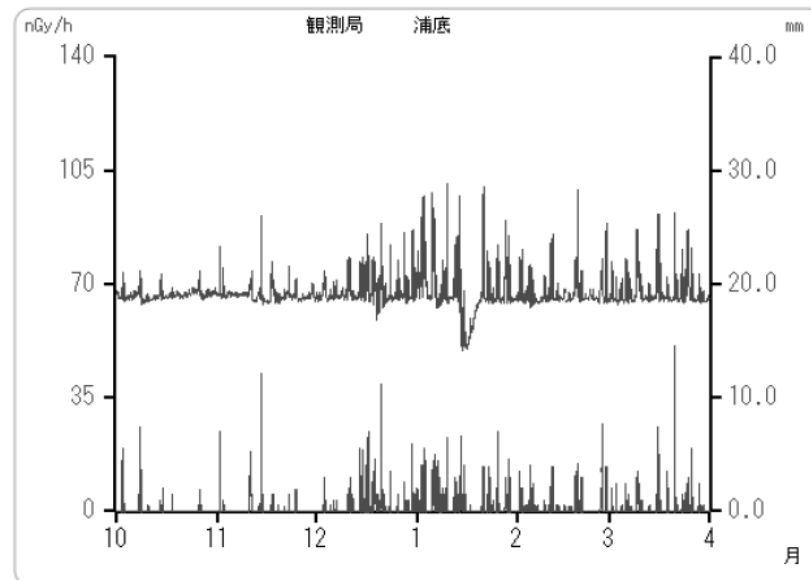
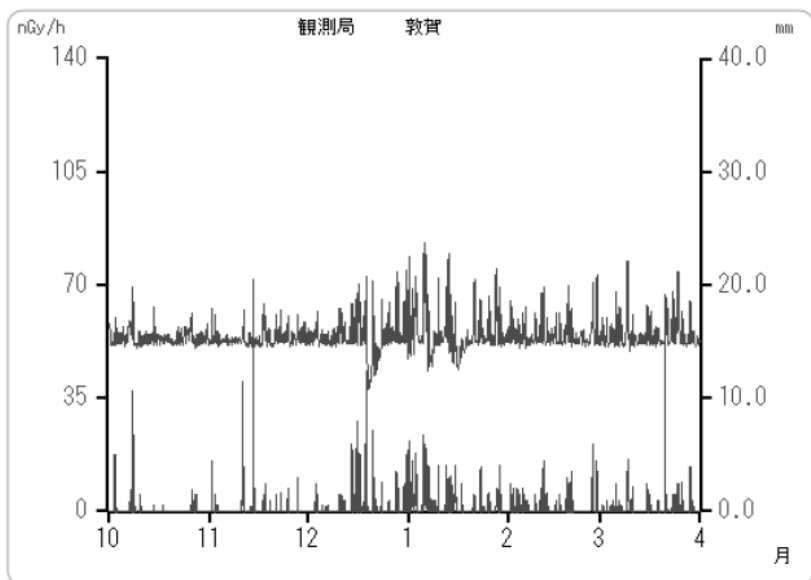
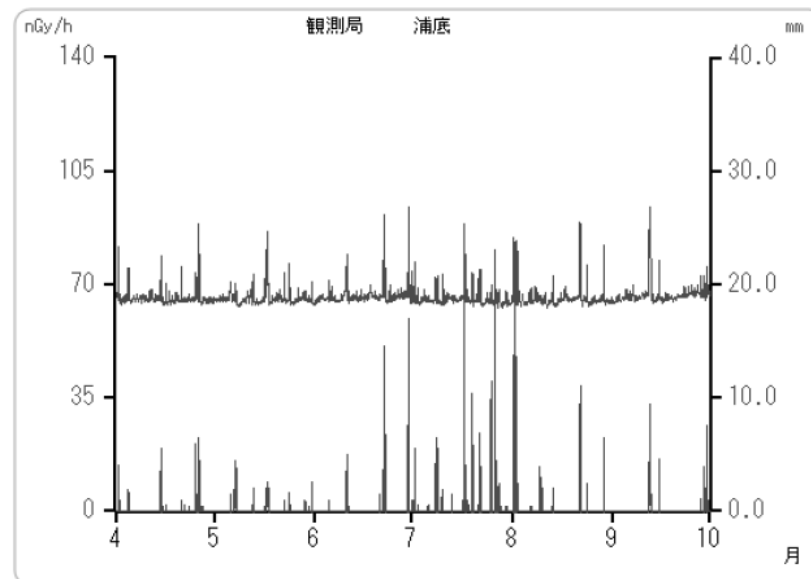
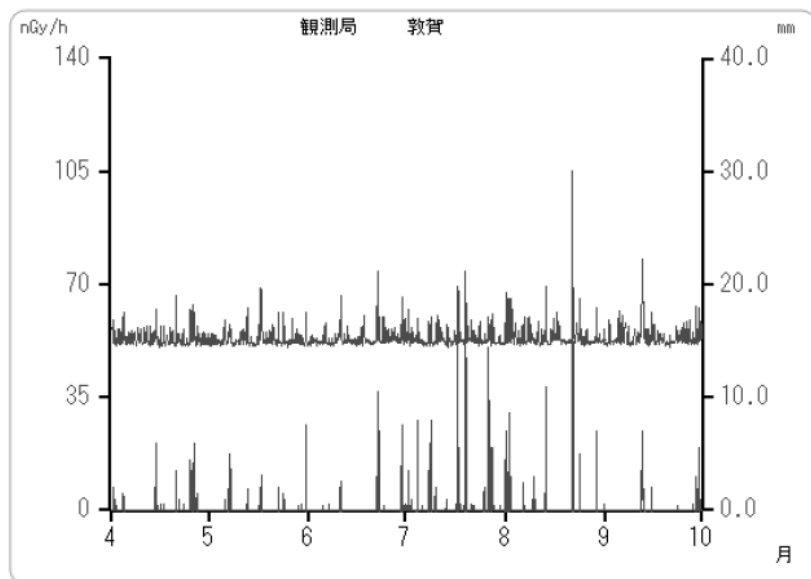


図4.2.1 空間線量率と降雨量の測定結果（2009年4月～2010年3月） 上段：線量率 下段：降雨量

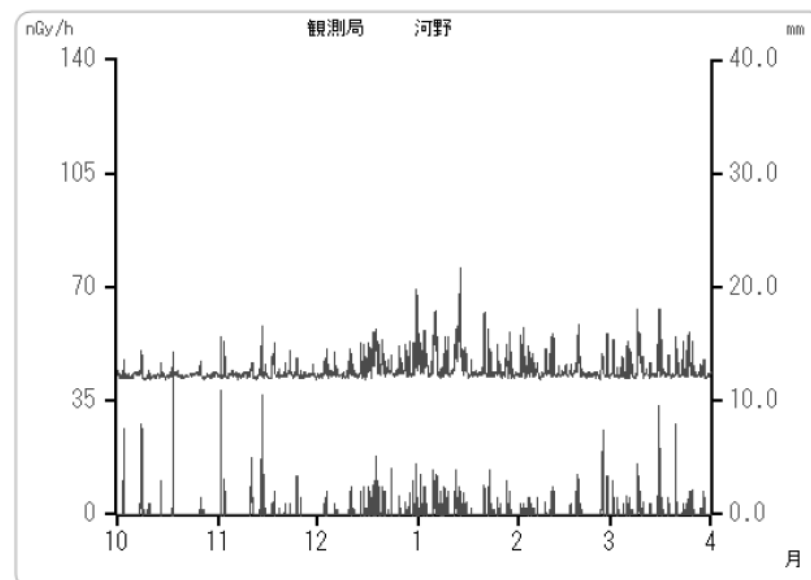
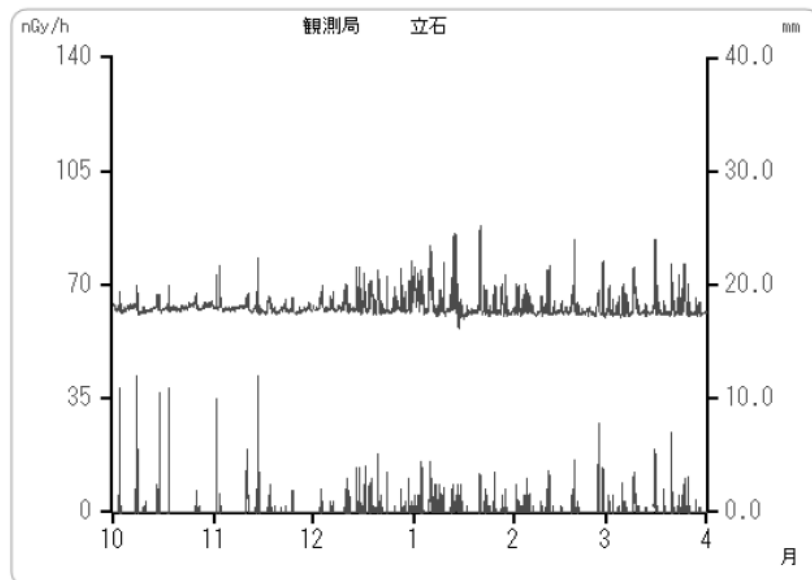
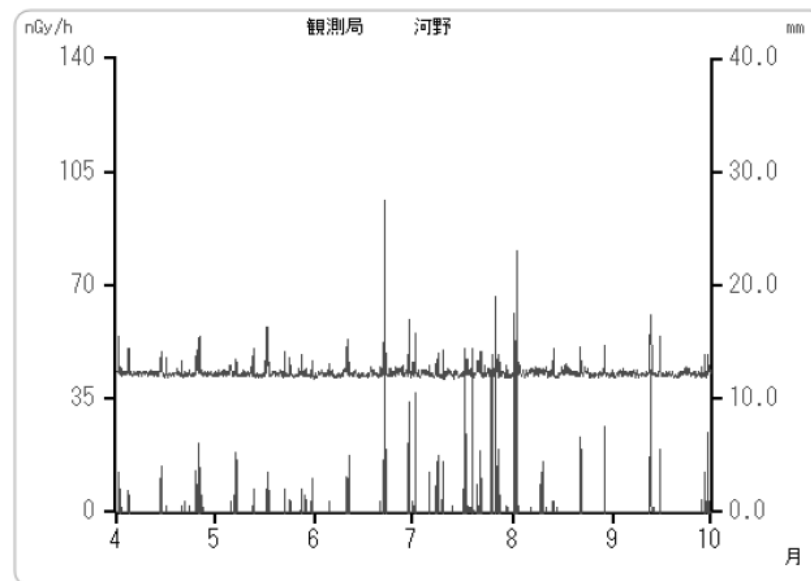
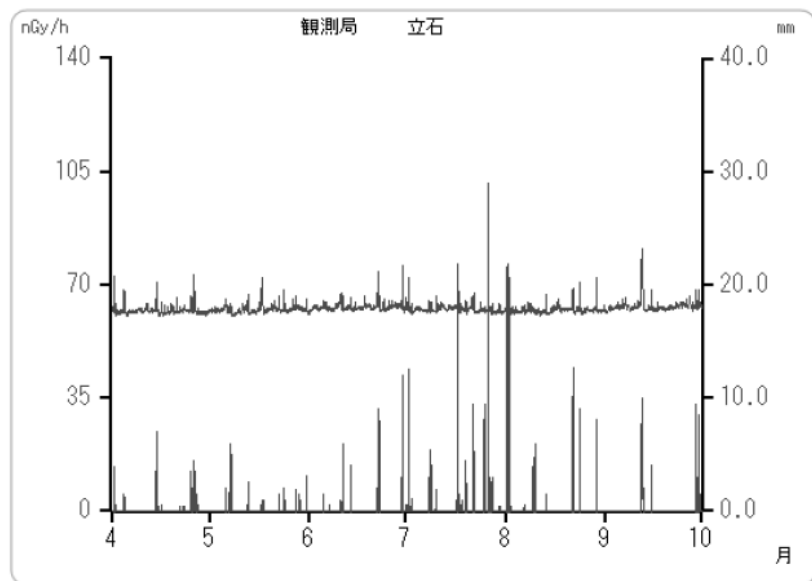


図4.2.1 空間線量率と降雨量の測定結果（2009年4月～2010年3月） 上段：線量率 下段：降雨量

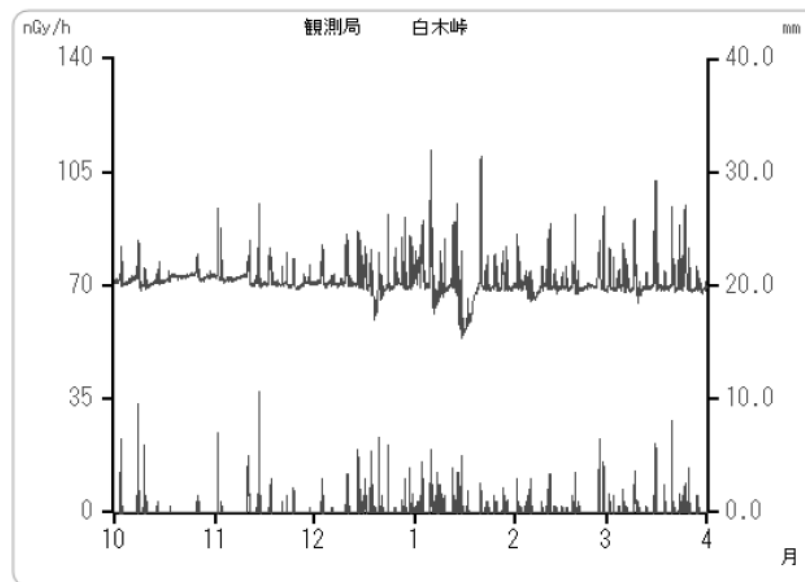
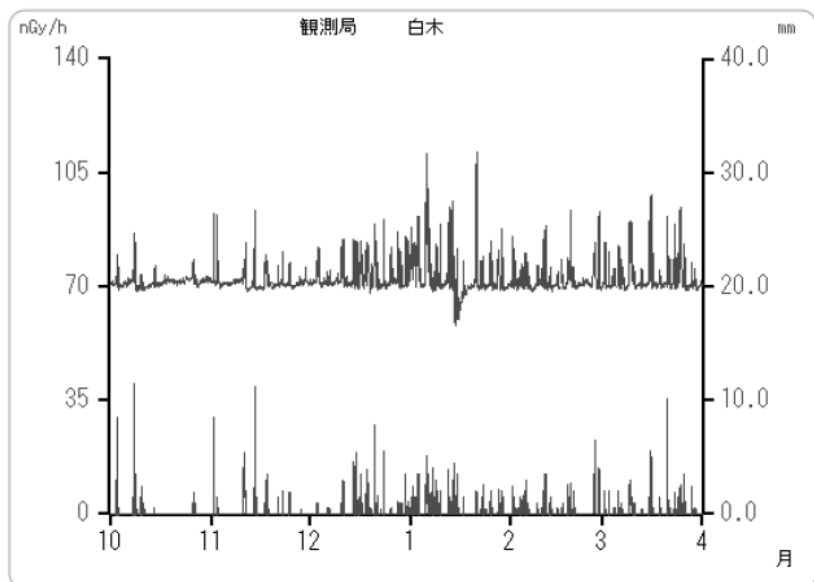
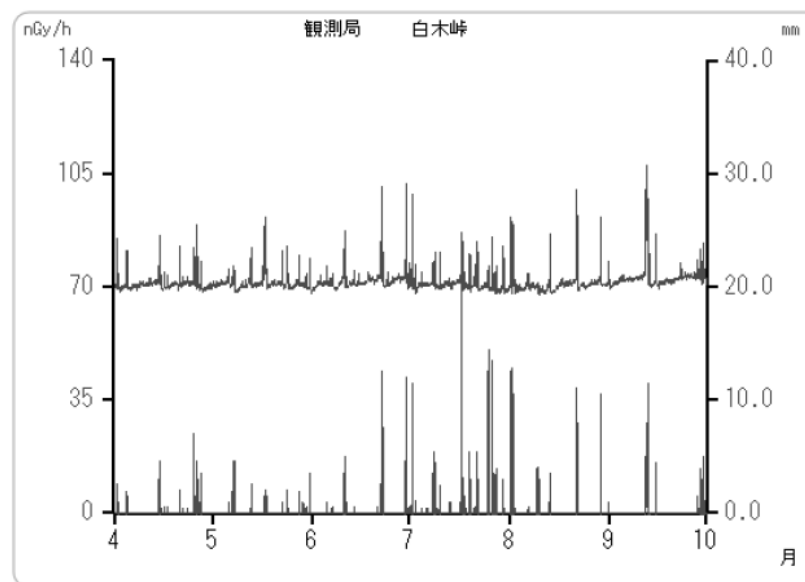
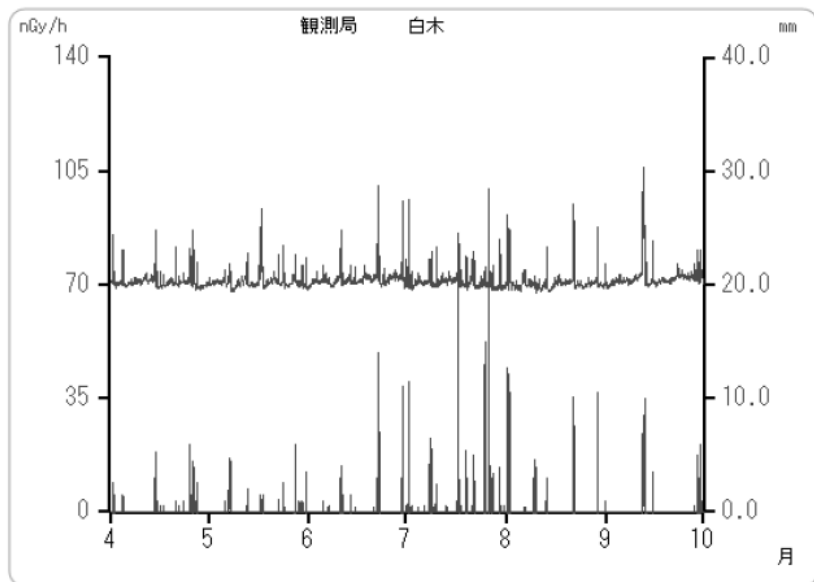


図4.2.1 空間線量率と降雨量の測定結果(2009年4月~2010年3月) 上段:線量率 下段:降雨量

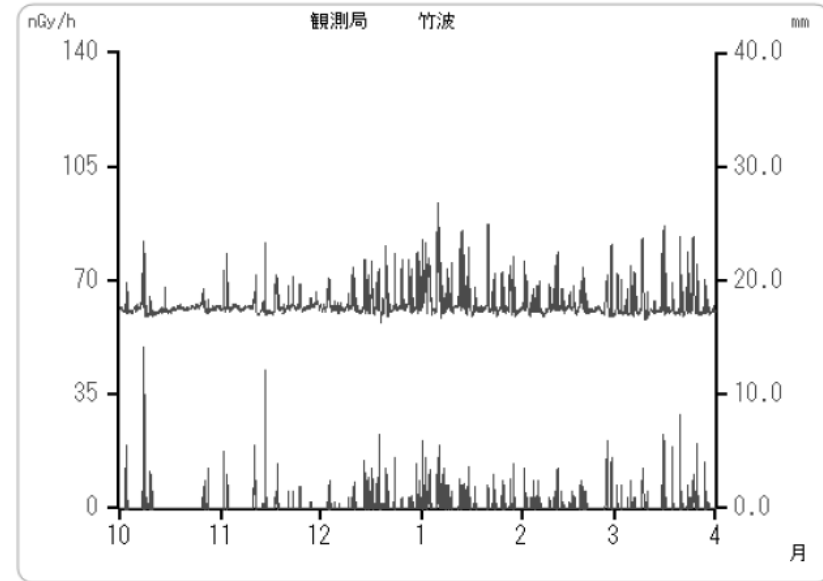
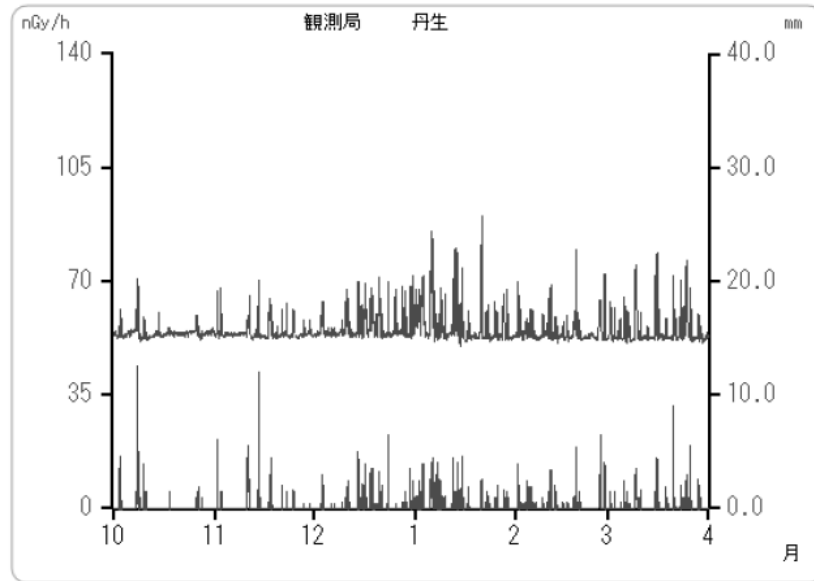
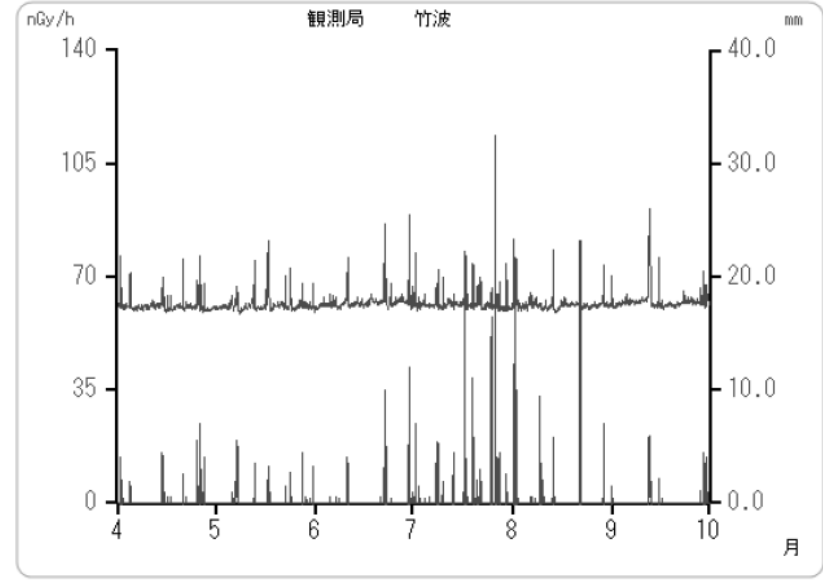
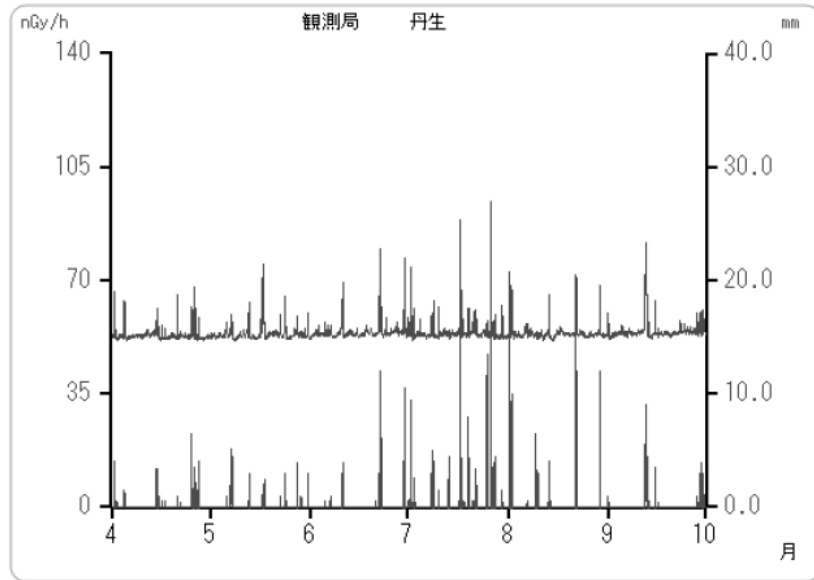


図4.2.1 空間線量率と降雨量の測定結果（2009年4月～2010年3月） 上段：線量率 下段：降雨量

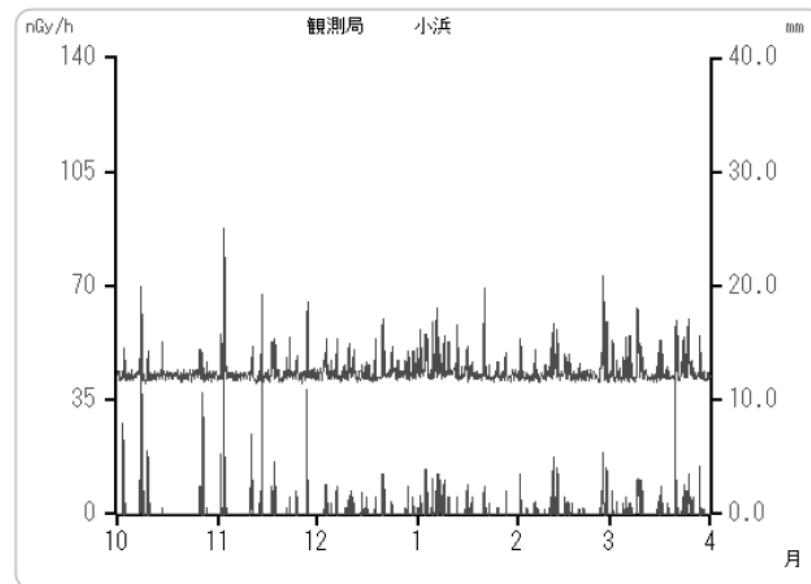
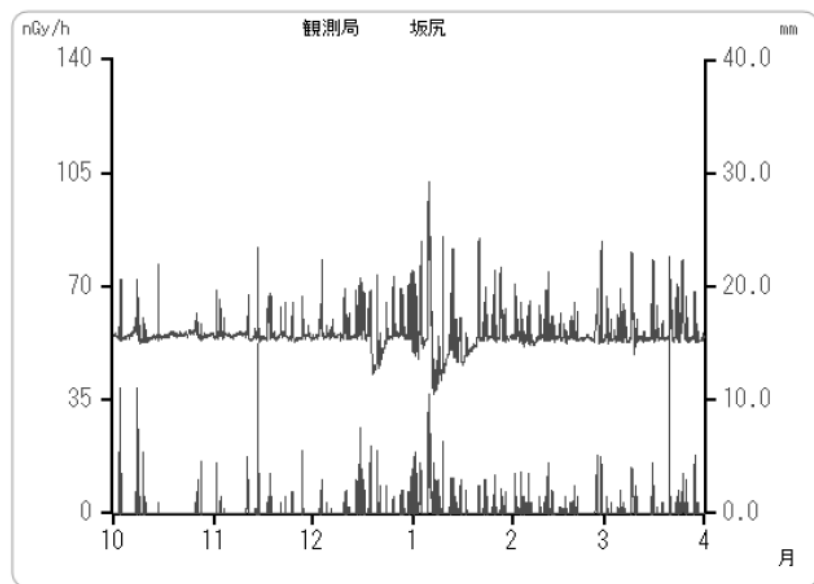
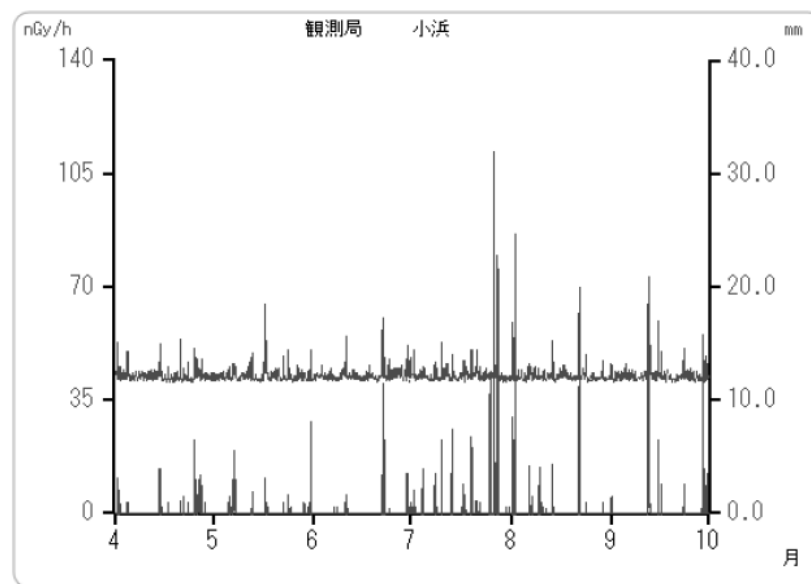
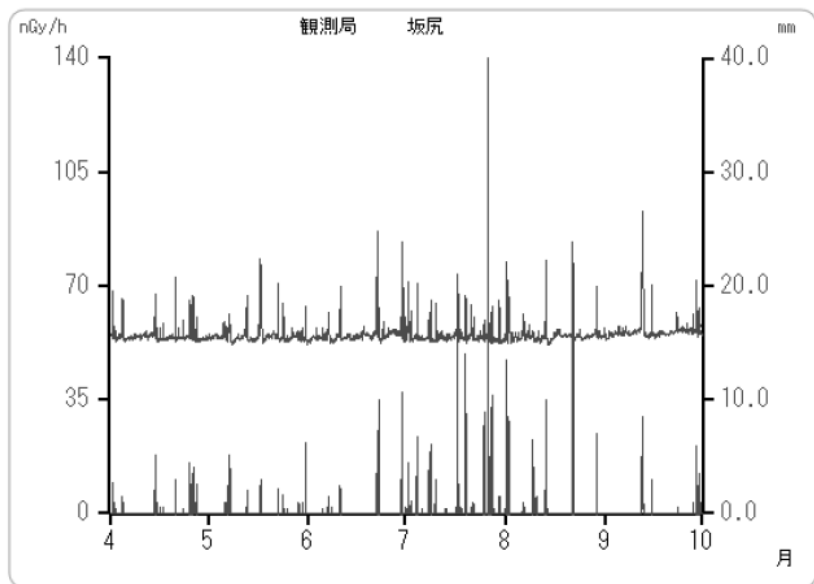


図4.2.1 空間線量率と降雨量の測定結果(2009年4月~2010年3月) 上段:線量率 下段:降雨量

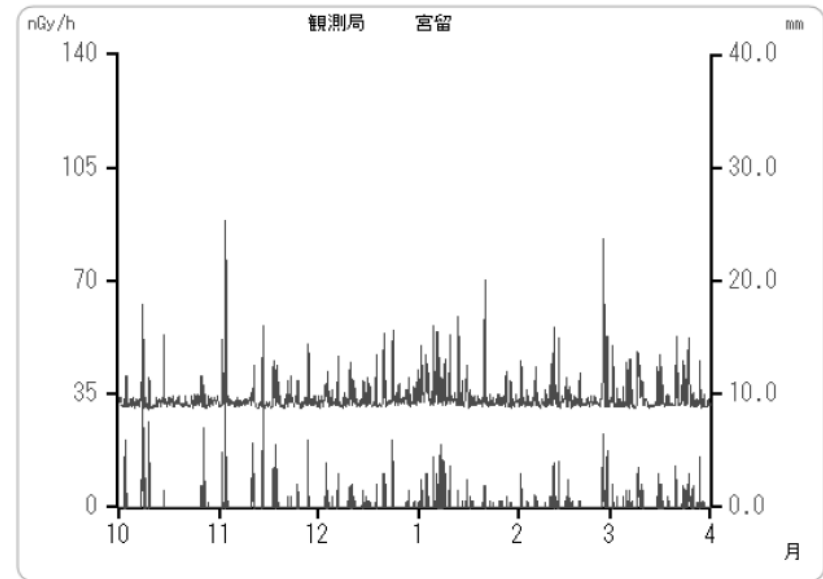
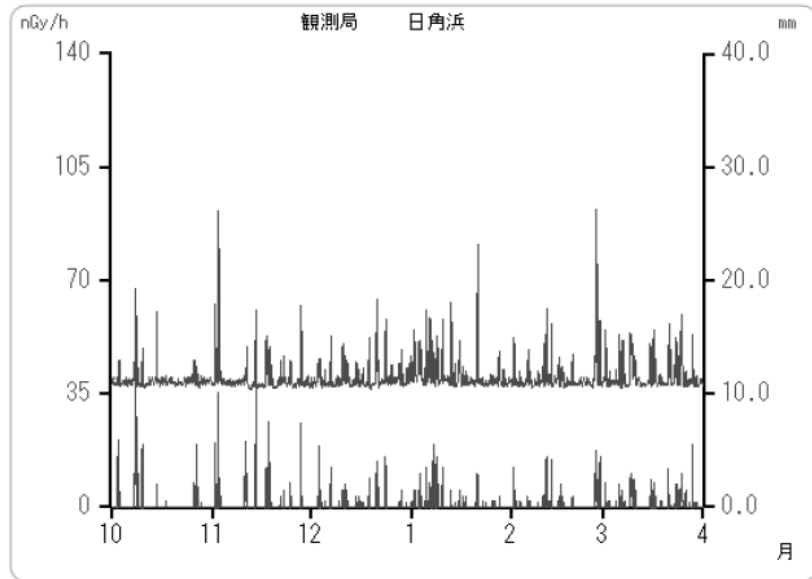
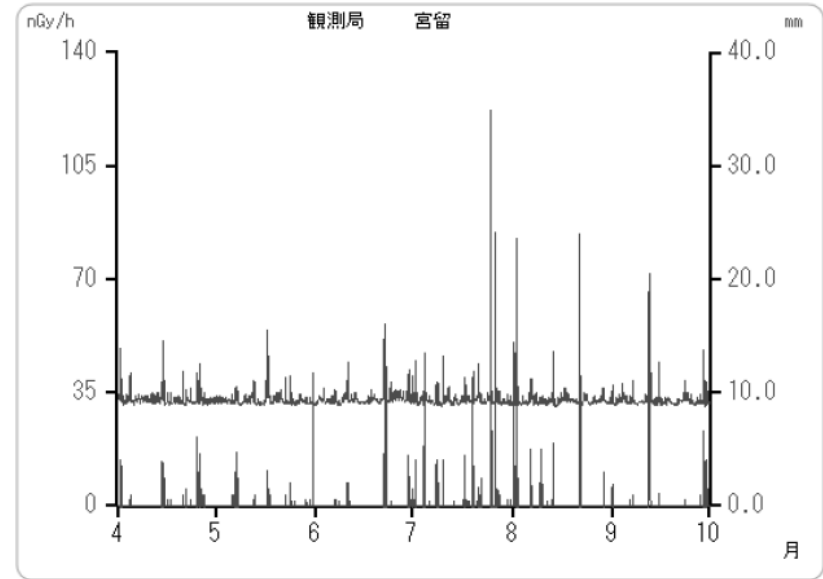
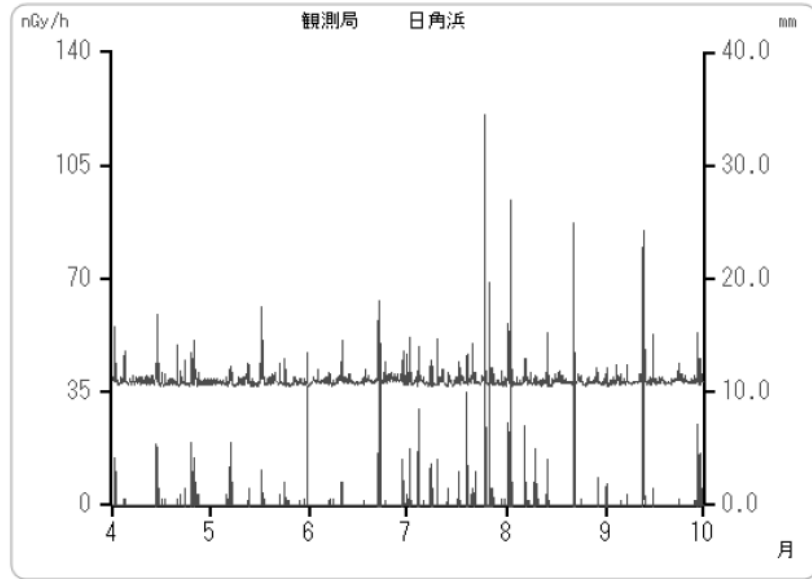


図4.2.1 空間線量率と降雨量の測定結果(2009年4月~2010年3月) 上段:線量率 下段:降雨量

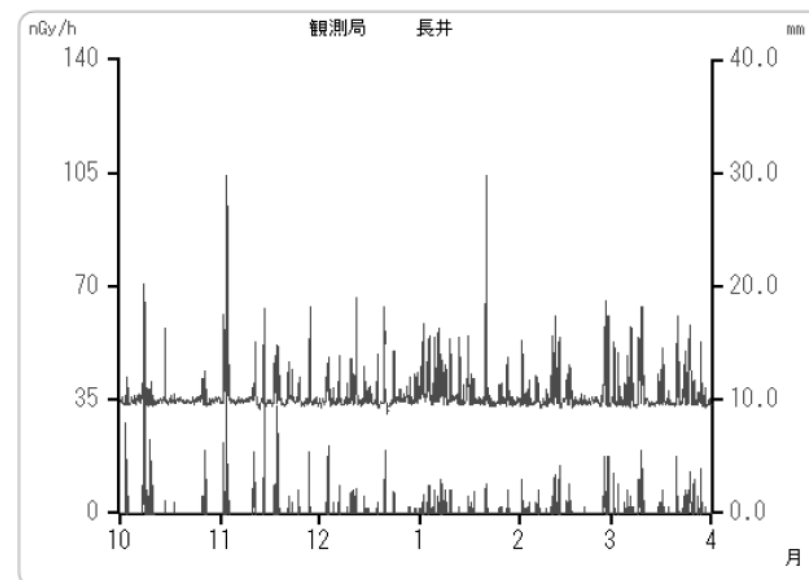
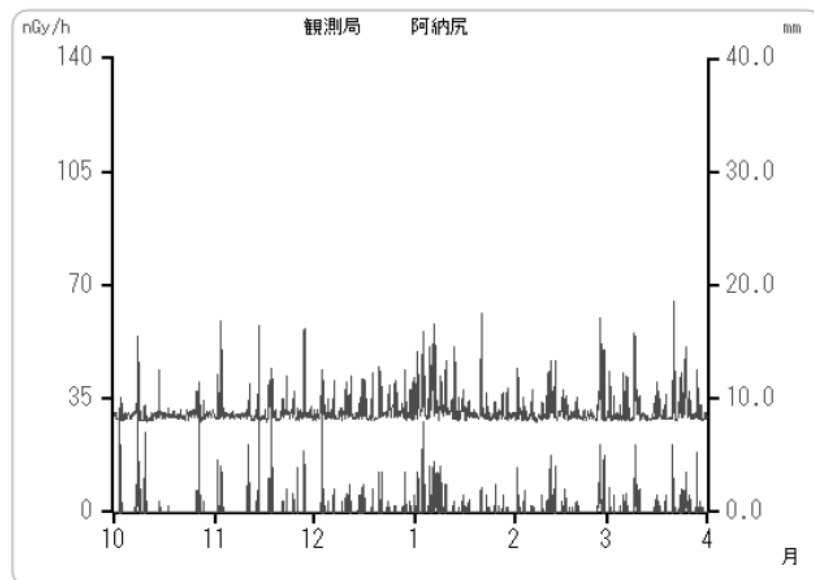
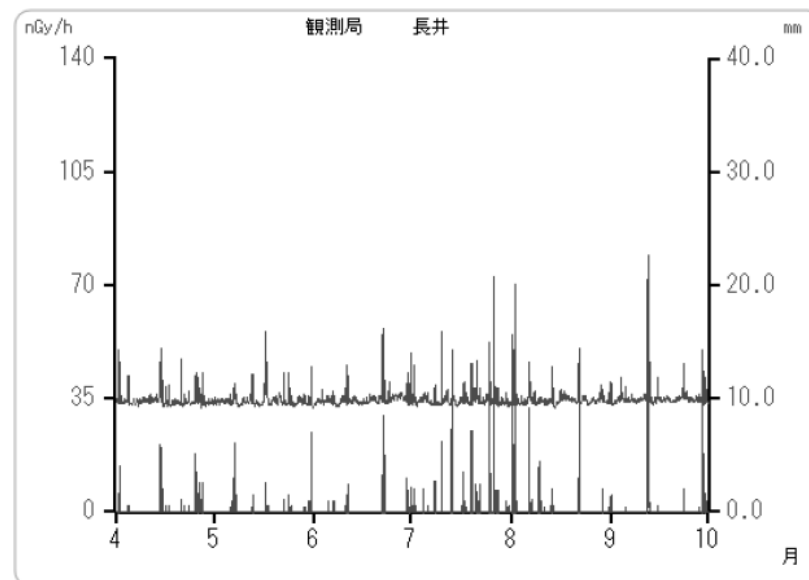
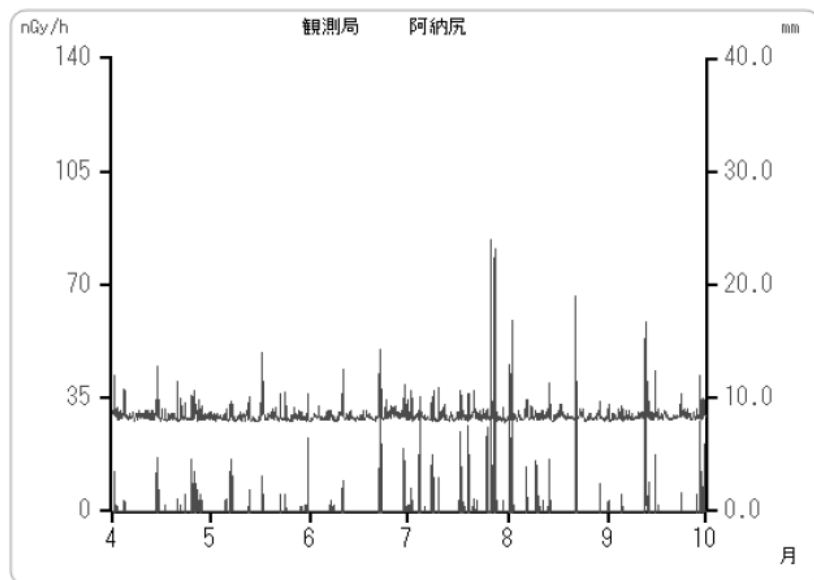


図4.2.1 空間線量率と降雨量の測定結果（2009年4月～2010年3月） 上段：線量率 下段：降雨量

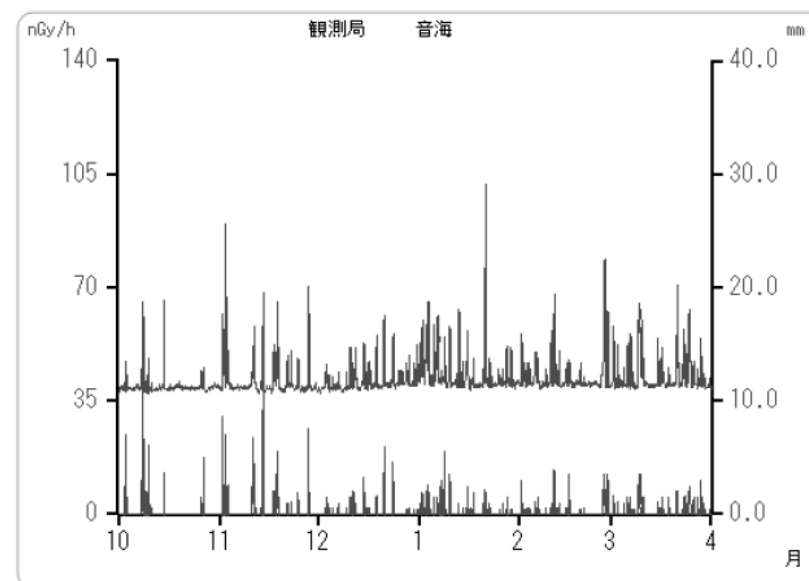
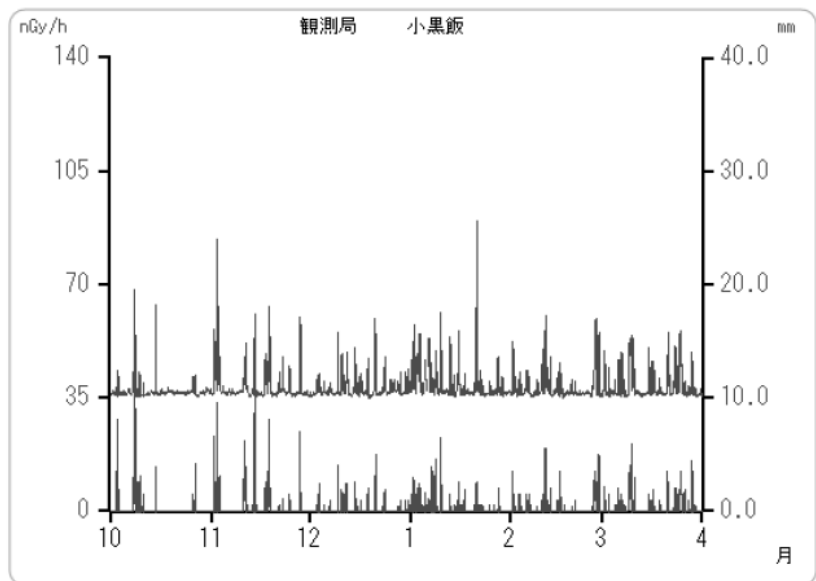
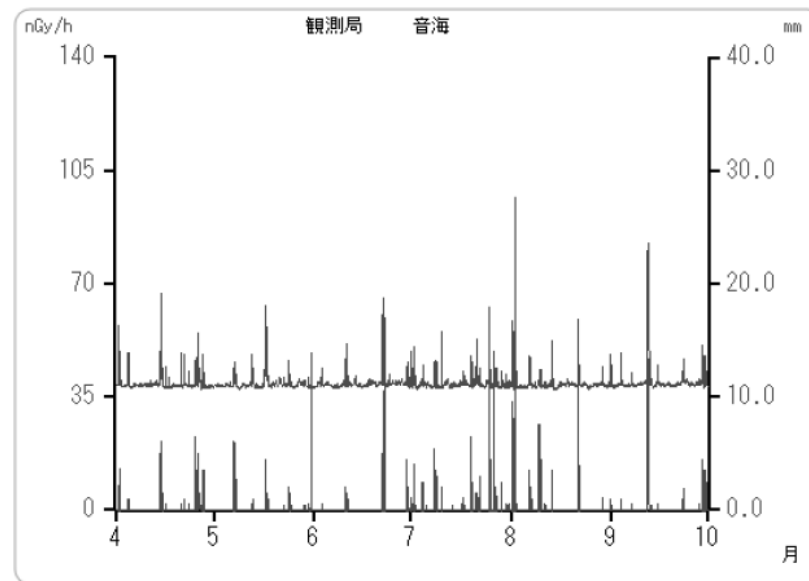
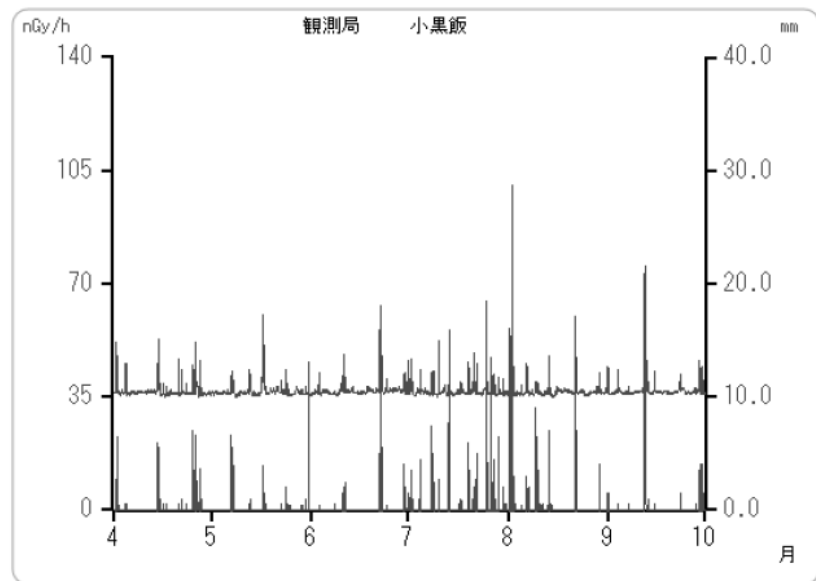


図4.2.1 空間線量率と降雨量の測定結果（2009年4月～2010年3月） 上段：線量率 下段：降雨量

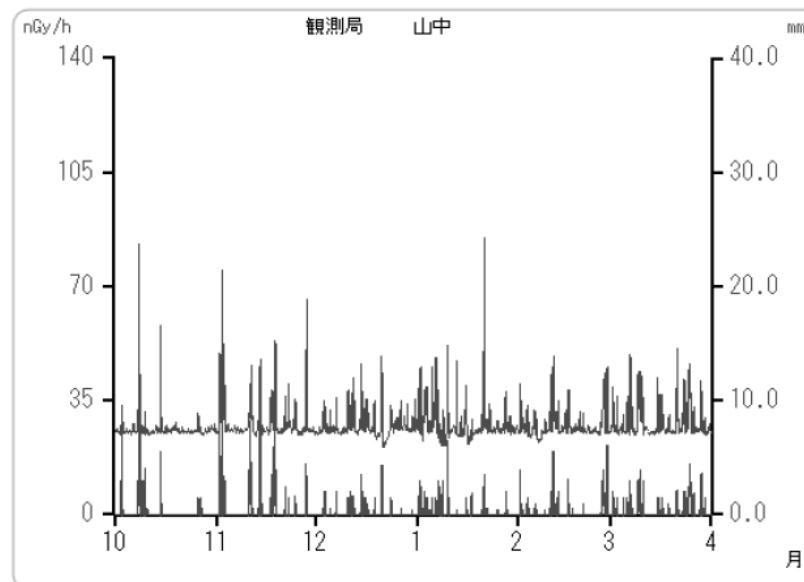
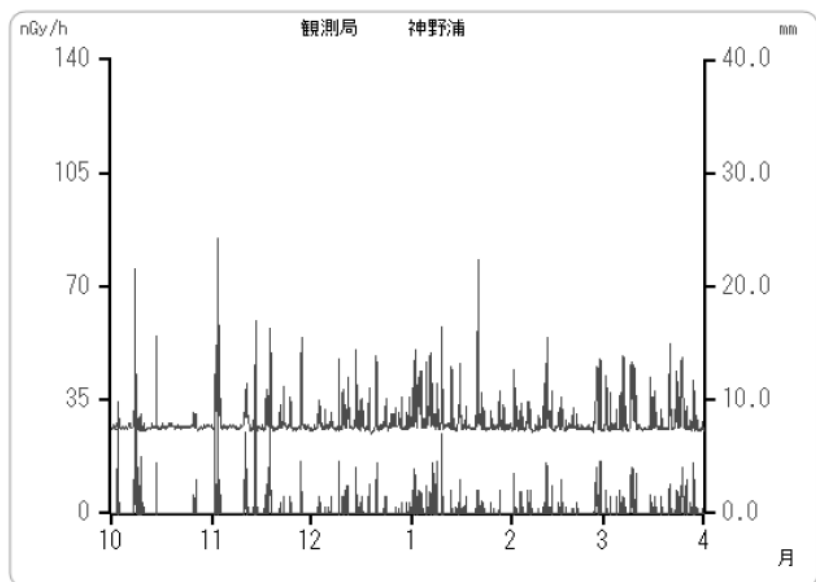
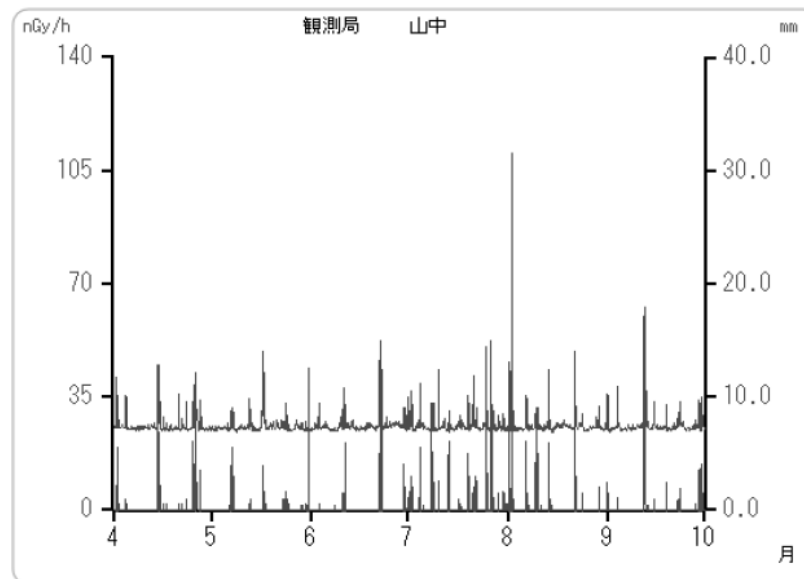
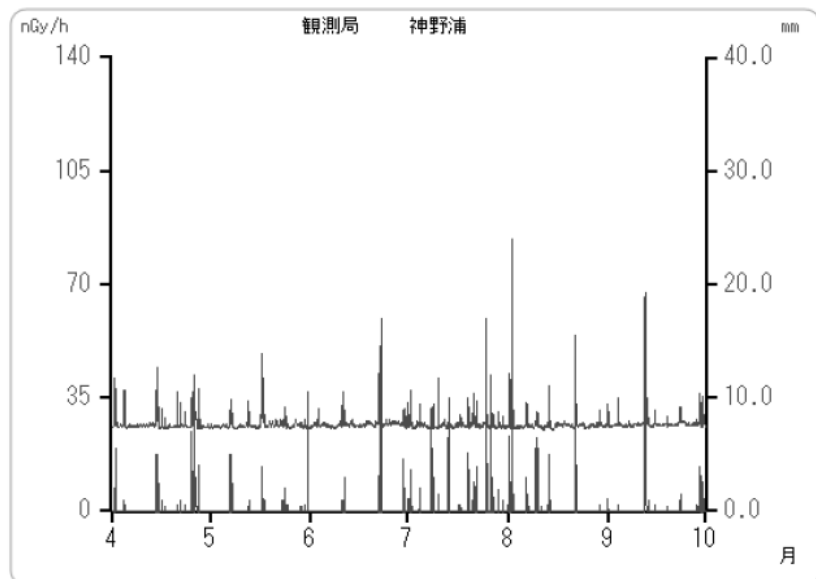
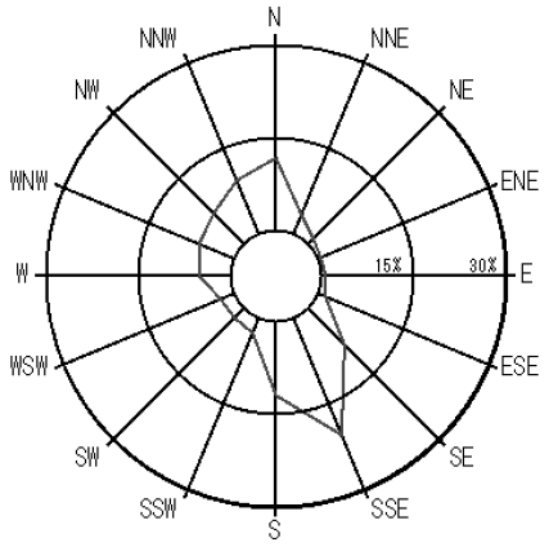
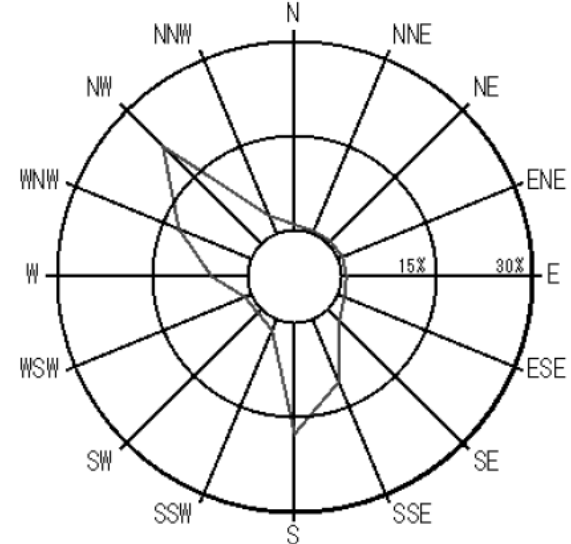


図 4 . 2 . 2 各地の風配図 敦賀地区

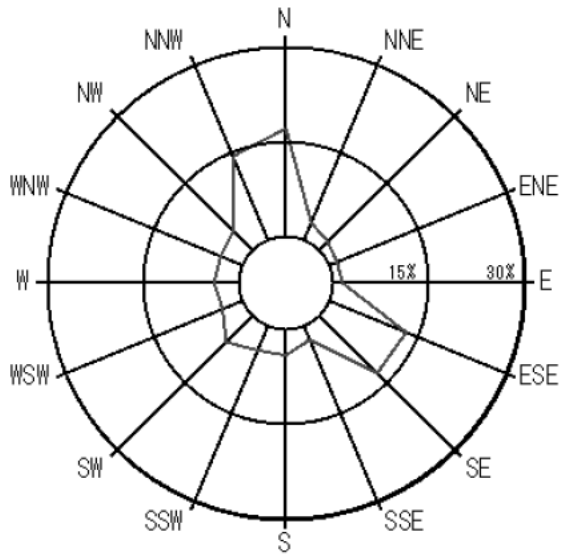
敦賀観測局



浦底観測局



立石観測局



河野観測局

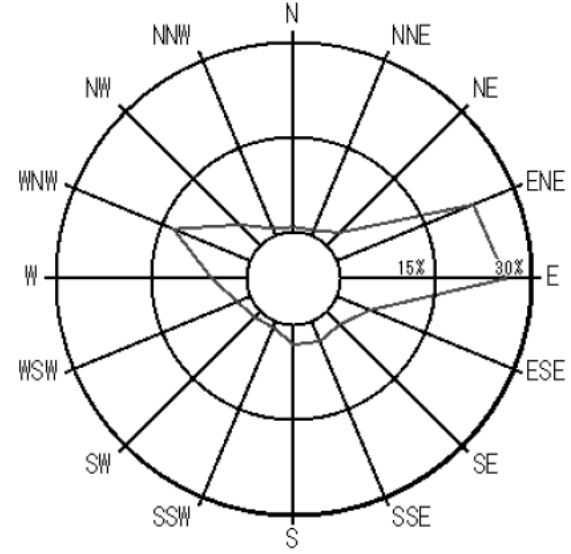


図 4 . 2 . 2 各地の風配図 白木地区

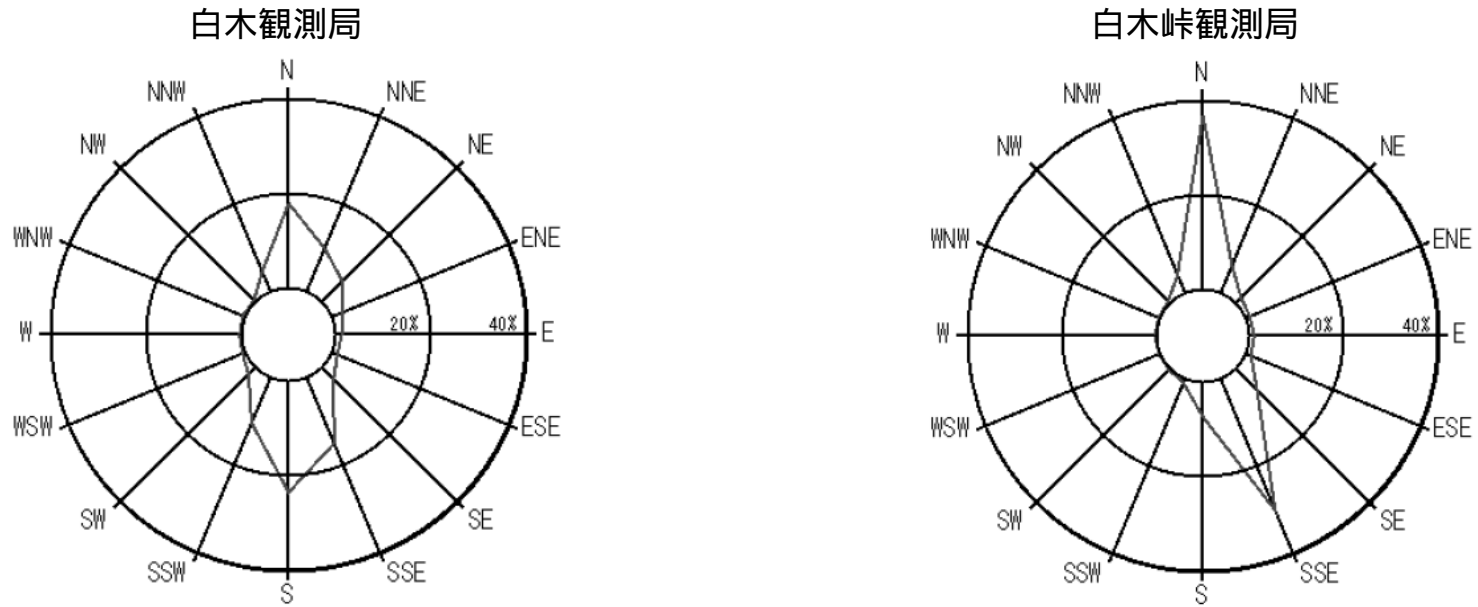


図 4 . 2 . 2 各地の風配図 美浜地区

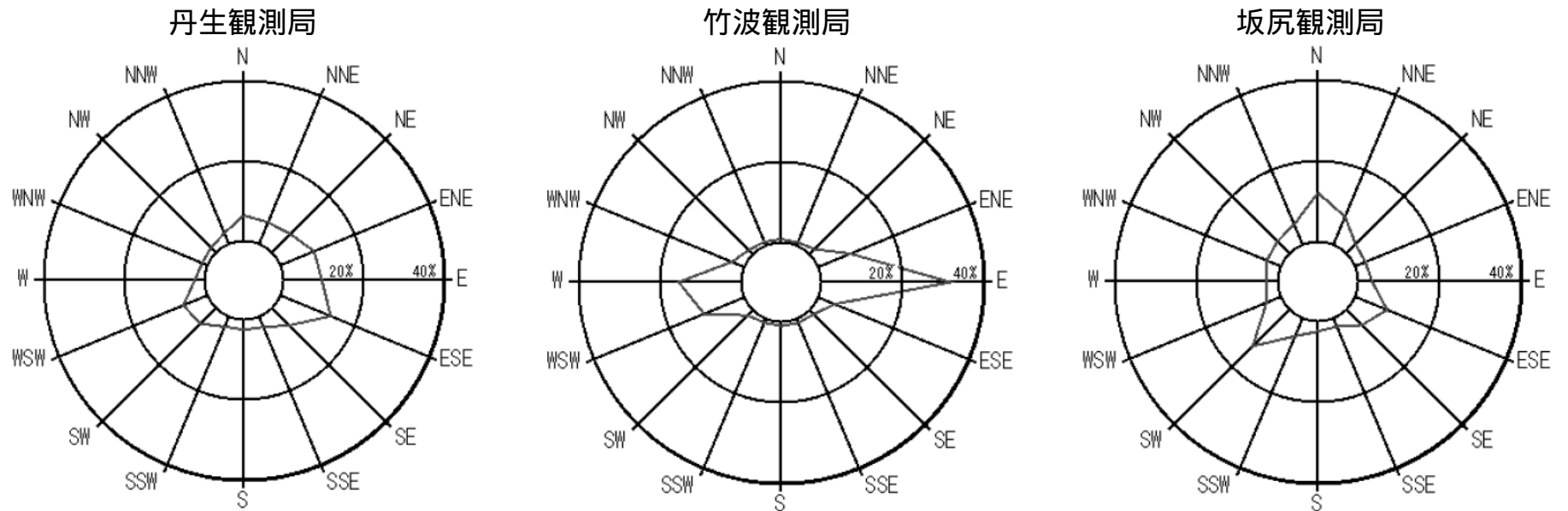


図4.2.2 各地の風配図 大飯地区

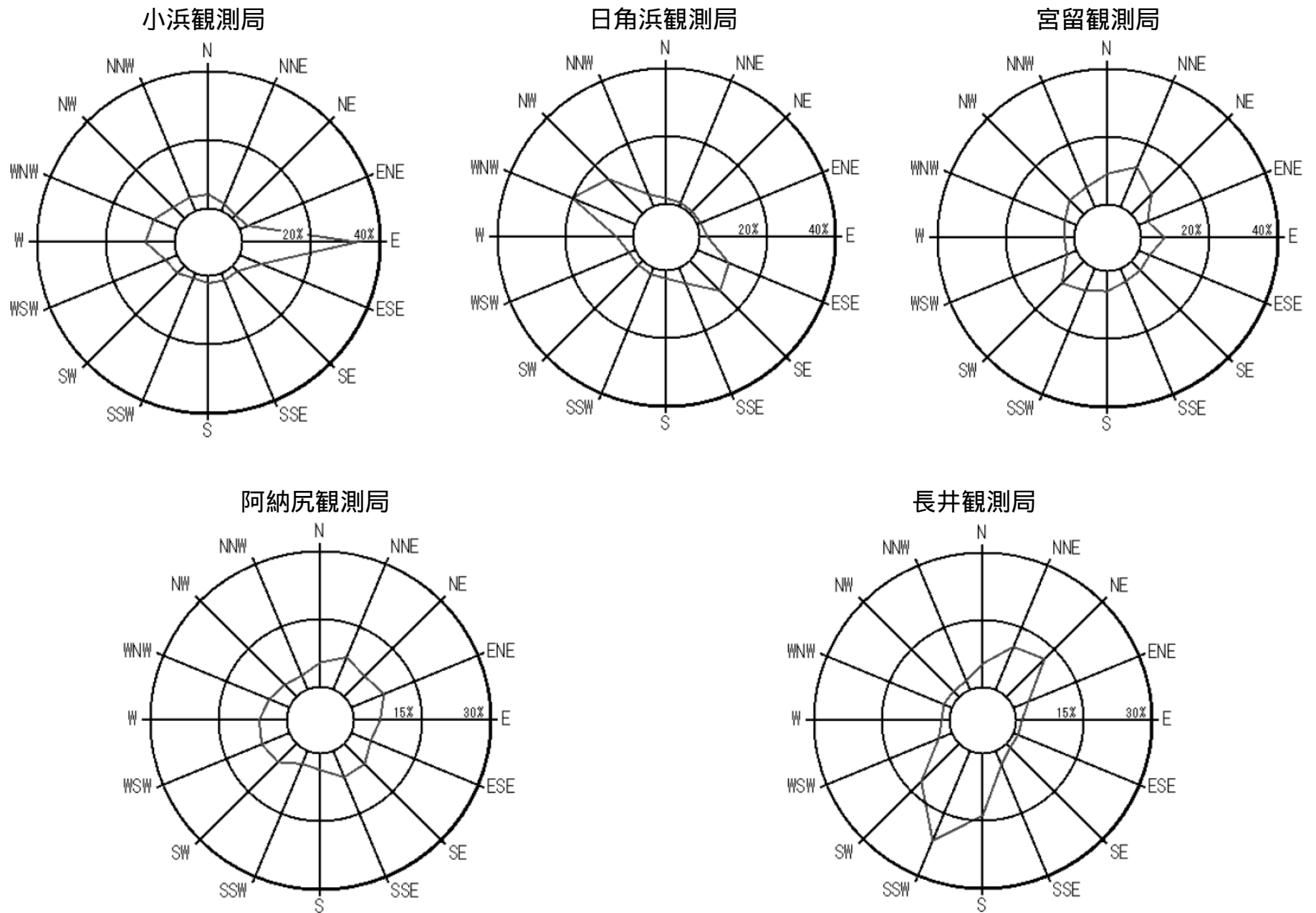
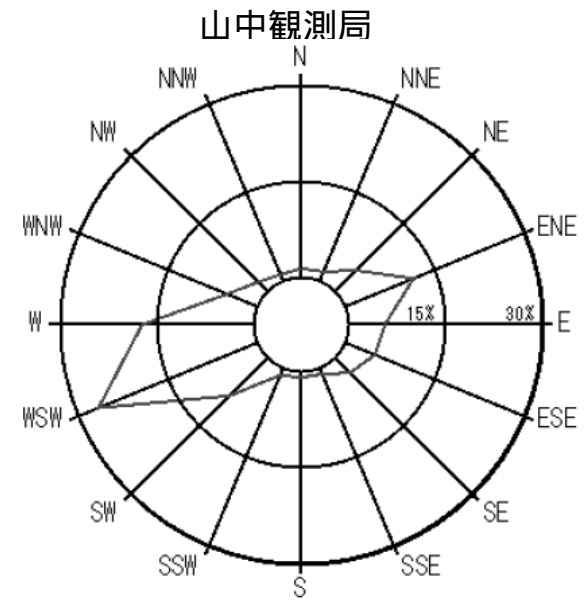
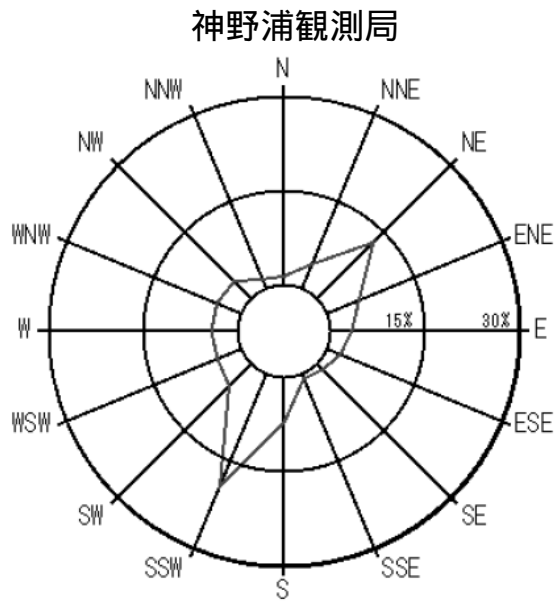
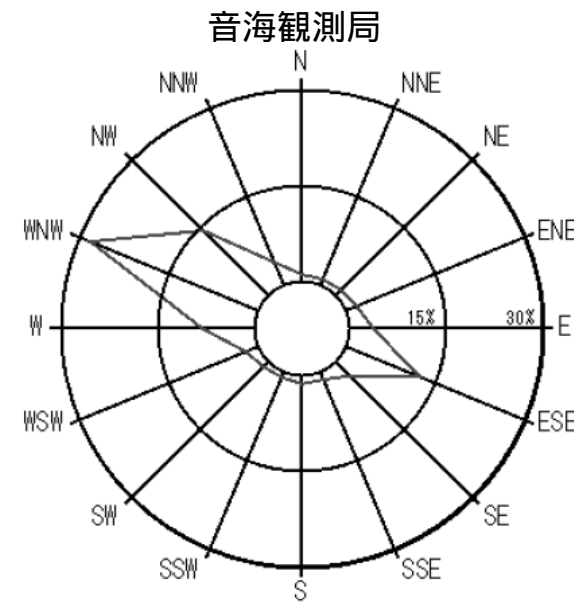
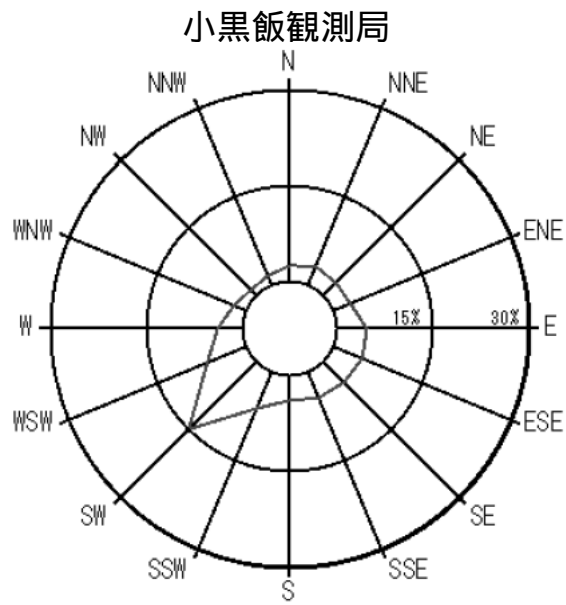


図4.2.2 各地の風配図 高浜地区



4. 3 大気中水分、雨水（降下物）のトリチウム分析結果について

【測定のための目的・経緯】

大気中水分、雨水（降下物）のトリチウムの測定については、平成8年度から定期調査として報告を開始し、平成17年度からは、大気中水分を期間調査から月間調査に、雨水を月間調査から期間調査に変更した。

トリチウムは表-1に示すように、単位放射能当たりの線量への寄与が他の主要な核種と比べ数百分の1～数千分の1と小さく、環境安全上大きな問題となるものではないが、放射性ヨウ素や⁶⁰Co等の放射性核種の放出がほとんどなくなったことから、環境モニタリングにおいて相対的にトリチウムの比重が高くなっており、また、希ガスを除けば、定常的に放出される唯一の核種であるので、定期調査に加えたものである。

県内で多数を占める軽水型原子炉施設を例にとれば、気体廃棄物中のトリチウムは、海への液体廃棄物の放出とは異なり、使用済燃料プールや定期検査時の原子炉キャビティーからの蒸発や格納容器パージがあるため、ほぼ定常的に発生し、放出される。

大気中水分のトリチウム分析は、吸入に伴う内部被ばく線量を把握するためであり、雨水（降下物）については、雨によるウォッシュアウト（洗い落とし）効果によって大気中のトリチウムが地表にもたらされることや、空気中の水蒸気と地表面に溜まった水とが比較的容易に入れ代わること等から、大気中水分の測定結果を解釈する際の参考として分析しているものである。トリチウムの存在形態としてはHTやT₂のようなガス状の存在も考えられるが、環境では速やかにHTOに変換するとされているので、水分を採取することとしている。

表-1 1 Bqを経口または吸入摂取した場合の成人の実効線量係数 (mSv/Bq)

	経 口 摂 取	吸 入 摂 取
³ H	1.8 × 10 ⁻⁸	1.8 × 10 ⁻⁸
⁶⁰ Co	3.4 × 10 ⁻⁶ (³ Hに対する倍数 190)	3.1 × 10 ⁻⁵ (³ Hに対する倍数 1,700)
¹³¹ I	1.6 × 10 ⁻⁵ (" 890)	1.5 × 10 ⁻⁵ (" 830)
¹³⁷ Cs	1.3 × 10 ⁻⁵ (" 720)	3.9 × 10 ⁻⁵ (" 2200)

【試料の採取・測定法】

大気中水分は、線量率連続モニタの観測局等に設置した除湿器により月毎に採取したものを測定試料としている。雨水は、降下物の核種分析用の水盤または別の水盤から月毎に分取し、それを3ヶ月分まとめたもの（集合試料）を測定試料としている。測定試料を蒸留後、40ml分取して60mlの乳化シンチレータと混合、静置し、低バックグラウンド液体シンチレーション検出器により原則として計500分（50分×10回）測定している。検出限界値は測定条件によって多少違うが、およそ0.5～1Bq/lである。

【数値の取扱い・大気中濃度への換算方法】

分析結果はBq/l（水）で報告する。

測定値は、有効数字2桁または表示単位の小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。

トリチウム濃度をN、その誤差をΔNとした時に、N ≥ 3 ΔNの場合を検出されたものとする。

発電所影響の調査を行う検討基準として、海水の調査結果のうち、2.0Bq/l以上のデータを除いた過去3年間の調査結果（およそのバックグラウンドレベル）を基に平均値(M) + 3 × 標準偏差(σ)を算出し、(M + 3σ)が2.0Bq/l未満の時は、(M + 3σ)を、(M + 3σ)が2.0Bq/l以上の時は、2.0Bq/lを検討基準とする。（2009年度の検討基準は、2.0Bq/lである。p.29「測定値の取扱いについて」参照。）

なお、大気中水分のトリチウム濃度 (Bq/ℓ) は、空気中の水分量が気温、相対湿度によって変動するため季節によって3～4倍値が違い、大気中濃度 (Bq/m³) が一定であっても冬季は大きな値となるので、測定結果を見る場合は注意を要する。

大気中水分のトリチウム (Bq/ℓ) を大気中濃度 (Bq/m³) に換算するには、当該期間の平均気温と平均相対湿度を用いて求めた空気中の水分量 (ℓ/m³) を乗じる。2009年度の月毎の平均的な空気中の水分量は表-2の通りである。過去に報告された大気中水分のトリチウム濃度 (Bq/ℓ) も、同様に当該期間中の空気中の水分量を用いて大気中濃度 (Bq/m³) に換算することができる。

表-2 月毎および年間の平均的な空気中の水分量 (単位: mℓ/m³) *

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月平均	7.5	10.9	14.8	20.0	18.4	14.7	10.8	7.8	5.7	4.9	5.4	5.8
年平均	10.6											

* : 敦賀特別地域気象観測所における2009年度の平均気温および平均相対湿度を基に計算した。

【線量評価】

大気中水分を吸入することによる預託実効線量は、仮に100 Bq/ℓのトリチウム濃度の水分を含む空気を成人が年間連続して呼吸し続けると仮定した場合、表-1の線量換算係数および1日の呼吸量を用いれば、

$(100\text{Bq}/\ell \times 0.0106 \ell/\text{m}^3) \times 22.2\text{m}^3/\text{日} \times 365\text{日} \times 1.8 \times 10^{-8}\text{mSv/Bq} = 1.5 \times 10^{-4}\text{mSv}$
と計算される。これは、公衆の線量限度1 mSvあるいは2008年国連科学委員会報告によるラドン等の吸入による内部被ばく線量1.26mSvと比べ、無視し得るくらいの極めて小さな値である。

【過去の実績およびバックグラウンドレベル】

表-3に過去の実績として1975～2008年度の間最高値を、また、参考として「表-4」に对照地点の調査結果を示す。

表-3 過去の実績(1975～2008年度の最高値)

	地区	水中濃度	大気中濃度
大気中	高浜	52 Bq/ℓ 07年11月小黒飯	0.38 Bq/m ³
水分	对照	5.4Bq/ℓ 81年4月福井	0.062 Bq/m ³
雨水	大飯	24.1Bq/ℓ 99年3月宮留	
	对照	6.5Bq/ℓ 75年6月福井	

表-4 对照地点の測定結果(2006～08年度)

	試料数	平均濃度±標準偏差
大気中水分	36	0.52±0.28Bq/ℓ
雨水	12	0.45±0.26Bq/ℓ

(検出限界値未満の場合を含む全試料の平均)

4.4 原子炉廃止措置研究開発センター「ふげん」放水口付近海水からのトリチウム検出とその検討結果について

(「原子力発電所周辺の環境放射能調査報告 平成21年度第1報」より)

1. 概要

平成21年4月に県監視センターが採取したふげん放水口付近の海水より、これまでの実績を超える濃度のトリチウムが検出された(表1参照)。施設からの放出状況等を調査した結果、採水時刻において原子炉廃止措置研究開発センター(以下「ふげん」という。)より「液体廃棄物としてのトリチウム」(以下「液体トリチウム」という。)が放出中であったことが確認された。

これらのトリチウム濃度は環境安全上問題となるレベルではないが、周辺環境への影響を確認するために放水口周辺海域における濃度分布を調査するとともに、預託実効線量の試算等の検討を行った。以下にその概要を示す。

表1 平成21年度第1四半期敦賀地区における海水中トリチウム濃度(単位:Bq/)

採取場所	採取日時	トリチウム濃度	過去3ヶ年実績	過去最高濃度
ふげん放水口	4月24日 13:50	1100	ND~6.3	91 (H7(1995)年度第1期)
敦賀2号放水口	4月24日 14:06	14	ND~1.8	16 (H13(2001)年度第1期)

2. 液体廃棄物の放出状況

2-1. 「ふげん」の状況

「ふげん」は平成15年3月29日の運転終了後、平成20年2月12日に原子炉等規制法に基づく廃止措置計画の認可を受け廃止措置作業に着手しており、現在は平成25年度までの予定で重水搬出のための重水ヘリウム系からの残留重水回収作業、トリチウム除去作業等を行っている。液体トリチウムはこれらの重水取扱作業に使用する局所換気系のドレン水(非常用ガス処理系ドレン水)として発生する。

液体廃棄物の放出に当たっては、放出の都度、廃液中のトリチウム濃度の測定・評価を行い、放水口でのトリチウム濃度が「ふげん」の自主的な管理目標濃度である6Bq/cm³(6,000Bq/)及び「保安規定に定めるトリチウムの年間放出管理目標値(8.5×10¹²Bq)」を超えないよう希釈海水による希釈効果を評価した上で、液体トリチウムの放出流量を設定し、管理放出している。ここで、自主的な管理目標濃度(6Bq/cm³)は「法令に定める周辺監視区域外における水中の濃度限度(3ヶ月平均濃度:60Bq/cm³)」の1/10に相当する。

なお平成15年3月の運転終了以降、「ふげん」放水口における希釈海水量は原子炉運転時の43,200m³/hから3,300m³/h(約1/13)に減少している。

2-2. 液体トリチウムの放出実績

「ふげん」における液体トリチウムの年間放出実績を図1に、「ふげん」廃止措置計画認可後の平成20年4月から平成21年6月までの月毎の液体トリチウム放出実績を図2に示す。

平成15年3月の運転終了以来、液体トリチウムの年間放出量は減少しているものの、希釈海水量の減少により放水口における年間平均濃度は運転中に比べ高く、その後、廃止措置計画の認可を受けて着手したヘリウム浄化系の残留重水回収及び重水乾燥トリチウム除去作業により、平成21年3月、4月は液体トリチウムの放出回数、月間放出量及び月間平均濃度が増加している。

2 - 3 . 海水採取時における放出状況

今回の海水試料の採取日及び前日、前々日における敦賀地区の液体トリチウム濃度の放出状況を表2に示す。海水採取時刻（4月24日13時50分）に対して、「ふげん」からトリチウム濃度が比較的高い「非常用ガス処理系ドレン水」が4月24日11時11分～15時19分にかけて放出されていた。

なお、「ふげん」放水口と隣接する日本原子力発電(株)敦賀発電所2号機放水口から海水試料採取時刻前に放出された液体廃棄物中のトリチウム濃度はいずれも検出下限値以下であった。

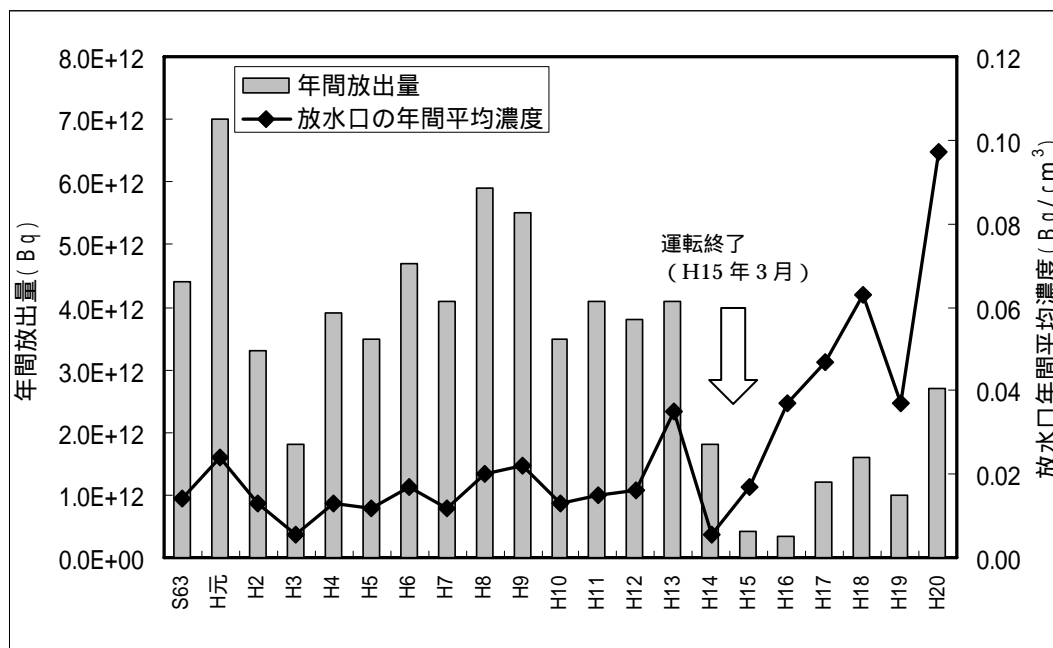


図1 ふげんにおける液体トリチウムの放出実績

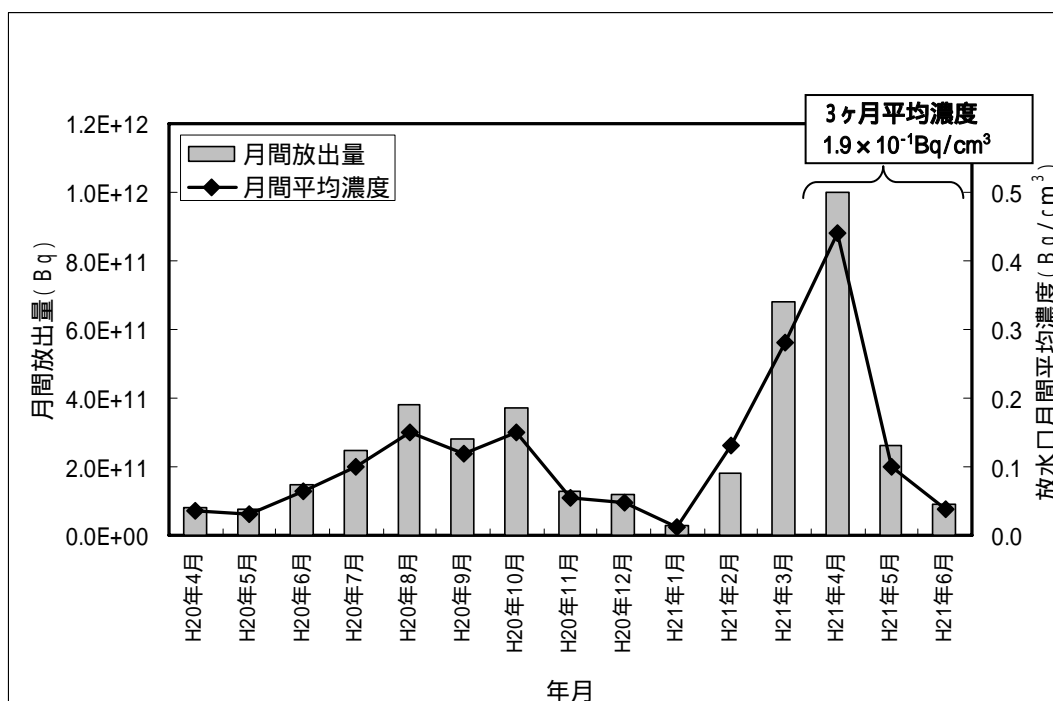


図2 平成20年4月から21年6月までのふげんからの液体トリチウム放出状況

表2 海水試料採取時の液体トリチウム放出状況

月日	発電所	種類	時間	放出量 (Bq)	放水口濃度 (Bq/)
前々日 4月22日	ふげん	非常用ガス処理系ドレン水	10:42 ~ 17:43	1.24×10^{11}	5,370
	敦賀2号	2号洗濯廃液モタツク	14:00 ~ 15:02	N D	-
前日 4月23日	ふげん	非常用ガス処理系ドレン水	15:30 ~ 20:00	8.36×10^{10}	5,630
		重水精製建屋希釈槽	16:20 ~ 17:40	6.58×10^8	149
	敦賀2号	2号廃液モタツク	13:50 ~ 15:00	N D	-
		2号洗濯廃液モタツク	16:44 ~ 17:46	N D	-
当日 4月24日	ふげん	重水精製建屋希釈槽	10:53 ~ 12:13	6.80×10^8	154
		非常用ガス処理系ドレン水	11:11 ~ 15:19	6.33×10^{10}	4,640
	敦賀2号	2号洗濯廃液モタツク	13:46 ~ 14:48	N D	-

(参考) ふげんのトリチウム放出管理目標値(年間放出量: 8.5×10^{12} Bq、濃度: 6Bq/cm³(6,000Bq/))

3. 預託実効線量の試算

平成21年度第1四半期の3ヶ月間に「ふげん」から放出されたトリチウムの放水口平均濃度が1年間継続すると仮定して、海水中のトリチウムが海産物へ移行し成人がこれらを1年間摂取した場合の預託実効線量は、 7.6×10^{-4} mSvとなった。これはふげんの放水口平均濃度から試算したものであり、実際の環境中トリチウム濃度は放出後の希釈等により放水口濃度より低くなる上に、今回の試算では安全側の評価となるように有機結合型トリチウムの場合の実効線量係数を使用している。よって環境への影響は、法令に定められている線量限度 1mSv/年及び「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に関する指針(原子力安全委員会、平成13年3月一部改訂)に定める線量目標値 0.05mSv/年と比べはるかに小さいものとなる。

$$\text{預託実効線量(mSv)} = \text{実効線量係数(mSv/Bq)} \times \text{年間の核種摂取量(Bq)}$$

$$\text{年間の核種摂取量(Bq)} = 365(\text{日}) \times \text{トリチウム平均濃度(Bq/cm}^3) \times \text{濃縮係数} \times \text{摂取量(g)}$$

$$4.2 \times 10^{-8} \times 365 \times 1.9 \times 10^{-1} \times 1 \times 260 = 7.6 \times 10^{-4} \text{ mSv}$$

$$\text{有機結合型トリチウム実効線量係数}^*1 : 4.2 \times 10^{-8} \text{ mSv/Bq}$$

$$\text{第1四半期ふげん放水口トリチウム平均濃度} : 1.9 \times 10^{-1} \text{ Bq/cm}^3$$

$$\text{海産物のトリチウム濃縮係数}^*2 : 1$$

$$\text{成人1人1日あたり魚貝藻類総摂取量}^*2 : 260\text{g(魚類 200g + 無脊椎動物 20g + 海藻類 40g)}$$

*1: 「環境放射線モニタリング指針」(原子力安全委員会、2008年3月)より

*2: 「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に対する評価指針」

(原子力安全委員会、2001年3月一部改訂)より

4. 放水口前面海域における確認調査

4-1. 調査方法

平成21年6月12日から15日にかけて、原子力機構により「ふげん」放水口前面海域における確認調査が行われた。トリチウムを含む非常用ガス処理系ドレン水の放出前、放出中および放出後に広域的(～放水口沖2km)に表層海水を採取、海水中のトリチウム濃度を測定し、その値から排水の拡散状況を調査した。また、一部の地点において、県監視センターによるクロスチェックを行った。採取地点を図3に、採取時刻等を表3に示す。

なお、「ふげん」放水口が敦賀発電所2号機放水口に隣接していることから、調査期間中において

て敦賀発電所 2 号機からの液体廃棄物の放出制限を実施した。

4 - 2 . 確認調査結果

今回の確認調査結果は表 4 のとおりである。この結果から確認された液体トリチウムの放出による「ふげん」放水口前面海域への影響範囲等を以下に示す。

影響範囲は放水口から 1km 以内に限定されていた。

放出された液体トリチウムは、比較的短時間で拡散・希釈されていた。

放出の翌日にはトリチウム濃度は通常の変動範囲内の値に戻っており、長期間にわたる滞留は認められなかった。

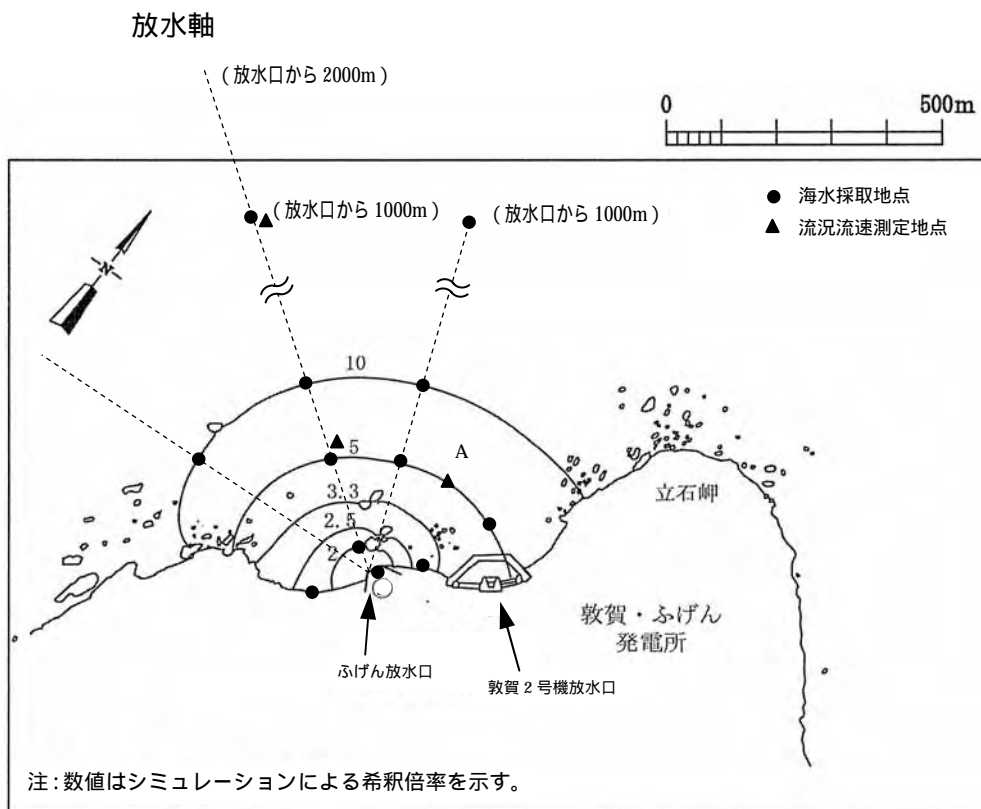


図 3 海水採取地点及び流況測定地点

表 3 液体トリチウムの放出と海水採取

日時	前日 (11日)	当日 (12日)								2日目 (13日)	3日目 (14日)	4日目 (15日)
		9:30	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:30	9:30	9:30
液体廃棄物	放出制限 ^{*1}	←非常用ガス処理系ドレン水の放出 (11:00 ~ 14:00)→				放出制限 ^{*1}						
放水口付近の海水		海水の採取 1		海水の採取 2	海水の採取 3		海水の採取 4		海水の採取 5	海水の採取 6	海水の採取 7	海水の採取 8
流況 ^{*2}		測定			測定		測定		測定	測定	測定	測定

* 1 : 液体廃棄物の放出制限は「ふげん」と敦賀発電所 2 号機とで実施

* 2 : 流況測定は調査地点 (3 点 : 海面下 2m) において「電磁流向流速計」で実施

表4 確認調査におけるトリチウム濃度* (単位: Bq/)

採取日	採取No	採取時刻	採取地点												
			放水軸80m	原電放水口前	放水軸右200m	放水軸200m	放水軸左400m	放水軸400m	放水軸右400m	放水軸右1000m	放水軸1000m	放水軸2000m	放水口左岸100m	放水口右岸90m	放水口
6月12日	1	9:30	ND (ND)	ND (ND)	ND	1.2 (1.0)	0.7	ND (0.9)	0.8	0.6	0.6 (ND)	ND	ND	0.7	ND
	2	12:00	12 (8.0)	1.0 (0.7)	ND	1.1 (ND)	ND	1.8 (ND)	ND	ND	ND (0.9)	ND	1.0	0.6	1010
	3	13:00	12 (26)	ND (0.6)	ND	0.9 (ND)	1.3	1.3 (1.2)	0.8	ND	1.6 (1.0)	ND	27	1.2	1050
	4	15:00	110 (120)	0.8 (0.8)	ND	41 (46)	0.7	47 (49)	ND	ND	ND (0.8)	ND	84	0.6	35
	5	17:00	15 (17)	1.2 (ND)	0.6	39 (38)	11	13 (11)	0.9	0.9	ND (1.0)	0.6	45	ND	3.6
13日	6	9:30	0.8 (0.7)	0.8 (0.7)	0.7	0.8 (0.7)	ND	ND (ND)	0.7	0.7	0.6 (0.7)	1.2	1.2	ND	0.7
14日	7	9:30	ND (0.7)	0.9 (0.8)	1.0	1.1 (ND)	ND	ND (1.2)	ND	ND	ND (0.9)	ND	ND	ND	ND
15日	8	9:30	ND (ND)	ND (0.9)	0.8	0.7 (1.1)	0.8	1.9 (ND)	0.8	2.0	0.7 (0.7)	0.7	1.5	0.8	1.2

*原子力開発機構による測定結果。()内は県監視センターによるクロスチェック測定結果。

5. 「ふげん」放水口付近海水におけるトリチウム検出に対する検討結果

平成21年4月24日に県監視センターが「ふげん」放水口付近で採取した海水試料からのトリチウム検出後、施設からの液体廃棄物の放出実績等を調査した結果、平成21年4月にヘリウム浄化系の重水乾燥トリチウム除去作業により、放水口濃度が比較的高い状態で「ふげん」から液体トリチウムが管理放出されていたことが確認された。

今回「ふげん」放水口付近海水において過去実績を上回る濃度のトリチウムが検出された要因は、「ふげん」からの液体トリチウムの管理放出期間中に海水試料を採取したためと考えられる。

これら液体トリチウムが周辺環境に与える影響を確認するため、トリチウムを含む放射性液体廃棄物の放出による確認調査を実施するとともに、液体トリチウムによる預託実効線量の試算を行った。その結果を以下に示す。

- (1) 環境への影響範囲は放水口から1km以内に限られ、また放出された液体トリチウムは比較的短時間で拡散・希釈され、放出の影響は一過性のものである。
- (2) 預託実効線量は安全側で評価すると 7.6×10^{-4} mSvとなり、実際の影響は法令に定められている線量限度1mSv/年及び「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に関する指針(原子力安全委員会、平成13年3月一部改訂)に定める線量目標値0.05mSv/年と比べはるかに小さい。

以上の結果を踏まえ、今回「ふげん」放水口付近海水から検出されたトリチウムによる影響は、環境安全上問題となるレベルではなかったことが確認された。

4.5 対照地区福井市寮町（県農試）の松葉からのセシウム-137 検出とその検討結果

（「原子力発電所周辺の環境放射能調査報告 平成 21 年度第 3 報」より）

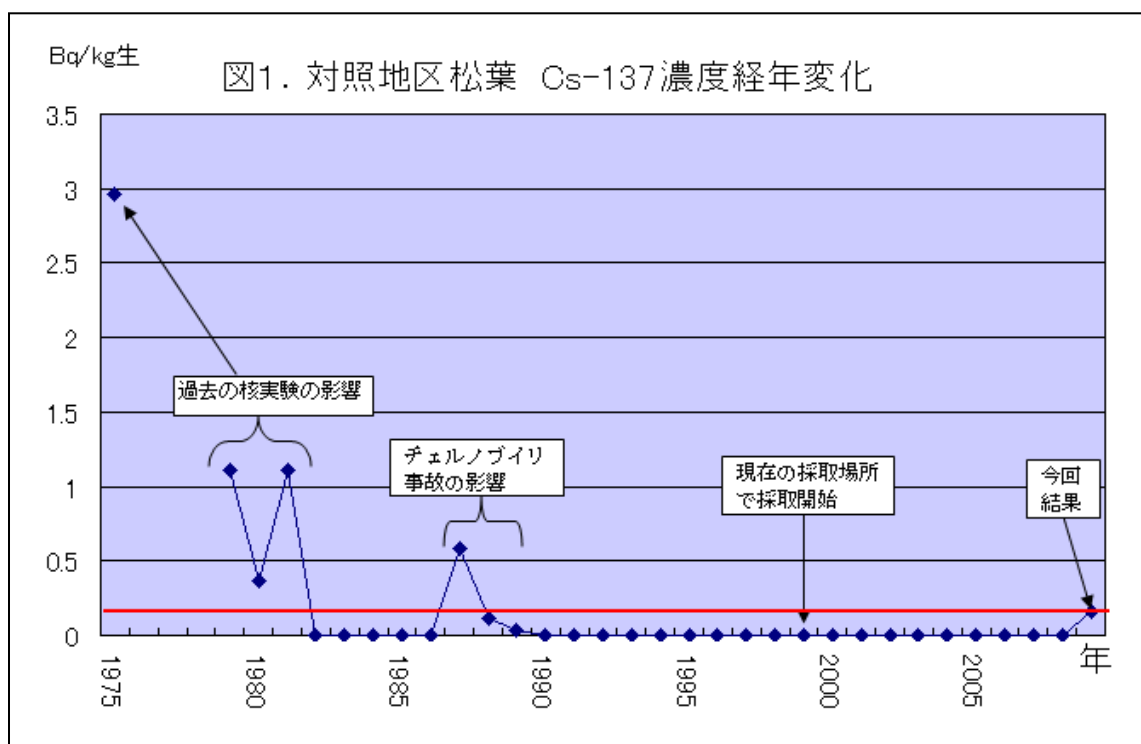
1. 概要

平成 21 年 11 月に県が対照地区 [福井市寮町（県農試）] で採取・調査した松葉より、過去 3 カ年の実績を超える濃度のセシウム-137 (Cs-137) が検出された（表 1 参照）。

表 1 平成 21 年度第 3 四半期 対照地区における松葉中セシウム-137 濃度

地区	試料情報		濃度 (Bq/Kg 生)	過去 3 カ年 の実績
	試料	地 点		
対照	松葉（2 年葉）	福井市寮町（県農試）	0.2(0.163)	検出されず

対照地区(福井市)では、今回の検出値を上回る値は1987年度に0.6 (Bq/kg生)検出されており、これは1986年に起きたチェルノブイリ発電所事故の影響であり、それ以前の比較的高い値は大気圏核実験の影響である。また、対照地区の採取地点は、1995年度までが原目町、1996～1998年度が荒木新保町、1999年度からが現定点の寮町（県農試）と変わっているが、1990年度以降はセシウム-137は検出されていなかった（図 1 参照）。このため、詳細な調査を行った。



2. 詳細調査

11月に調査した試料は、毎年採取している地点（定点）での規定量（生500 g 程度）を採取することが困難であると考えたため、定点とその周辺（テニスコート横芝生、土手）で採取した試料の集合試料である（図 2 参照）。

その結果、セシウム-137が検出されたので、12月に各地点毎に松葉の詳細調査を行った。さらに、本年 2 月には松葉採取地点の陸土についても調査を実施した。その結果を表 2 に示す。

図2. 対照地区 松葉 採取場所

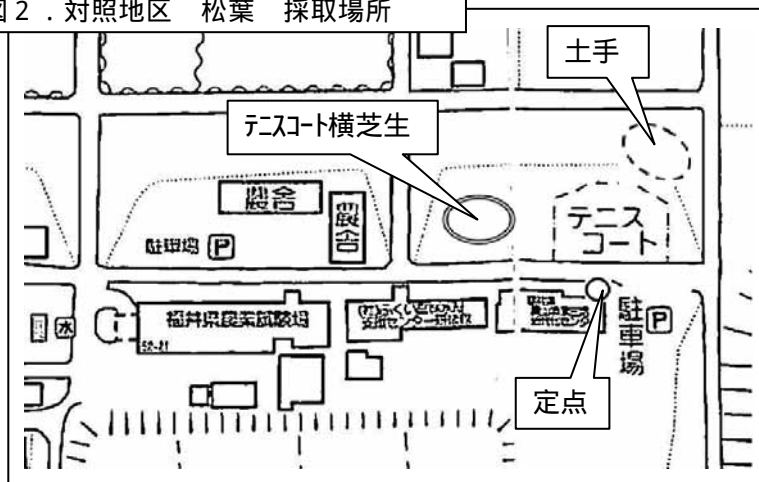


表2 対照地区福井市寮町（県農試）の松葉、陸土の詳細調査結果（単位：Bq/kg生）

試料	部 位	採取日	定 点		テニスコート横芝生		土 手	
			Cs-137	K-40	Cs-137	K-40	Cs-137	K-40
松葉	2年葉	09.12.1	検出されず	78	検出されず	70	0.640	68
陸土	表層(0~5cm)	10.2.8	5.93	536	1.38	594	13.3	40
	コア(5~20cm)		3.90	493	1.94	582	2.27	39

3. 結果・考察

12月の松葉からセシウム-137が検出されたのは土手で採取した松葉のみからで、その濃度は11月に調査した結果より約4倍高かった。

土手の陸土（表層）のセシウム-137濃度が最も高かった。

松の生育状況は土手の松の樹齢が一番若く（写真参照）若木は吸収根が表層に多いことが知られている。

これらのことより、土手で採取した松葉からセシウム-137が検出された原因は、生育土壤に含まれるセシウム-137濃度と松の樹齢による根の位置の違いが関与していると推測され、11月の集合試料からセシウム-137が検出された原因は、土手で採取した松葉を含んでいたためと考えられる。

なお、今回検出された地区が対照地区であることから、核実験フォールアウトによる影響と考えられる。



4.6 セシウム-137 降下量に関する調査

(「原子力発電所周辺の環境放射能調査報告 平成 21 年度第 4 報」より)

1. はじめに

平成 21 年度第 4 四半期の降下物から、2007 年度以来のセシウム-137 が敦賀、美浜、高浜および対照地区（福井市）で検出された。検出されたセシウム-137 の降下量は、それぞれの地区で $0.21 \sim 0.26\text{Bq}/\text{m}^2$ 、 $0.17 \sim 0.29\text{Bq}/\text{m}^2$ 、 $0.13\text{Bq}/\text{m}^2$ 、 $0.34\text{Bq}/\text{m}^2$ であった。敦賀、美浜地区では 2000 年度、高浜では 2005 年度、対照地区では 1988 年度に今期を上回るセシウム-137 が観測されている。ここでは、今期の黄砂現象との関係について調査した結果を報告する。

2. 黄砂による影響

日本における黄砂現象は、例年春先から初夏にかけて観測される。気象庁のホームページには、「黄砂現象は、東アジアの砂漠域（ゴビ砂漠、タクラマカン砂漠など）や黄土地帯から強風により吹き上げられた多量の砂塵が上空の風に運ばれて、浮遊しつつ降下する現象」と説明されている。また、日本学術会議農学委員会風送大気物質問題分科会の報告「黄砂・越境大気汚染物質の地球規模循環の解明とその影響対策（平成 22 年 2 月 25 日）」によれば、黄砂および黄砂に付着した物質の日本への飛来が現実問題となっていることが報告されている。

大気圏内核実験に起因する放射性核種セシウム-137 は環境試料の降下物で検出されてきたが、近年は検出例は少なくなり、2000 年以降はその検出と黄砂現象の関連が注目されており、「2000 年以降の降下物中にセシウム-137 が検出される主な原因として、黄砂との関連性が強く示唆された」との研究論文¹⁾も見られる。

3. 調査結果および考察

(1) 原子力環境監視センター福井分析管理室（福井市）での調査結果

黄砂現象と降下物中の放射性核種（セシウム-137）との関連を調査するため、対照地区の原子力環境監視センター福井分析管理室（福井市）の屋上にホーロー製のバット（ 38.5cm 幅 \times 46cm 長 \times 8cm 深さ）を置いて、3 月 16 日から試料採取を開始した。試料採取間隔は、第 1 回目を 1 週間とした。第 1 回目の期間中（3 月 16 日～23 日）の 3 月 16 日と 21 日に福井市で黄砂を観測した（気象庁「黄砂観測日および観測地点一覧」）。3 月 21 日の黄砂現象が大規模であったことを踏まえて、それ以後原則として 1 日毎に試料採取した。なお、1 日毎の試料を測定した後は、1 週間分をまとめた試料（集合試料）の再測定も行った。

結果を表 - 1 に示す。黄砂を観測した第 1 週（3 月 16 日～23 日）の試料のみからセシウム-137 を検出し、降下量は $0.24\text{Bq}/\text{m}^2$ であった。このことから、対照地区の 3 月の月間試料で検出した $0.34\text{Bq}/\text{m}^2$ のセシウム-137 降下量の多くは黄砂現象によりもたらされた可能性があると推測される。

(2) 日本原子力発電(株)敦賀発電所での調査結果

敦賀地区浦底（明神寮）においてもセシウム-137 が $0.26\text{Bq}/\text{m}^2$ 検出されたので、敦賀発電所内環境ラボ屋上に堆積した粒径の小さい黄色い土砂（黄砂と考えられる）を測定したところ、同様にセシウム-137 が検出された。その結果を表 2 に示す。今回、明神寮の降下物からセシウム-137 が検出されたのは、次の点から黄砂が混入したものと考えられる。

採取期間中に、黄砂が観測されていた。

環境ラボ屋上に堆積した土砂のセシウム-137 濃度を用いて、明神寮降下物に混入した土砂量を推定すると、約 6g となる。これは、明神寮の降下物に混入していた土砂量の実測値約 4.3g とほぼ一致した。

$$0.26(\text{Bq}/\text{m}^2) \times 0.26(\text{m}^2) / 0.011(\text{Bq}/\text{g}) = 6.1(\text{g})$$

$$\cdot 0.26(\text{Bq}/\text{m}^2) : \text{明神寮でのセシウム-137 降下量}(\text{Bq}/\text{m}^2)$$

$$\cdot 0.26(\text{m}^2) : \text{採取面積}(\text{m}^2)$$

$$\cdot 0.011(\text{Bq}/\text{g}) : \text{土砂のセシウム-137 濃度}(\text{Bq}/\text{g})$$

表 - 1 黄砂試料測定結果一覧(2010年3月16日から4月13日まで)

試料番号	採取開始日	採取終了日	充填重量 (g)	測定日	Cs-137(Bq/m ²)	
					降下量	検出限界
T21R001	3月16日	3月23日	2.90	3月30日	0.24	0.091
T21R002	3月23日	3月24日	0.21	3月29日	検出されず	0.097
T21R003	3月24日	3月25日	0.07	3月30日	検出されず	0.104
T21R0042	3月25日	3月26日	0.07	4月7日	検出されず	0.092
T21R005	3月26日	3月29日	0.23	4月6日	検出されず	0.096
T21R006	3月29日	3月30日	0.65	4月9日	検出されず	0.094
T21R007	3月30日	3月31日	0.03	4月8日	検出されず	0.092
T21R008	3月31日	4月1日	0.28	4月9日	検出されず	0.102
T22R001	4月1日	4月2日	0.46	4月9日	検出されず	0.093
T22R002	4月2日	4月5日	0.24	4月9日	検出されず	0.112
T22R003	4月5日	4月6日	0.16	4月12日	検出されず	0.167
T22R004	4月6日	4月7日	0.26	4月16日	検出されず	0.108
T22R005	4月7日	4月8日	0.40	4月16日	検出されず	0.087
T22R006	4月8日	4月9日	0.15	4月19日	検出されず	0.093
T22R007	4月9日	4月12日	0.69	4月23日	検出されず	0.104
T22R008	4月12日	4月13日	0.35	4月23日	検出されず	0.103
T21RZ01*	3月23日	3月30日	1.23	4月21日	検出されず	0.125
T22RZ01*	3月30日	4月6日	1.14	4月22日	検出されず	0.122
T22RZ02*	4月6日	4月13日	1.85	4月28日	検出されず	0.115

* : 1週間分の集合試料

表 2 環境ラボ屋上に堆積した土砂中の放射能濃度

採取場所	採取日	Cs-137濃度(Bq/g)
環境ラボ	4月8日	0.011

1)石川陽一他、「降下物中の放射能測定における大陸起源エアロゾルの影響(1)~(3)」,
宮城県原子力センター年報平成13年~15年

4.7 環境モニタリング結果に基づく内部被ばく預託実効線量評価結果

1. はじめに

線量評価は、「環境放射線モニタリング指針(平成20年3月、原子力安全委員会、以下、モニタリング指針)」に掲げられた環境放射線モニタリングの第1の目標であり、また最終的な帰結であって、次元(単位)の異なる空間放射線や環境試料の放射能のモニタリング結果を、人体への影響の程度(リスク)を表す「実効線量(Sv)」という共通の尺度で示すため実施される。この報告書では、既に本文で、「施設運転に起因する主要な放射性核種が検出されず、特に線量評価の必要はない」としながらも、検出された値に目安をつけるために評価を行い、0.001mSv(以下)までを報告し、安全を確認している。

ここでは、更に、核実験フォールアウトの実態や寄与の内訳までを読み取れるよう、内部被ばくに係るモニタリング結果をもとに0.001mSv以下までの算出された数値そのもので示す。

なお、ここでは省略したが、評価法の変遷の詳細や施設稼働開始時点まで遡る評価結果は、この形で最初に示した平成16年度年報(FERC第37巻5号)に示されている。

2. 内部被ばく預託実効線量の評価方法

内部被ばくは、預託実効線量(摂取後50年間にわたって個人が受ける積算の線量)で表される。預託実効線量は、基本的には、吸入または経口摂取された放射性核種について、各核種毎に、空気試料(大気中¹³¹I・大気浮遊じん並びに空気中水分)または飲食物区分毎に、

$$\text{試料中核種濃度}(C) \times \text{呼吸量又は飲食物日摂取量}(V) \times \text{摂取期間}(t) \times \\ \text{実効線量係数}(f) \times \text{各種補正係数}(k) \cdots \text{式}(1)$$

の積を求め、それをすべて加算して得られる。

但し、「モニタリング指針」等に規定がなく、ところによっては実効線量計算に供する対象核種の(平均)濃度の求め方等が異なる場合があることから、以下に、当技術会議が採用している内部被ばく線量評価の計算法・計算条件および留意点を再録する。

実効線量係数(f)は、指針が示した吸入/経口摂取別に核種毎の値を用いる。指針では異なる存在形態がある場合は、最大の値を示すものが引用されており、いわば安全側(上限)の係数である。大気中トリチウムについては、大気中水分トリチウム濃度から大気中濃度に換算している。

評価の対象としたのは、本文の評価同様、指針にも示された代表的年齢群の「成人」であり、摂取経路もモニタリング指針及び「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に対する評価指針(評価指針)」に示された「呼吸、飲料水、葉菜、魚類、貝類、藻類」とした。それぞれの摂取量は「モニタリング指針」の値を用いた(後出)。

評価に供した濃度は、本文の評価同様、検出されたもの(即ち、検出限界値以上)だけの年間単純平均であり、農産物、海産物にはそれぞれ形状や性状がよく似ていて過去に食品と同等の検出実績があり補完試料としても用いている指標生物(ヨモギ、ホンダワラ等)の結果を加えている。

従って、平均濃度自体が高め・安全側であり、先の指針の「異なる存在形態がある場合最大の値を示すもの」という実効線量係数採択の条件と合わせ、潜在的上限を示すものと言うことができる。

但し、ここでの目的は核実験寄与とその内訳等を示すことにもあり、貝類・藻類の¹³⁷Csについては、通常測定では検出限界以下となることが多く、結果が低い側に片寄り過ぎるので、アンチコインシデンスの測定結果がある場合はその平均値を用いた。

これらの方法は、程度の差はあれどの試料にも含まれる ^{137}Cs 等の核実験フォールアウト核種、あるいは施設起因核種であっても初期の数年間のようにほぼ年間連続で検出され続けた場合には比較の実態とよく合う方法であるが、検出が散発的となった場合は過大な結果となる。

摂取期間は、殆どのものは1年としたが、葉菜のみは栽培期間と同じ0.5年とした。但し、半減期の短い ^{131}I や一過性とみなせる大気浮遊じんでは検出されたものだけの平均濃度では過大となりすぎるので、 ^{131}I は個々の検出濃度の無限期間積分(= $1 / ({}^{131}\text{I}$ の壊変定数) : 実質11.6日の台形モデルと等価)とし、浮遊じんは検出期間(= 試料採取期間)に限定することとしているが、両者とも今年度は全く検出されていない。

式(1)では各種補正係数(k)として市場希釈補正や調理(洗浄)に伴う補正が加味されるが、前者については実態を捉えられないので1とし、後者では葉菜について実際に観測例があり一般的にも用いられている0.5を用いた。

3. モニタリング結果とそれに基づく線量評価結果

天然・自然放射能を別にして、モニタリング結果を大別すれば、便宜的に(1)トリチウム(^3H)を除く一般的な施設起因核種、(2)チェルノブイリ事故影響を含む核実験フォールアウト核種、(3)トリチウム、に区分される。トリチウムでは核実験寄与と施設寄与が競合・混在する。表(1)～表(3)に2004年度以降の過去5ヵ年と今年度のこれらの区分毎の線量評価に供した年間平均濃度と、現在の評価法による内部被ばく預託実効線量評価結果を示す。(1)では1994年度以降、評価対象となる生物試料等には施設起因核種は全く検出されていない。(2)では ^{137}Cs 、 ^{90}Sr 、 Pu の3核種について集計した。(2)、(3)は各地区毎に示すのでは多すぎるので、県内平均等ある程度集約した結果で示した。いずれもモニタリング結果があるものだけについてであり、一部調査結果がない、またはここでの対象としていないものは含まれていない。従って、魚貝類の ^{90}Sr は含まれていないが、濃度が葉菜の約1/100、藻類の約1/2という過去の結果から類推して、線量評価結果を大きく左右する因子とはならないものと考えられる。表(4)では、海水中トリチウムが海産物に移行し、これを摂取した場合の今年度の預託実効線量評価結果を示す。

4. まとめ

今年度の内部被ばくの線量評価結果の概況をまとめれば、「トリチウムを除く施設起因核種は評価対象の大気・各種飲食物並びに生物試料からは、1994年以降全く検出されていない。トリチウムの内部被ばくに対する寄与は、呼吸・飲用では $2.6 \times 10^{-5} \text{mSv}$ となり、変化は認められない。海産物摂取では $7.6 \times 10^{-5} \text{mSv}$ となり、これらの合計では $1.0 \times 10^{-4} \text{mSv}$ となった。水道水のトリチウムでは明白な施設寄与は観測されず、バックグラウンドレベルとみなせるが、空気中水分の吸入や海水中トリチウムの移行による海産物摂取では施設寄与が認められる。核実験フォールアウトの ^{137}Cs 、 ^{90}Sr 、 Pu では、それぞれ $0.9 \sim 1.3 \times 10^{-4} \text{mSv}$ 、3核種合わせ $3.2 \times 10^{-4} \text{mSv}$ の寄与がある」と集約される。

以上の評価結果を、県内原子力発電所稼働開始時点までに遡った結果と併せ図-1に示す。図-1では、(1)のトリチウムを除く施設起因核種は地区毎に、(2)の核実験フォールアウトの ^{137}Cs 、 ^{90}Sr 、 Pu や(3)のトリチウムは県内全平均で示した。チェルノブイリ事故影響の飛来時は、 ^{137}Cs 以上に ^{131}I 、 ^{103}Ru 、 ^{106}Ru 、 ^{134}Cs の寄与が大きく、それらによる預託実効線量を書き加えている。また、参考のために、次元は異なるが大地からの自然放射線寄与の県内平均とその地域差も示した。

表(1) ³Hを除く施設起因核種の年間平均濃度の推移と線量評価結果

平均濃度単位：Bq/kg生等

年度	地区	空気試料/水道水/葉菜/海産魚・貝・藻類 中間平均濃度					預託実効線量 (mSv)
		⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	
2004	敦賀・白木・美浜・大飯・高浜	左記の年度の、 いずれの地区の、いずれの試料からも 上記核種は検出されず					-
2005	"						-
2006	"						-
2007	"						-
2008	"						-
2009	"						-

(注) 平均濃度単位：空気試料 - mBq/m³、水道水 - mBq/l、その他 - Bq/kg生。 - は検出例が1例もないもの。
葉菜には指標植物(ヨモギ)を、海産物にはホンダワラ・ムササビ等の指標海産生物を含む。

表(2) 福井県内の¹³⁷Cs, ⁹⁰Sr, Pu平均濃度と線量評価結果

平均濃度単位：(mBq/Kg生, 海水mBq/l)

年度	¹³⁷ Cs-137 平均濃度				Sr-90 平均濃度				Pu 平均濃度				預託実効線量(単位:mSv)				海水中 Cs-137 濃度
	葉菜	魚類	貝類	藻類	葉菜	魚類	貝類	藻類	葉菜	魚類	貝類	藻類	Cs-137	Sr-90	Pu	合計	
2004	233	121	30	47	302			52	-	-	38	8.5	1.5 E-4	9.8 E-5	1.0 E-4	3.5 E-4	2.0
2005	159	89	27	44	442			45	0.39	4.2	33	7.4	1.1 E-4	1.3 E-4	1.7 E-4	4.1 E-4	1.9
2006	159	106	28	41	360			40	-	-	45	2.9	1.3 E-4	1.1 E-4	9.3 E-5	3.3 E-4	1.8
2007	143	104	26	42	480			46	0.39	-	40	13.0	1.3 E-4	1.4 E-4	1.2 E-4	3.9 E-4	1.8
2008	164	100	21	53	515			38	0.34	-	30	7.8	1.3 E-4	1.5 E-4	8.4 E-5	3.6 E-4	1.6
2009	217	100	20	48	290			49	0.42	-	37	10.0	1.3 E-4	9.4 E-5	1.0 E-4	3.2 E-4	1.7

注) 各年度の濃度は指標生物を含む検出値があるものだけの単純平均。PuはPu-(239+240)。- : 検出例が1例もないもの。
貝類、藻類のCs-137はアンチコインシデンス測定によるものも含む。海水のCs-137は濃縮を通じたより一般化した評価をするための参考値。
その際使用する濃縮係数(cf)は、評価指針によれば、Cs-137では、魚類30、貝類20、藻類20である。

表(3) 大気中水分・水道水のトリチウム濃度とその吸入・飲用による預託実効線量

預託実効線量単位:10⁻⁶mSv

年度	大気中水分のトリチウム平均濃度 (Bq/l)								水道水トリチウム平均濃度 (Bq/l)								(参考) 県内平均線量 (×10 ⁻⁶ mSv)				吸入最高 地区線量
	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	平均	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	平均	海水平均	吸入	飲用	合計			
2004	3.7	2.3	3.8	7.2	12.4	0.93	5.1	1.0	0.9	1.1	0.8	1.0	-	1.0	1.1	7.4	16.7	24	18		
2005	3.4	2.4	3.6	5.6	10.7	0.63	4.4	1.0	1.1	1.1	0.8	0.9	0.6	0.91	1.7	6.6	15.8	22	16		
2006	3.7	2.1	2.7	5.9	12.7	0.63	4.6	0.9	0.9	1.1	0.8	0.8	-	0.90	1.3	7.0	15.7	23	19		
2007	5.3	2.4	2.8	4.6	15.0	0.80	5.6	1.1	0.9	0.9	0.7	0.9	-	0.91	1.2	8.3	15.8	24	22		
2008	3.4	2.1	3.4	5.2	13.9	0.87	4.9	1.0	1.0	1.4	1.0	1.1	0.7	1.1	1.8	7.2	19.2	26	39		
2009	2.7	2.3	3.4	5.6	13.0	0.95	4.6	1.1	1.1	1.3	1.2	1.1	0.7	1.1	18.0	7.2	19.2	26	63		

注) トリチウムの大気中水分濃度から大気中濃度への換算には、2009年度の年間空気中水分量の平均値を用いた。- は検出例がないもの。
海水中濃度から海産物経由のトリチウム(濃縮係数1)による内部被ばくを計算することができる。魚貝藻類の総摂取量は0.26kgである。

表(4) 海水中トリチウム濃度と海産物摂取による預託実効線量

年度	海水中トリチウムの平均濃度(Bq/l)								預託実効線量 (×10 ⁻⁶ mSv)							
	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	平均	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	平均		
2009	100	1.3	1.4	1.0	1.5	0.6	19	400	5.2	5.6	4.0	6.0	2.4	76		

注) 海水中トリチウム濃度から海産物経由のトリチウムによる内部被ばくを計算することができる。
魚貝藻類の総摂取量は0.26kgである。

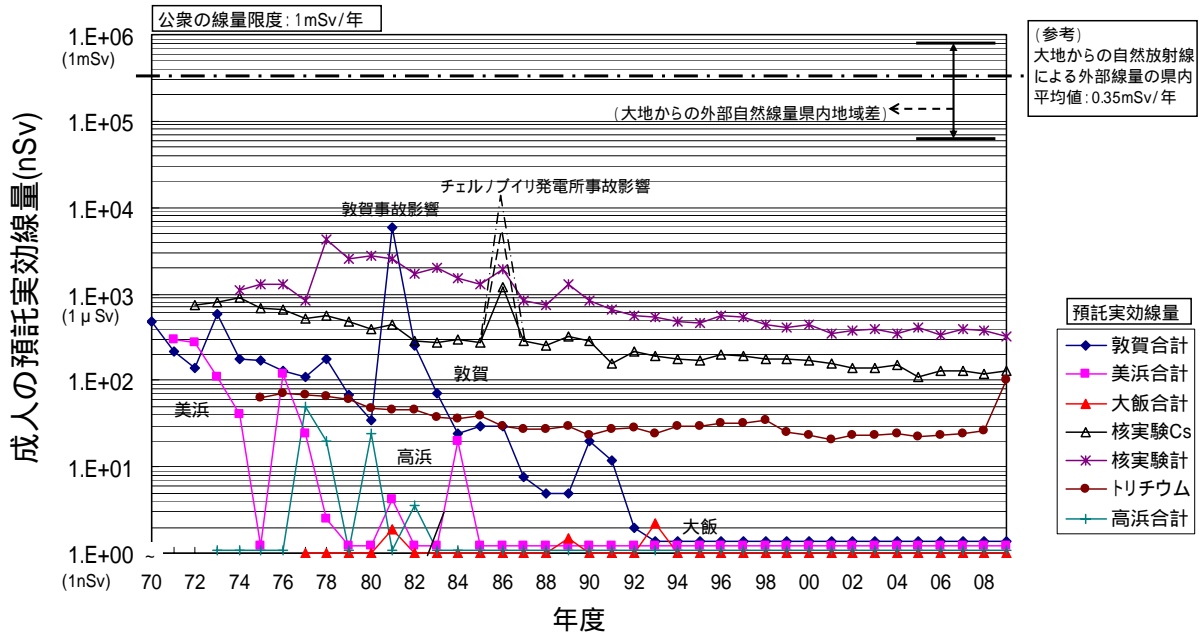


図-1 各種試料中核種濃度から計算した内部被ばく(預託実効線量(nSv))

(図 1 の注)

- (1)核実験 Cs：過去の核実験フォールアウト核種である Cs-137 による預託実効線量評価結果。1986 年のチェルノブイリ発電所事故影響では、Cs-137 の他に I-131 や Ru-103、Ru-106、Cs-134 の評価を加えた結果(図中、破線部)と、陸土への各放射性核種の蓄積量から求めた外部被ばく線量の評価を加えた結果(図中、一点鎖線部)もあわせて示した。
- (2)核実験計：過去の核実験フォールアウト核種である Cs-137、Sr-90、Pu-239 による預託実効線量評価結果。
- (3)トリチウム：大気中トリチウムの吸入、水道水中トリチウムの飲用による預託実効線量評価結果の合計。1990 年頃までは核実験影響が支配的であった。2009 年度では、これらに海産物摂取による預託実効線量評価結果を加えた(表(4)参照)。
- (4)各地区における過去の施設寄与は、主として Co-60 によるものであり、その他は Mn-54、Co-58 によるものであった。一部の試料には I-131、Fe-59 があった。

なお、線量評価に用いた「モニタリング指針」が示す摂取量モデル及び線量係数を以下に示す。

「環境放射線モニタリング指針」による摂取モデル(成人 1 人 1 日当たりの摂取量)

	呼吸	葉菜	牛乳	魚類	無脊椎類	海藻類	飲料水
成人	22.2 m ³	100 g	200 ml	200 g	20 g	40 g	2,650 ml

注) 穀類、肉・卵・その他の摂取量は記述なし。成人以外の乳児(3ヶ月児)・幼児(5才児)の年齢群の評価を行う場合は、「評価指針」の摂取量による。但し、線量係数も年齢群別のものを用いる必要があり、放射性ヨウ素はモニタリング指針の値を用いる。なお、乳幼児の飲料水摂取量は平成10年11月までの旧「防災指針」に1割と既述されていたが、現在は記述はない。

線量評価の対象とした核種の「モニタリング指針」が示す実効線量係数 (mSv/Bq)

核種	吸入摂取	経口摂取
³ H	2.6 × 10 ⁻⁷ (エアロゾル)	4.2 × 10 ⁻⁸ (有機物)
	1.8 × 10 ⁻⁸ (水)	1.8 × 10 ⁻⁸ (水)
⁵⁴ Mn	1.5 × 10 ⁻⁶	7.1 × 10 ⁻⁷
⁵⁹ Fe	4.0 × 10 ⁻⁶	1.8 × 10 ⁻⁶
⁵⁸ Co	2.1 × 10 ⁻⁶	7.4 × 10 ⁻⁷
⁶⁰ Co	3.1 × 10 ⁻⁵	3.4 × 10 ⁻⁶
⁹⁰ Sr	1.6 × 10 ⁻⁴	2.8 × 10 ⁻⁵
¹³¹ I	1.5 × 10 ⁻⁵ * 1	1.6 × 10 ⁻⁵ * 1
¹³⁷ Cs	3.9 × 10 ⁻⁵	1.3 × 10 ⁻⁵
²³⁹ Pu	1.2 × 10 ⁻¹	2.5 × 10 ⁻⁴

* 1 ヨウ素が体液から甲状腺へ達する割合を0.2として計算した値である。

5 参考資料

5. 1 平成21年度福井県環境放射能測定技術会議議事経過
5. 2 (1)各発電所の設備の概要、建設経過
(2)主要設備の改造および新設工事
5. 3 (1)原子炉廃止措置研究開発センター（ふげん）廃止措置作業状況
(2)高速増殖原型炉もんじゅの試験進捗状況
5. 4 各発電所の運転実績
5. 5 各発電所の発電停止状況
5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）
5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）
5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比
5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量
5. 10 緊急時モニタリングルートでの線量率調査

5. 1 福井県環境放射能測定技術会議議事経過

I. 定例会議

第203回 平成21年9月1日

場所：原子力安全システム研究所

議題 (1)平成21年度第1四半期の定期調査結果について

- ①第1期の線量率測定結果と過去の平均値との比較（各機関）
 - ②空間線量率連続測定における降雨時以外の「 $M+3\sigma$ 」超過について（原電）
 - ③積算線量測定地点「佐田A」の周辺環境の変化について（監視センター）
 - ④積算線量測定地点「常宮B3」の地点移動について（原電）
 - ⑤核種分析結果（海水）においてCs-137が過去3ヶ年実績を超えて検出された事例について（関電）
 - ⑥今期の海底土核種分析結果においてCs-137が過去3ヶ年の実績を超えて検出された事例について（監視センター）
 - ⑦白木地区白木Aおよび美浜地区竹波Aにおける大気中水分トリチウムの調査結果について（監視センター）
 - ⑧敦賀地区における海水中トリチウムの調査結果について（監視センター）
 - ⑨原子炉廃止措置研究開発センター「ふげん」放水口付近海水からのトリチウムの検出について（原子力機構）
- (2)各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況
(3)平成21年度第1四半期報告書の検討
(4)その他
- ①付録1 原子炉廃止措置センター「ふげん」放水口付近海水からのトリチウム検出と確認調査結果について（案）
 - ②平成21年度積算線量クロスチェック結果（第1四半期）（監視センター）

第204回 平成21年11月27日

場所：アトムプラザ

議題 (1)平成21年度第2四半期の定期調査結果

- ①第2期の線量率測定結果と過去の平均値との比較（各機関）
 - ②敦賀局空間線量率の降水影響以外の「 $平均値+3\sigma$ 」オーバーについて（監視センター）
 - ③空間線量率連続測定における降雨時以外の「 $M+3\sigma$ 」超過について（原電）
 - ④積算線量測定地点「奥浦C」における測定結果の有意差検定について（関電）
 - ⑤今期の海産食品（貝類）核種分析結果においてCs-137が過去3ヶ年の実績を超えて検出された事例について（監視センター）
- (2)各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況
(3)平成21年度第2四半期報告書の検討
(4)その他
- ①敦賀1号機 第32回定検作業に伴う粒子状物質の放出について（原電）
 - ②平成20年度積算線量クロスチェック結果（第2四半期）（監視センター）

第205回 平成21年2月10日

場所：原子力環境監視センター

議題 (1)平成22年度の各機関の調査計画（案）について

(2)平成22年度調査計画書の検討

第206回 平成21年2月24日

場所：ニューサンピア敦賀

議題 (1)平成21年度第3四半期の定期調査結果

- ①第3期の線量率測定結果と過去の平均値との比較（各機関）
- ②音海Aの周辺環境変化による線量率および通過率の変化について（監視センター）
- ③空間線量率連続測定における「沓D」の3ヶ月平均値が平常の変動幅を下回った件について（原子力機構）
- ④積算線量設置箱の更新について（監視センター）
- ⑤美浜地区 菅浜C2の有意差検定結果について（関電）
- ⑥美浜地区 丹生寮C5の有意差検定結果について
- ⑦今期の核種分析結果においてCs-137が過去3ヶ年の実績を超えて検出された事例について（監視センター）
- ⑧今期の海水核種分析結果においてCs-137が過去3ヶ年の実績を超えて検出された

事例について（関電）

- ⑨高浜発電所周辺における海水中トリチウムの調査結果について（監視センター）
- ⑩美浜地区 大気中水分トリチウム（10月分）の採取不具合について（関電）
- (2)各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況
- (3)平成21年度第3四半期報告書の検討
- (4)その他
 - ①大飯1号プラント排気筒ガスモニタの一時的な僅かな指示値の上昇について（関電）
 - ②大飯1号プラント排気筒ガスモニタの一時的な指示値の上昇について（関電）
 - ③平成21年度積算線量クロスチェック結果（第3四半期）（監視センター）

講演会 演題1「原子力事故のニュース価値」
講師 中島達雄氏（読売新聞科学部記者）
演題2「ビキニ島核実験と福井県環境放射線モニタリング」
講師 高山裕美（福井分析管理室長）

第207回 平成21年5月29日

場所：福井県原子力環境監視センター

議題 (1)平成21年度第4四半期の定期調査結果

- ①第4期の線量率測定結果と過去の平均値との比較（各機関）
- ②空間線量率連続測定における「今庄B」の3ヶ月平均値が平常値の範囲を下回った件について（原電）
- ③大飯地区モニタリングポスト（1時間値）における過去最大値の観測について（関電）
- ④「沓」の空間線量率連続測定において3ヶ月平均値が平常の変動幅を下回った件について（原子力機構）
- ⑤平常の変動幅を上回った『西勢A2』の積算線量の測定結果について（監視センター）
- ⑥対照地区 武生A2の有意差検定結果について（監視センター）
- ⑦今期の核種分析結果においてCs-137が過去3ケ年の実績を越えて検出された事例について（監視センター）
- ⑧平成22年3月分の明神寮降下物からCs-137が検出された件について（原電）
- ⑨降下物核種分析においてCs-137が過去3ケ年の実績を超えて検出された事例について（関電）
- ⑩海水核種分析結果においてCs-137が過去3ケ年の実績を越えて検出された事例について（関電）
- ⑪大飯・宮留（県テレメ観測局）における雨水中トリチウム調査結果について（監視センター）
- (2)各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況
- (3)平成21年度第4四半期報告書の検討
- (4)その他
 - ①敦賀発電所2号機における希ガスの放出について（原電）
 - ②高浜発電所2号機補助建屋排気筒ガスモニタの一時的な指示値の上昇について（関電）
 - ③大飯発電所1号機、2号機燃料リークに伴う放射性気体廃棄物の放出実績について（関電）
 - ④1/7に発生した雷の制動放射線によると考えられる線量率の上昇について（監視センター）
 - ⑤立石M/P、立石M/S及び猪ヶ池M/Pにおける空間線量率の一時的な上昇について（原電）
 - ⑥「ふげん北D」と「ふげん西D」における空間線量率の一時的な上昇について（原子力機構）
 - ⑦甲楽城モニタリングステーション風向風速計用支柱損傷について（原電）
 - ⑧浮遊じん放射能の連続測定における β/α 濃度比の「平均値 -3σ 」アンダーについて（監視センター）
 - ⑨平成21年度積算線量クロスチェック結果（第4四半期）（監視センター）

II. 小委員会

1. 年報検討小委員会

(1) 平成22年7月29日

場所：福井県原子力環境監視センター

- 議題 ①平成21年度放射化学分析結果の検討
②平成21年度年報の検討

2. 放射能分析確認ワーキンググループ

(1) 平成21年度 第1回 平成21年6月25日 場所：福井分析管理室

- ・平成20年度積算線量（第4四半期）クロスチェック結果について
- ・平成21年度「積算線量クロスチェック」実施計画について
各機関の標準照射について（日程調整等）
- ・WGの今後の進め方について
各測定結果の「不確かさ」について（TLD、核種分析、トリチウム）
各機関の技術継承について
技術会議における各種評価方法の取り決めについて

福 井 県 環 境 放 射 能 測 定 技 術 会 議 規 程

(会の名称)

第 1 条 本会議は、福井県環境放射能測定技術会議と称する。

(目的)

第 2 条 本会議は、福井県の関係機関ならびに原子力施設設置者が県内の施設周辺で実施する環境放射線モニタリングについて技術的に検討し、環境放射能の状況を常時確認することを目的とする。

(所掌事務)

第 3 条 本会議は前条の目的を達成するため、次の事項を行う。

- 1 原子力施設の平常運転時における環境放射線モニタリング項目の調整
- 2 放射能測定の方法の検討および調査
- 3 環境放射線モニタリングの結果の評価
- 4 報告書の作成ならびに福井県原子力環境安全管理協議会への提出
- 5 その他環境放射線モニタリングに関する技術的事項

(構成)

第 4 条 本会議は次の機関の専門技術者をもって構成する。

福井県安全環境部原子力安全対策課	日本原子力発電株式会社
福井県原子力環境監視センター	関西電力株式会社
福井県水産試験場	独立行政法人日本原子力研究開発機構

本会議は必要に応じて専門機関の意見を求めることができる。

(議長および事務局)

第 5 条 本会議の議長は、福井県原子力環境監視センター所長をもってあてる。

本会議の事務局を、議長の属する機関に置く。

(会議の開催)

第 6 条 本会議は、四半期ごとに定例会議を、また構成員が必要を認めた場合はその都度会議を開催する。

(定例会議以外の会議)

第 7 条 本会議には、四半期ごとの定例会議以外に、必要に応じ、小委員会、幹事会、作業部会を置くことができる。

(報告書の作成)

第 8 条 本会議は、年度開始に先立ち調査計画書を、また環境放射線モニタリングの結果に関し、四半期および年度ごとに報告書を作成する。

(規程の改廃)

第 9 条 この規程は構成員の同意を得て改廃することができる。

(その他)

第 10 条 この規程に定めるもののほか、会議の運営に関して必要な事項は議長が会議にはかって定める。

附 則

この規程は、昭和44年2月12日から施行する。

附 則

この規程は、昭和48年8月2日から施行する。

附 則

この規程は、平成7年5月31日から施行する。

附 則

この規程は、平成10年7月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成10年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

会議の出席者（平成21年度（2009年度））

議長	福井県原子力環境 監視センター	寺川 和良	日本原子力発電 株式会社	敦賀発電所	増田 博 松浦 豊 斉藤 俊彦 福田 正幸 下尾崎寛子 橋本 拓也 山崎 克男
	原子力安全対策課	神戸 真暁 有房 諒栄 富田 純平			
	福井県原子力環境 監視センター	林 正樹 徳山 秀樹 大西 勝基 青木 靖 島田 秀志 大森 靖子 高山 裕美 長嶋 純一 田賀 幹生 山田 人也 高橋 暁美 清水 健彦	関西電力株式会社	発電管理室 原子力事業本部 環境モニタリングセンター	柿花 英章 吉原 恵司 谷口 豊 古畑 智和 中村 孝治 山崎 正敏 藤田 進 今村 啓介
	福井分析管理室			美浜発電所 大飯発電所 高浜発電所	
	福井県水産試験場	杉本 剛士 鈴木 康仁	日本原子力研究開発機構 安全品質推進部	環境監視課	圓尾 好宏 大久保浩一 奥山 慎一 鳥居 建男 森田 聡 古川 誠
				ふげん所付 ふげん環境管理課 もんじゅ安全管理課	

5. 2 (1) 各発電所の設備の概要, 建設経過

		敦 賀 発 電 所		原子炉廃止措置研究 開発センター (ふげん) *6	高 速 増 殖 も ん じ 炉
		1 号機	2 号機		
設 備 の 概 要	炉 型	B W R	P W R	A T R	F B R
	定格電気出力 (万Kw)	35.7	116.0	16.5	28.0
	減 速 材	軽 水	軽 水	重 水	—
	冷 却 材	〃	〃	軽 水	ナトリウム
	燃 料 (材料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	混合酸化物燃料体 *1	混合酸化物燃料体
	燃料装荷量 (t)	約 60	約 89	39	約 23 *3
	燃料集合体数	308	193	224	370 *4
	蒸気発生器数	—	4	—	6 *5
	復水器冷却水流量 (t/秒)	21	83	11	15
建 設 経 過	着 工	1966. 4	1982. 4	1970. 12	1985. 10
	格納容器組立開始	1967. 2	1983. 4	1972. 8	1986. 7
	燃料装荷開始	69. 9. 20	86. 4. 17	78. 3. 15	1993. 10
	初 臨 界	69. 10. 3	86. 5. 28	78. 5. 9	94. 4. 5
	営業運転開始	70. 3. 14	87. 2. 17	79. 3. 20 *2	性能試験中
定格熱出力一定運転運用開始		03. 3. 14	02. 7. 15		

*1 低濃縮二酸化ウランも使用 *2 本格運転開始

*3 炉心燃料集合体約10t, ブランケット燃料集合体約13t

*4 炉心燃料集合体 198体、ブランケット燃料集合体 172体

*5 蒸気発生器 3基、過熱器 3基

*6 新型転換炉ふげん発電所は、2008年2月12日に廃止措置計画の認可を受け、原子炉廃止措置研究開発センター（ふげん）に改組した。

		美 浜 発 電 所		
		1 号機	2 号機	3 号機
設 備 の 概 要	炉 型	P W R	P W R	P W R
	定格電気出力 (万Kw)	34.0	50.0	82.6
	減 速 材	軽 水	軽 水	軽 水
	冷 却 材	〃	〃	〃
	燃 料 (材料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン
	燃料装荷量 (t)	約 40	約 48	約 71
	燃料集合体数	121	121	157
	蒸気発生器数	2	2	3
	復水器冷却水流量 (t/秒)	21	36	51
建 設 経 過	着 工	1967. 8	1968. 12	1972. 7
	格納容器組立開始	1968. 11	1969. 1	1972. 12
	燃料装荷開始	70. 7. 4	72. 3. 6	75. 12. 11
	初 臨 界	70. 7. 29	72. 4. 10	76. 1. 28
	営業運転開始	70. 11. 28	72. 7. 25	76. 12. 1
定格熱出力一定運転運用開始		02. 11. 21	02. 7. 17	03. 6. 19

5. 2 (1) 各発電所の設備の概要, 建設経過 (つづき)

		大 飯 発 電 所			
		1号機	2号機	3号機	4号機
設 備 の 概 要	炉 型	PWR	PWR	PWR	PWR
	定格電気出力(万Kw)	117.5	117.5	118.0	118.0
	減速材	軽水	軽水	軽水	軽水
	冷却材	〃	〃	〃	〃
	燃料(材料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン
	燃料装荷量(t)	約 89	約 89	約 89	約 89
	燃料集合体数	193	193	193	193
	蒸気発生器数	4	4	4	4
	復水器冷却水流量(t/秒)	71	71	81	81
建 設 経 過	着工	1972.10	1972.11	1987.5	1987.5
	格納容器組立開始	1973.1	1973.5	1988.6	1989.4
	燃料装荷開始	77.10.14	78.7.28	91.4.1	92.4.13
	初臨界	77.12.2	78.9.14	91.5.17	92.5.28
	営業運転開始	79.3.27	79.12.5	91.12.18	93.2.2
定格熱出力一定運転運用開始		03.6.4	02.12.18	03.2.25	02.4.16

		高 浜 発 電 所			
		1号機	2号機	3号機	4号機
設 備 の 概 要	炉 型	PWR	PWR	PWR	PWR
	定格電気出力(万Kw)	82.6	82.6	87.0	87.0
	減速材	軽水	軽水	軽水	軽水
	冷却材	〃	〃	〃	〃
	燃料(材料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン 混合酸化物 燃料	低濃縮二酸化ウラン 混合酸化物 燃料
	燃料装荷量(t)	約 71	約 71	約 72	約 72
	燃料集合体数	157	157	157	157
	蒸気発生器数	3	3	3	3
建 設 経 過	復水器冷却水流量(t/秒)	51	51	63	63
	着工	1970.4	1971.2	1980.11	1980.11
	格納容器組立開始	1970.8	1971.7	1981.6	1981.12
	燃料装荷開始	74.2.2	74.11.15	84.3.1	84.8.31
	初臨界	74.3.14	74.12.20	84.4.17	84.10.11
営業運転開始	74.11.14	75.11.14	85.1.17	85.6.5	
定格熱出力一定運転運用開始		03.2.15	02.6.6	02.11.6	03.6.17

5. 2 (2) 主要設備の改造および新設工事

(日本原電(株) 敦賀発電所)

設 備 名	概 要	使用開始 年月日
希ガスホールドアップ装置	希ガスホールドアップ装置 (活性炭を充填した放射能減衰装置) を設置、 気体廃棄物の低減化	1971. 11. 30
ランドリードレンフィルター	洗濯排水処理系に活性炭式フィルターを新設 液体廃棄物の低減化	1975. 9. 9
放射性廃棄物処理設備	電磁濾過器, 超濾過器, 蒸発濃縮器, アスファルト固化装置, 雑固体焼却炉, サイトバンカーを増設 廃棄物発生量の低減化, 廃棄物の減容および長期貯蔵対策	1977. 9. 20 全設備 使用開始
低圧タービンランドシール	低圧タービン軸シール蒸気を主蒸気から蒸気発生器蒸気に変更 気体廃棄物の低減化	1977. 11. 15
ランドリードレンフィルター	既設フィルターを撤去し, 活性炭式フィルターを更新	1981. 12. 13
放射性液体廃棄物 放出ライン	敦賀発電所 1. 2 号の放射性液体廃棄物放出系の共用化に伴い 液体廃棄物放出を 2 号放水口に一元化	1996. 3. 14
ランドリードレンフィルター	既設フィルターを撤去し, 活性炭式ロータリーフィルターを設 置	1996. 9. 1
雑固体減容処理設備	雑固体減容処理設備 (プラズマ溶融システム採用) を設置し, 放射性雑固体廃棄物量の低減化	2005. 4. 28
原子炉容器上部ふた保管庫	敦賀発電所 2 号機原子炉容器上部ふたの取替に伴い、原子炉容 器上部ふた保管庫を設置し、旧原子炉容器上部ふた保管を保管	2007. 9. 15

(日本原子力研究開発機構 原子炉廃止措置研究開発センター)

設 備 名	概 要	運用開始 年月日
固 体 廃 棄 物 貯 蔵 庫	雑固体廃棄物貯蔵庫の設置	1977. 3. 20
重 水 精 製 装 置	高濃度劣化重水を再濃縮する装置の設置	1979. 5. 1
第 2 固 体 廃 棄 物 貯 蔵 庫	増設	1985. 4. 1
重 水 精 製 装 置 (II)	低濃度劣化重水を再濃縮する装置の設置	1986. 12. 20
廃 液 フ ィ ル タ ー	プレコートタイプから中空糸膜フィルターに変更 二次廃棄物発生量の低減化	1989. 8. 24
ド ラ イ ク リ ー ニ ン グ 装 置	ドライクリーニング装置の容量増量。液体廃棄物の低減化	1989. 8. 24
廃 棄 物 処 理 建 屋	雑固体廃棄物焼却設備、廃樹脂貯蔵設備および収納建屋の設置	1989. 9. 22
放 射 線 測 定 設 備	モニタリングポストの 1 基増設	2002. 11. 29

5.2 (2) 主要設備の改造および新設工事(つづき)

(関西電力,美浜・大飯・高浜発電所)

設備名	概要	運用開始年月日		
		美浜発電所	大飯発電所	高浜発電所
廃液蒸発処理装置	廃液蒸発処理装置を増設し、処理能力を強化	1974.12.18 (1,2号共用)		
雑固体焼却設備	雑固体焼却設備を設置し、固体棄物量の低減化	1978.10.27 (1～3号共用)	1991.12.18 (1～4号共用)	1984. 8.31 (1～4号共用)
アスファルト固化装置	アスファルト固化装置を設置し、固体廃棄物量の低減化	1978.10.27 (1～3号共用)	1982. 1.19 (1,2号共用)	1984. 9. 5 (1,2号共用) 1985. 1.17 (3,4号共用)
洗濯排水処理設備	洗濯排水処理設備を設置し、液体廃棄物量を低減化 * :ドライクリーニング設備を撤去し、節水型水洗機を設置	1996. 5.22 (1,2号共用) 1997. 4.16 (3号用)	1982. 1.14 (1,2号共用) * 2009.9.18 (3,4号共用)	1981. 7.31 (1,2号共用) 1985. 1.17 (3,4号共用)
液体廃棄物放出ライン	美浜3号放射性液体廃棄物放出ラインの1, 2号機側への連絡配管設置	1984.10.25		
気体フィルタ圧縮用ベアラ	気体フィルタ圧縮用ベアラを設置し、固体廃棄物量の低減化	1987. 2.27 (1～3号共用)	1991.12.18 (1～4号共用)	1985. 1.17 (1～4号共用)
廃棄物庫	廃棄物庫を増設		1986. 9.18 (C廃棄物庫) 1992.11.27 (C廃棄物庫2階部分)	1985. 1.17 (D廃棄物庫)
ドライクリーニング装置	ドライクリーニング装置を設置し、液体廃棄物量の低減化		1987.10. 1 (1,2号共用)	1987. 6.24 (1,2号共用) 1985. 3.10 (3,4号共用)
廃樹脂貯蔵タンク	廃樹脂貯蔵タンクの増設	1988. 1.22 (1,2号共用)		1985.12.18 (1,2号共用)
乾燥造粒装置	乾燥造粒装置を設置し、固体廃棄物量の低減化		1991.12.18 (3,4号共用)	
液体廃棄物放出ライン	美浜 1,2号機放射性液体廃棄物放出ラインを3号機からも放出可能なように改造	1993. 4.19		
蒸気発生器保管庫	蒸気発生器の取り替えに伴い、蒸気発生器保管庫を設置し、旧蒸気発生器を保管	1993.12.15 (2号用) 1995. 5.31 (1～3号共用)	1994. 4.25 (1,2号共用) 1996.11.20 (1,2号共用)	1994. 1.25 (1,2号共用) 1995.12.25 (1,2号共用)
廃樹脂処理装置	廃樹脂処理装置を設置し、固体廃棄物量の低減化	2001. 4.9 (1～3号共用)	1994. 9.27 (1,2号共用)	2000. 3.10 (1,2号共用)
雑固体固型化装置	雑固体固型化装置を設置し、固体廃棄物を固型化。	2001. 4. 9 (1～3号共用)	1999.11.12 (1～4号共用)	2004.12.20 (1～4号共用)
低線量使用済樹脂排出配管	排出配管を設置し、低線量の使用済樹脂の焼却減容処理		2005. 3.30 (1,2号共用)	2005. 3.25 (1,2号共用) 2004. 6.15 (3,4号共用)

5.3 (1)原子炉廃止措置研究開発センター（ふげん）廃止

措置作業状況

廃止措置作業状況（廃止措置以降）

区分	年月日	概要説明
廃止措置	2008年2月12日～	廃止措置計画及び保安規定の認可を受け、廃止措置作業を開始した。
	2009年1月26日～	ヘリウム浄化系等の残留重水回収及びトリチウム除去を開始し、継続中である。
	2009年2月16日～	カランドリアタンク及び重水冷却系のトリチウム除去を開始し、継続中である。
	2009年8月21日～ 2010年2月16日	第5給水加熱器等の解体撤去を実施し、終了した。
	2009年12月22日～ 2010年3月25日	放射性腐食生成物の除染を実施し、終了した。（除染試験を含む）
定期検査	2009年12月1日～ 2010年3月23日	第22回定期検査を実施し、終了した。

「新型転換炉ふげん発電所」は、2003年3月29日に運転を終了し、2008年2月12日に廃止措置計画及び保安規定の認可を受け、「原子炉廃止措置研究開発センター」に改組した。

5.3 (2)高速増殖原型炉もんじゅの試験進捗状況

試験進捗状況（初臨界以降）

区分	年月日	概要説明	進捗率(%)
性能試験	1995年12月8日	2次主冷却系ナトリウム漏えいのため、原子炉手動トリップ。 現在、停止中。	39
-	1997年11月～	もんじゅの設備保全対策を目的として、1997年11月より設備保全等の工事を開始し、継続実施中である。	-
プラント確認試験	2007年8月31日～ 2009年8月12日	長期停止設備の健全性確認を目的とした、プラント確認試験を2007年8月31日から開始し、全141項目の試験を2009年8月12日に終了した。	-
性能試験前準備・点検	2009年8月13日～ 2010年1月31日	原子炉が起動できる状態であることを確認する、性能試験前準備・点検を2009年8月13日から開始し、2010年1月31日に終了した。	-
-	2010年2月1日～	2010年2月1日から、起動に向けた準備として、定常的に行う確認や通常のプラントの監視などを行い、性能試験を行える状態を維持していく。	-

進捗率()： 初臨界以降の性能試験の進捗率として、本格運転開始までに実施される性能試験の試験終了実績等を考慮して算出したものを示す。

なお、39(%)については、2次主冷却系ナトリウム漏えい事故(1995年12月8日)までの実績である。

5. 4 各発電所の運転実績（県内年間発電電力量総計761.5億KWH）

敦賀発電所

2009年4月～2010年3月（年間）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
1号機	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	1.8	2.6	2.4	2.7	9.5
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	358	358	358	358	358
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	70	100	100	100	51.5
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	23	31	28	31	113
2号機	発電電力量	8.6	8.9	8.6	8.8	8.8	8.5	8.8	8.6	8.9	8.9	5.7	0.0	93.0
	最大電力	1207	1206	1203	1197	1188	1189	1193	1195	1198	1201	1201	0	1207
	稼働率	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	71.4	0	89.3
	発電日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	20	0	326

高速増殖原型炉もんじゅ

2009年4月～2010年3月（年間）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
もんじゅ	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

単位（発電電力量：10⁵ MWH、最大電力：MW、稼働率：%、発電日数：日）

美浜発電所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	2.5	2.6	2.5	2.5	1.3	0	0	0.4	2.6	2.6	2.4	2.6	22.0
	最大電力	352	350	346	342	338	0	0	353	353	353	354	354	354
	稼働率	100	100	100	100	53.0	0	0	22.6	100	100	100	100	72.9
	発電日数	30	31	30	31	17	0	0	9	31	31	28	31	269
2号機	発電電力量	0.3	0	0.1	3.7	3.7	3.6	3.7	3.6	3.8	3.8	3.4	2.3	31.9
	最大電力	511	0	312	502	498	501	504	509	509	509	509	509	511
	稼働率	8.1	0	7.4	100	100	100	100	100	100	100	100	60.9	73.0
	発電日数	3	0	3	31	31	30	31	30	31	31	28	19	268
3号機	発電電力量	6.2	6.4	6.2	6.4	6.3	6.2	6.4	6.2	2.6	0	0	1.5	54.4
	最大電力	867	866	865	860	857	860	864	866	867	0	0	867	867
	稼働率	100	100	100	100	100	100	100	100	40.2	0	0	29.9	72.8
	発電日数	30	31	30	31	31	30	31	30	13	0	0	10	267

大飯発電所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	8.5	8.8	8.5	8.7	5.4	0	0	0	5.4	8.8	1.4	0	55.5
	最大電力	1186	1184	1183	1178	1172	0	0	0	1184	1184	1185	0	1186
	稼働率	100	100	100	100	62.7	0	0	0	65.3	100	18.0	0	54.2
	発電日数	30	31	30	31	20	0	0	0	21	31	6	0	200
2号機	発電電力量	1.5	9.0	8.7	8.9	8.9	8.6	6.0	0	0	1.0	8.1	8.9	69.4
	最大電力	1206	1206	1206	1200	1198	1201	1204	0	0	1207	1208	1205	1208
	稼働率	21.0	100	100	100	100	100	67.6	0	0	14.2	100	100	66.8
	発電日数	7	31	30	31	31	30	21	0	0	5	28	31	245
3号機	発電電力量	8.6	8.9	8.6	8.9	8.8	8.6	8.7	0	0	2.1	8.0	8.9	80.0
	最大電力	1197	1197	1196	1194	1193	1192	1196	0	0	1191	1196	1198	1198
	稼働率	100	100	100	100	100	100	98.1	0	0	26.8	100	100	76.9
	発電日数	30	31	30	31	31	30	31	0	0	9	28	31	282
4号機	発電電力量	8.6	8.9	8.6	8.9	8.9	8.6	8.9	8.6	8.9	8.9	1.8	0	89.8
	最大電力	1202	1202	1202	1201	1199	1199	1200	1200	1201	1200	1200	0	1202
	稼働率	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	22.9	0	85.6
	発電日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	7	0	313

高浜発電所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	6.2	6.4	6.2	6.4	6.4	2.7	0	2.3	6.5	6.5	5.8	6.5	61.9
	最大電力	868	867	867	864	863	861	0	868	869	869	870	870	870
	稼働率	100	100	100	100	100	44.7	0	41.0	100	100	100	100	82.1
	発電日数	30	31	30	31	31	14	0	13	31	31	28	31	301
2号機	発電電力量	0	4.2	6.3	6.4	6.4	6.2	6.5	6.3	6.5	6.5	5.8	6.5	67.5
	最大電力	0	871	871	868	866	866	870	872	871	871	871	871	872
	稼働率	0	68.8	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	89.1
	発電日数	0	22	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	326
3号機	発電電力量	6.5	5.1	0	0	1.2	6.6	6.9	6.7	6.9	6.9	6.2	6.9	59.8
	最大電力	908	908	0	0	916	923	927	927	927	927	927	927	927
	稼働率	100	75.5	0	0	20.8	100	100	100	100	100	100	100	74.5
	発電日数	30	24	0	0	7	30	31	30	31	31	28	31	273
4号機	発電電力量	6.5	6.7	6.5	6.7	6.7	6.5	6.7	6.5	6.7	6.7	0.7	0	66.8
	最大電力	903	904	904	901	898	901	902	903	904	905	904	0	905
	稼働率	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	12.2	0	84.8
	発電日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	4	0	310

(単位) 発電電力量: 10^5 MWh, 最大電力: MW, 稼働率: %, 発電日数: 日

各発電所の発電停止状況

2009年04月 ~ 2010年03月 (年間)

施設名	項目	発電停止状況		その他	
		年月日	概要	年月日	概要
日本原電(株) 敦賀発電所	1号機	08.11.7~ 10.1.8	第32回定期検査作業実施	09.12.10~ 10.01.08	第32回定期検査を終了し、営業 運転開始
	2号機	10.2.21~	第17回定期検査作業実施中		なし
関西電力(株) 美浜発電所	1号機	09.8.17~ 09.11.12 09.11.13~ 09.11.24	第24回定期検査作業実施 出力上昇操作中の不具合によ る発電停止	09.11.12~ 09.11.24~ 09.12.18~	調整運転開始 調整運転再開 第24回定期検査を終了し、営業 運転再開
	2号機	09.4.3~ 09.6.28 10.3.19~	第25回定期検査作業実施 原子炉格納容器内での漏洩に 伴う停止中	09.6.28~ 09.7.23~	調整運転開始 第25回定期検査を終了し、営業 運転再開
	3号機	09.12.13~ 10.3.22	第24回定期検査作業実施	10.3.22~	調整運転開始
関西電力(株) 大飯発電所	1号機	09.8.20~ 09.12.11 10.2.6~	第23回定期検査作業実施 1次冷却材中の放射能濃度上 昇に伴う停止中 (調査の結果、燃料集合体2 体で漏えいを確認)	09.10.12 09.10.19 09.12.11~ 09.12.24 10.1.13~	・プラント排気筒がモニタの一時的な 僅かな指示値の上昇について (希ガス放出に伴う周辺環境へ の影響なし。) ・調整運転開始 ・プラント排気筒がモニタの一時的な 指示値の上昇について (希ガス放出に伴う周辺環境へ の影響なし。) 第23回定期検査を終了し、営業 運転再開
	2号機	09.2.6~ 09.4.24 09.10.21~ 10.1.27	第22回定期検査作業実施 1次冷却材中の放射能濃度上 昇に伴う停止中 (調査の結果、燃料集合体2 体で漏えいを確認)	09.4.24~ 09.5.21~	調整運転開始 第22回定期検査を終了し、営業 運転再開
	3号機	09.10.31~ 10.1.23	第14回定期検査作業実施	09.11.11 09.12.25 10.1.23~ 10.2.19~	原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み 調整運転開始 第14回定期検査を終了し、営業 運転再開
	4号機	10.2.7~	第13回定期検査作業実施中	10.2.18	原子炉下部炉心構造物吊上げ

施設名		項目		発電停止状況		その他	
		年月日	概要	年月日	概要		
関西電力(株) 高浜発電所	1号機	09. 9.14 ~ 09.11.18	第26回定期検査作業実施	09.11.18 ~ 09.12.15 ~	調整運転開始 第26回定期検査を終了し、営業 運転再開		
	2号機	09. 2.25 ~ 09. 5.10	第25回定期検査作業実施	09. 5.10 ~ 09. 6. 4 ~ 10. 3. 8	調整運転開始 第25回定期検査を終了し、営業 運転再開 ・補助建屋排気筒がスモークの一時的 な指示値の上昇について (希ガス放出に伴う周辺環境へ の影響なし。)		
	3号機	09. 5.24 ~ 09. 8.25	第19回定期検査作業実施	09. 8.25 ~ 09. 9.18 ~	調整運転開始 第19回定期検査を終了し、営業 運転再開		
	4号機	10. 2. 4 ~	第19回定期検査作業実施中	10. 2.17 10. 3.20	原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み		

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2009年4月～2010年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
敦賀発電所 1号機	4月	—	—	—	—	—	—	8.3E+09
	5月	—	—	—	—	—	—	9.5E+09
	6月	—	—	—	—	—	—	5.5E+09
	7月	—	—	—	—	4.8E-10	1.0E+05	8.7E+09
	8月	—	—	—	—	—	—	8.8E+09
	9月	—	—	—	—	—	—	8.0E+09
	10月	—	—	—	—	—	—	7.6E+09
	11月	—	—	—	—	—	—	5.6E+09
	12月	—	—	—	—	—	—	2.8E+09
	1月	—	—	—	—	—	—	2.9E+09
	2月	—	—	—	—	—	—	2.8E+09
	3月	—	—	—	—	—	—	3.5E+09
	年間	—	—	—	—	4.1E-11	1.0E+05	7.4E+10
敦賀発電所 2号機	4月	—	—	—	—	—	—	7.0E+10
	5月	—	—	—	—	—	—	9.3E+10
	6月	—	—	—	—	—	—	1.4E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	1.9E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	2.4E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	2.2E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	1.7E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	1.0E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11
	2月	2.0E-06	7.4E+08	—	—	—	—	9.3E+10
	3月	—	—	—	—	—	—	5.9E+11
	年間	1.6E-07	7.4E+08	—	—	—	—	2.2E+12
ふげん	4月	—	—	—	—	—	—	1.1E+10
	5月	—	—	—	—	—	—	9.9E+09
	6月	—	—	—	—	—	—	1.3E+10
	7月	—	—	—	—	—	—	1.5E+10
	8月	—	—	—	—	—	—	1.8E+10
	9月	—	—	—	—	—	—	9.1E+09
	10月	—	—	—	—	—	—	7.8E+09
	11月	—	—	—	—	—	—	5.2E+09
	12月	—	—	—	—	—	—	4.6E+09
	1月	—	—	—	—	—	—	7.1E+09
	2月	—	—	—	—	—	—	4.1E+09
	3月	—	—	—	—	—	—	4.8E+09
	年間	—	—	—	—	—	—	1.1E+11

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

敦賀発電所1号機の気体廃棄物放出量については、焼却炉排気筒からの放出も含まれている。

敦賀発電所2号機の気体廃棄物放出量については、雑固体減容処理建屋排気口からの放出も含まれている。

ふげんの気体廃棄物放出量については、重水精製施設からの放出も含まれている。

各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2009年4月～2010年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム	
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq	
高速増殖原型 炉 もんじゅ	4 月	—	—	—	—	—	—	1.2E+08	
	5 月	—	—	—	—	—	—	2.1E+06	
	6 月	—	—	—	—	—	—	—	
	7 月	—	—	—	—	—	—	—	
	8 月	—	—	—	—	—	—	—	
	9 月	—	—	—	—	—	—	3.4E+08	
	10月	—	—	—	—	—	—	4.3E+06	
	11月	—	—	—	—	—	—	—	
	12月	—	—	—	—	—	—	—	
	1 月	—	—	—	—	—	—	—	
	2 月	—	—	—	—	—	—	—	
	3 月	—	—	—	—	—	—	—	
	年 間	—	—	—	—	—	—	—	4.7E+08
	美浜発電所 1号機	4 月	—	—	—	—	—	—	1.3E+11
5 月		—	—	—	—	—	—	1.6E+11	
6 月		—	—	—	—	—	—	1.6E+11	
7 月		—	—	—	—	—	—	1.7E+11	
8 月		5.4E-06	9.4E+08	3.5E-10	6.2E+04	—	—	3.9E+11	
9 月		—	—	1.2E-10	2.3E+04	—	—	5.6E+11	
10月		—	—	—	—	—	—	5.7E+11	
11月		—	—	—	—	—	—	2.6E+11	
12月		3.5E-06	5.8E+08	—	—	—	—	2.4E+11	
1 月		—	—	—	—	—	—	2.2E+11	
2 月		—	—	—	—	—	—	1.8E+11	
3 月		1.1E-06	1.8E+08	—	—	—	—	1.8E+11	
年 間		8.5E-07	1.7E+09	4.2E-11	8.4E+04	—	—	3.2E+12	
美浜発電所 2号機		4 月	3.4E-06	5.3E+08	—	—	—	—	4.0E+11
	5 月	—	—	—	—	—	—	4.4E+11	
	6 月	—	—	—	—	—	—	3.0E+11	
	7 月	—	—	—	—	—	—	2.8E+11	
	8 月	—	—	—	—	—	—	3.4E+11	
	9 月	1.4E-08	1.9E+06	—	—	—	—	3.1E+11	
	10月	—	—	—	—	—	—	2.6E+11	
	11月	—	—	—	—	—	—	2.7E+11	
	12月	1.6E-08	2.1E+06	—	—	—	—	2.0E+11	
	1 月	1.5E-08	2.1E+06	—	—	—	—	1.5E+11	
	2 月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11	
	3 月	1.6E-06	2.2E+08	—	—	—	—	1.3E+11	
	年 間	4.5E-07	7.5E+08	—	—	—	—	3.2E+12	

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

美浜、大飯および高浜発電所の気体廃棄物には、それぞれの発電所の固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。

各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2009年4月～2010年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
美浜発電所 3号機	4月	6.7E-07	1.3E+08	—	—	—	—	1.2E+11
	5月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	6月	6.3E-07	1.2E+08	—	—	—	—	1.2E+11
	7月	3.4E-07	6.9E+07	—	—	—	—	1.8E+11
	8月	1.1E-06	2.3E+08	—	—	—	—	1.9E+11
	9月	4.8E-07	9.4E+07	—	—	—	—	1.8E+11
	10月	3.1E-07	6.2E+07	—	—	—	—	1.6E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	1.4E+11
	12月	6.6E-06	1.5E+09	—	—	—	—	2.9E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	1.9E+11
	2月	—	—	—	—	—	—	2.5E+11
	3月	2.6E-07	5.6E+07	—	—	—	—	1.7E+11
	年間	9.1E-07	2.2E+09	—	—	—	—	2.1E+12
	大飯発電所 1号機	4月	1.5E-06	2.5E+08	—	—	—	—
5月		—	—	—	—	—	—	2.7E+11
6月		—	—	—	—	—	—	2.5E+11
7月		—	—	—	—	—	—	3.7E+11
8月		1.9E-06	3.6E+08	—	—	—	—	7.5E+11
9月		4.6E-06	9.4E+08	—	—	—	—	1.3E+12
10月		5.0E-06	1.0E+09	—	—	—	—	1.1E+12
11月		2.1E-07	4.0E+07	—	—	—	—	1.2E+12
12月		2.6E-06	4.5E+08	—	—	—	—	7.8E+11
1月		5.3E-05	9.2E+09	—	—	—	—	4.1E+11
2月		1.1E-03	1.9E+11	—	—	—	—	3.5E+11
3月		1.4E-03	2.9E+11	—	—	—	—	1.0E+12
年間		2.3E-04	5.0E+11	—	—	—	—	8.1E+12
大飯発電所 2号機		4月	—	—	—	—	—	—
	5月	—	—	—	—	—	—	3.6E+09
	6月	—	—	—	—	—	—	3.9E+09
	7月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	5.2E+09
	9月	4.4E-06	5.4E+08	—	—	—	—	1.2E+10
	10月	—	—	—	—	—	—	1.6E+10
	11月	9.4E-06	1.2E+09	—	—	—	—	2.4E+10
	12月	1.6E-06	2.6E+08	—	—	—	—	6.8E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	3.7E+11
	2月	—	—	—	—	—	—	7.8E+09
	3月	—	—	—	—	—	—	6.9E+09
	年間	1.3E-06	2.0E+09	—	—	—	—	1.3E+12

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

美浜、大飯および高浜発電所の気体廃棄物には、それぞれの発電所の固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。

各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2009年4月～2010年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
大飯発電所 3号機	4月	—	—	—	—	—	—	5.1E+10
	5月	—	—	—	—	—	—	6.2E+10
	6月	—	—	—	—	—	—	8.0E+10
	7月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	2.8E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	3.3E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	1.9E+11
	2月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	3月	—	—	—	—	—	—	1.0E+11
	年間	—	—	—	—	—	—	1.7E+12
	大飯発電所 4号機	4月	—	—	—	—	—	—
5月		—	—	—	—	—	—	1.2E+11
6月		—	—	—	—	—	—	1.4E+11
7月		—	—	—	—	—	—	1.8E+11
8月		—	—	—	—	—	—	2.1E+11
9月		—	—	—	—	—	—	2.0E+11
10月		—	—	—	—	—	—	1.8E+11
11月		—	—	—	—	—	—	1.3E+11
12月		—	—	—	—	—	—	1.1E+11
1月		—	—	—	—	—	—	9.6E+10
2月		—	—	—	—	—	—	1.9E+11
3月		—	—	—	—	—	—	3.5E+11
年間		—	—	—	—	—	—	2.0E+12
高浜発電所 1号機		4月	1.1E-03	1.7E+11	—	—	—	—
	5月	4.8E-04	7.9E+10	—	—	—	—	1.8E+11
	6月	4.3E-04	6.9E+10	—	—	—	—	2.0E+11
	7月	3.0E-06	5.0E+08	—	—	—	—	2.1E+11
	8月	1.9E-06	3.1E+08	—	—	—	—	2.3E+11
	9月	4.6E-06	9.3E+08	—	—	—	—	4.4E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	5.8E+11
	11月	1.1E-05	2.1E+09	—	—	—	—	3.9E+11
	12月	8.8E-06	1.5E+09	—	—	—	—	2.2E+11
	1月	3.3E-06	5.4E+08	—	—	—	—	1.6E+11
	2月	5.2E-07	7.7E+07	—	—	—	—	1.2E+11
	3月	2.0E-06	3.3E+08	—	—	—	—	9.7E+10
	年間	1.6E-04	3.2E+11	—	—	—	—	3.0E+12

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

美浜、大飯および高浜発電所の気体廃棄物には、それぞれの発電所の固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。

各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2009年4月～2010年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
高浜発電所 2号機	4月	1.7E-05	3.1E+09	—	—	—	—	4.7E+11
	5月	8.5E-07	1.0E+08	—	—	—	—	3.1E+11
	6月	4.5E-07	4.7E+07	—	—	—	—	2.3E+11
	7月	1.1E-05	1.2E+09	—	—	—	—	2.1E+11
	8月	3.6E-07	3.9E+07	—	—	—	—	2.7E+11
	9月	2.1E-06	2.2E+08	—	—	—	—	2.6E+11
	10月	5.5E-07	6.0E+07	—	—	—	—	2.3E+11
	11月	2.3E-07	2.4E+07	—	—	—	—	1.9E+11
	12月	5.0E-07	5.5E+07	—	—	—	—	1.4E+11
	1月	5.9E-06	6.4E+08	—	—	—	—	9.8E+10
	2月	2.6E-07	2.5E+07	—	—	—	—	8.7E+10
	3月	2.7E-06	3.0E+08	—	—	—	—	7.4E+10
	年間	4.2E-06	5.8E+09	—	—	—	—	2.6E+12
	高浜発電所 3号機	4月	—	—	—	—	—	—
5月		8.2E-07	2.4E+08	—	—	—	—	1.4E+11
6月		—	—	—	—	—	—	2.9E+11
7月		—	—	—	—	—	—	2.8E+11
8月		—	—	—	—	—	—	3.3E+11
9月		—	—	—	—	—	—	2.2E+11
10月		—	—	—	—	—	—	2.0E+11
11月		—	—	—	—	—	—	1.4E+11
12月		—	—	—	—	—	—	1.2E+11
1月		—	—	—	—	—	—	1.3E+11
2月		—	—	—	—	—	—	9.1E+10
3月		—	—	—	—	—	—	8.8E+10
年間		6.9E-08	2.4E+08	—	—	—	—	2.2E+12
高浜発電所 4号機		4月	—	—	—	—	—	—
	5月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11
	6月	—	—	—	—	—	—	9.5E+10
	7月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	1.7E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	1.6E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	1.3E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	2.0E+11
	2月	1.9E-06	5.5E+08	—	—	—	—	6.1E+11
	3月	—	—	—	—	—	—	4.6E+11
	年間	1.8E-07	5.5E+08	—	—	—	—	2.4E+12

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

美浜、大飯および高浜発電所の気体廃棄物には、それぞれの発電所の固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。

各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）

2009年4月～2010年3月

区分 施設	期 間	トリチウムを除く液体廃棄物		トリチウム（液体）	
		平均濃度	放出量	平均濃度	放出量
		Bq/cm ³	Bq	Bq/cm ³	Bq
敦賀発電所	4 月	—	—	5.3E-03	1.1E+12
	5 月	—	—	1.1E-03	2.4E+11
	6 月	—	—	5.0E-03	1.1E+12
	7 月	—	—	2.1E-03	4.7E+11
	8 月	—	—	2.0E-03	4.4E+11
	9 月	—	—	3.8E-03	8.3E+11
	10月	—	—	9.9E-04	2.2E+11
	11月	—	—	9.4E-04	2.0E+11
	12月	—	—	1.4E-03	3.1E+11
	1 月	—	—	1.9E-03	4.2E+11
	2 月	—	—	2.7E-02	4.3E+12
	3 月	—	—	9.7E-01	5.4E+12
	年 間	—	—	6.4E-03	1.5E+13
ふげん	4 月	—	—	4.4E-01	1.0E+12
	5 月	—	—	1.0E-01	2.6E+11
	6 月	—	—	3.8E-02	9.1E+10
	7 月	—	—	5.6E-02	1.4E+11
	8 月	—	—	7.1E-02	1.7E+11
	9 月	—	—	1.2E-01	2.8E+11
	10月	—	—	7.3E-02	9.0E+10
	11月	—	—	1.6E-02	2.0E+10
	12月	—	—	1.1E-02	2.0E+10
	1 月	—	—	5.8E-04	9.7E+08
	2 月	—	—	5.1E-03	1.1E+10
	3 月	—	—	9.0E-03	2.2E+10
	年 間	—	—	8.5E-02	2.1E+12
高速増殖原型 炉 もんじゅ	4 月	—	—	4.3E-06	7.8E+06
	5 月	—	—	3.0E-06	7.9E+06
	6 月	—	—	—	—
	7 月	—	—	—	—
	8 月	—	—	—	—
	9 月	—	—	7.2E-05	1.4E+08
	10月	—	—	2.3E-05	5.9E+07
	11月	—	—	5.6E-06	2.0E+07
	12月	—	—	1.8E-06	6.6E+06
	1 月	—	—	4.2E-06	1.5E+07
	2 月	—	—	6.1E-06	2.0E+07
	3 月	—	—	—	—
	年 間	—	—	7.5E-06	2.7E+08

(注) 加圧水型発電所のトリチウムは、2次系から放出されたものを含めて集計している。

敦賀発電所の液体廃棄物放出量については、雑固体減容処理設備からの放出も含まれている。
ふげんの放射性廃棄物実績については、重水精製施設からの放出量も含めて記載した。

5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）

2009年4月～2010年3月

区分 施設	期 間	トリチウムを除く液体廃棄物		トリチウム（液体）	
		平均濃度	放出量	平均濃度	放出量
		Bq/cm ³	Bq	Bq/cm ³	Bq
美浜発電所 1, 2号機	4 月	—	—	1.8E-02	1.3E+12
	5 月	—	—	2.8E-02	1.7E+12
	6 月	—	—	9.6E-03	1.1E+12
	7 月	—	—	3.9E-03	6.2E+11
	8 月	—	—	6.3E-03	8.6E+11
	9 月	—	—	6.7E-03	6.6E+11
	10月	—	—	7.8E-03	8.8E+11
	11月	—	—	6.4E-03	9.9E+11
	12月	—	—	2.4E-02	3.8E+12
	1 月	—	—	1.1E-02	1.8E+12
	2 月	—	—	1.4E-02	2.0E+12
	3 月	—	—	1.0E-02	1.6E+12
	年 間	—	—	1.1E-02	1.7E+13
美浜発電所※ 3号機	4 月	—	—	2.6E-03	3.5E+11
	5 月	—	—	2.9E-03	4.2E+11
	6 月	—	—	1.2E-03	1.7E+11
	7 月	—	—	4.4E-03	6.3E+11
	8 月	—	—	3.6E-03	5.2E+11
	9 月	—	—	1.0E-02	1.4E+12
	10月	—	—	3.1E-03	4.4E+11
	11月	—	—	2.3E-03	3.2E+11
	12月	—	—	1.9E-02	1.2E+12
	1 月	—	—	—	—
	2 月	—	—	—	—
	3 月	—	—	5.8E-03	6.7E+11
	年 間	—	—	4.7E-03	6.2E+12
大飯発電所 1, 2号機	4 月	—	—	8.9E-03	3.1E+12
	5 月	—	—	9.1E-03	3.8E+12
	6 月	—	—	6.8E-03	2.8E+12
	7 月	—	—	6.7E-03	2.9E+12
	8 月	—	—	8.2E-03	3.0E+12
	9 月	—	—	1.8E-02	3.6E+12
	10月	—	—	5.3E-03	1.1E+12
	11月	—	—	3.1E-03	1.0E+12
	12月	—	—	7.5E-03	1.6E+12
	1 月	—	—	2.7E-03	8.7E+11
	2 月	—	—	4.1E-03	1.5E+12
	3 月	—	—	3.4E-03	1.4E+12
	年 間	—	—	6.6E-03	2.7E+13

(注) 加圧水型発電所のトリチウムは、2次系から放出されたものを含めて集計している。
 ※：美浜3号機の定期点検に伴い、連絡配管により美浜1, 2号機放水口から放出した。
 (12/13～3/8)

5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）

2009年4月～2010年3月

区分 施設	期 間	トリチウムを除く液体廃棄物		トリチウム（液体）	
		平均濃度	放出量	平均濃度	放出量
		Bq/cm ³	Bq	Bq/cm ³	Bq
大飯発電所 3, 4号機	4 月	—	—	2.3E-03	9.9E+11
	5 月	—	—	4.8E-09	2.1E+06
	6 月	—	—	5.9E-03	2.6E+12
	7 月	—	—	1.2E-02	5.7E+12
	8 月	—	—	8.4E-03	3.9E+12
	9 月	—	—	4.9E-03	2.2E+12
	10月	—	—	3.5E-02	1.6E+13
	11月	—	—	7.8E-03	1.9E+12
	12月	—	—	1.6E-02	3.5E+12
	1 月	—	—	3.2E-02	1.2E+13
	2 月	—	—	1.9E-02	5.1E+12
	3 月	—	—	6.0E-03	1.3E+12
	年 間	—	—	1.2E-02	5.5E+13
高浜発電所 1, 2号機	4 月	—	—	6.4E-03	1.0E+12
	5 月	—	—	6.7E-04	1.9E+11
	6 月	—	—	1.8E-02	4.9E+12
	7 月	—	—	6.3E-03	1.8E+12
	8 月	—	—	1.3E-02	4.0E+12
	9 月	—	—	1.6E-03	3.7E+11
	10月	—	—	2.4E-02	3.6E+12
	11月	—	—	2.6E-03	6.4E+11
	12月	—	—	3.7E-03	1.0E+12
	1 月	—	—	1.4E-03	3.9E+11
	2 月	—	—	2.3E-03	5.7E+11
	3 月	—	—	4.6E-03	1.3E+12
	年 間	—	—	6.6E-03	2.0E+13
高浜発電所 3, 4号機	4 月	—	—	2.0E-03	6.4E+11
	5 月	—	—	5.9E-03	1.8E+12
	6 月	—	—	1.2E-02	1.9E+12
	7 月	—	—	8.4E-03	1.8E+12
	8 月	—	—	6.4E-03	2.0E+12
	9 月	—	—	3.8E-03	1.2E+12
	10月	—	—	3.5E-03	1.2E+12
	11月	—	—	7.0E-03	2.3E+12
	12月	—	—	2.9E-03	9.7E+11
	1 月	—	—	5.0E-03	1.6E+12
	2 月	—	—	2.5E-02	4.5E+12
	3 月	—	—	2.0E-02	3.1E+12
	年 間	—	—	7.0E-03	2.3E+13

(注) 加圧水型発電所のトリチウムは、2次系から放出されたものを含めて集計している。

5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比

2009年4月～2010年3月

単位：%

核種 施設	期 間	²² Na	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	その他
敦賀発電所	4 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	年 間	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ふげん	4 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	年 間	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高速増殖原型炉 もんじゅ	4 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	年 間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

/は対象外であることを示す。

5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比

2009年4月～2010年3月

単位：%

核種 施設	期 間	²²	⁵¹	⁵⁴	⁵⁹	⁵⁸	⁶⁰	¹³¹	¹³⁴	¹³⁷	その他
		N a	C r	M n	F e	C o	C o	I	C s	C s	
美浜発電所 1, 2号機	4 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	年 間	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
美浜発電所 3号機※	4 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	年 間	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大飯発電所 1, 2号機	4 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	年 間	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—

/は対象外であることを示す。

(注) ※：美浜3号機の定期検査に伴い、連絡配管により美浜1, 2号機放水口から放出した(12/13～3/8)。

5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比

2009年4月～2010年3月

単位：%

核種 施設	期 間	²² Na	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	その他
大飯発電所 3, 4号機	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高浜発電所 1, 2号機	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高浜発電所 3, 4号機	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-

/は対象外であることを示す。

(液体廃棄物中のストロンチウム-89、90)

2009年4月～2010年3月

施 設		区 分	ストロンチウム-89		ストロンチウム-90	
			平 均 濃 度 (Bq/cm ³)	放 出 量 (Bq)	平 均 濃 度 (Bq/cm ³)	放 出 量 (Bq)
敦賀発電所	4～6月	—	—	—	—	
	7～9月	—	—	—	—	
	10～12月	—	—	—	—	
	1～3月	—	—	—	—	
ふげん	4～6月	—	—	—	—	
	7～9月	—	—	—	—	
	10～12月	—	—	—	—	
	1～3月	—	—	—	—	
高速増殖 原型炉 もんじゅ	4～6月	—	—	—	—	
	7～9月	—	—	—	—	
	10～12月	—	—	—	—	
	1～3月	—	—	—	—	
美浜発電所 1・2号機	4～6月	—	—	—	—	
	7～9月	—	—	—	—	
	10～12月	—	—	—	—	
	1～3月	—	—	—	—	
美浜発電所 3号機	4～6月	—	—	—	—	
	7～9月	—	—	—	—	
	10～12月	—	—	—	—	
	1～3月	—	—	—	—	
大飯発電所 1・2号機	4～6月	—	—	—	—	
	7～9月	—	—	—	—	
	10～12月	—	—	—	—	
	1～3月	—	—	—	—	
大飯発電所 3・4号機	4～6月	—	—	—	—	
	7～9月	—	—	—	—	
	10～12月	—	—	—	—	
	1～3月	—	—	—	—	
高浜発電所 1・2号機	4～6月	—	—	—	—	
	7～9月	—	—	—	—	
	10～12月	—	—	—	—	
	1～3月	—	—	—	—	
高浜発電所 3・4号機	4～6月	—	—	—	—	
	7～9月	—	—	—	—	
	10～12月	—	—	—	—	
	1～3月	—	—	—	—	

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（気体廃棄物）

（単位：Bq/年）

年度	気体廃棄物廃棄物（希ガス）					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69	6.3×10^{13}					
70	4.8×10^{15}			3.3×10^{13}		
71	1.6×10^{15}			5.2×10^{13}		
72	1.8×10^{14}			3.3×10^{13}		
73	1.9×10^{14}			3.1×10^{13}		
74	2.1×10^{14}			1.5×10^{13}		3.6×10^{12}
75	4.4×10^{13}			1.1×10^{13}		7.8×10^{12}
76	6.7×10^{13}			4.9×10^{13}		7.6×10^{12}
77	7.4×10^{12}			1.5×10^{13}	1.1×10^{12}	5.6×10^{12}
78	2.0×10^{13}	3.1×10^{10}		5.5×10^{12}	9.5×10^{12}	5.1×10^{12}
79	5.6×10^{11}	8.9×10^{10}		2.1×10^{12}	5.0×10^{12}	5.3×10^{12}
80	1.9×10^{10}	4.1×10^{11}		3.0×10^{13}	1.4×10^{12}	7.7×10^{11}
81	1.4×10^{11}	2.2×10^{10}		3.1×10^{12}	2.7×10^{12}	9.6×10^{11}
82	2.1×10^{11}	9.6×10^{10}		1.1×10^{12}	2.2×10^{12}	2.9×10^{12}
83	4.7×10^{10}	2.4×10^{10}		2.4×10^{12}	1.7×10^{12}	3.7×10^{12}
84	2.5×10^9	—		1.9×10^{12}	1.9×10^{12}	1.4×10^{12}
85	1.6×10^9	—		1.4×10^{12}	1.3×10^{12}	2.0×10^{12}
86	8.9×10^{10}	—		1.5×10^{12}	3.8×10^{12}	6.4×10^{11}
87	2.6×10^9	—		9.1×10^{11}	1.5×10^{12}	4.8×10^{11}
88	5.8×10^9	—		2.8×10^{11}	9.1×10^{11}	1.1×10^{12}
89	8.9×10^9	1.2×10^9		2.5×10^{11}	1.0×10^{12}	3.5×10^{11}
90	1.0×10^{10}	—		2.7×10^{11}	6.8×10^{11}	3.5×10^{11}
91	1.0×10^{10}	2.2×10^{10}		2.8×10^{11}	5.6×10^{11}	1.8×10^{12}
92	2.9×10^9	—		1.1×10^{12}	5.3×10^{11}	4.4×10^{11}
93	2.7×10^9	—		2.0×10^{11}	4.7×10^{11}	6.2×10^{11}
94	3.6×10^9	—	—	1.1×10^{11}	6.0×10^{11}	2.0×10^{11}
95	3.8×10^8	—	—	1.6×10^{11}	5.1×10^{11}	2.1×10^{11}
96	3.8×10^9	—	—	1.9×10^{11}	4.3×10^{11}	3.3×10^{11}
97	3.0×10^9	—	—	1.9×10^{11}	4.3×10^{11}	3.7×10^{11}
98	8.4×10^8	—	—	1.7×10^{11}	6.1×10^{11}	4.2×10^{11}
99	—	—	—	2.3×10^{11}	1.2×10^{11}	4.0×10^{11}
00	2.6×10^9	—	—	1.6×10^{10}	5.7×10^{10}	1.6×10^{10}
01	8.8×10^8	—	—	1.4×10^{10}	1.5×10^{10}	1.8×10^{10}
02	9.1×10^8	1.2×10^{10}	—	1.1×10^{10}	2.8×10^{10}	1.2×10^{10}
03	1.6×10^9	—	—	6.1×10^9	1.8×10^{10}	1.1×10^{10}
04	7.4×10^8	—	—	1.9×10^9	4.1×10^{11}	1.6×10^{10}
05	—	—	—	1.2×10^9	6.2×10^9	1.2×10^{10}
06	—	—	—	2.3×10^9	2.9×10^9	1.5×10^{10}
07	—	—	—	4.6×10^9	2.2×10^9	1.8×10^{10}
08	—	—	—	2.8×10^9	1.9×10^{10}	9.3×10^{11}
09	7.4×10^8	—	—	4.7×10^9	5.0×10^{11}	3.3×10^{11}

（注）ふげんの希ガスはアルゴン-41である。美浜、大飯、高浜の各発電所では1979年度までは検出限界以下の場合、検出限界値を加算していたが、1980年度以降0として集計している（液体廃棄物も同じ）。

美浜、大飯、高浜発電所の気体廃棄物にはそれぞれの発電所の固体廃棄物処理建屋からの放出量も含まれている。1990年度の美浜発電所の希ガスの放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる補助建屋排気筒からの放出分、および排気筒以外からの放出分を含む。

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（気体廃棄物）

（単位：Bq/年）

年度	気体廃棄物のヨウ素-131					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69						
70	1.4×10^{10}					
71	4.1×10^{10}					
72	8.9×10^9					
73	7.4×10^9					
74	1.0×10^{10}					—
75	7.4×10^8			5.6×10^7		5.9×10^7
76	6.7×10^8			2.5×10^8		8.4×10^7
77	2.7×10^8			1.2×10^8	2.5×10^6	1.9×10^7
78	2.0×10^8			3.5×10^7	8.1×10^7	1.4×10^7
79	1.3×10^8	—		3.7×10^7	1.3×10^8	1.3×10^7
80	2.7×10^7	—		1.3×10^9	1.4×10^7	8.0×10^6
81	1.0×10^7	—		9.4×10^7	2.6×10^8	1.4×10^6
82	9.1×10^6	—		6.2×10^7	6.3×10^7	3.4×10^6
83	3.9×10^6	—		4.6×10^6	5.6×10^6	9.0×10^7
84	4.0×10^5	—		8.9×10^7	5.0×10^5	1.8×10^6
85	2.0×10^5	—		2.7×10^7	5.9×10^6	2.1×10^7
86	$4.4 \times 10^7*$	$5.6 \times 10^7*$		$6.8 \times 10^7*$	$2.2 \times 10^{8*}$	$1.1 \times 10^{8*}$
87	1.3×10^6	—		3.8×10^6	1.6×10^6	2.7×10^6
88	—	—		1.3×10^6	5.7×10^7	2.0×10^7
89	—	—		2.5×10^6	1.2×10^6	2.2×10^5
90	4.8×10^5	—		3.5×10^8	8.8×10^5	2.9×10^5
91	5.7×10^4	—		6.1×10^6	1.1×10^6	2.2×10^8
92	—	—		1.9×10^7	3.4×10^6	4.3×10^7
93	—	—		1.0×10^7	2.8×10^5	4.4×10^5
94	—	—	—	2.7×10^5	2.2×10^5	3.1×10^5
95	—	—	—	1.6×10^5	—	2.4×10^5
96	—	—	—	—	—	—
97	—	—	—	1.8×10^6	8.6×10^5	3.8×10^6
98	—	—	—	2.4×10^6	1.2×10^5	9.9×10^6
99	—	—	—	3.2×10^5	1.6×10^5	2.7×10^5
00	3.8×10^5	—	—	—	1.1×10^6	—
01	—	—	—	9.9×10^4	2.7×10^5	1.9×10^5
02	—	—	—	3.8×10^5	—	3.4×10^5
03	—	—	—	2.3×10^5	—	—
04	—	—	—	—	1.9×10^8	—
05	—	—	—	—	—	—
06	—	—	—	—	—	—
07	—	—	—	—	—	—
08	—	—	—	1.2×10^5	1.7×10^6	—
09	—	—	—	8.4×10^4	—	—

（注）*印の1986年度の気体状ヨウ素-131の放出実績には、チェルノブイル原子力発電所の影響が含まれている。

1990年度の美浜発電所のヨウ素-131の放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる補助建屋排気筒からの放出分、および排気筒以外からの放出分を含む。

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（液体廃棄物）

（単位：Bq/年）

年度	トリチウムを除く液体廃棄物					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69	1.1×10^{11}					
70	6.7×10^{10}			5.9×10^{10}		
71	6.3×10^9			5.6×10^9		
72	7.8×10^9			1.1×10^9		
73	7.4×10^9			1.1×10^9		
74	1.1×10^{10}			9.6×10^8		1.1×10^8
75	1.7×10^{10}			5.6×10^8		1.5×10^8
76	3.4×10^9			2.8×10^8		3.6×10^8
77	2.7×10^9			3.3×10^8	1.8×10^7	8.5×10^7
78	8.9×10^8	3.3×10^7		3.0×10^8	3.7×10^7	7.0×10^7
79	4.8×10^8	5.3×10^7		4.5×10^8	6.3×10^7	6.3×10^7
80	2.6×10^8	3.7×10^7		1.4×10^8	5.9×10^7	4.8×10^7
81	1.4×10^8	2.9×10^8		8.8×10^7	1.9×10^8	1.1×10^7
82	1.8×10^7	3.1×10^7		8.6×10^7	2.9×10^7	7.0×10^6
83	2.9×10^7	4.8×10^7		1.0×10^8	2.2×10^7	8.9×10^6
84	2.5×10^7	1.9×10^7		3.8×10^7	1.9×10^7	6.2×10^6
85	1.9×10^7	1.0×10^8		2.2×10^7	2.1×10^7	8.2×10^6
86	1.2×10^7	4.8×10^7		1.5×10^7	1.6×10^7	1.3×10^7
87	1.1×10^7	1.9×10^7		1.7×10^7	4.4×10^6	2.6×10^6
88	1.1×10^7	4.8×10^7		2.1×10^7	2.1×10^5	—
89	4.2×10^6	5.8×10^7		6.5×10^6	—	—
90	5.6×10^6	1.4×10^7		1.6×10^7	7.4×10^5	—
91	6.6×10^6	4.7×10^6		5.1×10^5	—	—
92	2.5×10^6	1.1×10^7		3.0×10^6	7.8×10^4	—
93	1.5×10^5	1.6×10^6		3.4×10^5	1.4×10^5	—
94	—	—	—	1.0×10^5	—	—
95	9.4×10^4	—	—	4.8×10^5	—	—
96	—	—	—	—	—	—
97	—	—	—	—	—	—
98	—	—	—	—	—	—
99	—	—	—	—	—	—
00	—	—	—	—	—	—
01	—	—	—	—	—	—
02	—	—	—	—	—	—
03	—	—	—	—	—	—
04	—	—	—	—	—	3.1×10^5
05	—	—	—	—	—	—
06	—	—	—	—	—	—
07	—	—	—	—	—	—
08	—	—	—	—	—	—
09	—	—	—	—	—	—

（注）ふげんの液体廃棄物放出実績については、1984年度年報より重水精製施設からの放出量も含めて記載した。
 1990年度の美浜発電所の「トリチウムを除く液体廃棄物」の放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる蒸気発生器ブローダウンからの放出分、および2次系へ流出した1次冷却材を含む2次系統水の処理分を含む。
 2004年度の高浜発電所については、4号機タービンサンプ水モニタ指示上昇事象時の放出による。
 1981年の敦賀発電所の放出実績には、一般排水口からの放射能漏えい量は含まれていない。一般排水路の流出放射能は十数から数十mCi（1mCi=3.7×10⁷Bq）と推定されている。

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（液体廃棄物）

（単位：Bq/年）

年度	トリチウム（液体）					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69						
70	5.2×10^{11}			1.2×10^{12}		
71	2.3×10^{11}			5.2×10^{12}		
72	2.0×10^{11}			8.9×10^{12}		
73	3.0×10^{11}			1.1×10^{13}		
74	7.8×10^{11}			1.0×10^{13}		4.8×10^{12}
75	1.6×10^{12}			2.4×10^{12}		1.3×10^{13}
76	1.9×10^{12}			8.4×10^{12}		1.3×10^{13}
77	8.5×10^{11}			7.8×10^{12}	6.3×10^{11}	1.1×10^{13}
78	1.1×10^{12}	2.6×10^{11}		1.4×10^{13}	4.8×10^{12}	1.7×10^{13}
79	1.2×10^{12}	2.7×10^{11}		1.2×10^{13}	1.5×10^{13}	1.1×10^{13}
80	1.3×10^{12}	7.7×10^{11}		1.3×10^{13}	2.2×10^{13}	1.1×10^{13}
81	1.2×10^{12}	8.5×10^{11}		1.4×10^{13}	1.1×10^{13}	1.4×10^{13}
82	5.0×10^{11}	1.2×10^{12}		9.8×10^{12}	3.1×10^{13}	1.4×10^{13}
83	4.3×10^{11}	1.3×10^{12}		1.0×10^{13}	3.4×10^{13}	1.6×10^{13}
84	4.2×10^{11}	2.6×10^{12}		1.9×10^{13}	3.0×10^{13}	2.1×10^{13}
85	3.5×10^{11}	3.6×10^{12}		1.6×10^{13}	2.9×10^{13}	3.7×10^{13}
86	5.9×10^{12}	2.2×10^{12}		2.2×10^{13}	4.1×10^{13}	4.3×10^{13}
87	2.4×10^{13}	1.9×10^{12}		2.4×10^{13}	3.3×10^{13}	4.9×10^{13}
88	4.5×10^{12}	4.4×10^{12}		2.1×10^{13}	3.0×10^{13}	7.0×10^{13}
89	1.2×10^{13}	7.0×10^{12}		1.3×10^{13}	2.6×10^{13}	4.0×10^{13}
90	2.3×10^{13}	3.3×10^{12}		2.0×10^{13}	1.6×10^{13}	3.5×10^{13}
91	3.1×10^{13}	1.8×10^{12}		1.3×10^{13}	2.0×10^{13}	3.0×10^{13}
92	7.9×10^{12}	3.9×10^{12}		1.2×10^{13}	2.8×10^{13}	5.5×10^{13}
93	1.6×10^{13}	3.5×10^{12}		1.8×10^{13}	4.2×10^{13}	6.9×10^{13}
94	1.3×10^{13}	4.7×10^{12}	—	1.1×10^{13}	6.3×10^{13}	3.3×10^{13}
95	1.9×10^{13}	4.1×10^{12}	3.9×10^9	1.7×10^{13}	6.1×10^{13}	3.7×10^{13}
96	1.4×10^{13}	5.9×10^{12}	9.7×10^7	1.7×10^{13}	5.9×10^{13}	5.7×10^{13}
97	2.1×10^{13}	5.5×10^{12}	1.3×10^9	1.6×10^{13}	4.6×10^{13}	6.4×10^{13}
98	2.0×10^{13}	3.5×10^{12}	4.7×10^8	1.6×10^{13}	5.7×10^{13}	6.2×10^{13}
99	1.1×10^{13}	4.1×10^{12}	2.7×10^8	2.0×10^{13}	6.9×10^{13}	7.1×10^{13}
00	1.4×10^{13}	3.8×10^{12}	2.7×10^8	2.0×10^{13}	6.6×10^{13}	4.1×10^{13}
01	1.0×10^{13}	4.1×10^{12}	6.2×10^5	1.7×10^{13}	1.3×10^{14}	5.3×10^{13}
02	1.4×10^{13}	1.8×10^{12}	9.3×10^6	1.8×10^{13}	6.4×10^{13}	6.3×10^{13}
03	2.2×10^{13}	4.3×10^{11}	4.9×10^8	2.3×10^{13}	9.0×10^{13}	5.9×10^{13}
04	2.6×10^{13}	1.0×10^{12}	1.3×10^8	1.6×10^{13}	9.8×10^{13}	6.3×10^{13}
05	9.2×10^{12}	1.2×10^{12}	4.7×10^8	1.5×10^{13}	6.6×10^{13}	6.9×10^{13}
06	1.5×10^{13}	1.6×10^{12}	2.0×10^8	1.4×10^{13}	7.7×10^{13}	6.8×10^{13}
07	1.3×10^{13}	1.0×10^{12}	2.1×10^7	2.0×10^{13}	8.9×10^{13}	6.0×10^{13}
08	4.9×10^{12}	2.7×10^{12}	2.1×10^8	1.8×10^{13}	7.4×10^{13}	4.0×10^{13}
09	1.5×10^{13}	2.1×10^{12}	2.7×10^8	2.3×10^{13}	8.1×10^{13}	4.3×10^{13}

（注）1990年度の美浜発電所の「トリチウム（液体）」の放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる蒸気発生器ブローダウンからの放出分、および2次系へ流出した1次冷却材を含む2次系統水の処理分を含む。2004年度の高浜発電所については、4号機タービンサンプ水モニタ指示上昇事象時の放出分 1.1×10^7 Bqを含む。

5.10 緊急時モニタリングルートでの線量率調査

1. 調査方法

(1) 調査期間

平成21年4月～10月

(2) 調査項目

空間 線量率

(3) 測定器等

測定器

各機関が有するモニタリングカーに搭載の線量率計による。

機関名	検出器	検出器位置
県監視センター	2"×2"NaI(Tl)検出器	屋根(地上高2.7m)
原電	3"×3"NaI(Tl)検出器	屋根(地上高2.3m)
関電	2"×2"NaI(Tl)検出器	屋根(地上高3.5m)
原子力機構	2"×2"NaI(Tl)検出器	屋根(地上高2.9m)

測定法

停車し、2分～5分間測定。

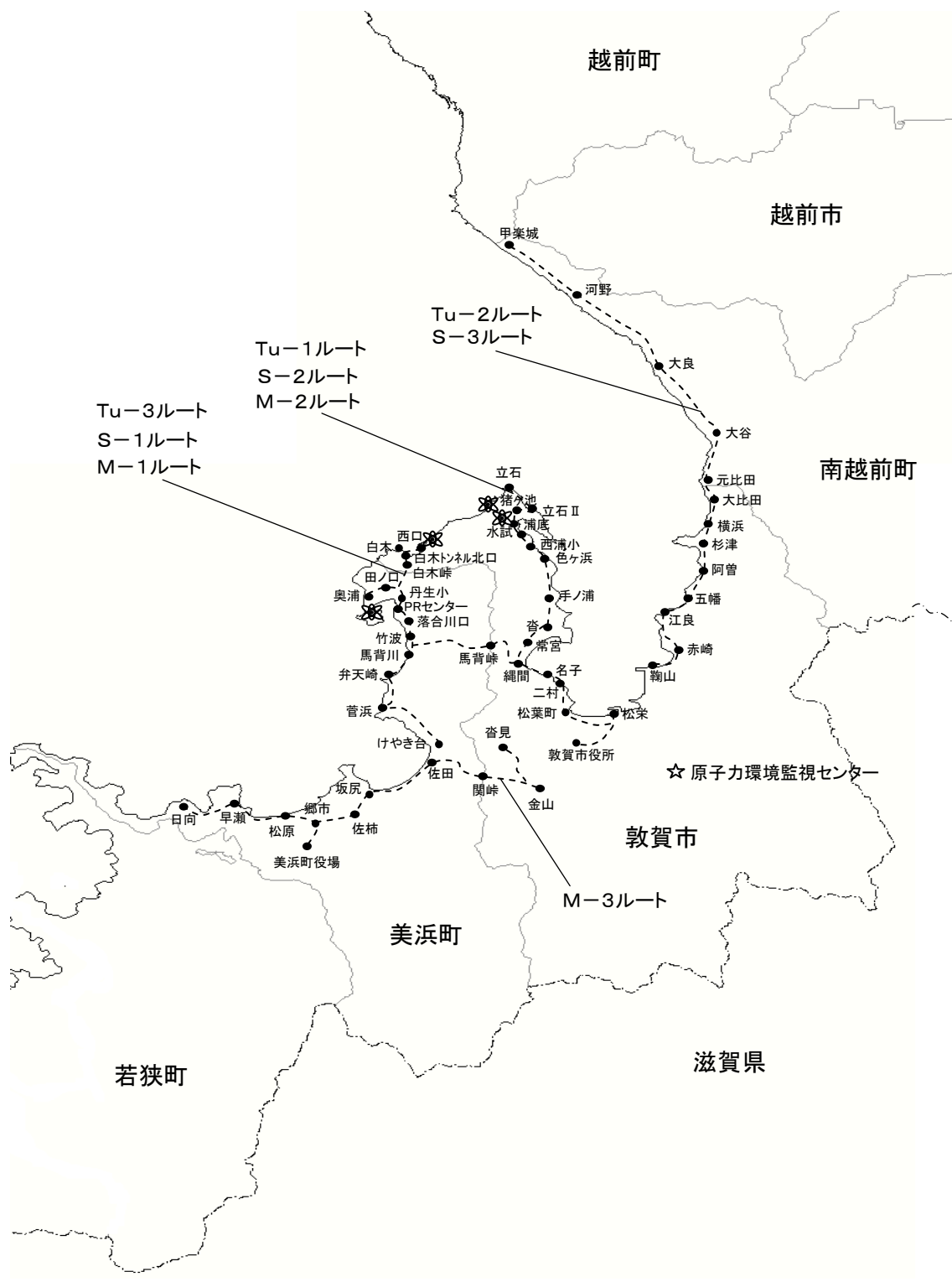
(4) 測定地点

第1図に、各ルートの測定地点を示す。

第1図 緊急時モニタリングルート調査地点

Tu-1ルート	立石	～	縄間	～	松栄	～	敦賀市役所
Tu-2ルート	鞠山	～	五幡	～	大比田	～	甲楽城
Tu-3ルート	白木	～	竹波	～	馬背峠	～	菅浜
S-1ルート	白木	～	白木峠	～	竹波	～	馬背川 ～ けやき台
S-2ルート	立石	～	縄間	～	馬背峠	～	松栄 ～ 敦賀市役所
S-3ルート	鞠山	～	五幡	～	大比田	～	甲楽城
M-1ルート	白木	～	丹生	～	馬背川	～	けやき台
M-2ルート	立石	～	縄間	～	馬背峠	～	松栄 ～ 敦賀市役所
M-3ルート	杳見公会堂	～	佐田	～	郷市	～	日向
O-1ルート	宮留(奥)	～	日角浜	～	犬見崎	～	大飯中学校
O-2ルート	高浜町役場	～	長井	～	荒木	～	小浜市役所
O-3ルート	小浜市役所	～	西津	～	阿納尻	～	泊
Ta-1ルート	音海(奥)	～	灘波江	～	三松駅	～	高浜町役場
Ta-2ルート	灘波江	～	神野浦	～	下	～	上瀬
Ta-3ルート	六路谷	～	高野	～	今寺	～	日置 ～ おおい町役場
Ta-4ルート	園部	～	川上	～	鹿野	～	おおい町役場





調査結果その1 敦賀、白木、美浜地区

単位:nGy/h

市町村	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
敦賀市	立石	立石	県テレメータ観測局県道	Tu-1 M-2・S-2	8月27日	晴れ	66.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	53.2	B
敦賀市	立石	立石Ⅱ	恵比寿神社前	Tu-1	8月27日	晴れ	89.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	66.0	B
敦賀市	浦底	猪ヶ池	原電原子力館昇り口	Tu-1	8月27日	晴れ	69.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	58.6	B
敦賀市	浦底	水試	水産試験場玄関前	Tu-1	8月27日	晴れ	61.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	47.4	B
敦賀市	浦底	浦底	原電明神寮昇り口	Tu-1 M-2・S-2	8月27日	晴れ	77.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	56.2	B
敦賀市	色浜	西浦小学校	西浦小・中学校	Tu-1	8月27日	晴れ	68.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	51.0	B
敦賀市	色浜	色ヶ浜	旅館みずしま前	Tu-1 M-2・S-2	8月27日	晴れ	68.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	51.6	B
敦賀市	手	手ノ浦	あけぼの旅館前	Tu-1 M-2・S-2	8月27日	晴れ	64.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	49.0	B
敦賀市	杓	杓	ひがし旅館駐車場入口	Tu-1 M-2・S-2	8月27日	晴れ	69.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	62.2	B
敦賀市	常宮	常宮	常宮小学校校門	Tu-1 M-2・S-2	8月27日	晴れ	65.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	45.6	B
敦賀市	縄間	縄間	西浦児童館前	Tu-1 M-2・S-2	8月27日	晴れ	61.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	35.2	D
敦賀市	名子	名子	ファーストハーバーツルガ横駐車帯	Tu-1 M-2・S-2	8月27日	晴れ	79.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	45.0	D
美浜町	馬背峠	馬背峠	峠西側駐車帯	Tu-3 M-2・S-2	10月22日	晴れ	98.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	74.0	D
敦賀市	二村	二村	二村バス停	Tu-1 M-2・S-2	8月27日	晴れ	68.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	46.8	D
敦賀市	松葉町	松葉町	市立体育館駐車場	Tu-1 M-2・S-2	8月27日	晴れ	68.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	37.0	D
敦賀市	松栄町	松栄	漁連製氷冷蔵工場横	Tu-1 M-2・S-2	8月27日	晴れ	58.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	39.4	D
敦賀市	中央2丁目	敦賀市役所	敦賀市役所玄関前	Tu-1 M-2・S-2	8月27日	晴れ	62.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	45.6	D
敦賀市	鞠山	鞠山	北陸電力鞠山寮前	Tu-2・S-3	10月15日	晴れ	54.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	48.8	B
敦賀市	赤崎	赤崎	赤崎小学校入口	Tu-2・S-3	10月15日	晴れ	58.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	49.2	B
敦賀市	江良	江良	おもや旅館駐車場横	Tu-2・S-3	10月15日	晴れ	58.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	47.6	B
敦賀市	五幡	五幡	東浦公民館前	Tu-2・S-3	10月15日	晴れ	49.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	38.8	B
敦賀市	阿曾	阿曾	JA北部営農センター	Tu-2・S-3	10月15日	晴れ	58.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	41.8	B
敦賀市	杉津	杉津	リゾートインすいず前駐車帯	Tu-2・S-3	10月15日	晴れ	54.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	38.8	B
敦賀市	横浜	横浜	ドライブインやべ清駐車場	Tu-2・S-3	10月15日	晴れ	59.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	38.4	B

調査結果その2 敦賀、白木、美浜地区(つづき)

単位;nGy/h

市町村	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
敦賀市	大比田	大比田	集落下非常用駐車帯	Tu-2・S-3	10月15日	晴れ	49.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	40.8	B
敦賀市	元比田	元比田	非常用駐車帯	Tu-2・S-3	10月15日	晴れ	48.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	37.6	B
南越前町	大谷	大谷	料金ゲート南駐車帯	Tu-2・S-3	10月15日	晴れ	48.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	39.2	B
南越前町	大良	大良	河野洞門南駐車帯	Tu-2・S-3	10月15日	晴れ	50.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	40.8	B
南越前町	河野	河野	南越前町役場河野総合事務所 駐車場入り口	Tu-2・S-3	10月15日	晴れ	43.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	34.8	B
南越前町	甲楽城	甲楽城	下長谷洞門前駐車場	Tu-2・S-3	10月15日	晴れ	47.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月24日	晴れ	37.8	B
敦賀市	白木1丁目	白木	白木区営駐車場	Tu-3 M-1・S-1	8月27日	晴れ	67.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	52.0	D
敦賀市	白木1丁目	もんじゅトンネル西口	もんじゅ守衛所横	S-1	10月22日	晴れ	72.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	52.6	D
敦賀市	白木1丁目	白木トンネル北口	トンネル北口交差点	S-1	10月22日	晴れ	68.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	52.8	D
敦賀市	白木	白木峠	県テレメ白木峠観測局前	Tu-3 M-1・S-1	10月22日	晴れ	88.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	74.8	D
美浜町	丹生	奥浦	漁協飼料保管解凍施設前	M-1	10月22日	晴れ	70.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	49.4	D
美浜町	丹生	丹生	県テレメ丹生観測局前	M-1	10月22日	晴れ	57.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	41.6	D
美浜町	丹生	田ノ口	丹生漁協ニューポ-ト前	Tu-3 M-1・S-1	10月22日	晴れ	50.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	26.8	D
美浜町	丹生	丹生小学校	丹生小学校校門	Tu-3 M-1・S-1	8月27日	晴れ	69.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	54.6	D
美浜町	丹生	PRセンター	美浜PRセンター玄関前	Tu-3 M-1・S-1	10月22日	晴れ	69.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	48.4	D
美浜町	竹波	落合川口	落合橋右岸たもと	Tu-3 M-1・S-1	10月22日	晴れ	69.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	44.6	D
美浜町	竹波	竹波	庄屋旅館駐車場	Tu-3 M-1・S-1	8月27日	晴れ	54.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	48.2	D
美浜町	竹波	水晶浜馬背川	関電水晶浜寮門前	Tu-3 M-1・S-1	8月27日	晴れ	79.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	47.6	D
美浜町	菅浜	弁天崎	弁天崎駐車場	Tu-3 M-1・S-1	8月27日	晴れ	64.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	43.4	D
美浜町	菅浜	菅浜	農業構造改善センター玄関	Tu-3 M-1・S-1	8月27日	晴れ	52.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	32.8	D
美浜町	佐田	けやき台	関電社宅前バス停	M-1・S-1	10月22日	晴れ	44.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	29.6	D

調査結果その3 敦賀、白木、美浜地区(つづき)

単位;nGy/h

市町村	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
敦賀市	杵見	杵見公会堂	杵見公会堂前駐車場	M-3	10月22日	晴れ	63.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	45.0	D
敦賀市	桜ヶ丘町	桜ヶ丘・金山	粟野交番横	M-3	10月22日	晴れ	68.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	47.8	D
敦賀市	関	関峠	関峠散水融雪設備横	M-3	10月22日	晴れ	57.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月30日	曇り	38.4	D
美浜町	佐田	佐田	山東郵便局前	M-3	10月22日	晴れ	62.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月22日	曇り	50.2	C
美浜町	坂尻	坂尻	坂尻バス停	M-3	10月22日	晴れ	50.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月22日	晴れ	45.3	C
美浜町	佐柿	佐柿	山本工業所前(佐柿口バス停前)	M-3	10月22日	晴れ	36.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月22日	曇り	35.5	C
美浜町	郷市	美浜町役場	美浜町役場 駐車場	Tu-3 M-3・S-1	10月22日	晴れ	44.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月22日	晴れ	39.4	C
美浜町	郷市	郷市	関電原子力事業本部前	M-3	10月22日	晴れ	49.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月22日	曇り	46.2	C
美浜町	久々子	久々子・松原	町勤労者体育センター入口	M-3	10月22日	晴れ	47.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月22日	曇り	39.8	C
美浜町	早瀬	早瀬	美浜漁業センター玄関前	M-3	10月22日	晴れ	51.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月22日	曇り	48.3	C
美浜町	日向	日向(バス停)	集落排水処理場前駐車場	M-3	10月22日	晴れ	50.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月22日	曇り	41.7	C

調査結果その4 大飯地区

単位;nGy/h

市町村名	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
おおい町	赤礁崎	オートキャンプ場	オートキャンプ場管理事務所前	O-1	10月29日	晴れ	42.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	38.3	C
おおい町	宮留	宮留(奥)	塩浜海水浴場入口	O-1	10月29日	晴れ	25.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	21.1	C
おおい町	宮留	宮留	県テレメ宮留観測局前	O-1	10月29日	晴れ	31.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	28.5	C
おおい町	脇今安	脇今安	おおい町えこあいらんど	O-1	10月29日	晴れ	24.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	25.6	C
おおい町	畑村	畑村	区標識下棧橋前(上山旅館前)	O-1	10月29日	晴れ	23.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	23.7	C
おおい町	日角浜	日角浜	大島漁協漁村センター玄関前	O-1	10月29日	晴れ	37.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	34.9	C
おおい町	河村	河村	区標識下三叉路	O-1	10月29日	晴れ	27.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	22.9	C
おおい町	西村	西村	生活改善センター前(区標識下)	O-1	10月29日	晴れ	28.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	25.0	C
おおい町	南浦	南浦・浦底	県道・海岸道路三叉路	O-1	10月29日	晴れ	23.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	22.7	C
おおい町	大島	大島トンネル北口	大島トンネル北口駐車場	O-1	10月29日	晴れ	29.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	22.0	C
おおい町	犬見	犬見崎	青戸大橋北詰犬見入口	O-1	10月29日	晴れ	35.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	28.3	C
おおい町	本郷	おおい町役場	おおい町役場玄関前	O-1・Ta-3 Ta-4	10月29日	晴れ	37.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	37.7	C
おおい町	本郷	本郷小学校	小学校グラウンド南角	O-1	10月29日	晴れ	40.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	35.1	C
おおい町	野尻	大飯中学校	中学校昇り口	O-1	10月29日	晴れ	40.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	42.2	C
おおい町	成和	プレーパーク大飯	総合運動公園体育館前	O-2	10月29日	晴れ	36.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	30.4	C
おおい町	尾内	尾内	マツミヤ前	O-2	10月29日	晴れ	31.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	37.3	C

調査結果その5 大飯地区(つづき)

単位;nGy/h

市町村名	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
おおい町	長井	長井	長井区標識(長井西踏切)	O-2	10月29日	晴れ	34.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	37.6	C
小浜市	鯉川	鯉川	鯉川海水浴場入口駐車場	O-2	11月10日	晴れ	38.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	31.1	C
小浜市	岡津	岡津	お食事処魚市横 国道・県道交差点	O-2	11月10日	晴れ	39.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	38.2	C
小浜市	飯盛(荒木)	飯盛	加斗小学校前バス停	O-2	11月10日	晴れ	41.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	34.8	C
小浜市	飯盛(荒木)	荒木	荒木バス停	O-2	11月10日	晴れ	37.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	34.7	C
小浜市	勢	勢	国道・県道235号三叉路	O-2	11月10日	晴れ	32.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	29.6	C
小浜市	青井	青井	リバーティールズ浜見台横三叉路	O-2	11月10日	晴れ	29.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	29.9	C
小浜市	大手6	小浜市役所	小浜市役所前	O-2・O-3	11月10日	晴れ	36.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	34.4	C
小浜市	城内	大手橋北詰	小浜簡易裁判所玄関前	O-3	11月10日	晴れ	37.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	38.7	C
小浜市	西津	西津	西津公民館・保育所前	O-3	11月10日	晴れ	36.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	31.6	C
小浜市	福谷	福谷	福谷駐在所前(福谷三叉路)	O-3	11月10日	晴れ	27.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	25.6	C
小浜市	甲ヶ崎	甲ヶ崎	内外海郵便局前	O-3	11月10日	晴れ	30.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	晴れ	28.6	C
小浜市	阿納尻	阿納尻	内外海小学校入口	O-3	11月10日	晴れ	26.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	小雨	25.5	C
小浜市	若狭	若狭	土地改良事業記念碑前	O-3	11月10日	晴れ	41.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	小雨	40.7	C
小浜市	堅海	堅海	堅海バス停	O-3	11月10日	晴れ	29.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	小雨	26.0	C
小浜市	泊	泊	集落西端県道終端	O-3	11月10日	晴れ	28.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月16日	小雨	31.3	C

調査結果その6 高浜地区

単位;nGy/h

市町村名	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
高浜町	音海	音海(奥)	音海集落奥漁協倉庫横	Ta-1	11月10日	晴れ	39.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	曇り	31.1	C
高浜町	音海	音海漁港	音海漁協・音海郵便局前	Ta-1	11月10日	晴れ	31.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	31.6	C
高浜町	音海	音海小中プール	県テレメータ観測局前	Ta-1	11月10日	晴れ	38.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	32.1	C
高浜町	音海	内浦港	日本海港湾(株)保税上屋前	Ta-1	11月10日	晴れ	39.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	曇り	27.0	C
高浜町	田の浦	内浦大橋南詰	高浜発電所正門前	Ta-1	11月10日	晴れ	28.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	29.8	C
高浜町	小黒飯	小黒飯	白浜トンネル北駐車帯	Ta-1	11月10日	晴れ	36.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	33.7	C
高浜町	難波江	難波江	難波江三叉路南山側駐車帯	Ta-1 Ta-2	11月9日	晴れ	31.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	曇り	29.5	C
高浜町	西三松	西三松	三松センター 玄関前	Ta-1	11月9日	晴れ	39.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	曇り	39.4	C
高浜町	東三松	三松駅口	三松駅口 信号下	Ta-1	11月9日	晴れ	34.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	34.8	C
高浜町	中寄	中寄・中津海	中津海バス停(中寄信号横)	Ta-1	11月9日	晴れ	30.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	曇り	28.5	C
高浜町	立石	文化会館	中央図書館・文化会館前	Ta-1	11月9日	晴れ	34.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	曇り	32.2	C
高浜町	宮崎	高浜町役場	高浜町役場前	O-2・Ta-1	11月9日	晴れ	32.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	34.7	C
高浜町	神野	神野	内浦電話交換所前駐車帯	Ta-2	11月9日	晴れ	24.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	23.4	C
高浜町	神野浦	神野浦	神野浦海岸三叉路	Ta-2	11月9日	晴れ	30.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	25.7	C
高浜町	山中・白井	白井	日枝神社交差点	Ta-2	11月9日	晴れ	28.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	25.0	C
高浜町	山中	山中	五色山公園入口看板前	Ta-2	11月9日	晴れ	22.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	21.5	C
高浜町	鎌倉	鎌倉	集落入口(舞鶴カントリー)交差点	Ta-2	11月9日	晴れ	28.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	32.5	C

調査結果その7 高浜地区(つづき)

単位;nGy/h

市町村名	地区名	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
高浜町	下	下	集落入口三叉路(区標識)	Ta-2	11月9日	晴れ	28.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	26.5	C
高浜町	宮尾	宮尾	産霊神社参道前	Ta-2	11月9日	晴れ	26.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	23.9	C
高浜町	日引	日引	日引小学校下駐車場	Ta-2	11月9日	晴れ	35.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	32.4	C
高浜町	上瀬	上瀬	山神神社石段前(県道終端)	Ta-2	11月9日	晴れ	27.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	25.4	C
高浜町	六路谷	六路谷	六路谷検問所(バス停)	Ta-3	11月9日	晴れ	25.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	23.4	C
高浜町	蒜畑	蒜畠	蒜畠バス停(喫茶らんぶる横)	Ta-3	11月9日	晴れ	26.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	24.0	C
高浜町	高野	高野	高野川青葉1号橋脇	Ta-3	11月9日	晴れ	20.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	19.2	C
高浜町	今寺	今寺	今寺集落生活改善センター	Ta-3	11月9日	晴れ	30.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	28.4	C
高浜町	関屋	関屋	関屋バス停	Ta-3	11月9日	晴れ	25.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	24.2	C
高浜町	青	青	森林組合支所(青駐在所横)	Ta-3	11月9日	晴れ	21.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	28.2	C
高浜町	日置	日置	日置バス停(青梅神社参道)	Ta-3	11月9日	晴れ	27.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	曇り	26.6	C
高浜町	岩神	岩神	建設省高浜スノーベース前	Ta-3	11月9日	晴れ	34.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	30.7	C
高浜町	和田	和田駅前	JR若狭和田駅前	O-2・Ta-3	11月9日	晴れ	38.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	31.0	C

調査結果その8 高浜地区(つづき)

単位;nGy/h

市町村名	地区名	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
高浜町	園部	園部	高浜原子力防災センター	Ta-4	10月29日	晴れ	28.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	晴れ	29.3	C
高浜町	笠原	笠原	高浜町浄化ランド	Ta-4	10月29日	晴れ	46.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	曇り	44.0	C
おおい町	川上	川上	川上公民館	Ta-4	10月29日	晴れ	45.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	曇り	41.9	C
おおい町	安川	安川	安川・久保バス停	Ta-4	10月29日	晴れ	29.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	曇り	27.2	C
おおい町	鹿野	鹿野	佐分利小学校体育館前	O-1・Ta-4	10月29日	晴れ	38.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	曇り	31.4	C
おおい町	父子	父子・万願寺	さぶり川公園南西角	O-1・Ta-4	10月29日	晴れ	36.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月19日	曇り	33.5	C

平成21年度に刊行した福井県環境放射能測定技術会議報告書等の訂正

報告書	ページ	項目または表題	行数または欄	誤	正	
平成20年度年報	39	第8図中の農産物採取地点		福井市	あわら市	
	47	第4-2表 試料項目		空白	陸水	
	170	預託実効線量評価の1. はじめに	2	モニタリングに関する指針	モニタリング指針	
平成21年度第1報	2	表-1	敦賀地区降雨以外	2	0~2	
	80	参考資料IV 軽水型原子力発電所に対する線量目標値	②ヨウ素-131 美浜発電所	7.4×10^{10}	7.3×10^{10}	
平成21年度第3報	19	第6図	地点名「畑村」の位置	海上	陸上へ	
平成21年度第4報	71	(2)入射エネルギースペクトル→線量率換算	3	宇宙線寄与分として含まれていない。	宇宙線寄与分として取り扱い、その影響を除外している。	
平成21年度第4報	79	表-1	試料番号 T21R008の検出限界	0.010	0.102	
平成21年度第1報～第4報	40	第4表のアルファ放射能濃度	浦底Aの最低濃度過去実績	0.3	0.5	
			浦底Aの月間標準偏差過去実績	6.7	7.2	
	41	第4表のベータ放射能濃度	日角浜Aの月間標準偏差過去実績	2.7	2.8	
			第4表のアルファ放射能濃度	宮留Aの最低濃度過去実績	0.3	0.5
			第4表のベータ放射能濃度	小黒飯Aの月間標準偏差過去実績	0.4	1.5
			音海Aの月間標準偏差過去実績	1.6	1.7	
			神野浦Aの月間標準偏差過去実績	1.7	1.6	
平成22年度計画書	4	年間降下物調査項目	γ線スペクトロメトリ	^{239}Pu	^{137}Cs	
	46	第12表 トリチウム測定法	雨水の測定試料	等量混合試料	加重平均試料	
	61	参考資料IV 軽水型原子力発電所に対する線量目標値	②ヨウ素-131 美浜発電所	7.4×10^{10}	7.3×10^{10}	

平成20年度以前に刊行した福井県環境放射能測定技術会議報告書等の訂正

報告書	ページ	項目または表題	行数または欄	誤	正
平成21年度計画書	61	参考資料Ⅳ 軽水型原子力発電所に対する線量目標値	②ヨウ素-131 美浜発電所	7.4×10^{10}	7.3×10^{10}

原子力発電所周辺の環境放射能調査報告

平成21年度（2009年度）年報

〔FERC第42巻 5号〕

福井県環境放射能測定技術会議

Fukui Environmental Radiation Monitoring Council
(FERC)

平成22年9月 発行

発行所 福井県環境放射能測定技術会議事務局
敦賀市吉河37-1（〒914-0024）
福井県原子力環境監視センター
TEL.（0770）25-6110

発行責任者 寺川 和良